

原子力発電所周辺の環境放射能調査報告

平成22年度年報

(2010)

平成23年9月

福井県環境放射能測定技術会議

はじめに

福井県環境放射能測定技術会議は、平成22年度（2010年度）の調査結果を四半期毎にとりまとめ、平成22年度第1報～第4報として、第172回～第175回福井県原子力環境安全管理協議会に報告し公表してきました。この報告書はこれらを総合してとりまとめ、年報としたものです。

この報告書には、「平成22年度調査計画（FERC第42巻6号）」に基づく定期的な調査結果のほか、各種環境試料中の放射化学分析結果や年間降水量など四半期報告書で報告していないものもすべて収載しました。

また、調査結果の詳細な技術的検討を「4.付」に、発電所の運転状況や放射性廃棄物の放出管理の状況などを「5.参考資料」にそれぞれ示しました。ご参照下さい。

平成23年3月11日には東北地方太平洋沖地震とそれに伴う大津波が発生し、福島第一原子力発電所において全交流電源および冷却機能の喪失、冷却水の減少に伴う炉心の損傷、水素爆発による建屋の損壊等の事態に至り、多量の放射性物質が環境中に放出されました。

福井県内では、福井県が文部科学省による全国調査の一環としてモニタリング強化体制をとった他、本会議の構成員である福井県および県内原子力事業者が自主的な臨時調査を実施し、結果を随時公表してきました。

現在までの調査結果では、福島第一発電所事故によるものと考えられる放射性核種が一部の試料から検出されていますが、健康および環境安全上問題となるものではないことを確認しています。

本会議は、今後とも一層の信頼が寄せられるような綿密な環境放射線(能)調査を行い、原子力発電所周辺環境の放射線安全の確保・確認に万全を期したいと考えています。

平成23年9月

福井県環境放射能測定技術会議

福井県環境放射能測定技術会議

構 成 機 関

福井県安全環境部原子力安全対策課

福井県原子力環境監視センター

福 井 県 水 産 試 験 場

日 本 原 子 力 発 電 株 式 会 社

関 西 電 力 株 式 会 社

独立行政法人日本原子力研究開発機構

目 次

1. 環境放射線モニタリングの目的と調査概要	1
2. 調査結果	5
2.1 調査結果の概要	5
2.1.1 周辺公衆の線量評価	6
2.1.2 変動傾向および蓄積状況などの参考となる調査	9
2.2 線量評価に関連した調査	11
2.2.1 空間線量	11
2.2.2 大気・浮遊じん、大気中水分	16
2.2.3 陸水	16
2.2.4 農産物、指標植物	16
2.2.5 海産食品、指標海産生物	17
2.2.6 海水	18
2.3 変動傾向および蓄積状況などの参考となる調査	18
2.3.1 浮遊じん放射能の連続測定	18
2.3.2 陸土	19
2.3.3 指標植物、松葉	20
2.3.4 降下物	21
2.3.5 海底土	22
2.3.6 指標海産生物	23
(参考) 今年度のセシウム-137分析結果	24

3. 添付資料

3.1 調査方法

3.1.1 調査地点(概要)	25
3.1.2 調査方法(概要)	25
3.1.3 調査の分担実績	27
3.1.4 測定値の取り扱いについて	28

3.2 調査地点図表

第1図 各放射線監視テレメータシステム的主要データ収集・送信系統図	33
第2図 空間線量率連続測定・積算線量測定地点(全域)	34
第3図 敦賀発電所および原子炉廃止措置研究開発センター(ふげん)周辺の試料採取地点	36
第4図 高速増殖原型炉もんじゅ周辺の試料採取地点	37
第5図 美浜発電所周辺の試料採取地点	38
第6図 大飯発電所周辺の試料採取地点	39
第7図 高浜発電所周辺の試料採取地点	40
第8図 対照地区(嶺北地方)の試料採取地点	41
第1表 調査地点の詳細	42

3.3 測定法

第2表 空間線量測定法	46
第3表 浮遊じん放射能の連続測定法	47
第4表 ゲルマニウム半導体検出器による核種分析測定法	48
第4-2表 ゲルマニウム半導体検出器による核種分析の検出目標値	49
第5表 液体シンチレーション検出器によるトリチウム測定法	49
第6表 ストロンチウム-90・プルトニウム測定法	49
第7表 測定器	50

3.4 測定結果

第8表 空間線量率連続測定結果 その1 県テレメータシステム	51
第9表 " その2 施設者のテレメータシステム	57
第10表 積算線量測定結果	77
第11表 浮遊じん放射能の連続測定結果	84
第12表 大気中のヨウ素-131分析結果	90
第13表 核種分析結果 その1 浮遊じん	92
第14表 " その2 陸水	97
第15表 " その3 陸土	98
第16表 " その4 指標植物	99
第17表 " その5 松葉(2年葉)	101
第18表 " その6 農産物	102
第19表 " その7 降下物	103
第20表 " その8 海水	107
第21表 " その9 海底土	108
第22表 " その10 海産食品	111
第23表 " その11 指標海産生物	113
第24表 トリチウム分析結果 その1 陸水	115

第25表	〃	その2	大気中水分	117
第26表	〃	その3	雨水	123
第27表	〃	その4	海水	125
第28表	放射化学分析等による ⁹⁰ Sr, ¹³⁷ Cs, ²³⁹ Pu分析結果			128
第29表	年間降下物の ⁹⁰ Sr, ²² Na, ⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs, ²³⁹ Pu分析結果 (参考: 定期外調査)			132
第30表	原乳の核種分析結果 (参考: 定期外調査)			133
第31表	各地の積雪量(2009年12月~2010年3月) [参考データ]			134

4. 付

4.1	空間放射線の構成成分			137
4.2	県環境放射線監視テレメータシステムによる空間線量率及び気象の調査結果			139
	各地の気象	その1	降雨(降雪)、風速、気温	141
	各地の気象	その2	3ヶ月毎の風向出現率	149
	空間線量率と降雨量の測定結果(2009年4月~2010年3月)			153
	各地の風配図			162
4.3	大気中水分、雨水(降下物)のトリチウム分析結果について			166
4.4	東北地方太平洋沖地震に伴う福島第一原子力発電所に関連した臨時放射能調査			168
4.5	環境モニタリング結果に基づく内部被ばく預託実効線量評価結果			177

5. 参 考 資 料

5.1	平成21年度福井県環境放射能測定技術会議議事経過			183
5.2	(1)各発電所の設備の概要、建設経過			188
	(2)主要設備の改造および新設工事			190
5.3	(1)原子炉廃止措置研究開発センター(ふげん)廃止措置作業状況			192
	(2)高速増殖原型炉もんじゅの試験進捗状況			193
5.4	各発電所の運転実績			194
5.5	各発電所の発電停止状況			196
5.6	各発電所の放射性廃棄物放出実績(気体廃棄物)			198
5.7	各発電所の放射性廃棄物放出実績(液体廃棄物)			203
5.8	各発電所の液体廃棄物中の核種存在比			206
5.9	各発電所の年度別放射性廃棄物放出量			210
5.10	緊急時モニタリングルートでの線量率調査			215

1. 環境放射線モニタリングの目的と調査概要

我が国における原子力発電所周辺の環境モニタリングを規定している「環境放射線モニタリング指針（平成20年3月、原子力安全委員会）」は、環境放射線モニタリングの基本目的を「原子力施設の周辺住民等の健康と安全を守るため、環境における原子力施設に起因する放射性物質又は放射線による周辺住民等の線量が、1年間の線量限度を十分に下回っていることを確認し、その結果を周辺住民等に提供することである」としている。さらに、「異常事態又は緊急事態が発生した場合に、速やかに対応できるモニタリング体制を整備することにある」とし、具体的には次の四項目に要約している。

- (a) 周辺住民等の線量の推定及び評価
- (b) 環境における放射性物質の蓄積状況の把握
- (c) 原子力施設からの予期しない放射性物質または放射線の放出の早期検出及び周辺環境への影響評価
- (d) 異常事態または緊急事態が発生した場合における環境放射線モニタリングの実施体制の整備

各種試料等の測定の間々の目的は下記のとおりである。

- ①空間線量：線量率—連続測定による環境放射線の短期的変動の把握および体外からの放射線による外部被ばく線量の推定
：積算線量—体外からの放射線による外部被ばく積算線量の推定（3ヶ月毎）
：モニタリングカー緊急時モニタリングルートでの線量率確認
- ②大気・浮遊じん、大気中水分：空気の吸入による内部被ばくの推定
- ③陸水、農産物、海産食品：飲食物の摂取による内部被ばくの推定
- ④指標植物、指標海産生物：環境における放射性物質の変動傾向および蓄積状況の把握、ならびに農産物、海産食品の調査の補完
- ⑤陸土、海底土：環境における放射性物質の変動傾向および蓄積状況の把握
- ⑥海水：環境における放射性物質の変動傾向および蓄積状況の把握（ならびに海産食品への濃縮を通じての潜在的な内部被ばくの推定）
- ⑦降下物：放射性物質の降下量の把握、検出された核種の起源の推定

このうち①の空間線量については、平常の変動幅との比較等から必要に応じて更に詳細な調査を行って発電所寄与の有無を判断することとしている。また内部被ばくに係わる③の飲食物等については、地区別年間平均核種濃度を算出し、それをもとにまず過去の核実験等の寄与分も含めた線量を推定して安全を確認し、次いで起源の判断を加え県内の原子力発電所寄与分を推定している。④の指標生物は内部被ばくに関する線量推定の際の補完的試料として評価しているほか、上記(c)の目的にも役立っている。

各地区毎では、大別して以下のような調査を行った。

- (イ) テレメータシステム等による線量調査
- (ロ) ゲルマニウム(Ge)半導体検出器による核種分析調査
- (ハ) 陸水等のトリチウム調査
- (ニ) 放射化学分析によるストロンチウム-90、プルトニウム-239(注1)等の調査

今年度の調査地点・測定の数値を第1表(p.2~p.4)に示す。

なお、この報告書では、空間放射線モニタリングにおける自然放射線のレベル、および環境試料中の放射能モニタリングにおける過去の核実験影響等の外因によるレベルをバックグラウンドレベルと表記した。

(注1) アルファ線スペクトロメトリによるプルトニウム分析では、プルトニウム-239 およびプルトニウム-240 のアルファ線を分離できないため、正確にはプルトニウム-239(+240)と表記すべきであるが、本報告書では簡略にプルトニウム-239 と表示する。

本報告書で用いる調査機関の略称名称は、以下のとおりとする。

- ①福井県原子力環境監視センター：県または福井県（記号；A）
- ②日本原子力発電株式会社：原電（記号；B）
- ③関西電力株式会社：関電（記号；C）
- ④独立行政法人日本原子力研究開発機構：原子力機構または機構（記号；D）

第1表 調査地点・測定の数

県：福井県原子力環境監視センター 原電：日本原子力発電株式会社
 機構：独立行政法人日本原子力研究開発機構 関電：関西電力株式会社

(イ) 連続測定調査

調査項目	調査地区	敦賀	白木	美浜	大飯	高浜	福井(対照)	合計	頻度(回/年)
線量率(テレメータシステム)		20	7	14	16	14		71	連続
積算線量(3ヶ月積算値)	地点数	26	14	22	26	25	10	123	4
	測定数	104	56	88	104	100	40	492	
浮遊じん(テレメータシステム)		2	2	2	2	3		11	連続

(ロ) 核種分析調査

・定期調査

調査項目	調査地区	敦賀	白木	美浜	大飯	高浜	福井(対照)	合計	頻度(回/年)	
大気中ヨウ素-131	地点数	1	1	1	1	1		5	12	
	測定数	24	24	24	24	24		120		
浮遊じん	地点数	5	3	3	3	5	1	20	4~12	
	測定数	52	28	28	28	44	12	192		
陸水	水道水	地点数	2	1	2	1	3	1	10	2~4
		測定数	8	8	6	6	8	4	40	
	河川水	地点数			1				1	2
		測定数			2				2	
陸土	地点数	2	1	1	2	2	2	10	2~4	
	測定数	8	4	4	4	4	3	27		
指標植物(ヨモギ)	地点数	1	1	1	1	1	1	6	7	
	測定数	7	7	7	7	7	7	42		
松葉(2年葉)	地点数	2	1	1	1	1	1	7	1~2	
	測定数	4	2	2	2	2	1	13		
農産物(大根葉)	地点数	1	1	1	1	1	1	6	1	
	測定数	1	1	1	1	1	1	6		
降下物(雨水・ちり)	地点数	2	2	2	2	2	1	11	12	
	測定数	24	24	24	24	24	12	132		
海水	地点数	3	2	2	1	2	1	11	2~6	
	測定数	10	6	12	6	12	2	48		
海底土	地点数	7	6	8	4	7		32	1~6	
	測定数	25	15	25	12	21		98		
海産食品	魚類(近海魚)	10	5	9	6	6	3	39	1~3	
	貝類(サザエ、アワビ)	4	4	5	4	4	1	22	1~2	
	藻類(ワカメ、モズク)	4	4	5	4	4	2	23	1~2	
指標海産生物(ホンダワラ)	地点数	6	1	2	2	6	1	18	1~8	
	測定数	24	8	16	8	20	4	80		
測定数合計		205	140	170	136	181	52	884		

(ハ) トリチウム分析調査

調査項目	調査地区	敦賀	白木	美浜	大飯	高浜	福井(対照)	合計	頻度(回/年)
陸水(水道水)	地点数	2	1	2	1	2	1	9	2~8
	測定数	8	8	6	6	8	4	40	
大気中水分(除湿水)	地点数	5	2	2	2	2	1	14	12
	測定数	60	24	24	24	24	12	168	
雨水(降下物)	地点数	2	1	2	2	2	1	10	4
	測定数	8	8	8	8	8	4	44	
海水(表層水)	地点数	3	2	4	2	4	1	16	2~10
	測定数	14	8	16	8	30	2	78	
測定数合計		90	48	54	46	70	22	330	

(二) 放射化学分析による⁹⁰Sr、²³⁹Pu調査

⁹⁰Sr

調査項目		調査地区	敦賀	白木	美浜	大飯	高浜	福井(対照)	合計	頻度(回/年)
指標植物(ヨモギ)	地点数		1	1	1	1	1	1	6	1
	測定数		1	1	1	1	1	1	6	
指標海産生物(ホンダワラ)	地点数		1	1	1	1	1	1	6	1
	測定数		1	1	1	1	1	1	6	
測定数合計			2	2	2	2	2	2	12	

²³⁹Pu

調査項目		調査地区	敦賀	白木	美浜	大飯	高浜	福井(対照)	合計	頻度(回/年)
陸土	地点数			1				1	2	1~4
	測定数			4				1	5	
指標植物(ヨモギ)	地点数		1	1	1	1	1	1	6	1~7
	測定数		1	7	1	1	1	1	12	
農産物(大根葉)	地点数			1					1	1
	測定数			1					1	
海底土	地点数		2	5	1	1	1		10	1~9
	測定数		2	9	1	1	1		14	
海産食品	魚類(近海魚)			6					6	1~2
	貝類(サザエ、アワビ)			4					4	1~2
	藻類(ワカメ)		1	4	1	1	1	1	9	1
指標海産生物(ホンダワラ)	地点数		2	1	2	1	1	1	8	1~4
	測定数		2	4	2	1	1	1	11	
測定数合計			6	39	5	4	4	4	62	

(ホ) ¹³⁷Cs(アンチコインシデンス測定)

調査項目		調査地区	敦賀	白木	美浜	大飯	高浜	福井(対照)	合計	頻度(回/年)
海底土	地点数		2	1	3	1	2		9	1
	測定数		2	1	3	1	2		9	
海産食品	藻類(ワカメ)		1	1	1	1	1	1	6	1
	貝類(サザエ)		1	1	1	1	1	1	6	1
指標海産生物(ホンダワラ)	地点数		2	1	1	1	1		6	1
	測定数		2	1	1	1	1		6	
測定数合計			6	4	6	4	5	2	27	

(ヘ) 定期外調査

・年間降下物

調査項目		調査地区	敦賀	白木	美浜	大飯	高浜	福井(対照)	合計	頻度(回/年)
γ線スペクトロメトリ	²² Na	地点数	2	2	2	2	2	1	11	1
		測定数	2	2	2	2	2	1	11	
	⁶⁰ Co	地点数	2	2	2	2	2	1	11	1
		測定数	2	2	2	2	2	1	11	
	¹³⁷ Cs	地点数	2	2	2	2	2	1	11	1
		測定数	2	2	2	2	2	1	11	
放射化学分析	⁹⁰ Sr	地点数	1	1	1	1	1	1	6	1
		測定数	1	1	1	1	1	1	6	
	²³⁹ Pu	地点数	1	1	1	1	1	1	6	1
		測定数	1	1	1	1	1	1	6	
測定数合計			8	8	8	8	5	45		

※各地点における年間降下物測定試料(パウデックス樹脂)の12ヶ月分を混ぜ合わせ、灰化物集合試料として測定

・原乳

調査項目	調査地区	敦賀	白木	美浜	大飯	高浜	対照	合計	頻度(回/年)
	原乳	地点数			1			1	2
	測定数			3			3	6	
測定数合計				3			3	6	

2. 調査結果

2.1 調査結果の概要

本年度の調査結果を要約すれば次のとおりである。

(1) 周辺公衆の線量

原子力発電所の運転に起因する放射線による周辺公衆の線量に関しては、線量限度（年間1ミリベクト）はもとより発電用軽水型原子炉施設周辺の線量目標値（年間0.05ミリベクト）をはるかに下まわっていた。

① 外部被ばくに関して

- ・ 県および施設者のテレメータシステムによる線量率連続測定では、原子力発電所等からの放射性物質の放出に起因する有意な線量率上昇は認められなかった。
- ・ 年間積算線量では、各地区のいずれの地点でも自然線量と比較して有意な線量上昇は認められなかった。

② 内部被ばくに関して

- ・ 内部被ばくを評価するために核種分析を行っている試料（大気・浮遊じん、海産食品）およびその補完となる試料（指標海産生物）から、福島第一原子力発電所事故の影響と考えられるヨウ素-131、セシウム-134およびセシウム-137が検出されたが、環境安全上問題となるレベルと比べはるかに低い濃度であった。その他の試料（陸水、農産物、指標植物）からは原子力発電所に起因する核種は検出されなかった。これらの試料の過去の核実験に由来する核種の濃度は従来と同程度かそれ以下であった。
- ・ 大気中水分および海水から発電所の通常の放射性廃棄物管理に伴うトリチウムが検出されたが、環境安全上問題となるレベルと比べはるかに低い濃度であった。

(2) 変動傾向および蓄積状況などの参考となる調査

- ・ この目的で調査している試料（降下物、指標海産生物）から、福島第一原子力発電所事故の影響と考えられるヨウ素-131、セシウム-134およびセシウム-137が検出されたが、環境安全上問題となるレベルと比べはるかに低い濃度であった。その他の試料（陸土、指標植物、海水、海底土）については、原子力発電所に起因する核種は、全く検出されなかった。これらの試料の過去の核実験に由来する核種の濃度は従来と同程度かそれ以下であった。
- ・ 雨水、海水から発電所の通常の放射性廃棄物管理に伴うトリチウムが検出されたが、環境安全上問題となるレベルと比べはるかに低い濃度であった。

したがって、今年度の県内各原子力発電所の運転および福島第一原子力発電所事故に伴う周辺公衆の被ばく線量は無視できるレベルである。

注2に参考として、発電用軽水型原子炉施設周辺の線量目標値に相当する放射能濃度を示す。

(注2) 成人の預託実効線量が0.05ミリベクトとなる大気および食品中の核種濃度

(単位：大気 (mBq/m³)、その他 (Bq/kg生))

	大気	魚類	無脊椎動物	藻類	葉菜
¹³¹ I	410	43	420	210	170
¹³⁴ Cs	300	36	360	180	140
¹³⁷ Cs	150	53	520	260	210
³ H		16,000	160,000	81,000	32,000
⁹⁰ Sr		24	240	120	98
²³⁹ Pu		2.7	27	14	11
1日あたりの摂取量	22.2 m ³	200 g	20 g	40 g	100 g

1日当たり最下段の量を1年間摂取し続けた場合の濃度。トリチウム（³H）以外の核種において葉菜の除染係数を0.5とした。海藻や葉菜の保存後の放射能の減衰は考慮されていない。トリチウムは有機結合型トリチウムとした場合の値。

2.1.1 周辺公衆の線量評価

調査結果の概要で既に明らかなように、特に線量を評価する必要はないが、公衆の線量限度等の規定が年間で定められているのでそれと対比できるように、また、福島第一原子力発電所事故および過去の核実験の影響として検出されている核種の濃度に目安をつけるために、外部被ばくと内部被ばくに区分して線量の評価を行った。

評価の結果、今年度の発電所の運転等による発電所周辺公衆の線量については、外部被ばくと内部被ばくを合計しても、いずれの地区とも年線量限度はもとより発電用軽水型原子炉施設周辺の線量目標値をはるかに下回っていた。

(1) 外部被ばく

第1-1表に、今年度の空間線量測定結果から評価された発電所寄与による外部被ばくの推定線量をまとめた。県および施設者のテレメータシステムによる線量率連続測定ならびに積算線量測定結果では、発電所に起因する有意な線量上昇は認められなかった。また、各発電所の放射性廃棄物の放出量から計算した外部被ばく線量は0.001ミリシーベルト以下であった。したがって、発電所に起因する線量影響は無視できる程度であった。

第1-1表 実効線量（外部被ばく） (ミリシーベルト/年)

	放射線監視テレメータシステムによる調査結果	積算線量の調査結果*1	(参考) 放出量から計算した外部被ばく
敦賀発電所	—	—	0.001以下
ふげん	—	—	0.001以下
もんじゅ	—	—	0.001以下
美浜発電所	—	—	0.001以下
大飯発電所	—	—	0.001以下
高浜発電所	—	—	0.001以下
参考：過去の核実験影響	—	—	/

(注) —は検出限界値未満、

/は調査対象外であることを示す（以下の第2表～第7表まで同様）。

*1：検出限界はほぼ0.05ミリシーベルト/年

(2) 内部被ばく

内部被ばくに係る試料から、福島第一原子力発電所事故の影響と考えられるヨウ素-131、セシウム-134およびセシウム-137が、また、トリチウムや過去の核実験の寄与と考えられるセシウム-137などが検出されていることより、例年と同様、各種試料中の年間平均濃度をもとに内部被ばくに関する預託実効線量の計算を行った。計算に当たっての具体的事項は注3に示した。

内部被ばくに関する預託実効線量の計算結果を第1-2表に、計算に用いた試料毎の平均値を第2表から第4表に示す。評価の結果、福島第一原子力発電所事故および県内発電所の運転に起因する内部被ばくは無視できる程度であった。

(注3) 通常食用とはしない指標生物のホンダワラ等を食品と同等に摂取するものとして取扱い、地区別の年平均核種濃度の計算に加えた。年平均値の算定には検出値のあるものだけを用いたので、実際の食品レベルよりは高くなっており、安全側に見積られている。線量計算は原子力安全委員会の「発電用軽水型原子炉施設周辺の線量目標値に対する評価指針（以下、評価指針という）」に従い、上記の年平均核種濃度の食品等を、成人で1日当たり葉菜100g、魚200g、無脊椎動物20g、海藻40gずつ、呼吸率を22.2m³/日として1年間摂取し続けるとして計算を行った。飲料水の摂取量はICRP Publ.23により2.65ℓ/日とした。

第1-2表 検出値から計算した預託実効線量(内部被ばく) (ミリシーベルト)

	内部被ばくの預託実効線量*1			
	呼 吸	飲料水	葉 菜	海 産 物
敦 賀 発 電 所 ふ げ ん	0.001以下*2	—	—	0.001以下*4
も ん じ ゆ	0.001以下*2	—	—	—
美 浜 発 電 所	0.001以下*2	—	—	0.001以下*4
大 飯 発 電 所	0.001以下*2	—	—	—
高 浜 発 電 所	0.001以下*2	—	—	—
参考：過去の核実験影響等*3	0.001以下	0.001以下*2	0.001以下	0.001以下

- *1：1年間の摂取に基づく、摂取後50年間にわたって個人が受ける積算の線量。
 計算の基礎として指標植物(ヨモギ)および指標海産生物(ホンダワラ)を含む。付4.5参照。
 *2：各発電所近傍で観測した大気中水分等のトリチウムによるもの。付4.3参照。
 *3：福島第一原子力発電所事故影響のヨウ素-131、セシウム-137、セシウム-134および過去の核実験影響のセシウム-137、ストロンチウム-90、プルトニウムによるもの。
 *4：敦賀・ふげん海域および美浜海域で海水中のトリチウム濃度の年平均値が評価対象である2.0Bq/lを超えたことによる(第3表参照)。

ゲルマニウム半導体検出器による核種分析において、目的核種(添付資料第4表(p.48)参照)のうち、ヨウ素-131およびセシウム-137が検出された。また、目的核種以外にもセシウム-134が検出されたが、福島第一原子力発電所事故の影響と考えられ、いずれも過去のチェルノブイリ事故のレベル以下であった(第2表)。

第2表 検出された目的核種等の試料毎の平均値

	試 料	単 位	核 種	敦賀	白木	美浜	大飯	高浜	対照
陸 上	大気中ヨウ素	mBq/m ³	粒子状I-131	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	/
			ガス状I-131	0.3	0.2	0.2	0.1	0.2	/
	浮遊じん	mBq/m ³	I-131	0.1	0.0	0.1	0.1	0.1	—
			Cs-137	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—
			Cs-134	0.1	0.0	0.0	—	—	—
	陸水(飲料水)	mBq/l	—	—	—	—	—	—	
指標植物	Bq/kg生	Cs-137	0.1	0.2	0.2	0.2	—	0.1	
農産物	〃	Cs-137	0.0	—	0.0	—	—	—	
海 洋	海産食品(魚類)	Bq/kg生	Cs-137	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2
	海産食品(貝類)	〃	Cs-137	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	海産食品(藻類)	〃	I-131	—	—	0.3	—	—	—
			Cs-137	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標海産生物	〃	I-131	—	—	—	—	—	0.6
Cs-137			0.1	0.0	0.1	0.1	0.1	—	

- (注) ①—は検出されなかったことを示す。
 ②平均値は検出されたもののみから計算した。0.0は0.05未満であることを示す。
 (①、②について、以下の第3表～第7表まで同様)
 ③Cs-137はアンチコインシデンスによる測定結果を含む。

各地区の陸水（飲料水）のトリチウムは、いずれもバックグラウンドレベルであった（添付資料、測定値の取り扱い(5) (p. 32)参照）。また、大気中水分および海水のトリチウムでは、発電所の通常の放射性廃棄物管理に伴うものが検出されたが、環境安全上問題となるレベルと比べ、はるかに低い濃度であった（第3表）。参考として、成人の預託実効線量が0.05ミリシーベルトになるトリチウム濃度を脚注4に示した。

第3表 トリチウム測定結果（平均値）単位：陸水、海水 Bq/ℓ、大気中水分 Bq/m³

試料	敦賀	白木	美浜	大飯	高浜	対照
陸水（飲料水）	0.9	0.9	1.0	0.7	0.8	0.6
大気中水分	0.034	0.019	0.030	0.055	0.14	0.0078
海水	3.0	1.0	2.5	1.2	1.2	—

（注）大気中水分のトリチウム濃度については、検出された水分あたりの平均濃度(Bq/ℓ)を年間平均気温、年間平均相対湿度を基に大気中濃度(Bq/m³)に換算した。

ストロンチウム-90とプルトニウム-239は、各種環境試料から検出されているが、これらは例年の傾向や対照地区での調査結果、および放射性廃棄物放出実績とその核種存在比（参考資料 5.7～5.8 (p. 203～p. 209)参照）から過去の核実験のフォールアウトと見なすことができる。濃度はこれまでと同程度であった（第4表）。

第4表 Sr-90, Pu-239の測定結果（全地区平均値） 単位：Bq/kg 生

核種	指標植物	大根葉	魚類	貝類	藻類	指標海産生物
Sr-90	0.22	/	/	/	/	0.041
Pu-239	0.00049	0.00041	—	0.034	0.0031	0.014

（注4）①成人の預託実効線量0.05ミリシーベルトになるトリチウム濃度

飲料水	大気中水分
2,900 Bq/ℓ	340 Bq/m ³

②トリチウムが海水から海産物（魚貝藻類）へ移行し、それを成人が年間摂取した場合に預託実効線量が0.05mSvとなる海水中濃度は約12,000Bq/ℓである。ただし、有機結合型トリチウムとし、実効線量係数 4.2×10^{-8} mSv/Bqを用いた。

2.1.2 変動傾向および蓄積状況などの参考となる調査

(1) 浮遊じん放射能の連続測定

大気中の発電所由来の人工放射性核種を連続的に監視する目的で行っている浮遊じん連続測定の結果では、その指標となるベータ/アルファ放射能濃度比において、発電所の運転に起因する変動は観測されなかった（添付資料第11表(p.84～p.89)参照）。

(2) 核種分析

第5表に、ゲルマニウム半導体検出器による核種分析の結果検出された目的核種等の試料毎の平均値を示す。降下物および指標海産生物から福島第一原子力発電所事故影響と考えられるヨウ素-131、セシウム-134、セシウム-137が検出されたが、いずれも、過去のチェルノブイリ事故のレベル以下であった。その他の試料からはセシウム-137が検出されたが、バックグラウンドレベルであった。

第5表 検出された目的核種等の試料毎の平均値

	試料	単位	核種	敦賀	白木	美浜	大飯	高浜	対照
陸上	陸土	Bq/kg乾土	Cs-137	16	1.5	3.6	30	5.2	52
	指標植物	Bq/kg生	Cs-137	0.1	0.3	0.2	0.2	—	0.1
	降下物	Bq/m ²	I-131	6.1	5.0	4.6	13	2.7	2.0
Cs-137			0.3	—	—	0.3	—	0.1	
Cs-134			0.2	—	—	0.3	—	0.2	
海	海水	mBq/ℓ	Cs-137	1.8	1.5	1.8	1.5	1.8	1.6
	海底土	Bq/kg乾土	Cs-137	1.7	—	5.9	1.6	1.1	/
洋	指標海産生物	Bq/kg生	I-131	—	—	—	—	—	0.6
			Cs-137	0.1	0.0	0.1	0.1	0.1	—

(注) 対照地区の陸土では、勝山市池ヶ原（奥越高原牧場）の結果を含めて計算した。
指標海産生物のCs-137はアンチコインシデンスによる測定結果を含む。

(3) トリチウム

第6表にトリチウム測定結果のまとめを示す。第6表に示す平均値は各地区で検出された値から計算した。

雨水から発電所の通常の放射性廃棄物管理に伴うトリチウムが検出されたが、環境安全上問題となるレベルと比べはるかに低い濃度であった。

海水のトリチウムは過去の核実験の影響で、発電所寄与がなくても検出値がおおよそ2.0Bq/l程度となる可能性がある(注5)。今年度、このレベルを超えるトリチウムが検出されたのは、敦賀地区の1例(21Bq/l)、美浜地区の5例(2.3~5.6Bq/l)、大飯地区の1例(2.1Bq/l)高浜地区の3例(2.0~2.5Bq/l)を合わせた10例(添付資料第27表(p.125~p.127)参照)であったが、発電所の通常の放射性廃棄物管理に伴うものであった。環境安全上問題となるレベルと比べ、はるかに低い濃度であった(注4)。

第6表 トリチウム測定結果(平均値)

単位: Bq/l

試料	敦賀	白木	美浜	大飯	高浜	対照
雨水	2.4	0.9	2.1	3.2	3.7	0.6
海水	3.0	1.0	2.5	1.2	1.2	—

(4) 放射化学分析

放射化学分析の結果の概要を第7表に示す。ストロンチウム-90とプルトニウム-239が、各種環境試料から検出されているが、これらは例年の傾向や対照地区での調査結果、および放射性廃棄物放出実績とその核種存在比(参考資料5.7~5.8(p.203~p.209)参照)から過去の核実験のフォールアウトと見なすことができる。濃度は2000年以降のレベルとほぼ同程度であった。

第7表 Sr-90, Pu-239の測定結果(全地区平均値)

核種	陸土 Bq/kg乾土	指標植物 Bq/kg生	降下物 Bq/m ² ・年	海底土 Bq/kg乾土	指標海産生物 Bq/kg生
Sr-90	/	0.22	0.20	/	0.041
Pu-239	0.80	0.00049	0.0089	0.47	0.014

(注) 陸土では、勝山市池ヶ原(奥越高原牧場)の結果を含めて計算した。

以下に、線量評価に関連した調査、変動傾向および蓄積状況などの参考となる調査について、調査試料毎に詳細に述べる。

(注5) 「測定値の取り扱いについて(5)」(p.32)参照

2.2 線量評価に関連した調査

2.2.1 空間線量

(1) 線量率連続測定

第1表と第1図に、今年度のテレメータシステムによる線量率の連続測定結果の概要を示す。線量率の短期的変動の評価として第1表に示したように、「平均値+標準偏差(σ)の3倍」(測定値の取り扱い(1)(p.28)参照)を超えたものについて原因の調査を行っている。今年度の「平均値+3 σ 」は、春から秋にかけてはほぼ平均値+11.3nGy/hであり、冬期はおよそ平均値+17.2nGy/hであった。降雨量の多かった7月および12月、積雪のあった1月および2月に3 σ が大きくなる傾向が見られた。「平均値+3 σ 」を超える線量率が各観測局で年間116~249時間観測されているが、敦賀地区において静穏時の大気中ラドン娘核種濃度の上昇による影響が1~13時間認められた以外は、いずれも降雨、降雪によるものであり、原子力発電所からの放射性物質放出に起因する線量率上昇は観測されなかった。

第1表 テレメータシステムによる線量率連続測定結果の概要 線量率単位:nGy/h

地区	観測局	年間 平均 線量率	年間 最高値	M+3 σ を超えた 原因とその時間数*1			地区	観測局	年間 平均 線量率	年間 最高値	M+3 σ を超えた 原因とその時間数*1		
				降雨	降雨以外*2	発電所					降雨	降雨以外*2	発電所
敦賀	敦賀A	54.0	94.4	170	4	0	美浜	新庄C	59.4	109.8	186	0	0
	浦底A	67.1	114.4	199	0	0		郷市C	36.4	93.8	232	0	0
	立石A	63.0	93.1	167	1	0		早瀬C	34.9	72.6	206	0	0
	河野A	44.1	85.3	197	0	0		日向C	41.8	86.0	227	0	0
	ふげん北D	60.4	119.6	186	0	0		三方C	31.7	103.1	221	0	0
	立石B	88.5	112.2	103	13	0		小浜A	43.7	82.7	215	0	0
	立石山頂B	78.2	140.4	166	0	0		日角浜A	39.7	81.6	221	0	0
	ふげん西D	37.9	116.3	233	0	0		宮留A	33.6	74.1	219	0	0
	猪ヶ池B	79.5	154.1	173	0	0		阿納尻A	30.5	79.5	231	0	0
	浦底B	74.5	130.0	201	0	0		長井A	35.8	96.3	198	0	0
	水試裏B	77.6	139.6	174	0	0	宮留C	40.3	95.9	235	0	0	
	色ヶ浜B	78.9	129.7	202	0	0	日角浜C	38.5	90.6	228	0	0	
	沓D	54.7	131.7	195	0	0	本郷C	43.1	120.0	204	0	0	
	赤崎D	49.7	96.1	211	0	0	加斗C	46.6	104.4	233	0	0	
	五幡B	47.1	96.6	216	0	0	小浜C	46.8	110.8	221	0	0	
	阿曾D	48.0	108.8	211	0	0	西津C	36.6	92.2	234	0	0	
	杉津B	50.8	122.8	217	0	0	堅海C	39.9	106.6	249	0	0	
	甲楽城B	44.4	102.3	220	0	0	川上C	48.4	155.7	216	0	0	
	今庄B	37.8	78.6	186	0	0	鹿野C	42.1	163.9	207	0	0	
	越前厨D	39.3	84.9	189	0	0	名田庄C	43.9	110.3	200	0	0	
白木	白木A	72.2	133.3	200	0	0	上中C	36.2	98.3	238	0	0	
	白木峠A	71.4	139.6	199	0	0	小黒飯A	37.8	86.0	240	0	0	
	松ヶ崎D	62.1	125.0	198	0	0	音海A	41.8	95.8	239	0	0	
	白木ID	65.2	134.1	175	0	0	神野浦A	27.8	85.9	236	0	0	
	白木IID	38.1	129.9	216	0	0	山中A	26.2	110.3	218	0	0	
	白木IIID	54.1	117.1	194	0	0	音海C	44.5	94.5	236	0	0	
美浜	白木IVD	44.8	107.9	201	0	0	田ノ浦C	39.1	91.6	247	0	0	
	丹生A	54.8	105.9	213	0	0	小黒飯C	37.2	106.1	238	0	0	
	竹波A	63.0	114.7	210	0	0	神野浦C	29.6	96.4	229	0	0	
	坂尻A	55.1	122.0	204	0	0	日引C	36.0	96.0	223	0	0	
	奥浦C	60.2	121.5	203	0	0	青郷C	39.9	155.4	223	0	0	
	丹生C	52.3	106.3	221	0	0	高浜C	36.8	100.4	229	0	0	
	丹生寮C	48.6	104.1	217	0	0	和田C	37.6	89.3	236	0	0	
	竹波C	74.4	123.6	198	0	0	田井C	43.7	104.4	241	0	0	
	菅浜C	37.0	80.9	218	0	0	夕潮台C	31.1	88.6	196	0	0	
	佐田C	54.2	102.9	216	0	0							

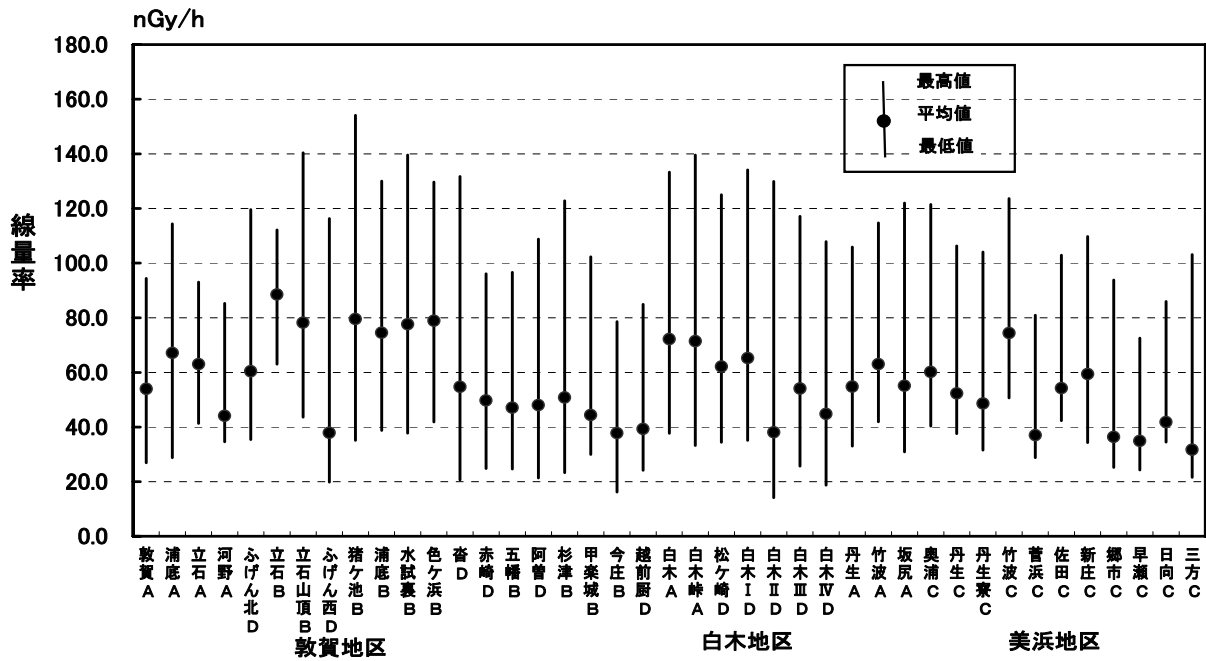
(注) 表中に示した結果は1時間値を基に算出した。降雨には降雪も含まれる。

*1: 月毎に算出した数の和である。Mは月平均値、 σ は月間標準偏差である。

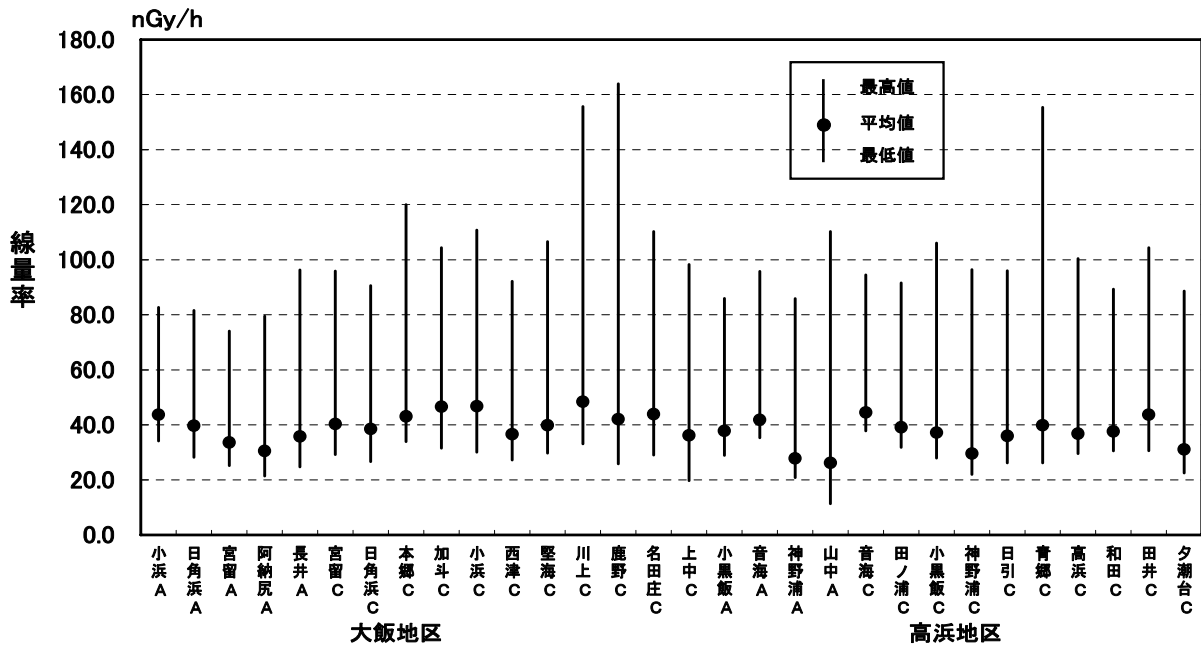
*2: 降雨以外の欄は、静穏時の大気中ラドン娘核種濃度の上昇など自然現象による。

図 1 に、各測定地点の 1 時間値を基に算出した年間の平均値、最高値、最低値を示す。

第 1 図(1) 空間線量率連続測定結果 (敦賀、白木、美浜地区)



第 1 図(2) 空間線量率連続測定結果 (大飯、高浜地区)



(2) 積算線量

熱ルミネッセンス線量計 (TLD)、電子線量計および蛍光ガラス線量計を用いた3ヶ月毎の積算線量については、すでに四半期毎に報告したとおり、発電所に起因する有意な線量上昇は認められなかった。以下に年間積算線量について述べる。

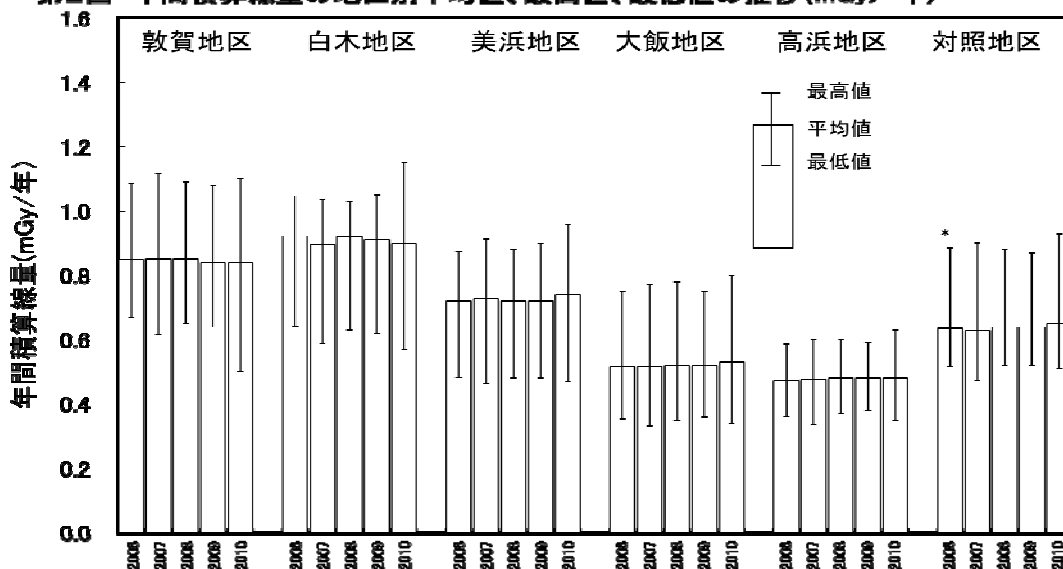
第2表に今年度の年間積算線量の各地区の平均値、最高値、最低値を、第2図に地区別の平均値、最高値、最低値の5年間の推移を、それぞれ示す。年間積算線量は3ヶ月値の和である。

第2表 今年度の各地区の年間積算線量

単位：mGy/年

	敦賀地区	白木地区	美浜地区	大飯地区	高浜地区	対照地区
平均値	0.84	0.90	0.74	0.53	0.48	0.65
最高値	1.10	1.15	0.96	0.80	0.63	0.93
最低値	0.50	0.57	0.47	0.34	0.35	0.51

第2図 年間積算線量の地区別平均値、最高値、最低値の推移 (mGy/年)



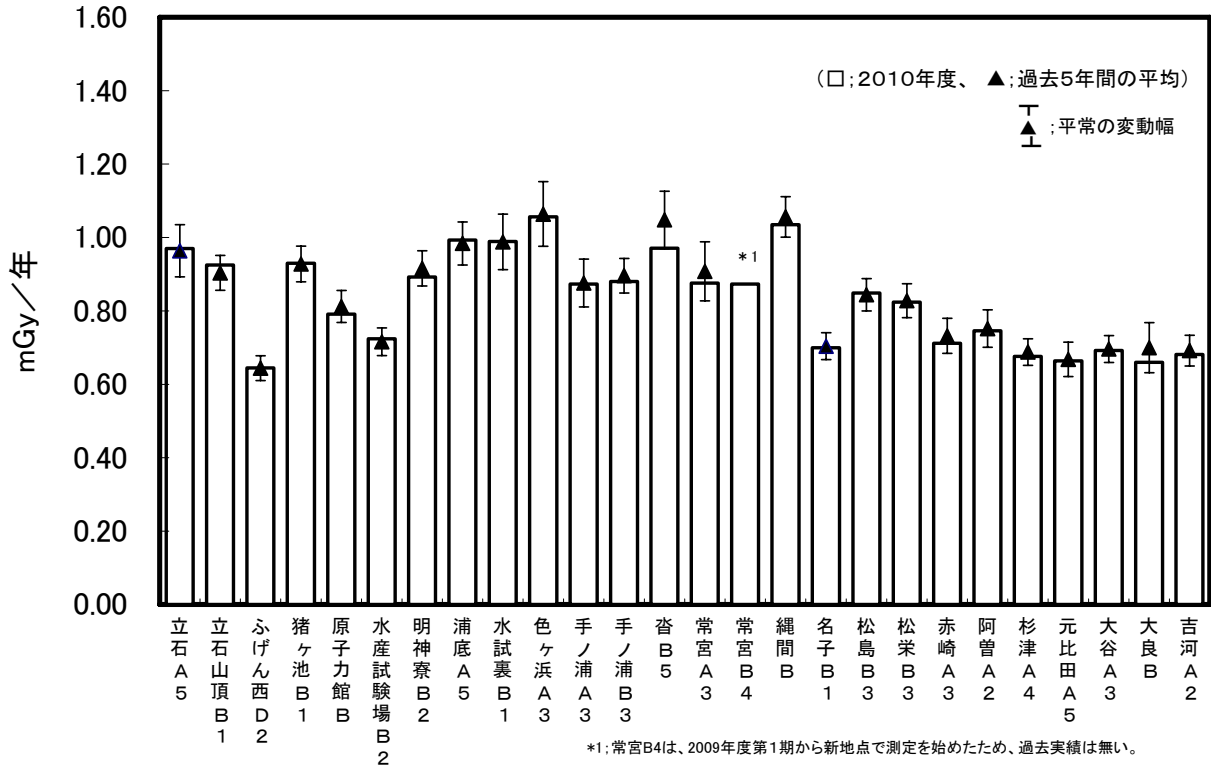
*: 2006年度より、他の地点より比較的高い線量が高い越前市砂法寺町を新たに調査開始した。

地区および地点により大きな差があるのは、地質によって天然放射性核種の濃度が違うためである。敦賀半島先端部の花崗岩地帯は、第9表の陸土の測定結果 (p. 19) に示すとおり、カリウム-40、トリウム系列核種、ウラン系列核種が高濃度であるため線量が高くなっている。

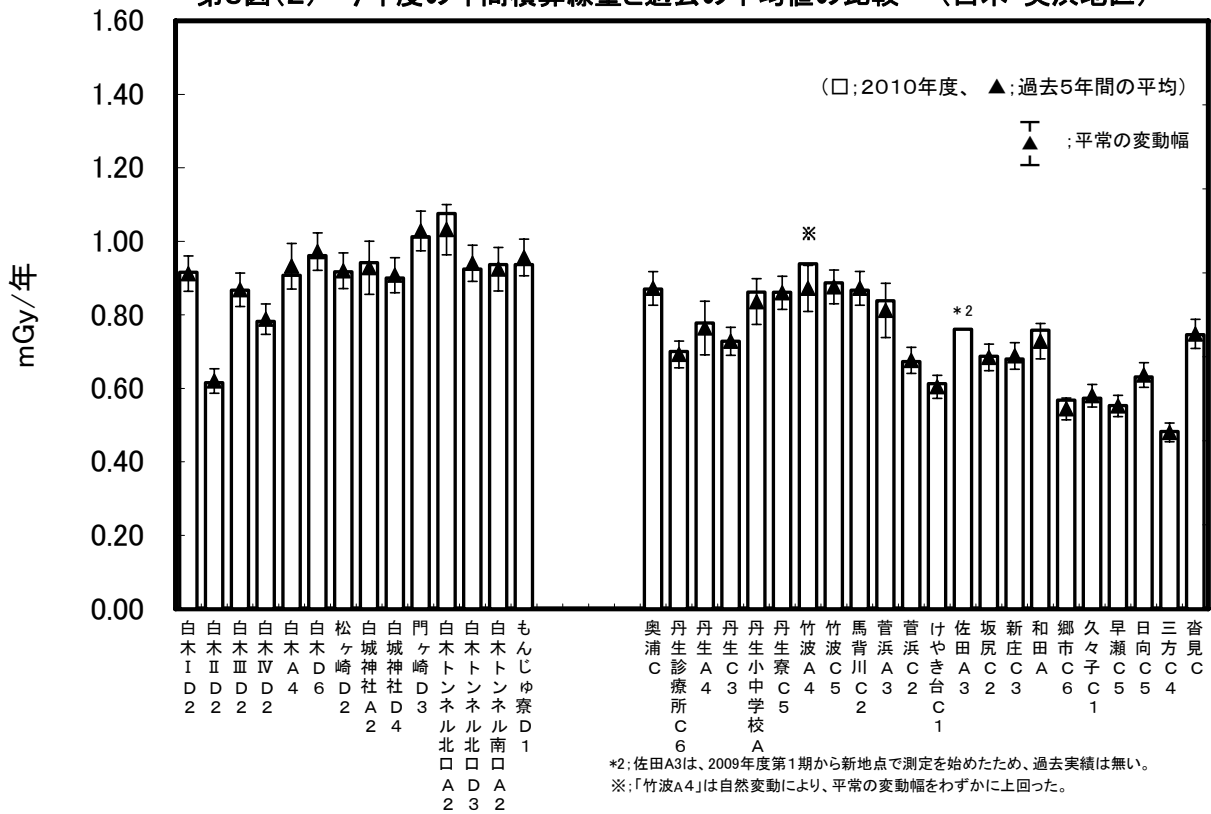
第3図(1~4)に地点毎の今年度の年間積算線量と過去(5ケ年)の平均値およびその平常の変動幅(注6)との比較を示す。今年度の測定値は、美浜地区の1地点(第3図(2)で※を付した地点)で自然変動により平常の変動幅を上回った以外は、いずれの地点でも平常の変動範囲内であった。

(注6) 積算線量の平常の変動幅については、基本的に〔標準偏差 (σ) の3倍〕の考え方に従って、各地点の過去5ケ年の測定結果の変動から求めている。「測定値の取扱い(2) (p. 28)」参照。

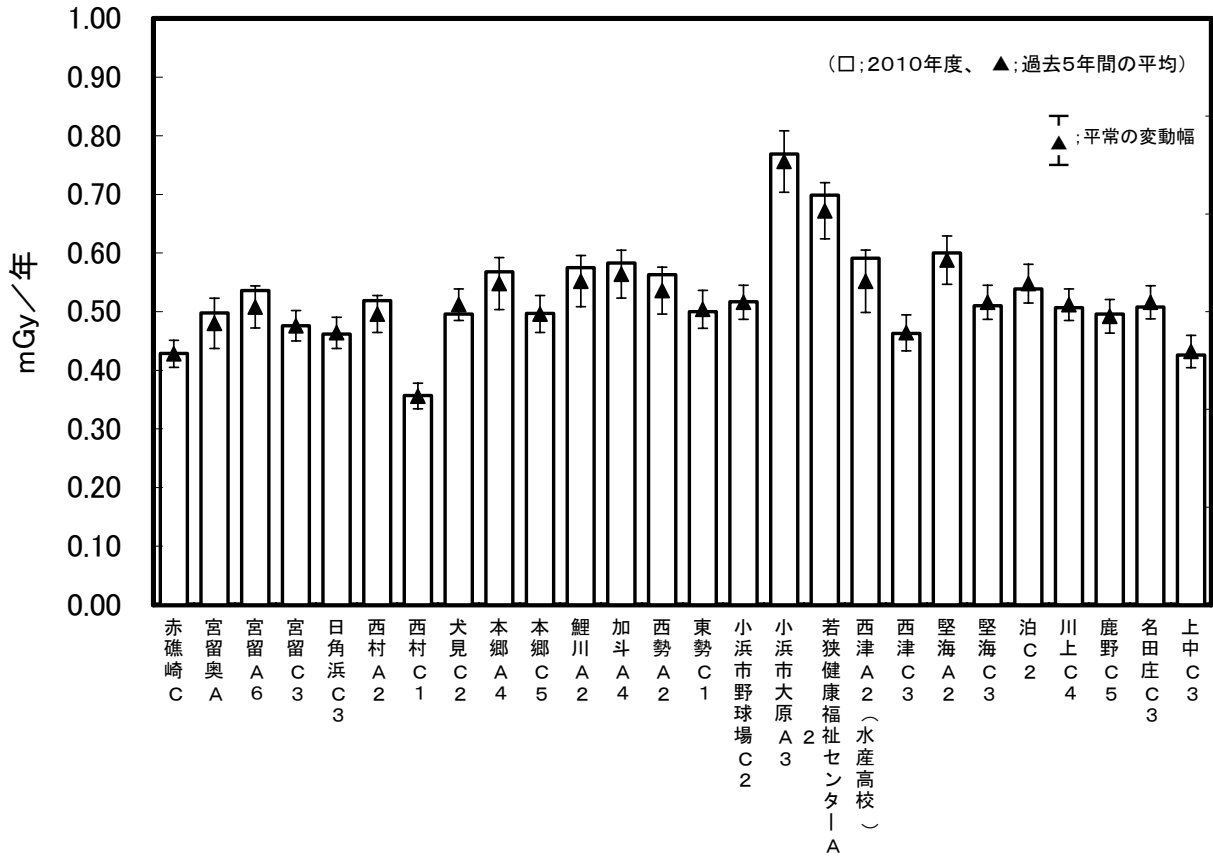
第3図(1) 今年度の年間積算線量と過去の平均値の比較 (敦賀地区)



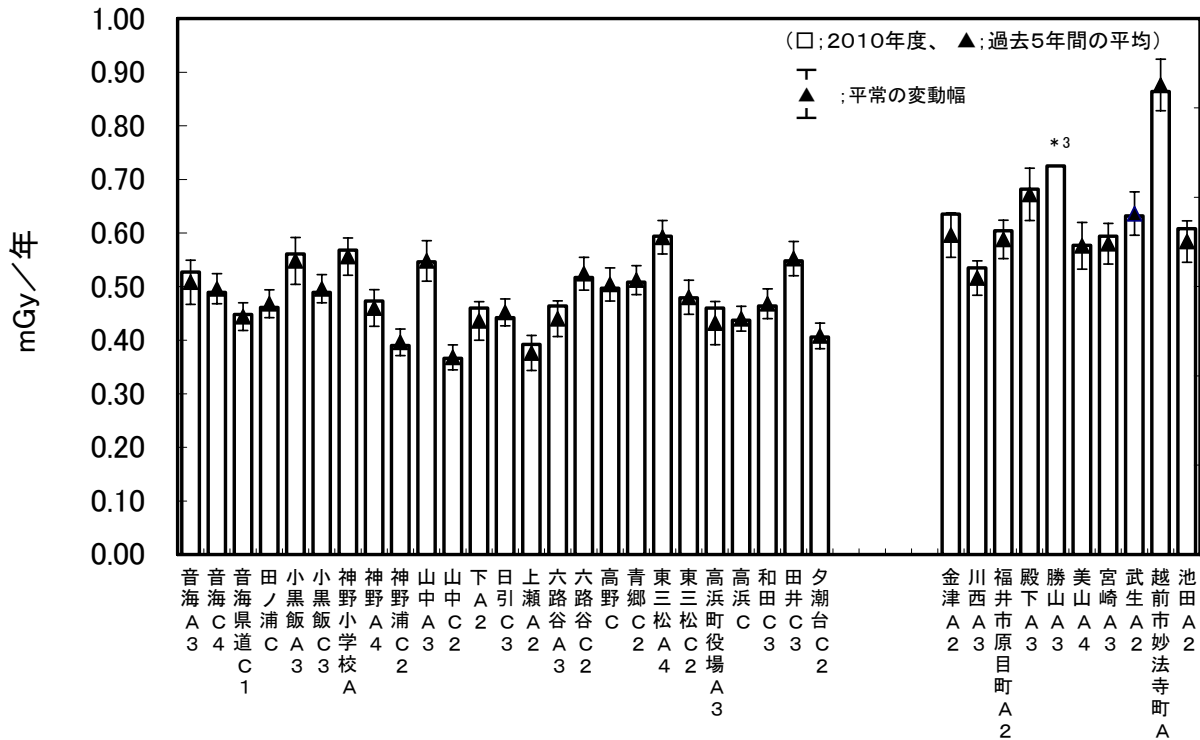
第3図(2) 今年度の年間積算線量と過去の平均値の比較 (白木・美浜地区)



第3図(3) 今年度の年間積算線量と過去の平均値の比較 (大飯地区)



第3図(4) 今年度の年間積算線量と過去の平均値の比較 (高浜・対照地区)



*3: 勝山A3は、2008年度第4期から新地点で測定を始めたため、過去実績は無い。

2.2.2 大気・浮遊じん、大気中水分

第3表に今年度の大気・浮遊じん、大気中水分の調査結果の概要を示す。大気・浮遊じんはゲルマニウム半導体検出器による核種分析を、大気中水分はトリチウム分析をそれぞれ行っている。大気・浮遊じんの調査結果では、福島第一原子力発電所事故の影響と考えられるヨウ素-131、セシウム-137およびセシウム-134が検出されたが、チェルノブイリ事故のレベル以下であった。また、対照地区を除く各地区の大気中水分に、発電所寄与のトリチウムが検出されたが、すでに述べたように(p.10)、環境安全上問題となるレベルと比べはるかに低い濃度であった。

第3表 大気中核種の地区別濃度範囲

核種分析：mBq/m³、³H：Bq/m³

地区	²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹³⁴ Cs	³ H
敦賀	—	—	—	—	ND～0.3	ND～0.1	ND～0.1	0.0068 ～ 0.17
白木	—	—	—	—	ND～0.2	ND～0.0	ND～0.0	0.0058 ～ 0.047
美浜	—	—	—	—	ND～0.2	ND～0.0	ND～0.0	0.0087 ～ 0.080
大飯	—	—	—	—	ND～0.1	ND～0.0	—	0.013 ～ 0.18
高浜	—	—	—	—	ND～0.2	—	—	0.0037 ～ 0.36
対照	—	—	—	—	—	—	—	ND ～ 0.017

(注) —は検出例が1例もないもの、NDは検出限界値未満を示す(以下の第4表～第7表まで同様)。ヨウ素-131濃度については、大気中ヨウ素および浮遊じんを対象としている。トリチウム濃度については、月平均気温、月平均相対湿度をもとに算出した(付4.3参照)。実効線量が0.05ミリシーベルト/年に相当する大気中トリチウム濃度は340Bq/m³である。

2.2.3 陸水

第4表に今年度の陸水(飲料水)の調査結果の概要を示す。今年度の調査結果では、各地区とも発電所に起因する核種は検出されなかった。トリチウムは今年度、バックグラウンドと判定されるレベル(p.32参照)であり、環境安全上の問題はなかった。

第4表 飲料水の地区別核種濃度範囲

核種分析：mBq/l、³H：Bq/l

地区	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	³ H
敦賀	—	—	—	—	—	0.8～1.1
白木	—	—	—	—	—	ND～1.4
美浜	—	—	—	—	—	0.9～1.0
大飯	—	—	—	—	—	ND～0.8
高浜	—	—	—	—	—	ND～1.1
対照	—	—	—	—	—	ND～0.6

(注)実効線量が0.05ミリシーベルト/年に相当する飲料水のトリチウム濃度は2,900 Bq/lである。

2.2.4 農産物、指標植物

指標植物(ヨモギ)は通常食用とはしないが、農産物が入手困難な季節でも各発電所近傍で採取が可能なこと、および形状も比較的葉菜に近いので、評価の基礎データに用いることができることから調査対象としている。第5表に今年度の調査結果の概要を示す。今年度の調査結果では、ゲルマニウム半導体検出器による核種分析で検出されたものはセシウム-137のみであった。放射化学分析ではストロンチウム-90とプルトニウム-239が検出されているが、すでに述べたように(p.10)、これらの核種は過去の核実験のフォールアウトによるものであり、発電所に起因する放射性核種は検出されなかった。

第5表 葉菜、指標植物の地区別核種濃度範囲

単位：Bq/kg生

地区	²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	⁹⁰ Sr	²³⁹ Pu
敦賀	—	—	—	—	—	ND～0.1	0.025	—
白木	—	—	—	—	—	ND～0.3	0.044	ND～0.00074
美浜	—	—	—	—	—	ND～0.4	0.53	0.00042
大飯	—	—	—	—	—	ND～0.2	0.030	—
高浜	—	—	—	—	—	—	0.43	0.00045
対照	—	—	—	—	—	ND～0.1	0.28	—

(注) ⁹⁰Sr、²³⁹Pu は放射化学分析の結果

2.2.5 海産食品、指標海産生物

指標海産生物(ホンダワラ)は通常食用とはしないが、食用魚貝藻類が入手困難な季節でも各発電所近傍の定点で採取が可能なこと、および生態が食品と似ていて濃縮係数も比較的高いと考えられるので、評価の基礎データに用いることができることから調査対象としている。

第6表に今年度の海産食品(近海魚、サザエ、アワビ、ワカメ、モズク等)、指標海産生物の測定結果の概要を示す。今年度の調査結果では、一部の試料から福島第一原子力発電所事故影響と考えられるヨウ素-131が検出されたが、チェルノブイリ事故のレベル以下であった。その他に核種分析でセシウム-137が、放射化学分析ではストロンチウム-90とプルトニウム-239が検出されているが、すでに述べたように(p.10)、これらの核種は過去の核実験のフォールアウトによるものであり、発電所に起因する放射性核種は検出されなかった。

第6表 海産食品、指標海産生物の地区別核種濃度範囲

単位：Bq/kg生

地区	種類	²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	⁹⁰ Sr	²³⁹ Pu
敦賀	魚	—	—	—	—	/	0.1	/	/
	貝	—	—	—	—	/	ND～0.0	/	/
	藻	—	—	—	—	—	ND～0.1	0.052	0.0027～0.025
白木	魚	—	—	—	—	/	0.0～0.3	/	—
	貝	—	—	—	—	/	ND～0.0	/	0.01～0.044
	藻	—	—	—	—	—	ND～0.0	0.033	0.0019～0.0093
美浜	魚	—	—	—	—	/	0.0～0.1	/	/
	貝	—	—	—	—	/	ND～0.0	/	/
	藻	—	—	—	—	ND～0.3	ND～0.1	0.037	0.0019～0.022
大飯	魚	—	—	—	—	/	0.0～0.1	/	/
	貝	—	—	—	—	/	ND～0.0	/	/
	藻	—	—	—	—	—	ND～0.1	0.037	0.0013～0.016
高浜	魚	—	—	—	—	/	0.0～0.1	/	/
	貝	—	—	—	—	/	ND～0.0	/	/
	藻	—	—	—	—	—	ND～0.1	0.031	0.0026～0.013
対照	魚	—	—	—	—	/	0.2～0.3	/	/
	貝	—	—	—	—	/	0.0	/	/
	藻	—	—	—	—	ND～0.6	—	0.057	0.0039～0.0091

- ① 0.0は0.05未満を示す。/は調査対象外であることを示す。
- ② 指標海産生物のホンダワラは、藻類に含めた。
- ③ ¹³⁷Csはアンチコインシデンスによる測定結果を含む。
- ④ ⁹⁰Srと²³⁹Puは放射化学分析により求めた。

2.2.6 海水

第7表に今年度の調査結果の概要を示す。今年度の調査結果では、検出されたのはセシウム-137 とトリチウムであった。

セシウム-137 の平均濃度は各地区とも 2mBq/l程度で昨年度までと同様の値であり、対照地区の福井とも同レベルであることから過去の核実験影響とみなすことができる。

トリチウムについては、今年度、発電所寄与と考えられる値が検出されたのは敦賀地区、美浜地区、大飯地区および高浜地区で合わせて 10 例あった(第27表(p.125~127)参照)。これらはいずれも発電所の通常の放射性廃棄物管理に伴うものであり、環境安全上問題となるレベルと比べはるかに低い濃度であった。

第7表 海水の地区別核種濃度範囲 核種分析：mBq/l、³H：Bq/l

地区	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	³ H (注)
敦賀	—	—	—	ND ~ 2.2	ND ~ 21
白木	—	—	—	1.1 ~ 1.8	ND ~ 1.3
美浜	—	—	—	ND ~ 2.5	ND ~ 5.6
大飯	—	—	—	ND ~ 1.6	ND ~ 2.1
高浜	—	—	—	ND ~ 2.2	ND ~ 2.5
対照	—	—	—	ND ~ 1.6	—

(注；8ページの(注4)参照)

2.3 変動傾向および蓄積状況などの参考となる調査

2.3.1 浮遊じん放射能の連続測定

第8表に年間の測定結果の概要を示す。各地点の今年度の放射能濃度測定値はいずれも天然放射能(空気中のラドン娘核種濃度)のレベルであった。発電所由来の人工放射性核種を監視する指標としているベータ/アルファ放射能濃度比では、「平均値(M) + 標準偏差(σ)の3倍」を超えるものが、各観測局で4例~15例観測されている。いずれも「平均値(M) + 標準偏差(σ)の3倍」をわずかに超えたもの、もしくは濃度が低い時に観測されたものであることから、すべて天然放射能の変動によるものと考えられる。

なお、ゲルマニウム半導体検出器による核種分析結果において、福島第一発電所事故の影響と考えられるヨウ素-131、セシウム-134等の人工放射性核種が検出されたが、天然放射能レベルに比べて十分低く、浮遊じん連続測定に影響を与えるものではなかった。

第8表 浮遊じんの連続測定結果の概要 単位：Bq/m³

地区	観測局	ベータ(β)放射能濃度		アルファ(α)放射能濃度		β/α放射能濃度比(%)		β/α比のM+3σを超えた数
		年間平均	年間最大	年間平均	年間最大	年間平均	年間最大	
敦賀	浦底A	3.7	25.1	7.0	47.9	54	67	4
	立石A	3.2	17.0	6.2	35.5	52	68	15
白木	白木A	3.5	28.9	6.6	57.3	54	70	6
	白木峠A	2.6	12.7	5.0	26.5	53	68	13
美浜	丹生A	3.1	15.5	5.4	28.0	57	74	13
	竹波A	3.9	29.2	7.5	57.9	52	67	14
大飯	日角浜A	3.4	16.9	6.7	33.6	52	64	10
	宮留A	3.3	16.0	6.5	32.3	52	66	5
高浜	小黑飯A	2.3	8.4	4.5	17.1	52	65	5
	音海A	2.6	10.4	5.1	20.7	51	64	7
	神野浦A	2.4	8.6	4.8	18.4	52	67	11

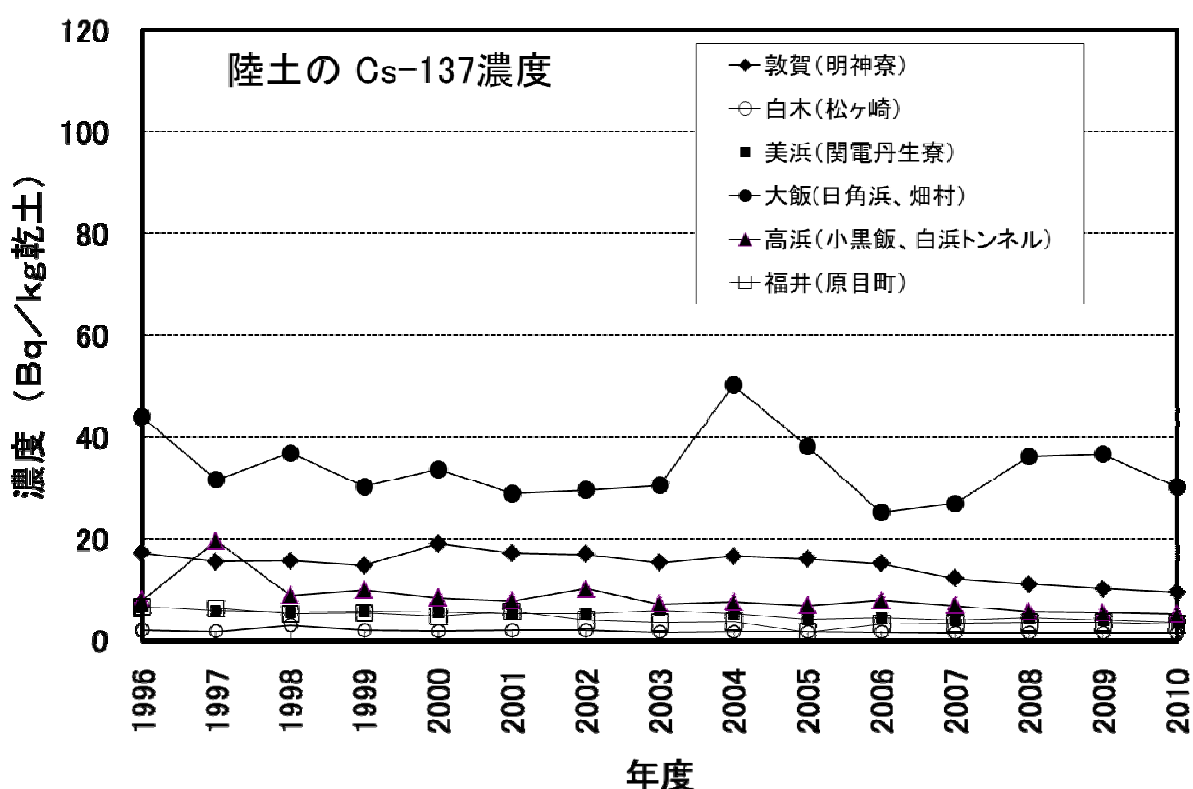
2.3.2 陸 土

今年度の調査結果では、各地区のいずれも発電所に由来する核種は検出されなかった。第4図に各地区の陸土のセシウム-137濃度（年間平均値、以下のグラフでも同様）の推移を示す。セシウム-137は過去の核実験の影響が蓄積したものである。地点により差があるのは、周辺環境や土質が異なるためであり、それぞれの地点ではいずれも従来の測定値と同程度であった。

なお、第9表に示すように、陸土にはかなり高い濃度の天然放射性核種が含まれて自然の放射線源となっており、空間線量の測定値の大部分はこれらの寄与によるものである。

これらゲルマニウム半導体検出器による核種分析のほか、放射化学分析によるプルトニウムの分析を白木地区および対照地区の陸土について行っている（添付資料第28表その3(p.130)参照）。今年度の結果は昨年度までと同程度であった。

第4図 陸土のセシウム-137濃度の推移



第9表 陸土中の天然放射性核種の平均濃度

単位：Bq/kg 乾土

地区	地 点	カリウム-40	トリウム系列	ウラン系列
敦 賀	浦底・敦賀発電所北端	1 1 0 0	7 9	4 6
白 木	白木（松ヶ崎）	1 1 0 0	9 6	4 7
美 浜	丹生（関電丹生寮敷地内）	1 2 0 0	8 6	4 3
大 飯	日角浜・畑村	3 2 0	2 3	1 9
高 浜	小黑飯(旧道脇・白浜トンネル上)	6 1 0	4 0	2 4
対 照	福井市原目町	5 2 0	2 5	1 8

2. 3. 3 指標植物、松葉

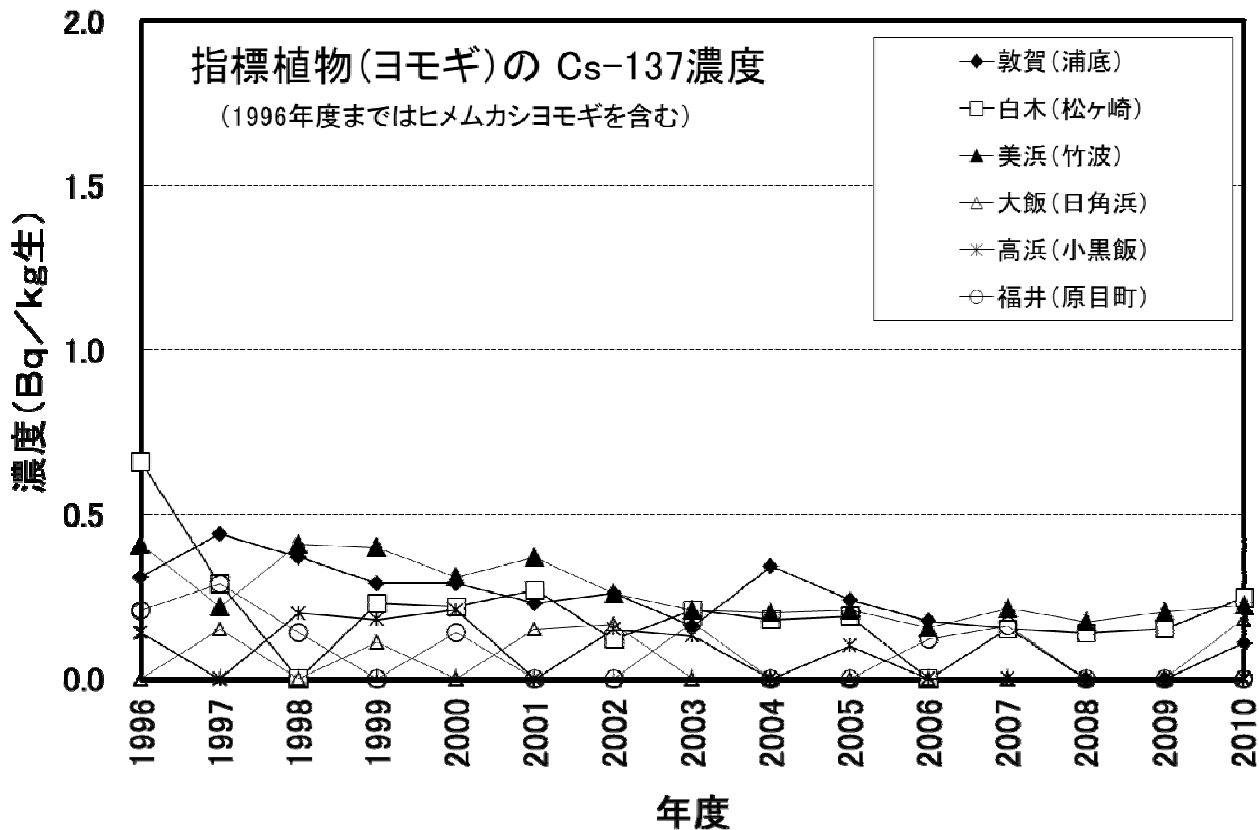
指標植物(ヨモギ)については、被ばく評価に関連した調査として既に農産物のところで述べたが、松葉も含め改めて変動傾向について述べる。

今年度の調査結果では各地区とも発電所に起因する核種は検出されなかった。

指標植物では、天然放射性核種のベリリウム-7を除けば、敦賀地区、白木地区、美浜地区、大飯地区および対照地区で従来と同程度のセシウム-137が検出された。また、松葉からは人工放射性核種は検出されなかった。

第5図に代表的な地点の指標植物のセシウム-137濃度の推移を示す。

第5図 指標植物のセシウム-137濃度の推移



(注) 上記の図は、検出値があるものだけの平均値
測定値がND(検出限界値未満)の場合、図では0のところに表示されている。
(第7図においても同様である)

2. 3. 4 降 下 物

今年度の毎月の調査結果では、全ての地区の3月分試料から福島第一原子力発電所事故の影響と考えられるヨウ素-131、セシウム-134 およびセシウム-137 が検出されたが、過去のチェルノブイリ事故時のレベル以下であった。セシウム-137 に関しては、過去にも大気圏内核実験等の影響で降下物から検出された実績があるが、今回同時にセシウム-134 も検出されていること、および浮遊じんからも同様に検出されていることから事故の影響と判断される。

地点毎に月間試料を合わせ、年間集合試料として改めて測定しているが、大飯地区、対照地区の試料から福島第一原子力発電所事故の影響と考えられるセシウム-137 およびセシウム-134 が検出された。その他の地区の試料からはセシウム-137 が検出された。従来の大気圏内核実験等の影響に福島第一原子力発電所事故影響が加わっていると考えられる。

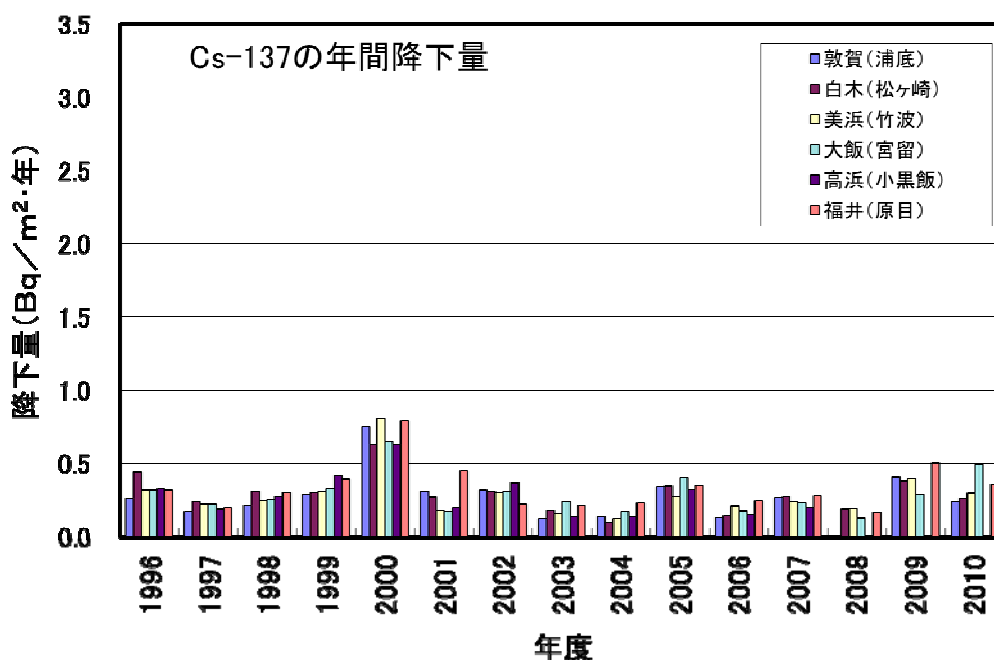
今年度の各地区のセシウム-137 の年間降下量は ND~0.61Bq/m²・年（添付資料第 29 表 (p. 132) 参照）であり、過去と同程度の濃度であった。第 6 図に、県が採取した年間集合試料から得られたセシウム-137 の 15 年間の降下量の推移を示す。

なお、天然放射性核種のベリリウム-7 は、例年の傾向どおり秋から冬にかけて降下量が増加しており、最大で、1400 Bq/m²・月（添付資料第 19 表 (p. 103~p. 106) 参照）の降下量が観測されている。ナトリウム-22 は宇宙線によるもので、0.28~0.50（平均 0.39）Bq/m²・年（添付資料第 29 表 (p. 132) 参照）観測されており、ベリリウム-7 の約 1/10,000 程度の降下が見られる。今年度のベリリウム-7 の年間降下量の全地区の平均値は、約 3,600Bq/m²・年である。

これらゲルマニウム半導体検出器による核種分析のほか、雨水のトリチウム濃度、及び年間集合試料を用いた放射化学分析による各地区のストロンチウム-90 とプルトニウム-239 の年間降下量を求めている（添付資料第 29 表 (p. 132) 参照）。

雨水のトリチウム濃度は、過去の実績とほぼ同程度の値が検出されたが、発電所の通常の放射性廃棄物管理に伴うものであった。また、放射化学分析によるストロンチウム-90 とプルトニウム-239 の結果は昨年度までとほぼ同程度であった。

第 6 図 セシウム-137 の年間降下量の推移



備考) 2006年度の測定結果については、各地区で試料の一部に欠損があったことから、参考値とする。
2009年度の高浜地区の測定結果については、年間集合試料が作成できなかったため欠測とした。

2.3.5 海底土

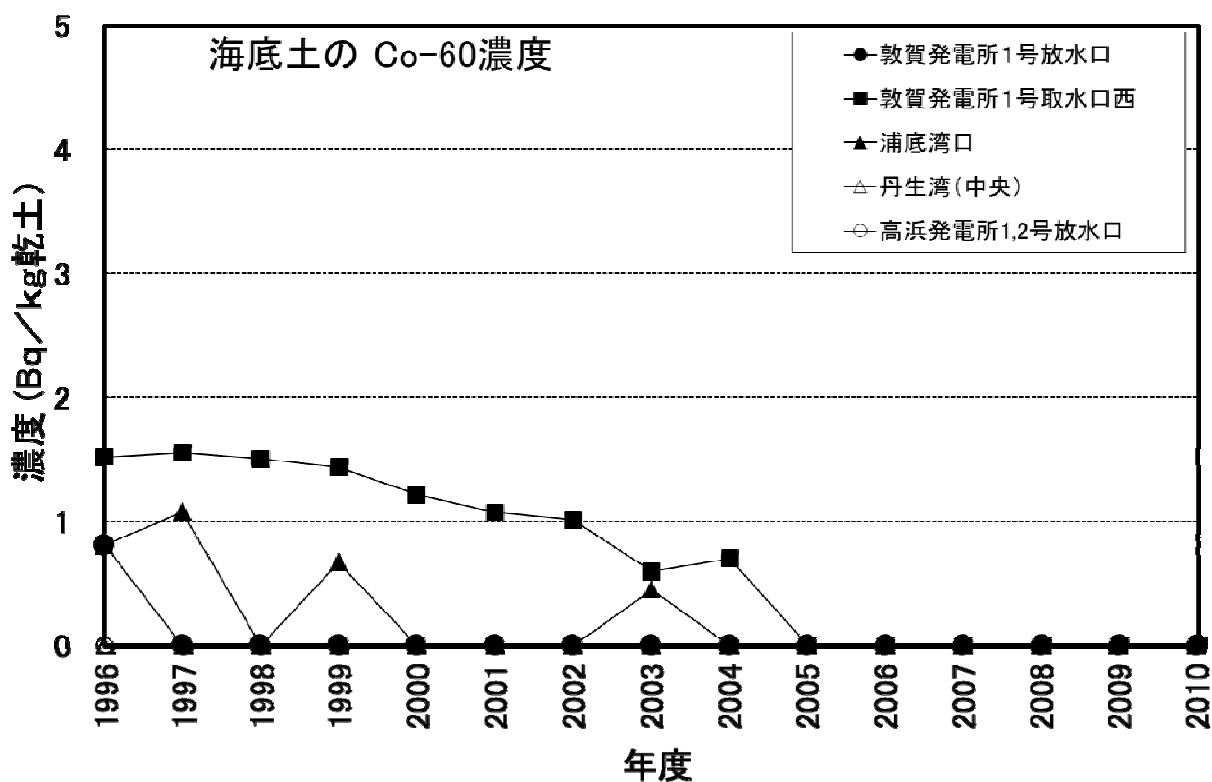
今年度の調査では、コバルト-60等の発電所に起因する核種はいずれの地区からも検出されなかった。

なお、参考までに、1996～2010年度までの浦底湾（敦賀発電所1号放水口、敦賀発電所1号取水口西、浦底湾口）、丹生湾、内浦湾（高浜発電所1,2号放水口）における海底土のコバルト-60濃度の推移を第7図に示す。

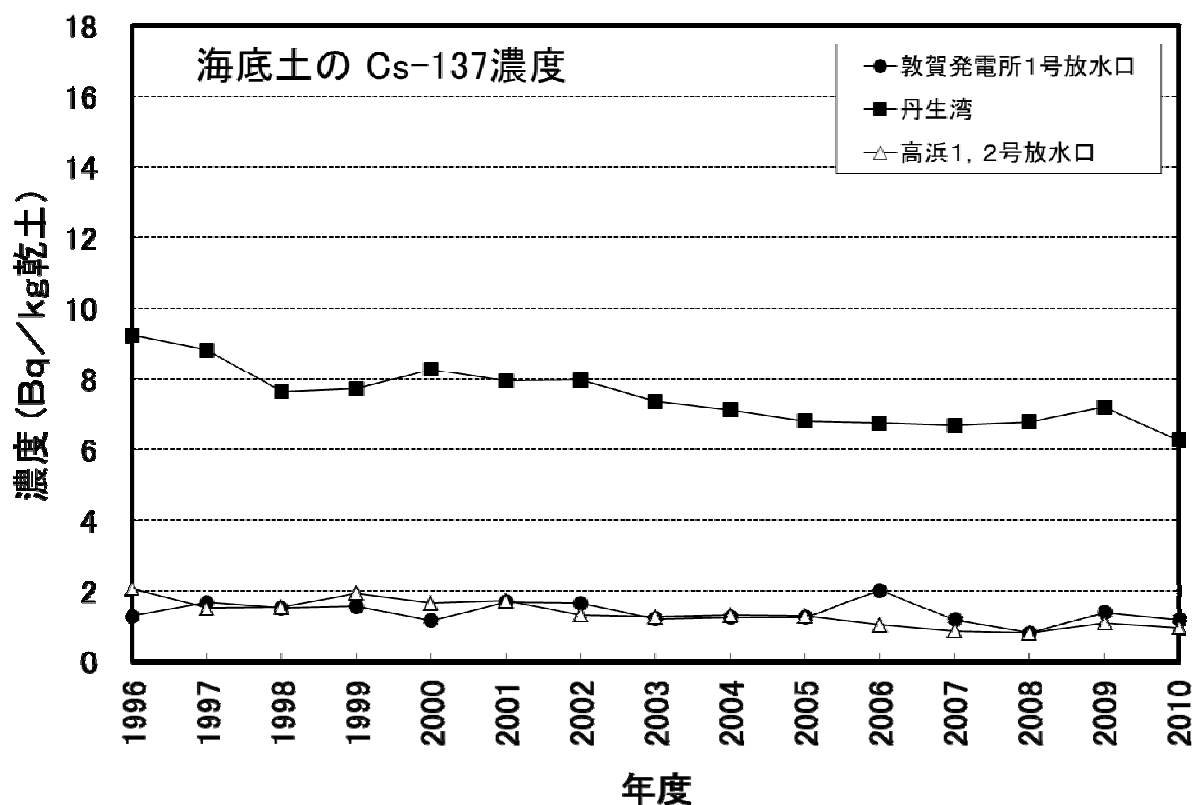
第8図に浦底湾（敦賀発電所1号放水口）、丹生湾、内浦湾（高浜発電所1,2号放水口）における海底土のセシウム-137濃度の推移を示す。セシウム-137は過去の核実験由来であり、各地点とも今年度の測定結果は従来と同程度であった。この図に示した地点以外の各地区の海底土からもセシウム-137が検出されているが、底質が有機質に富んだ腐敗泥のところの濃度が高く、砂質のところは低くなっており、いずれも発電所稼動前の調査と同様の傾向を示している。

これらゲルマニウム半導体検出器による核種分析のほか、放射化学分析により海底土についてプルトニウム-238、プルトニウム-239の濃度を求めている（添付資料第28表その4(p.131)参照）。今年度の結果は、プルトニウム-238、プルトニウム-239とも昨年度までと同程度であった。

第7図 海底土のコバルト-60濃度の推移



第8図 海底土のセシウム-137濃度の推移



2.3.6 指標海産生物

指標海産生物の調査結果は、海産物についての預託実効線量の評価の際にも役立てているため、既に2.2.5海産食品、指標海産生物で取扱ったが、発電所に起因する核種の変動傾向を把握するため、改めて今年度の指標海産生物の調査結果について述べる。

今年度のホンダワラの調査の結果では、一部の試料から福島第一原子力発電所事故影響と考えられるヨウ素-131が検出されたが、チェルノブイリ事故のレベル以下であった。また、セシウム-137については、いずれの地区でも従来と同程度の極めて低い濃度となっており、過去の核実験影響のレベルであった。

(参考) 今年度のセシウム-137 分析結果

環境モニタリングの目的のひとつに「環境における放射性物質の蓄積状況の把握」を掲げていることでもあり、以下に環境で最も多く検出されているセシウム-137 について、試料区分毎の今年度の結果と過去3ヶ年の検出実績の比較をまとめたものを示す。

今年度の検出実績は、福島第一原子力発電所影響が現れた浮遊じんおよび降下物を除いて、いずれも過去と同程度で増加傾向は認められない。また、対照地区も含め各地区でほぼ同一水準であるという結果は、「今年度の値はいずれも過去に行なわれた核実験によるフォールアウト」というこれまでの評価を裏づけるものであり、原子力発電所に起因するものは認められなかった。

今年度のセシウム-137 分析結果

単位：浮遊じん (mBq/m³)、降下物 (Bq/m²)、陸水・海水 (mBq/l)、その他 (Bq/kg)

試料	敦賀		白木		美浜	
	10年度	07～09年度	10年度	07～09年度	10年度	07～09年度
浮遊じん	ND～0.1	—	ND～0.0	—	ND～0.0	—
陸水	—	—	—	—	—	—
陸土	8.3～24	8.4～28	0.9～1.9	0.8～2.2	2.5～5.2	3.1～6.2
指標植物	ND～0.1	ND～0.2	ND～0.3	ND～0.2	ND～0.4	ND～0.3
松葉	—	—	—	—	—	—
農産物	0.0	ND～0.0	—	ND～0.0	0.0	—
降下物	ND～0.3	ND～0.3	—	—	—	ND～0.3
海水	ND～2.2	ND～2.4	1.1～1.8	ND～2.1	ND～2.5	ND～2.6
海底土	ND～3.1	ND～4.0	—	—	ND～8.7	ND～8.8
海産食品 (魚類)	0.1	ND～0.2	0.0～0.3	0.0～0.2	0.0～0.1	ND～0.1
〃 (貝類)	ND～0.0	—	ND～0.0	ND～0.0	ND～0.0	ND～0.0
〃 (藻類)	—	—	—	—	—	—
指標海産生物	ND～0.1	ND～0.1	—	—	ND～0.1	ND～0.2

試料	大飯		高浜		対照	
	10年度	07～09年度	10年度	07～09年度	10年度	07～09年度
浮遊じん	ND～0.0	—	—	—	—	—
陸水	—	—	—	—	—	—
陸土	2.5～64	2.0～89	4.4～5.8	4.2～9.0	3.2～150	2.6～150
指標植物	ND～0.2	—	—	—	ND～0.1	—
松葉	—	—	—	—	—	ND～0.6
農産物	—	—	—	—	—	—
降下物	ND～0.3	—	—	ND～0.1	ND～0.1	ND～0.3
海水	ND～1.6	ND～2.0	ND～2.2	ND～2.5	ND～1.6	1.0～1.8
海底土	ND～3.9	ND～4.5	ND～2.7	ND～3.9	/	/
海産食品 (魚類)	0.0～0.1	0.0～0.2	0.0～0.1	0.0～0.2	0.2～0.3	0.1～0.2
〃 (貝類)	ND～0.0	ND～0.0	ND～0.0	—	—	—
〃 (藻類)	—	—	—	—	—	—
指標海産生物	—	ND～0.1	ND～0.1	ND～0.3	—	ND～0.1

(注) —またはNDは「検出されず」を、0.0は0.05未満で検出限界値以上の測定値を示す。

07～09年度の欄で、—と記したものは検出実績が1例もないものである。/は調査対象外を示す。

3. 添付資料

3. 1 調査方法

3. 2 調査地点図表

第1図～第8図 調査地点図

第1表 調査地点の詳細

3. 3 測定法

第2表～第7表 測定法、測定器

3. 4 測定結果

第8表～第10表 空間線量測定結果

第11表 浮遊じん放射能の連続測定結果

第12表 大気中のヨウ素-131分析結果

第13表～第23表 核種分析結果

第24表～第27表 トリチウム分析結果

第28表 放射化学分析等による ^{90}Sr , ^{137}Cs ,
 ^{239}Pu 分析結果

第29表 年間降下物の ^{90}Sr , ^{22}Na , ^{60}Co , ^{137}Cs , ^{239}Pu
分析結果 [参考：定期外調査]

第30表 原乳の核種分析結果 [参考：定期外調査]

第31表 各地の積雪量 (2010年12月～2011年3月)
[参考データ]

3.1 調査方法

3.1.1 調査地点（概要）

調査地点はおおむね以下のとおりである。

①調査対象地区：（調査地区）敦賀、白木、美浜、大飯、高浜
（対照地区）福井市等嶺北地方

②陸上試料採取地点：ほぼ主風向下の各発電所から約1～2kmの集落近傍の定点

③海洋試料採取地点：各放水口および放水口沖約1kmの定点

調査の分担実績を3.1.3 (p.27)に示す。また、調査地点図を第1図～第8図 (p.33～p.41)に、調査地点の詳細を第1表 (p.42～p.45)にそれぞれ示す。

3.1.2 調査方法（概要）

空間線量測定法、浮遊じん放射能の連続測定法、ゲルマニウム検出器による核種分析測定法および各種試料の対象核種と検出目標値、各機関で用いている測定器を第2表～第7表 (p.46～p.50)に示す。

核種濃度の測定は大部分がゲルマニウム検出器による核種分析である。ゲルマニウム検出器による核種分析の目的核種はマンガン-54(^{54}Mn)、コバルト-58(^{58}Co)、コバルト-60(^{60}Co)、セシウム-137(^{137}Cs)およびヨウ素-131(^{131}I)である。その他に、ナトリウム-22(^{22}Na)も平成7年度より対象核種としている。

ヨウ素-131を対象とする試料については、試料の前処理および測定までに要する日数に特に留意した。また、セシウム-137は、一部の試料についてゲルマニウム検出器を用いたアンチコインシデンス測定も行っている。

ゲルマニウム検出器による核種分析では、ガンマ線を放出する他の核種も同時に分析できるので、起源の判断や自然放射線の寄与などの参考とするため、ルテニウム-106(^{106}Ru)、セリウム-144(^{144}Ce)、カリウム-40(^{40}K)、ベリリウム-7(^7Be)、トリウム系列、ウラン系列等の核種の濃度も測定結果に併記した。

以上のほかに、ストロンチウム-90(^{90}Sr)、プルトニウム-238(^{238}Pu)、プルトニウム-239(^{239}Pu)の放射化学分析およびトリチウム(^3H)分析を行っている。

前処理法および分析測定法は、以下に列挙する方法に準拠した。

なお、測定結果の評価等に関する取扱いは「3.1.4 測定値の取扱い (p.28～p.32)」に一括して記載した。

<前処理法>

(1)降下物

- ・月間降下物（水盤法）の前処理法

（昭和58年3月：福井県環境放射能測定技術会議 資料）

<分析測定法>

(1)線量率連続測定

- ・連続モニタによる環境 γ 線測定法

（平成8年3月1訂：文部科学省 放射能測定法シリーズ）

(2)積算線量

- ・ TLD測定マニュアル*¹
(昭和 55 年 1 月：福井県環境放射能測定技術会議)
(平成 6 年 3 月：一部改訂*²)
(平成 8 年 3 月：一部改訂*²)
- ・ 熱ルミネセンス線量計を用いた環境 γ 線量測定法
(平成 2 年 2 月 1 訂：文部科学省 放射能測定法シリーズ)
- ・ 蛍光ガラス線量計を用いた環境 γ 線量測定法
(平成 14 年 7 月：文部科学省 放射能測定法シリーズ)
- ・ 蛍光ガラス線量計測定マニュアル
(平成 19 年 2 月：福井県環境放射能測定技術会議)

(3)ゲルマニウム検出器による核種分析測定法

- ・ Ge(Li)検出器による環境試料の核種分析法
(昭和 50 年 8 月：福井県衛生研究所 調査研究報告)
- ・ ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリ
(平成 4 年 8 月 3 訂：文部科学省 放射能測定法シリーズ)

(4)トリチウム

- ・ トリチウム分析法
(平成 14 年 7 月 2 訂：文部科学省 放射能測定法シリーズ)
- ・ トリチウム迅速分析法*³
(平成 9 年 12 月：福井県環境放射能測定技術会議)

(5)ストロンチウム-90

- ・ 放射性ストロンチウム分析法
(昭和 55 年 1 月：福井県環境放射能測定技術会議)
(昭和 60 年 3 月：一部改訂)
- ・ 放射性ストロンチウム分析法
(昭和 58 年 12 月 3 訂：文部科学省 放射能測定法シリーズ)

(6)プルトニウム

- ・ プルトニウム・アメリカシウム逐次分析法
(平成 2 年 11 月：文部科学省 放射能測定法シリーズ)

(*1)昭和 60 年度から TLD 測定マニュアルの p.9 第 1 表(棄却限界表)として ASTM:E178-80 を用いている。

(*2)平成 6 年度より 3 ヶ月平均値の標準偏差の算出を、従来の一次回帰から求める方法から個々の測定地点より求める方法に改訂した。さらに、平成 8 年度より基本的に全地点の平均的な相対標準偏差 3.5%を用いる方法に改訂した。

(*3)試料調整から 3 時間以内で 74 Bq/l(当時の公衆の年実効線量当量限度 1 ミシーベルトの 1000 分の 1 に相当する濃度)を確認できる方法である。

3. 1. 3 調査の分担実績

区分	定期調査												放射化学分析等 県, 原子力機構	
	県						原電	原子力機構			関電			
調査機関	敦賀	白木	美浜	大飯	高浜	対照	敦賀	敦賀	白木	美浜	大飯	高浜	各地区	
線量率(年間連続)	4	2	3	5	4		10	6	5	11	11	10		
積算線量	12(46)	4(16)	6(24)	11(44)	10(40)	10(40)	15(57)	1(4)	10(40)	16(64)	15(60)	15(60)		
浮遊じん(年間連続)	2	2	2	2	3									
<核種分析>														
大気中ヨウ素-131	3(16)	3(16)	3(16)	2(13)	3(14)									
浮遊じん	2(16)	2(16)	2(16)	2(16)	3(20)	1(12)	3(36)		1(12)	1(12)	1(12)	2(24)		
陸水	飲料水	1(4)	1(4)	1(4)	1(4)	1(4)	1(4)		1(4)	1(2)	1(2)	2(4)		
	河川水									1(2)				
陸土	1(2)	1(2)	1(2)	1(2)	1(2)	2(3)	1(2)	1(4)	1(2)	1(2)	1(2)	1(2)	(5)	
指標植物	1(7)	2(7)	1(7)	1(7)	1(7)	1(7)							(18)	
松葉						1(1)	1(2)	1(2)	1(2)	1(2)	1(2)	1(2)		
農産物	1(1)	1(1)	1(1)	1(1)	1(1)	1(1)							(1)	
原乳*			1(3)			1(3)								
降下物	1(12)	1(12)	1(12)	1(12)	1(12)	1(12)	1(12)		2(12)	1(12)	1(12)	1(12)	(11)	
海水	2(4)	1(2)	2(4)	1(2)	2(4)	1(2)	2(4)	1(2)	2(4)	2(8)	1(4)	2(8)		
海底土	6(7)	5(7)	7(9)	3(4)	7(9)		3(10)	2(8)	2(8)	4(16)	2(8)	3(12)	(23)	
海産食品	魚類	(8)	(4)	(5)	(4)	(4)	(3)	(1)	(1)	(1)	(4)	(2)	(2)	(6)
	貝類	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(1)	(1)		(1)	(2)	(1)	(1)	(10)
	藻類	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(2)	(1)		(1)	(2)	(1)	(1)	(15)
指標海産生物	ホタテ	4(10)	1(4)	2(8)	1(4)	3(8)	1(4)	5(10)	1(4)	1(4)	2(8)	1(4)	3(12)	(23)
核種分析合計	(93)	(81)	(93)	(75)	(91)	(55)	(83)	(21)	(51)	(72)	(50)	(80)	(112)	
<トリチウム>														
陸水	1(4)	1(4)	1(4)	1(4)	1(4)	1(4)	1(4)		1(4)	1(2)	1(2)	2(4)		
大気中水分	1(12)	1(12)	1(12)	1(12)	1(12)	1(12)	2(24)	2(24)	1(12)	1(12)	1(12)	1(12)		
月間雨水	1(4)	1(4)	1(4)	1(4)	1(4)	1(4)	1(4)		1(4)	1(4)	1(4)	1(4)		
海水	3(6)	2(4)	4(8)	2(4)	3(6)	1(2)	1(4)	1(4)	1(4)	2(8)	1(4)	3(24)		
トリチウム合計	(26)	(24)	(28)	(24)	(26)	(22)	(36)	(28)	(24)	(26)	(22)	(44)		
放射能調査 合計	(119)	(105)	(121)	(99)	(117)	(77)	(119)	(49)	(75)	(98)	(72)	(124)	(112)	

(注) 調査地点数を示す。()内は年間試料数である。

* : 定期外調査として実施した。

3. 1. 4 測定値の取り扱いについて

(1) テレメータシステムによる線量率連続測定結果

- ① 空間線量率は空気吸収線量率とし、テレメータシステムにより収集された 10 分値等をもとに計算された 1 時間値を、nGy/h で報告する。
- ② 測定値は小数点以下第 1 位までとし、第 2 位を四捨五入する。
- ③ 報告書では、地点毎に各月の最高値、最低値、平均値(M)および標準偏差(σ)を記載するとともに、各月の $M+3\sigma$ を超えたデータについては、降雨等の気象状況、近接局の結果、放射線のエネルギー情報等を調査し、変動原因を報告する。
なお、原子力施設からの影響が確認された場合には、その状況を報告する。
- ④ 変動原因の報告において「降雨」とする条件は基本的に以下の場合とし、気象観測装置の設置状況等考慮して総合的に判断する。
 - (a) 雨量計 (0.5mm 以上) の指示値があった場合、指示開始 1 時間前から指示終了後 2 時間までを「降雨あり」とする。
 - (b) 感雨計の指示があった場合、指示開始から指示終了後 1 時間までを「降雨あり」とする。
 - (c) 空間線量率測定地点で気象観測をおこなっていない地点では、近接局の雨量計または感雨計の指示値により「降雨あり/なし」を判断する。

(2) 積算線量測定結果

- ① 積算線量は空気吸収線量を、mGy/92 日 単位で報告する。
- ② 測定値は、小数点以下第 3 位まで表示し、第 4 位を四捨五入する。
- ③ 地点毎の過去 5 ケ年の平均値 (M) を求め、平常の変動幅 ($M-3 \times C.V. \times M$) \sim ($M+3 \times C.V. \times M$) の範囲を超えた場合は、周辺環境等の変化等の原因の調査を行う。評価に用いる相対標準偏差 (C.V.) は、過去の平均的な値である 3.5%とする。ただし、自然放射線の変動等でこの平均的な変動範囲を上回る固有の変動幅がある地点については、地点毎に求めた過去 5 ケ年の標準偏差 (σ) を用いる。周辺環境等の変化により過去の蓄積データが 2 年に満たない地点の相対標準偏差 (C.V.) は、3.5%とする。
- ④ 表 1 に今年度の平常の変動幅を示す。基本的には 2005 年度から 2009 年度までの 5 年間で計算し、地点変更があった場合は、現在と同じ状況となった後のデータで計算している。
 - ・ 県 (A) の測定データについては、TLD リーダ更新 (2005 年度末) 前後の測定値の有意差検定の結果、統計的に有意差が認められたため、更新後の 2006 年度第 1 期からの 4 ケ年のデータで計算している。
 - ・ 日本原電 (B) は、2005 年度より電子線量計を採用している。
 - ・ 原子力機構 (D) は、2007 年度より蛍光ガラス線量計を採用しているが、2006 年度までの事前測定値を含め計算している。
- ⑤ 年間積算値の平常の変動幅については、経験的にも 3 ケ月値から求めた平常の変動幅の 2 倍であることが知られている。平成 2 年度以降これを採用している。

表－1 積算線量における平常の変動幅（平成22年度用）

※ 2年未満の期間では、評価用 $\sigma = 3.5\%$ 固定

<敦賀地区>

機関コード	地点名	平均値	標本標準偏差	σ (%)	評価用 σ (%)	M-3 σ	M+3 σ	データ数
A	立石A5(八坂神社)	0.241	0.01184	4.92	4.92	0.205	0.276	16
B	立石山頂B1(原電モニタリングステーション)	0.226	0.00736	3.26	3.50	0.202	0.249	20
D	ふげん西D2(西敷地境界付近)	0.161	0.00411	2.55	3.50	0.144	0.178	20
B	猪ヶ池B1(原電モニタリングポスト)	0.232	0.00508	2.19	3.50	0.207	0.256	20
B	原子力館B(敦賀原子力館敷地)	0.203	0.00725	3.57	3.57	0.181	0.225	20
B	水産試験場B2(水産試験場)	0.179	0.00291	1.63	3.50	0.160	0.197	20
B	明神寮B2(明神寮)	0.229	0.00774	3.38	3.50	0.205	0.253	20
A	浦底A5(剣神社)	0.247	0.00977	3.95	3.95	0.218	0.277	16
B	水試裏B1(原電モニタリングポスト)	0.247	0.01260	5.09	5.09	0.210	0.285	20
A	色ヶ浜A3(本隆寺)	0.267	0.01468	5.49	5.49	0.223	0.311	16
A	手ノ浦A3(舟幸寺)	0.221	0.01092	4.93	4.93	0.189	0.254	16
B	手ノ浦B3(舟幸寺)	0.224	0.00679	3.04	3.50	0.200	0.247	20
B	沓B5(常福寺)	0.262	0.01305	4.99	4.99	0.222	0.301	20
A	常宮A3(常宮小学校)	0.229	0.01338	5.85	5.85	0.189	0.269	16
B	常宮B4(常宮神社)	0.218	0.00163	0.75	3.50	0.195	0.241	4
B	縄間B(宗清寺)	0.264	0.00828	3.14	3.50	0.236	0.291	20
B	名子B1(名子バス停)	0.176	0.00403	2.30	3.50	0.157	0.194	16
B	松島B3(原電松島寮)	0.211	0.00693	3.29	3.50	0.189	0.233	20
B	松栄B3(敦賀地方合同庁舎)	0.207	0.00774	3.75	3.75	0.183	0.230	20
A	赤崎A3(赤崎小学校グラウンド)	0.184	0.00796	4.32	4.32	0.160	0.208	16
A	阿曾A2(ふれあい会館)	0.188	0.00851	4.52	4.52	0.163	0.214	16
A	杉津A4(東浦小中学校)	0.173	0.00585	3.39	3.50	0.154	0.191	16
A	元比田A5(集落掲示板横)	0.168	0.00776	4.62	4.62	0.145	0.191	16
A	大谷A3(八幡神社)	0.175	0.00611	3.50	3.50	0.156	0.193	16
B	大良B(大良集会所)	0.175	0.01137	6.50	6.50	0.141	0.209	20
A	吉河A2(原子力センター)	0.174	0.00694	3.99	3.99	0.153	0.195	16

<白木地区>

機関コード	地点名	平均値	標本標準偏差	σ (%)	評価用 σ (%)	M-3 σ	M+3 σ	データ数
D	白木ⅠD2(北東敷地境界)	0.228	0.00533	2.33	3.50	0.204	0.252	20
D	白木ⅡD2(東南東敷地境界)	0.155	0.00551	3.55	3.55	0.139	0.172	20
D	白木ⅢD2(南南東敷地境界)	0.217	0.00692	3.19	3.50	0.194	0.240	20
D	白木ⅣD2(南西敷地境界)	0.197	0.00618	3.13	3.50	0.176	0.218	20
A	白木A4(県テレメ観測局)	0.235	0.01037	4.42	4.42	0.203	0.266	16
D	白木D6(白木公民館東側道脇)	0.243	0.00500	2.06	3.50	0.218	0.269	20
D	松ヶ崎D2(機構モニタリングステーション)	0.230	0.00493	2.14	3.50	0.206	0.254	20
A	白城神社A2(神社鳥居横)	0.233	0.01204	5.16	5.16	0.197	0.269	16
D	白城神社D4(神社鳥居横)	0.227	0.00469	2.07	3.50	0.203	0.251	20
D	門ヶ崎D3	0.257	0.00615	2.39	3.50	0.230	0.284	20
A	白木トンネル北口A2	0.257	0.01139	4.44	4.44	0.223	0.291	16
D	白木トンネル北口D3	0.235	0.00658	2.80	3.50	0.210	0.260	20
A	白木トンネル南口A2 (溪流水貯水池横)	0.232	0.00990	4.26	4.26	0.203	0.262	16
D	もんじゅ寮D1(もんじゅ寮前)	0.239	0.00639	2.67	3.50	0.214	0.264	20

< 美浜地区 >

機関コード	地点名	平均値	標本標準偏差	σ (%)	評価用 σ (%)	M-3 σ	M+3 σ	データ数
C	奥浦C(奥浦公園奥)	0.218	0.00397	1.82	3.50	0.195	0.240	20
C	丹生診療所C6(丹生診療所)	0.173	0.00599	3.46	3.50	0.155	0.191	20
A	丹生A4(中村旅館)	0.193	0.01216	6.31	6.31	0.156	0.229	16
C	丹生C3(丹生漁港)	0.182	0.00540	2.97	3.50	0.163	0.201	20
A	丹生小中学校A	0.210	0.01034	4.93	4.93	0.179	0.241	16
C	丹生素C5(関電丹生素)	0.215	0.00506	2.36	3.50	0.192	0.237	20
A	竹波A4(県テレメ観測局)	0.219	0.01046	4.77	4.77	0.188	0.251	16
C	竹波C5(高那弥神社)	0.219	0.00608	2.77	3.50	0.196	0.242	20
C	馬背川C2(ポンプ場)	0.218	0.00644	2.95	3.50	0.195	0.241	20
A	菅浜A3(旧菅浜保育所)	0.204	0.01228	6.02	6.02	0.167	0.241	16
C	菅浜C2(民宿藤田横)	0.169	0.00456	2.70	3.50	0.151	0.186	20
C	けやき台C1(けやき台ハイツ)	0.151	0.00455	3.01	3.50	0.135	0.167	20
A	佐田A3(あおなみ保育園)	0.184	0.00731	3.96	3.50	0.165	0.204	4
C	坂尻C2(三谷商店前)	0.171	0.00424	2.48	3.50	0.153	0.189	20
C	新庄C3(日吉神社)	0.172	0.00401	2.33	3.50	0.154	0.190	20
A	和田A(ふる里交流センター)	0.183	0.00800	4.37	4.37	0.159	0.207	16
C	郷市C6(美浜町役場)	0.136	0.00498	3.67	3.67	0.121	0.151	20
C	久々子C1(県園芸試験場)	0.145	0.00392	2.70	3.50	0.130	0.161	20
C	早瀬C5(水無月神社)	0.138	0.00410	2.97	3.50	0.123	0.152	20
C	日向C5(日向漁業センター)	0.159	0.00460	2.90	3.50	0.142	0.175	20
C	三方C4(若狭町役場三方庁舎)	0.120	0.00386	3.21	3.50	0.108	0.133	20
C	沓見C(原子力発電訓練センター)	0.187	0.00453	2.42	3.50	0.168	0.207	20

< 大飯地区 >

機関コード	地点名	平均値	標本標準偏差	σ (%)	評価用 σ (%)	M-3 σ	M+3 σ	データ数
C	赤礁崎C(関電あかぎり崎クラブ)	0.107	0.00383	3.57	3.57	0.096	0.118	20
A	宮留奥A(あかぎり海釣り公園)	0.120	0.00712	5.92	5.92	0.099	0.142	16
A	宮留A6(県テレメ観測局)	0.128	0.00600	4.68	4.68	0.110	0.146	16
C	宮留C3(エルパーク大飯下三叉路)	0.119	0.00433	3.63	3.63	0.106	0.132	20
C	日角浜C3(大島公民館)	0.116	0.00444	3.82	3.82	0.103	0.130	20
A	西村A2(常禅寺)	0.124	0.00524	4.21	4.21	0.109	0.140	16
C	西村C1(西村トンネル南口県道脇)	0.089	0.00365	4.09	4.09	0.078	0.100	20
C	犬見C2(集落手前道端)	0.128	0.00438	3.44	3.50	0.114	0.141	20
A	本郷A4(町営住宅サンハイムうらら)	0.137	0.00738	5.40	5.40	0.115	0.159	16
C	本郷C5(おおい町役場)	0.124	0.00529	4.25	4.25	0.109	0.140	20
A	鯉川A2(牛尾神社)	0.138	0.00727	5.27	5.27	0.116	0.160	16
A	加斗A4(加斗小学校)	0.141	0.00678	4.81	4.81	0.121	0.161	16
A	西勢A2 (民宿つどい前ゲートボール場)	0.135	0.00664	4.92	4.92	0.115	0.155	16
C	東勢C1(旧道脇)	0.126	0.00538	4.27	4.27	0.110	0.142	20
C	小浜市野球場C2 (小浜市営野球場)	0.129	0.00483	3.75	3.75	0.114	0.143	20
A	小浜市大原A3(栖雲寺)	0.190	0.00871	4.59	4.59	0.163	0.216	16
A	若狭健康福祉センターA2	0.168	0.00797	4.74	4.74	0.144	0.192	16
A	西津A2(水産高校)	0.139	0.00888	6.40	6.40	0.112	0.165	16
C	西津C3(小浜漁協西津支所)	0.116	0.00510	4.42	4.42	0.100	0.131	20
A	堅海A2(旧堅海小学校)	0.148	0.00686	4.65	4.65	0.127	0.168	16
C	堅海C3(県栽培漁業センター)	0.129	0.00484	3.77	3.77	0.114	0.143	20
C	泊C2(大谷旅館前)	0.137	0.00550	4.02	4.02	0.120	0.153	20
C	川上C4(川上公民館)	0.128	0.00447	3.50	3.50	0.114	0.141	20
C	鹿野C5(佐分利小学校)	0.123	0.00476	3.86	3.86	0.109	0.138	20
C	名田庄C3(名田庄観光館)	0.129	0.00471	3.66	3.66	0.115	0.143	20
C	上中C3(上中体育館)	0.108	0.00459	4.27	4.27	0.094	0.121	20

<高浜地区>

機関コード	地点名	平均値	標本標準偏差	σ (%)	評価用 σ (%)	M-3 σ	M+3 σ	データ数
A	音海A3(児玉旅館)	0.126	0.00734	5.82	5.82	0.104	0.148	16
C	音海C4(音海漁港奥)	0.124	0.00472	3.80	3.80	0.110	0.138	20
C	音海県道C1 (日本海港湾確保税上屋入口門付近)	0.111	0.00432	3.88	3.88	0.098	0.124	20
C	田ノ浦C(南東敷地境界)	0.117	0.00433	3.70	3.70	0.104	0.130	20
A	小黑飯A3(寿峯寺裏旧道脇)	0.137	0.00727	5.31	5.31	0.115	0.159	16
C	小黑飯C3(白浜トンネル北口)	0.124	0.00412	3.31	3.50	0.111	0.137	20
A	旧神野小学校A	0.140	0.00582	4.16	4.16	0.122	0.157	16
A	神野A4(桃源寺)	0.116	0.00570	4.92	4.92	0.099	0.133	16
C	神野浦C2(関電モータポスト)	0.099	0.00410	4.15	4.15	0.087	0.111	20
A	山中A3(県テレメ観測局)	0.138	0.00629	4.57	4.57	0.119	0.156	16
C	山中C2(JA若狭内浦出張所)	0.092	0.00389	4.25	4.25	0.080	0.103	20
A	下A2(産霊神社)	0.109	0.00600	5.49	5.49	0.091	0.127	16
C	日引C3(旧日引小学校)	0.113	0.00420	3.73	3.73	0.100	0.125	20
A	上瀬A2(山神社)	0.094	0.00546	5.80	5.80	0.078	0.110	16
A	六路谷A3(ふれあい会館)	0.111	0.00556	5.01	5.01	0.094	0.128	16
C	六路谷C2(杉森神社横)	0.131	0.00511	3.91	3.91	0.115	0.146	20
C	高野C(旧青郷小学校高野分校)	0.126	0.00515	4.08	4.08	0.111	0.142	20
C	青郷C2(青郷小学校)	0.128	0.00449	3.51	3.51	0.114	0.141	20
A	東三松A4(東三松グラウンド)	0.148	0.00502	3.40	3.50	0.132	0.163	16
C	東三松C2(民宿萩の家)	0.120	0.00530	4.42	4.42	0.104	0.136	20
A	高浜町役場A3(高浜町役場前庭)	0.108	0.00671	6.22	6.22	0.088	0.128	16
C	高浜C(高浜小学校)	0.110	0.00378	3.44	3.50	0.099	0.122	20
C	和田C3(和田小学校)	0.117	0.00460	3.95	3.95	0.103	0.130	20
C	田井C3(田井コミュニティセンター)	0.138	0.00532	3.86	3.86	0.122	0.154	20
C	夕潮台C2(夕潮台公園)	0.102	0.00397	3.90	3.90	0.090	0.113	20

<対照地区>

機関コード	地点名	平均値	標本標準偏差	σ (%)	評価用 σ (%)	M-3 σ	M+3 σ	データ数
A	金津A2(坂井健康福祉センター)	0.150	0.00689	4.59	4.59	0.130	0.171	16
A	川西A3(川西中学校)	0.129	0.00536	4.14	4.14	0.113	0.146	16
A	福井市原目町A2 (福井分析管理室)	0.149	0.00601	4.04	4.04	0.131	0.167	16
A	殿下A3(殿下小学校)	0.170	0.00815	4.78	4.78	0.146	0.195	16
A	勝山A3(奥越土木事務所(勝山))	0.176	0.00373	2.12	3.50	0.158	0.195	5
A	美山A4(美山児童館)	0.147	0.00724	4.93	4.93	0.125	0.168	16
A	宮崎A3(宮崎中学校)	0.147	0.00631	4.28	4.28	0.128	0.166	16
A	武生A2(丹南土木事務所)	0.160	0.00675	4.22	4.22	0.140	0.180	16
A	越前市妙法寺町A(白山神社)	0.219	0.00804	3.67	3.67	0.195	0.243	16
A	池田A2(池田町役場)	0.149	0.00648	4.35	4.35	0.129	0.168	16

(3) テレメータシステムによる浮遊じん放射能の連続測定

- ① 浮遊じん放射能濃度はラドン娘核種に等価で各娘核種 (R a A ~ R a C') の比を1と仮定した放射能濃度で、測定サイクルである3時間値を測定値(報告値)とする。
単位は、ベータ(β)放射能濃度およびアルファ(α)放射能濃度は、Bq/m³とし、 β/α 放射能濃度比は%とする。
- ② 測定値は小数点以下第1位まで、放射能濃度比は整数とし、いずれもその次の位を四捨五入する。
- ③ 報告書では、地点毎に各月の最高値、最低値、平均値(M)および標準偏差(σ)を記載するとともに、濃度比が各月のM+3 σ を超え β 放射能濃度が高いデータについては、近接局の結果、空間線量率等を調査し、変動原因を報告する。なお、原子力施設等からの影響が確認された場合には、その状況を報告する。

参考：浮遊じん放射能が天然放射性核種の場合、放射能濃度は通常 0.1~数 10Bq/m³程度変化するが、 β/α 放射能濃度比はほぼ一定である。一方、主に β 線放出核種である発電所由来の人工放射性核種がこれに加わった場合、 β/α 放射能濃度比は高くなる特徴を持っている。

テレメータシステムによる浮遊じん放射能測定は、環境の空気を吸引しながら同時に測定を行い、10分周期でリアルタイムデータが収集され、システムによる自動チェックが行われている。さらに職員によって、異常の有無を日常業務で詳細に確認している。

(4) ゲルマニウム検出器による核種分析結果

- ① 試料区分毎の報告単位は、核種分析結果の各表に示されている。
- ② 測定値は原則として、有効数字2桁または各表示単位の小数点以下第1位までとし、第2位を四捨五入する。
- ③ 放射能濃度を N 、その誤差を ΔN とした時に $N \geq (3 \times \Delta N)$ の場合を検出されたものとし、通常は過去3年間の最低値～最高値と比べ、これを超えた場合はそれ以前の値を参考に、過去の核実験影響および発電所寄与について検討する。
- ④ 各種環境試料中の放射性核種濃度については、試料の種類によっても、また核種や環境条件によっても異なるため、関連する核種（例えばセシウム-137の場合はセシウム-134）の有無等も考慮し、起源を判断する。

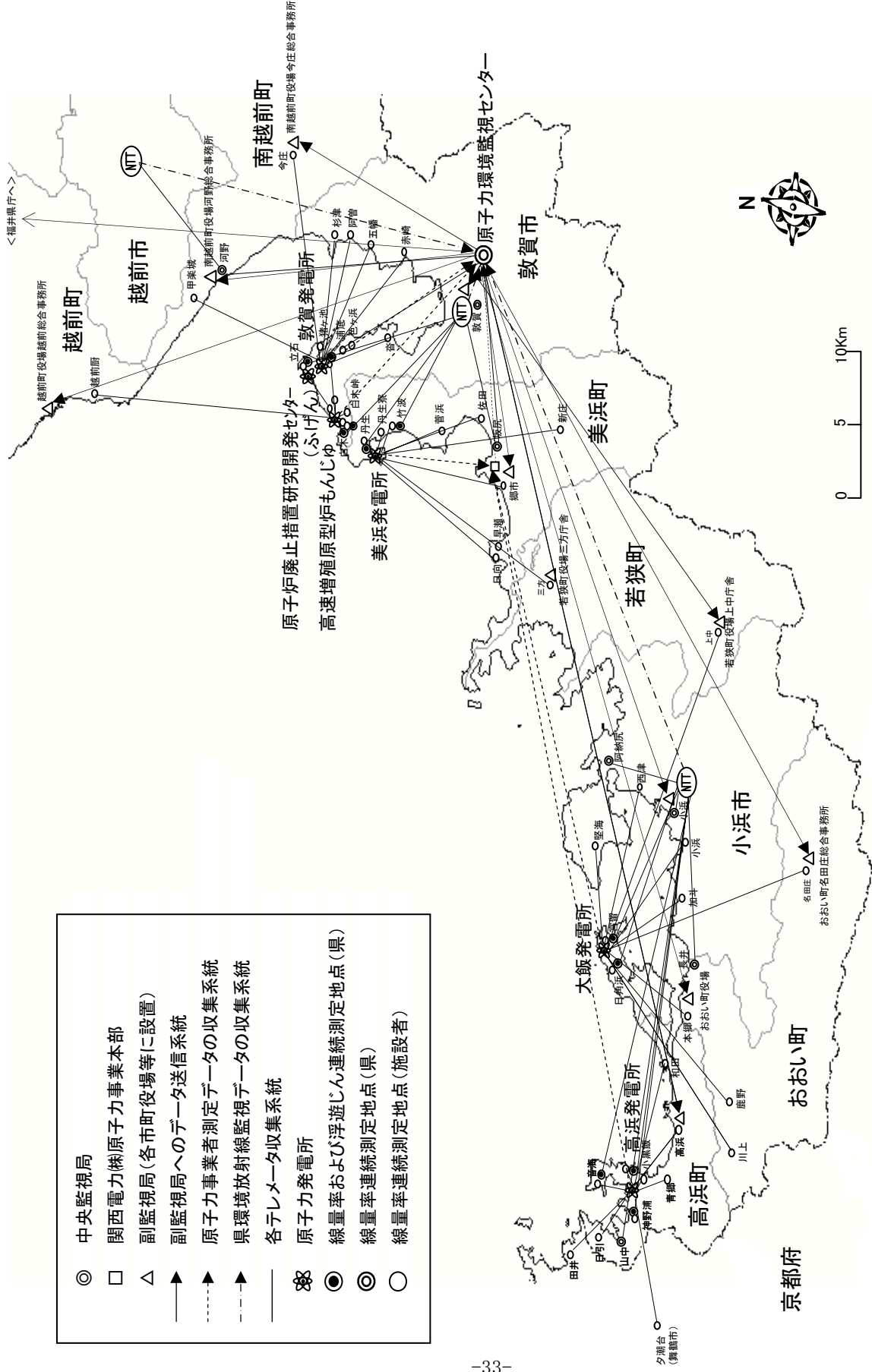
(5) トリチウム分析結果

- ① 試料区分毎の報告単位は、 Bq/ℓ で報告する。
- ② 測定値は、有効数字2桁または各表示単位の小数点以下第1位までとし、第2位を四捨五入する。
- ③ トリチウム濃度を N 、その誤差を ΔN とした時に、 $N \geq (3 \times \Delta N)$ の場合を検出されたものとする。
- ④ 発電所影響の調査を行う検討基準として、海水の調査結果のうち、 $2.0\text{Bq}/\ell$ 以上のデータを除いた過去3年間の調査結果（およそのバックグラウンドレベル）を基に平均値(M) + $3 \times$ 標準偏差(σ)を算出し、($M + 3\sigma$)が $2.0\text{Bq}/\ell$ 未満の時は、($M + 3\sigma$)を検討基準とする。また、($M + 3\sigma$)が $2.0\text{Bq}/\ell$ 以上の時は、 $2.0\text{Bq}/\ell$ を検討基準とする。
2007～2009年度の206試料の統計計算結果では、海水のトリチウム濃度の平均値は $0.84\text{Bq}/\ell$ 、標準偏差(σ)は 0.55 となっており、($M + 3\sigma$)は、 $2.5\text{Bq}/\ell$ であるため、今年度の検討基準は $2.0\text{Bq}/\ell$ となる。

(6) 放射化学分析による ^{90}Sr 、 $^{239(+240)}\text{Pu}$ 、 ^{238}Pu 分析結果

放射能濃度を N 、その誤差を ΔN とした時に、 $N \geq (3 \times \Delta N)$ の場合を検出されたものとする。試料区分毎の報告単位は、第28表～第29表(p.128～p.132)の各表に示されている。測定値は原則として、有効数字2桁とする。

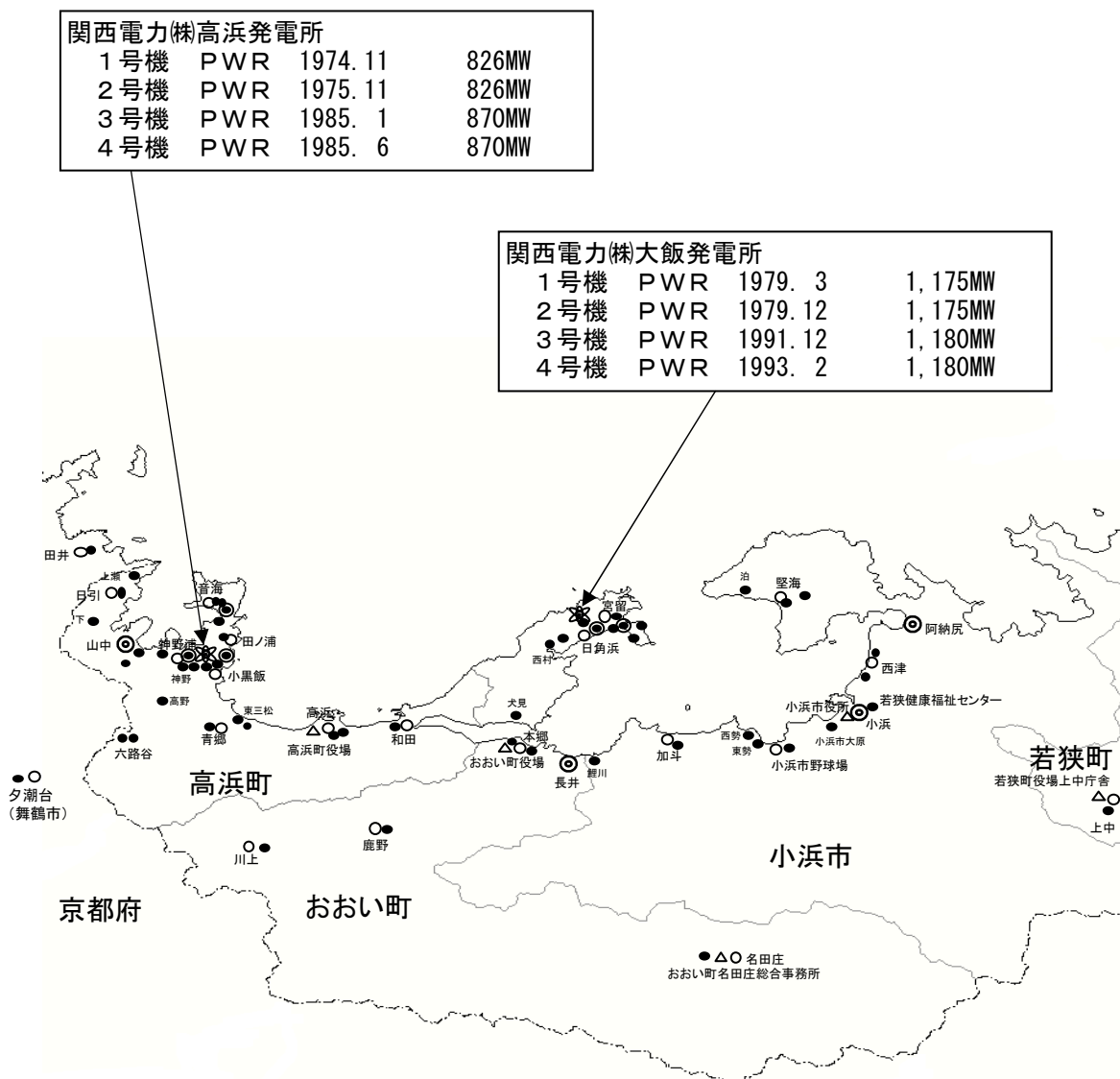
第1図 各放射線監視テレメータシステムの主なデータ収集・送信系統図

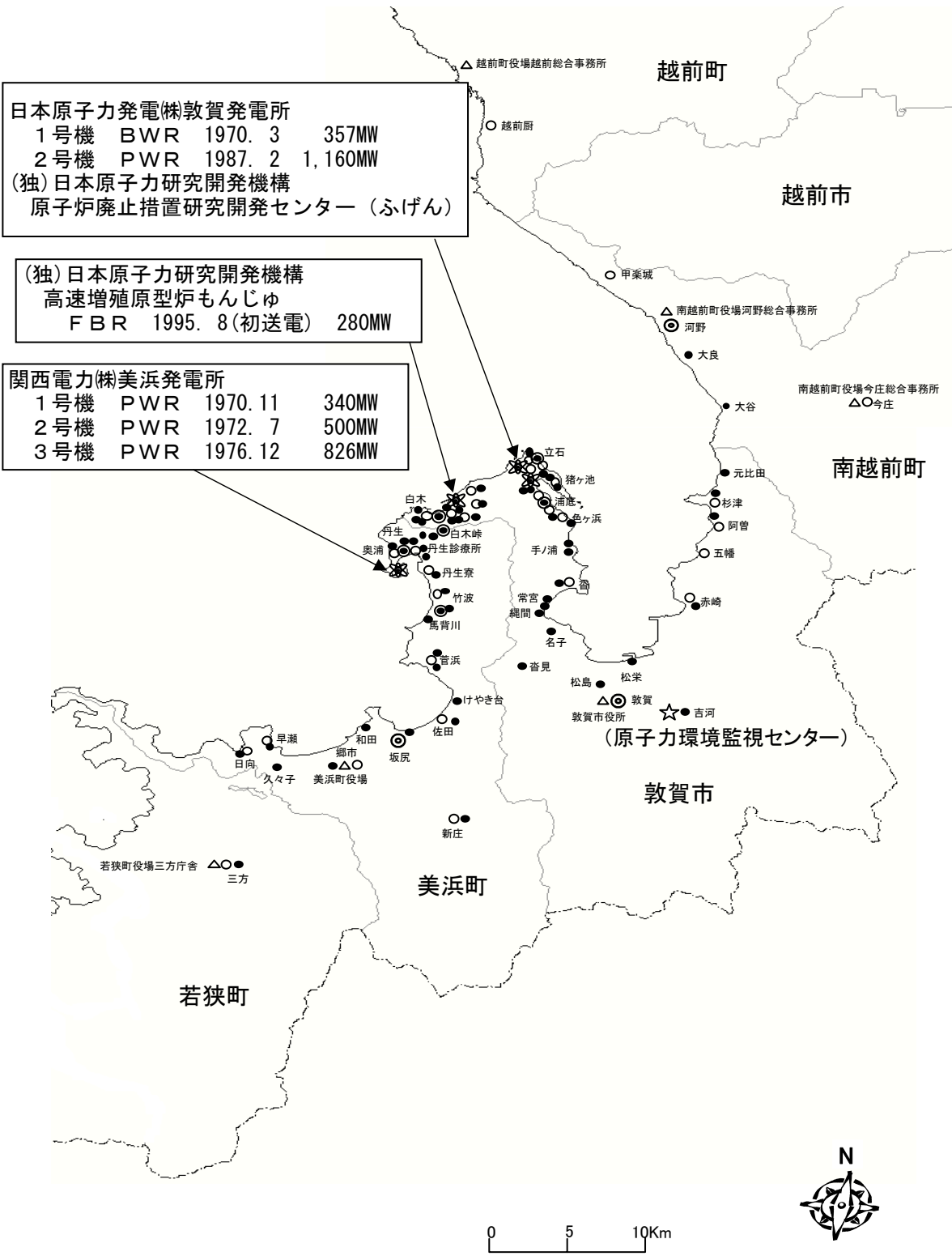


第2図 空間線量率連続測定・積算線量測定地点(全域)

⊗	原子力発電所	◎	線量率連続測定地点(県)
●	線量率および浮遊じん連続測定地点(県)	☆	県テレメータ中央監視局
○	線量率連続測定地点(施設者)	△	副監視局
●	積算線量測定地点(県・施設者)		

線量率(県、施設者)および浮遊じん(県)連続測定の結果は、「環境放射線監視テレメータシステム」により、原子力環境監視センターに一括収集・表示するとともに、12箇所の副監視局(県庁および市町役場等に設置)にも表示している。



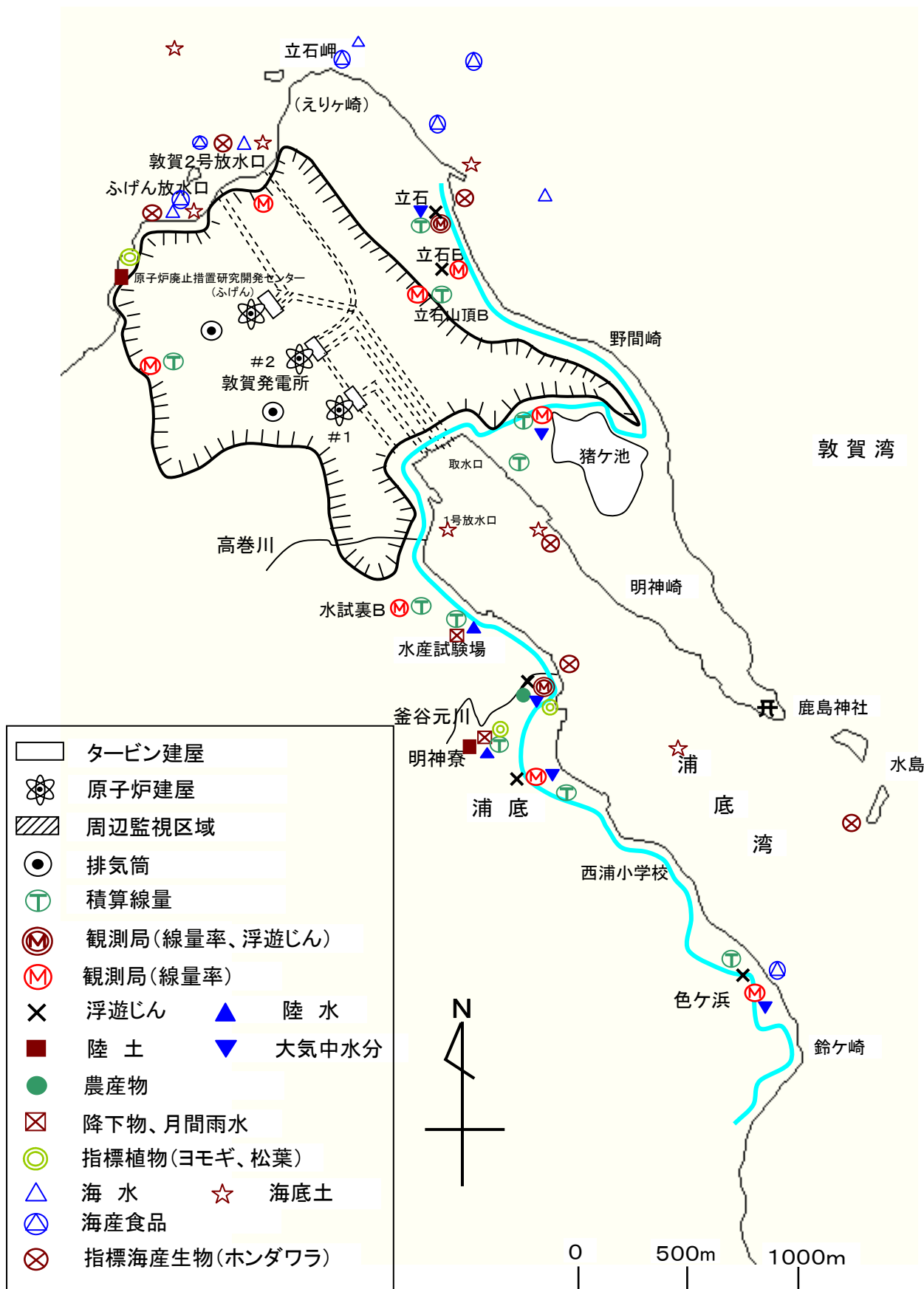


日本原子力発電(株)敦賀発電所
 1号機 BWR 1970. 3 357MW
 2号機 PWR 1987. 2 1,160MW
 (独)日本原子力研究開発機構
 原子炉廃止措置研究開発センター (ふげん)

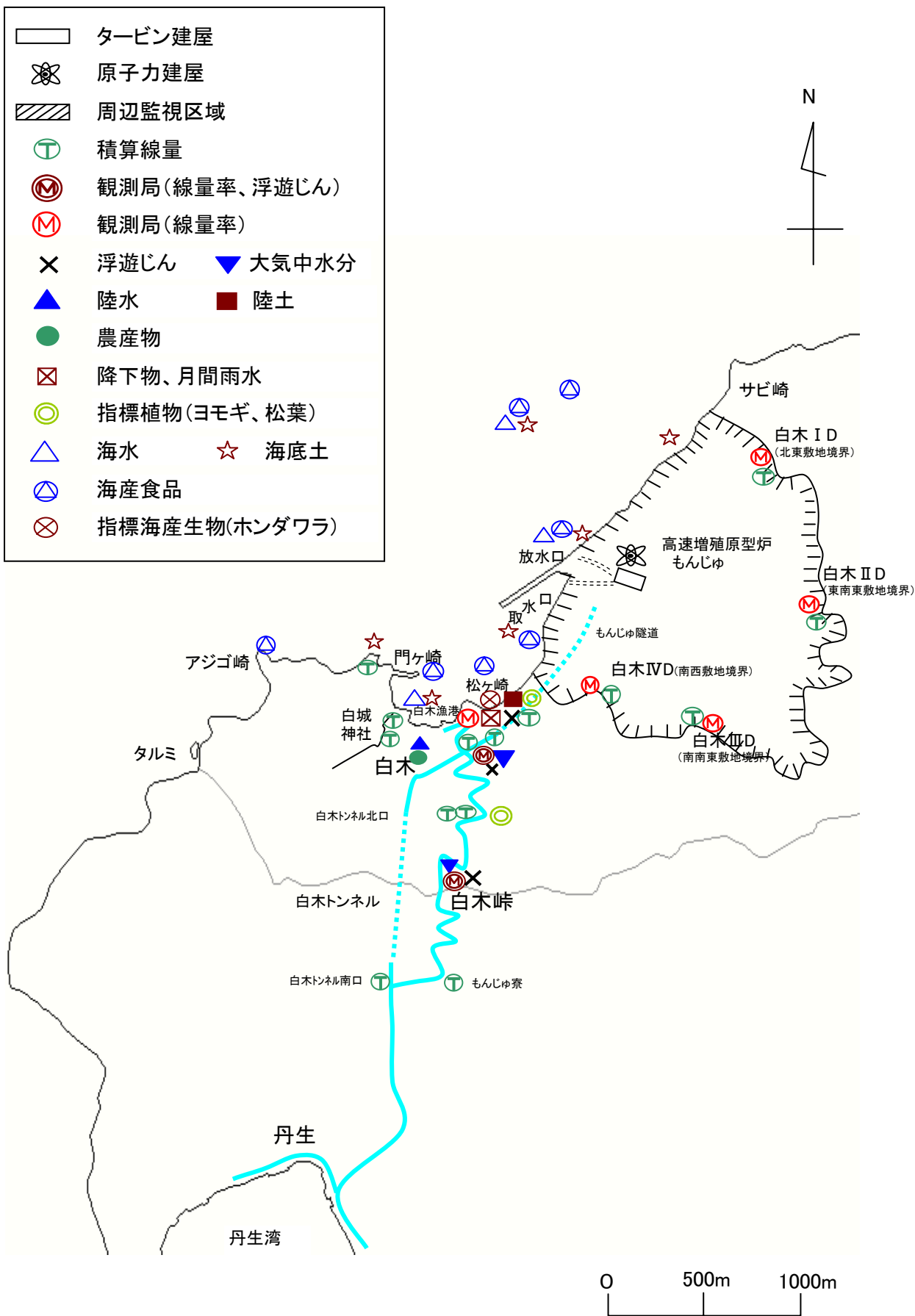
(独)日本原子力研究開発機構
 高速増殖原型炉もんじゅ
 FBR 1995. 8(初送電) 280MW

関西電力(株)美浜発電所
 1号機 PWR 1970. 11 340MW
 2号機 PWR 1972. 7 500MW
 3号機 PWR 1976. 12 826MW

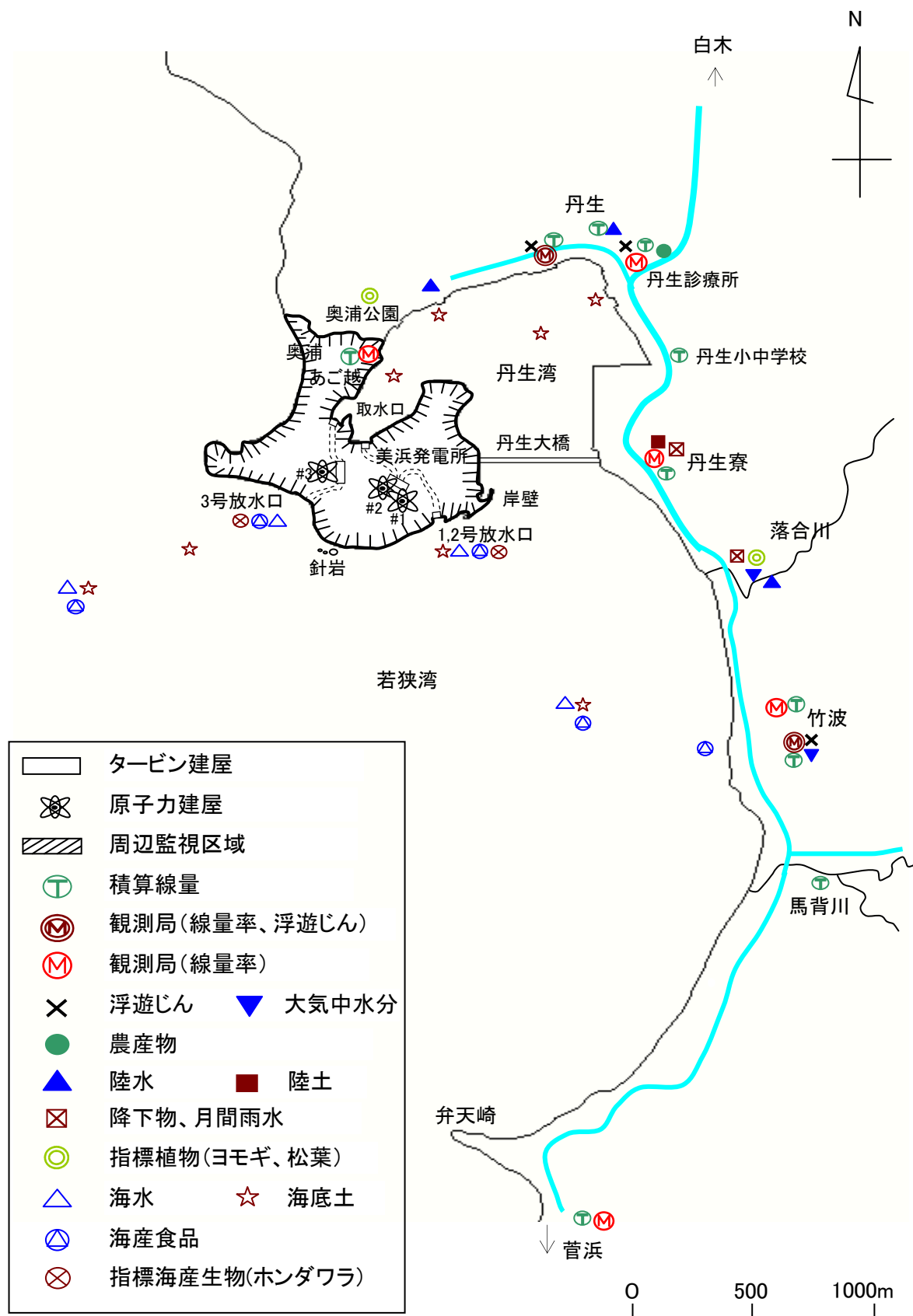
第3図 敦賀発電所および原子炉廃止措置研究開発センター(ふげん)周辺の試料採取地点



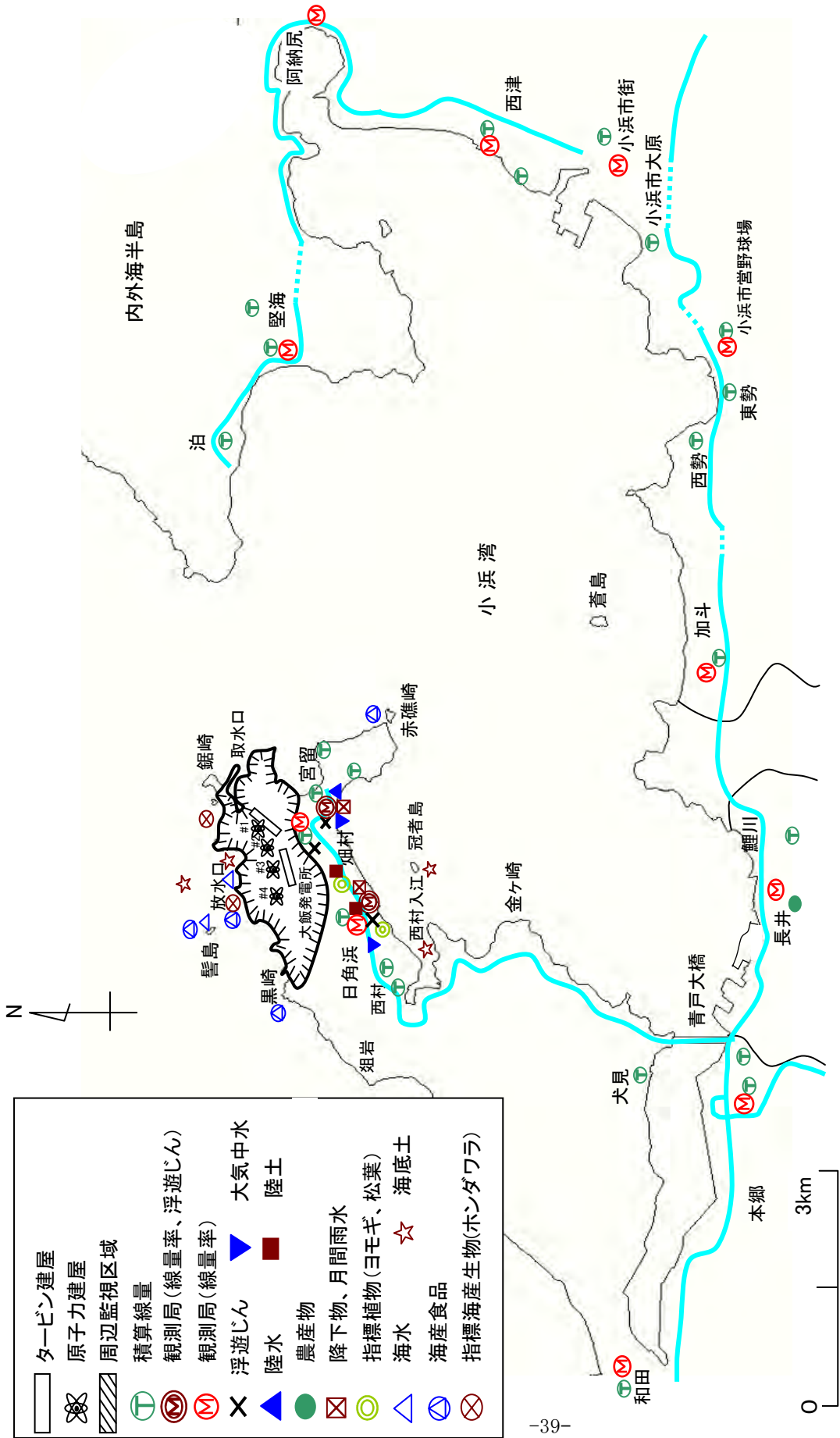
第4図 高速増殖原型炉もんじゅ周辺の試料採取地点



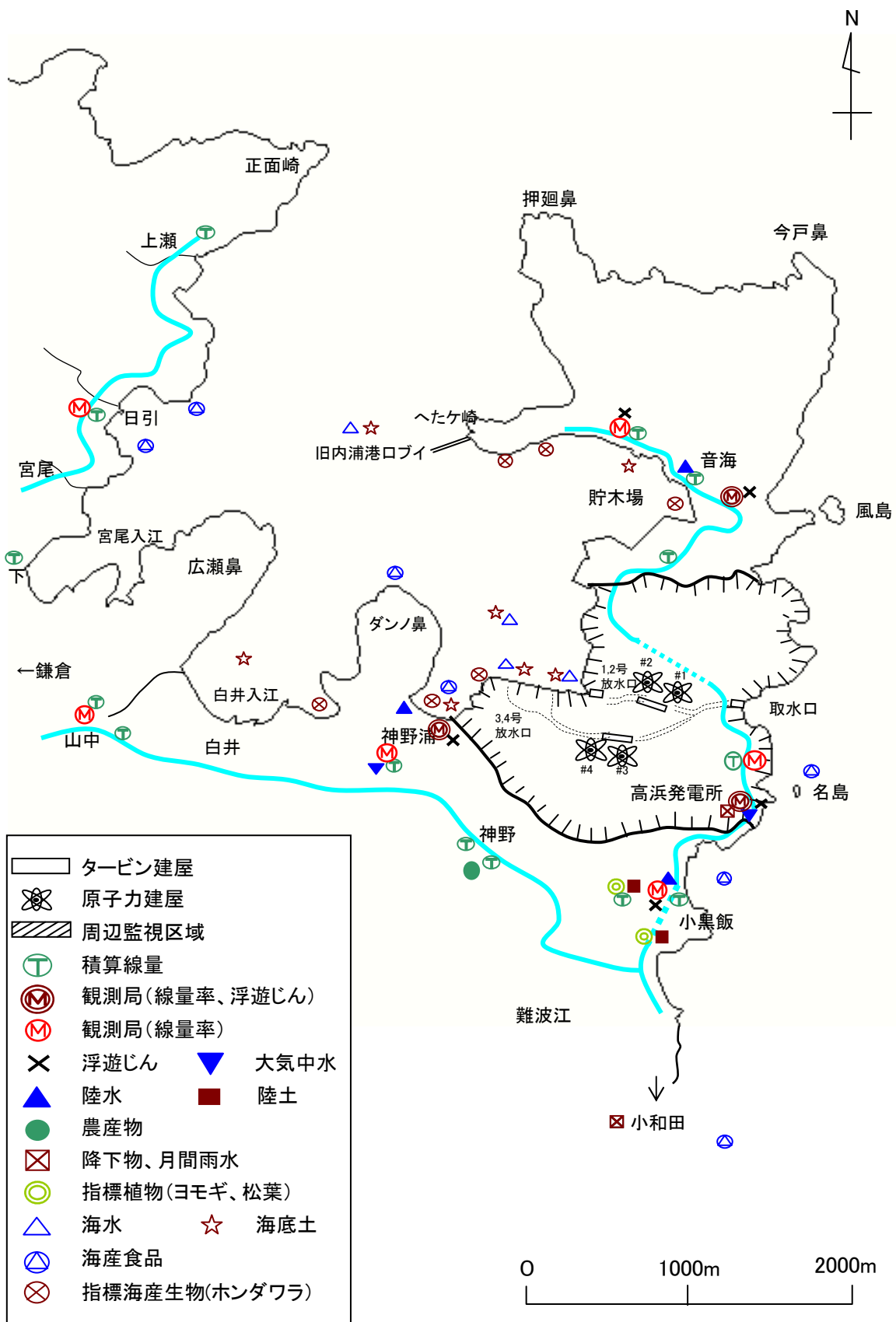
第5図 美浜発電所周辺の試料採取地点



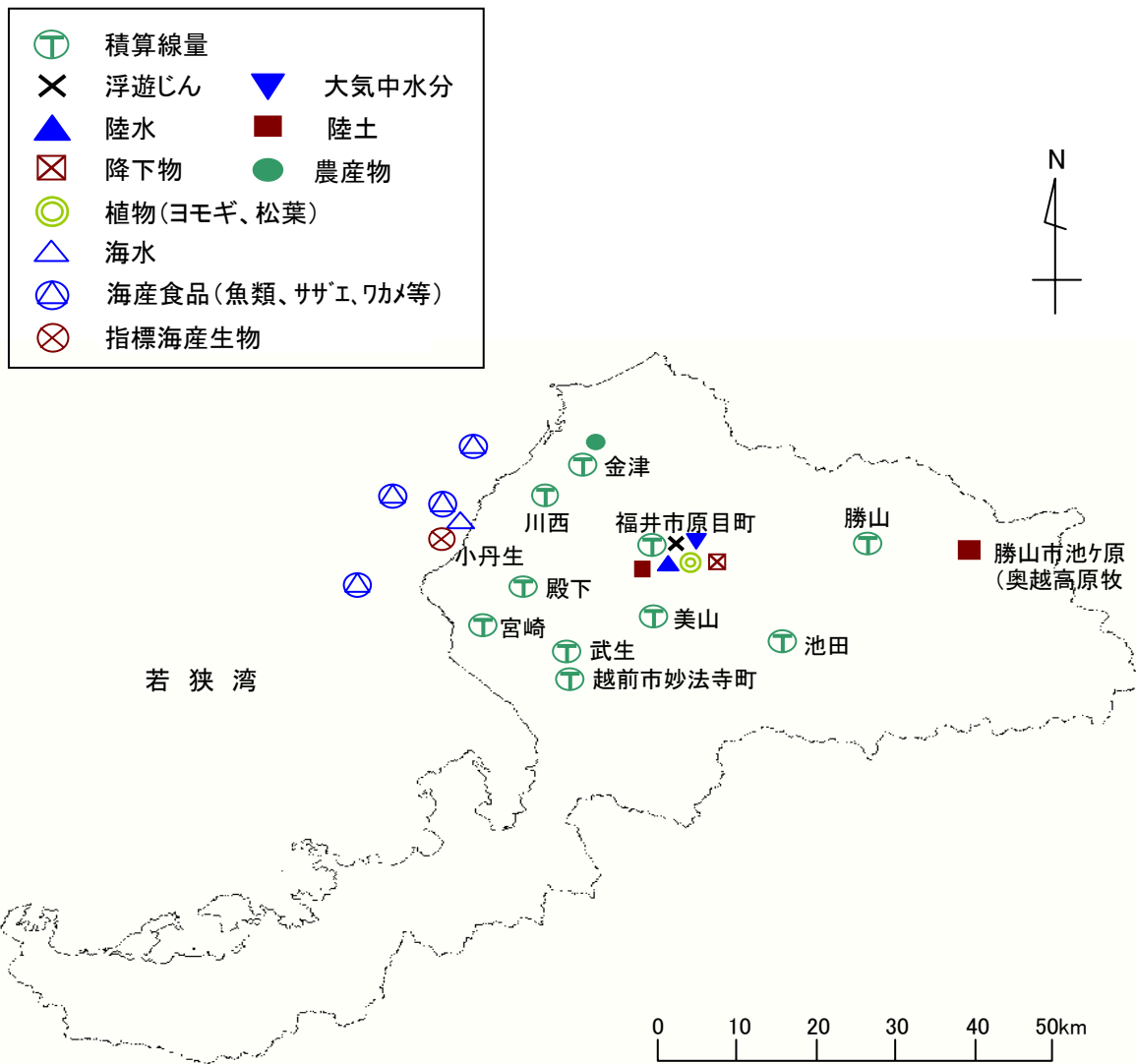
第6図 大飯発電所周辺の試料採取地点



第7図 高浜発電所周辺の試料採取地点



第8図 対照地区（嶺北地区）の試料採取地点



第1表 調査地点の詳細 その1 線量率連続測定

敦賀地区	敦賀 A	(福井県敦賀合同庁舎)	(1)	大飯地区	小浜 A	(小浜市役所)	(1)
	浦底 A ☆	(明神寮下県道脇)	(2)		日角浜 A ☆	(大島小学校)	(2)
	立石 A ☆	(八坂神社)	(3)		宮留 A ☆	(宮留バス停)	(3)
	河野 A	(南越前町河野総合事務所)	(4)		阿納尻 A	(内外海小学校)	(4)
	ふげん北 D	(北敷地境界付近)	(5)		長井 A	(地区ゲートボール場横)	(5)
	立石 B	(集落入口県道脇)	(6)		宮留 C	(エルパーク大飯下三叉路)	(6)
	立石山頂 B	(山頂付近)	(7)		日角浜 C	(大島公民館)	(7)
	ふげん西 D	(西敷地境界付近)	(8)		本郷 C	(おおい町役場)	(8)
	猪ヶ池 B	(敦賀原子力館下)	(9)		加斗 C	(加斗小学校)	(9)
	浦底 B	(県道脇・剣神社西)	(10)		小浜 C	(小浜市宮野球場)	(10)
	水試裏 B	(水産試験場裏)	(11)		西津 C	(小浜漁協西津支所)	(11)
	色ヶ浜 B	(白山神社)	(12)		堅海 C	(県栽培漁業センター)	(12)
	杵 D	(ひがし旅館駐車場横)	(13)		川上 C	(川上公民館)	(13)
	赤崎 D	(赤崎区民センター)	(14)		鹿野 C	(佐分利小学校)	(14)
	五幡 B	(東浦公民館)	(15)		名田庄 C	(名田庄観光館)	(15)
	阿曾 D	(東浦体育館)	(16)		上中 C	(上中体育館)	(16)
	杉津 B	(東浦小中学校下国道脇)	(17)				
	甲楽城 B	(河野小学校前)	(18)				
	今庄 B	(南越前町今庄総合事務所前国道脇)	(19)				
	越前厨 D	(城崎小学校脇)	(20)				
白木地区	白木 A ☆	(白木公民館東県道脇)	(1)	高浜地区	小黒飯 A ☆	(集落北県道脇)	(1)
	白木峠 A ☆	(旧道市町境)	(2)		音海 A ☆	(洞昌禅寺横広場東脇)	(2)
	松ヶ崎 D	(松ヶ崎)	(3)		神野浦 A ☆	(気比神社)	(3)
	白木Ⅰ D	(北東敷地境界)	(4)		山中 A	(内浦小中学校)	(4)
	白木Ⅱ D	(東南東敷地境界)	(5)		音海 C	(音海漁港奥)	(5)
	白木Ⅲ D	(南南東敷地境界)	(6)		田ノ浦 C	(南東敷地境界)	(6)
	白木Ⅳ D	(南西敷地境界)	(7)		小黒飯 C	(白浜トンネル北口)	(7)
美浜地区	丹生 A ☆	(丹生バス停)	(1)		神野浦 C	(集落南西道路脇)	(8)
	竹波 A ☆	(竹波集落センター)	(2)		日引 C	(旧日引小学校)	(9)
	坂尻 A	(坂尻神社東側出口南)	(3)		青郷 C	(青郷小学校)	(10)
	奥浦 C	(奥浦公園奥)	(4)		高浜 C	(高浜小学校)	(11)
	丹生 C	(丹生診療所)	(5)		和田 C	(和田小学校)	(12)
	丹生寮 C	(関電丹生寮)	(6)		田井 C	(田井コミュニティセンター)	(13)
	竹波 C	(高那弥神社)	(7)		夕潮台 C	(夕潮台公園)	(14)
	菅浜 C	(農業構造改善センター)	(8)				
	佐田 C	(美浜東小学校)	(9)				
	新庄 C	(日吉神社)	(10)				
	郷市 C	(美浜町役場)	(11)				
	早瀬 C	(水無月神社)	(12)				
	日向 C	(日向漁業センター)	(13)				
	三方 C	(若狭町役場三方庁舎)	(14)				

☆印の地点では、浮遊じん放射能の連続測定を行っている。

第1表 調査地点の詳細 その2 積算線量測定地点

敦賀地区	立石 A 5 (八坂神社)	(1)	美浜地区	奥浦 C (奥浦公園奥)	(1)	
	立石山頂 B 1 (原電モニタリングポスト)	(2)		丹生診療所 C 6 (丹生診療所)	(2)	
	ふげん西 D 2 (西敷地境界付近)	(3)		丹生 A 4 (中村旅館)	(3)	
	猪ヶ池 B 1 (原電モニタリングポスト)	(4)		丹生 C 3 (丹生漁港)	(4)	
	原子力館 B (敦賀原子力館敷地)	(5)		丹生小中学校A	(5)	
	水産試験場 B 2 (水産試験場)	(6)		丹生寮 C 5 (関電丹生寮)	(6)	
	明神寮 B 2 (明神寮)	(7)		竹波 A 4 (県テレメ観測局)	(7)	
	浦底 A 5 (剣神社)	(8)		竹波 C 5 (高那弥神社)	(8)	
	水試裏 B 1 (原電モニタリングポスト)	(9)		馬背川 C 2 (ポンプ場)	(9)	
	色ヶ浜 A 3 (本隆寺)	(10)		菅浜 A 3 (旧菅浜保育所)	(10)	
	手ノ浦 A 3 (舟幸寺)	(11)		菅浜 C 2 (民宿藤田横)	(11)	
	手ノ浦 B 3 (舟幸寺)	(12)		けやき台 C 1 (けやき台ハイツ)	(12)	
	沓 B 5 (常福寺)	(13)		佐田 A 3 (あおなみ保育園)	(13)	
	常宮 A 3 (常宮小学校)	(14)		坂尻 C 2 (三谷商店前)	(14)	
	常宮 B 4 (常宮神社)	(15)		新庄 C 3 (日吉神社)	(15)	
	縄間 B (宗清寺)	(16)		和田 A (ふる里交流センター)	(16)	
	名子 B 1 (名子バス停)	(17)		郷市 C 6 (美浜町役場)	(17)	
	松島 B 3 (原電松島寮)	(18)		久々子 C 1 (県園芸試験場)	(18)	
	松栄 B 3 (敦賀地方合同庁舎)	(19)		早瀬 C 5 (水無月神社)	(19)	
	赤崎 A 3 (赤崎小学校グラウンド)	(20)		日向 C 5 (日向漁業センター)	(20)	
	阿曾 A 2 (ふれあい会館)	(21)		三方 C 4 (若狭町役場三方庁舎)	(21)	
	杉津 A 4 (東浦小中学校)	(22)		沓見 C (原子力発電訓練センター)	(22)	
	元比田 A 5 (集落掲示板横)	(23)				
	大谷 A 3 (八幡神社)	(24)		大飯地区	赤礁崎 C (関電あかぐり崎クラブ)	(1)
	大良 B (大良集会所)	(25)			宮留奥 A (あかぐり海釣り公園)	(2)
	吉河 A 2 (原子力センター)	(26)			宮留 A 6 (県テレメ観測局)	(3)
		宮留 C 3 (エルパーク大飯下三叉路)	(4)			
		日角浜 C 3 (大島公民館)	(5)			
		西村 A 2 (常禅寺)	(6)			
		西村 C 1 (西村トシユ南口県道脇)	(7)			
		犬見 C 2 (集落手前道端)	(8)			
		本郷 A 4 (町営住宅サンハイムうらら)	(9)			
		本郷 C 5 (おおい町役場)	(10)			
		鯉川 A 2 (牛尾神社)	(11)			
		加斗 A 4 (加斗小学校)	(12)			
		西勢 A 2 (民宿つどい前ゲートボール場)	(13)			
		東勢 C 1 (旧道脇)	(14)			
		小浜市野球場 C 2 (小浜市営野球場)	(15)			
		小浜市大原 A 3 (栖雲寺)	(16)			
		若狭健康福祉センター A 2	(17)			
		西津 A 2 (水産高校)	(18)			
		西津 C 3 (小浜漁協西津支所)	(19)			
		堅海 A 2 (旧堅海小学校)	(20)			
		堅海 C 3 (県栽培漁業センター)	(21)			
		泊 C 2 (大谷旅館前)	(22)			
		川上 C 4 (川上公民館)	(23)			
		鹿野 C 5 (佐分利小学校)	(24)			
		名田庄 C 3 (名田庄観光館)	(25)			
		上中 C 3 (上中体育館)	(26)			
白木地区	白木 I D 2 (北東敷地境界)	(1)				
	白木 II D 2 (東南東敷地境界)	(2)				
	白木 III D 2 (南南東敷地境界)	(3)				
	白木 IV D 2 (南西敷地境界)	(4)				
	白木 A 4 (県テレメ観測局)	(5)				
	白木 D 6 (白木公民館東県道脇)	(6)				
	松ヶ崎 D 2 (機構モニタリングステーション)	(7)				
	白城神社 A 2 (神社鳥居横)	(8)				
	白城神社 D 4 ()	(9)				
	門ヶ崎 D 3	(10)				
	白木トシユ北口 A 2	(11)				
	白木トシユ北口 D 3	(12)				
	白木トシユ南口 A 2 (渓流水貯水池横)	(13)				
	もんじゅ寮 D 1 (もんじゅ寮前)	(14)				

第1表 調査地点の詳細 その2 積算線量測定地点(つづき)

高 浜 地 区	音 海 A 3 (児玉旅館)	(1)	対 照 地 区	金 津 A 2 (坂井健康福祉センター)	(1)
	音 海 C 4 (音海漁港奥)	(2)		川 西 A 3 (川西中学校)	(2)
	音海県道 C 1 (日本海港湾(株)保税上屋入口門付近)	(3)		福井市原目町 A 2 (福井分析管理室)	(3)
	田 ノ 浦 C (南東敷地境界)	(4)		殿 下 A 3 (殿下小学校)	(4)
	小 黒 飯 A 3 (寿奎寺裏旧道脇)	(5)		勝 山 A 3 (奥越土木(勝山))	(5)
	小 黒 飯 C 3 (白浜トンネル北口)	(6)		美 山 A 4 (美山児童館)	(6)
	旧神野小学校 A	(7)		宮 崎 A 3 (宮崎中学校)	(7)
	神 野 A 4 (桃源寺)	(8)		武 生 A 2 (丹南土木事務所)	(8)
	神 野 浦 C 2 (関電モニタポスト)	(9)		越前市妙法寺町 A (白山神社)	(9)
	山 中 A 3 (県テレメ観測局)	(10)		池 田 A 2 (池田町役場)	(10)
	山 中 C 2 (JA若狭内浦出張所)	(11)			
	下 A 2 (産霊神社)	(12)			
	日 引 C 3 (旧日引小学校)	(13)			
	上 瀬 A 2 (山神神社)	(14)			
	六 路 谷 A 3 (ふれあい会館)	(15)			
	六 路 谷 C 2 (杉森神社横)	(16)			
	高 野 C (旧青郷小学校高野分校)	(17)			
	青 郷 C 2 (青郷小学校)	(18)			
	東 三 松 A 4 (東三松グラウンド)	(19)			
	東 三 松 C 2 (民宿萩の家)	(20)			
	高浜町役場 A 3 (高浜町役場前庭)	(21)			
	高 浜 C (高浜小学校)	(22)			
	和 田 C 3 (和田小学校)	(23)			
	田 井 C 3 (田井コミュニティーセンター)	(24)			
	夕 潮 台 C 2 (夕潮台公園)	(25)			

第1表 (調査地点の詳細 つづき) その3 陸上試料採取地点(定点)

項目	地区	採取地点
大 ヨ 気 ウ 中 素 131	敦賀	浦底A (県テレメ観測局)
		白木白木A //
		美浜竹波A //
		大飯宮留A //
		高浜小黒飯A //
浮 遊 じ ん	敦賀	立石A (県テレメ観測局) *
		立石B (原電モニタリングステーション)
		浦底A (県テレメ観測局)
		浦底B (原電モニタリングステーション)
		色ヶ浜B //
	白木	白木A (県テレメ観測局)
		白木峠A (県テレメ観測局) *
		松ヶ崎D (機構モニタリングステーション)
		美浜丹生A (県テレメ観測局) *
	美浜	丹生 (関電モニタ°スト横)
		竹波A (県テレメ観測局)
	大飯	宮留A (県テレメ観測局)
		宮留 (関電モニタ°スト横)
		日角浜A (県テレメ観測局) *
	高浜	音海A (県テレメ観測局) *
		音海 (関電モニタ°スト横)
		小黒飯A (県テレメ観測局)
		小黒飯 (関電モニタ°スト横)
		神野浦A (県テレメ観測局) *
対照	原目町 (福井分析管理室)	
陸 水	敦賀	浦底 (水試蛇口)
		〃 (明神寮蛇口)
		白木白木 (民家蛇口)
		美浜丹生 (民家蛇口)
		〃 (民家蛇口)
	大飯	竹波 (漁協飼料保管解凍施設横)
		宮留 (民家蛇口)
		高浜小黒飯 (民家蛇口)
		音海 (民家蛇口)
		対照
大 気 中 水 分	敦賀	立石A (県テレメ観測局)
		猪ヶ池B (原電モニタリングポスト)
		浦底A (県テレメ観測局)
		浦底B (原電モニタリングステーション)
		色ヶ浜B (原電モニタリングステーション)
	白木	白木A (県テレメ観測局)
		白木峠A (県テレメ観測局)
	美浜	竹波A (県テレメ観測局)
		竹波 (落合川取水場)
	大飯	宮留A (県テレメ観測局)
		日角浜 (関電モニタ°スト横)
	高浜	小黒飯A (県テレメ観測局)
		神野浦 (関電モニタ°スト横)
	対照	原目町 (福井分析管理室)

項目	地区	採取地点
陸 土	敦賀	浦底 (明神寮)
		敦賀発電所北端周辺
		白木松ヶ崎 (機構モニタリングステーション)
		美浜丹生 (関電丹生寮)
		大飯日角浜 (島山神社)
高浜	畑村 (県道脇)	
	小黒飯 (旧道脇)	
	〃 (白浜トンネル上)	
対照	福井市原目町 (衛環研) 勝山市池ヶ原 (奥越高原牧場)	
指 標 植 物	敦賀	浦底 (明神寮下県道脇)
		白木白木 (松ヶ崎付近)
		美浜竹波 (落合川取水場付近)
		大飯日角浜 (島山神社付近)
		高浜小黒飯 (旧道脇)
		対照
松 葉	敦賀	浦底 (明神寮)
		敦賀発電所北端周辺
		白木白木トンネル北口付近
		美浜丹生 (奥浦公園入口付近)
		大飯畑村 (県道脇)
		高浜小黒飯 (白浜トンネル上)
対照	福井市寮町 (県農試)	
農 畜 産 物	敦賀	浦底
		白木白木
		美浜丹生
		大飯長井
		高浜神野
		対照
降 下 物	敦賀	浦底 (水試屋上)
		〃 (明神寮)
		白木松ヶ崎 (機構モニタリングステーション)
		美浜竹波 (落合川取水場)
		大飯丹生 (関電丹生寮)
		宮留 (県テレメ観測局)
高浜	日角浜 (ヴィラ大島)	
	小黒飯 (県テレメ観測局)	
	小和田 (小和田ポンプ所)	
	対照	原目町 (福井分析管理室)

(注1) 浮遊じん採取地点のうちで、*の地点は3ヶ月間の集合試料を分析。

(注2) 機関を示すアルファベットを使用している採地点では、線量率観測局舎内で試料を採取している。

(注3) 海洋試料の詳細な採取地点は図3～図8の採取地点図と各測定結果の採取地点欄に示されている。

第2表 空間線量測定法

積算線量	県 関電	各地点に3本(6素子)の熱ルミネッセンス線量計(TLD)を配備し3ヶ月毎の積算線量を測定	TLDの校正は ^{137}Cs で約0.2~0.3mGy照射して実施
	原電	各地点に1台の電子線量計を配備し、3ヶ月毎の積算線量を測定	電子式線量計の校正は ^{137}Cs で約0.2~0.3mGy照射して実施
	原子力 機構	各地点に4個の蛍光ガラス線量計を配備し、3ヶ月毎の積算線量を測定	蛍光ガラス線量計の校正は ^{137}Cs で約0.2~0.3mGy照射して実施
線量率 (連続測定)	県	鉄筋コンクリート製固定観測局屋上の地上高約2.8mに設置した①エネルギー補償方式の2"φ×2"NaI(Tl)シンチレーション式線量率計(3MeV以上はカット)および②約14ℓ球形加圧型の電離箱式線量率計を用いて、テレメータシステムにより集中監視。	NaI(Tl)測定器の校正は ^{226}Ra の3.7MBq等の線源を用い垂直方向1mで照射して実施。 電離箱については ^{226}Ra 3.7MBqを用い、感度確認を実施。
	原電	軽量気泡コンクリート(屋根は鉄筋コンクリート)製固定観測局屋上の地上高約4.5mに設置した①エネルギー補償方式の2"φ×2"NaI(Tl)シンチレーション式線量率計(3MeV以上はカット)および②14.5ℓ球形加圧型の電離箱式線量率計を用いて、テレメータシステムにより集中監視。	NaI(Tl)測定器の校正は ^{226}Ra の3.7MBq等の密封線源を用い垂直方向1mで実施。
	関電 美浜	鉄筋コンクリート製固定観測局屋上の地上高約3.2mに設置した①エネルギー補償方式の2"φ×2"NaI(Tl)シンチレーション式線量率計(3MeV以上はカット)および②14.5ℓ球形加圧型の電離箱式線量率計を用いて、テレメータシステムにより集中監視。	
	関電 大飯 高浜	軽量気泡コンクリート製固定観測局屋上の地上高約3.4m(高浜は約3.5m)に設置した①エネルギー補償方式の2"φ×2"NaI(Tl)シンチレーション式線量率計(3MeV以上はカット)および②14.5ℓ(高浜は14ℓ)球形加圧型の電離箱式線量率計を用いて、テレメータシステムにより集中監視。	
	原子力 機構	鉄筋コンクリート製固定観測局で地上高約3.5mに設置した①エネルギー補償方式の2"φ×2"(ふげん西D、ふげん北Dは3"球形)NaI(Tl)シンチレーション式線量率計(3MeV以上はカット)および②14.5ℓ球形加圧型の電離箱式線量率計を用いて、テレメータシステムにより集中監視。	NaI(Tl)測定器の校正は ^{226}Ra 3.7MBqの線源を用い垂直方向1mで実施。
線量率 (モータリングカー)	県	車:ワンボックス 検出器:2"φ×2"NaI(Tl) 検出器位置:屋根(地上高2.7m)	
	原電	車:ワゴン 検出器:2"φ×2"NaI(Tl) 検出器位置:窓際(地上高1.5m)	
	関電	車:ワゴン 検出器:2"φ×2"NaI(Tl) 検出器位置:屋根(地上高3.5m)	
	原子力 機構	車:マイクロバス 検出器:2"球形NaI(Tl) 検出器位置:屋根(地上高2.9m)	車:マイクロバス 検出器:3"球形NaI(Tl) 検出器位置:屋根(地上高2.9m)

第3表 浮遊じん放射能の連続測定法

浮遊じん (連続測定)	県 HE-40T長尺ろ紙(90m)を用い毎分約100 で3時間吸引し、ろ紙をステップ送りする。吸引中、ろ紙に吸着した放射能のアルファ(α)線およびベータ(β)線をZnS塗布プラスチックシンチレーション検出器(有効径50mmφ、0.5mm厚)を用いて波形弁別方式により同時測定し、それぞれの計数值より平衡仮定した3時間平均濃度を求め、β/α放射能濃度比を求める。(平成9年度機器更新、平成10年度より新装置)	校正は測定装置集塵面と同一形状の標準線源(U ₃ O ₈ 、 ²⁴¹ Am、 ³⁶ Cl)により実施。
----------------	--	---

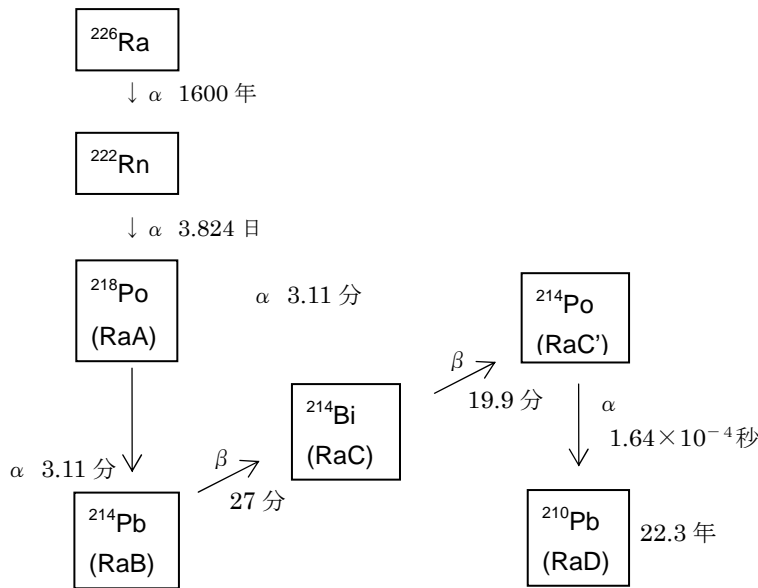


図1 ラドン(Rn)娘核種崩壊系列

浮遊じん放射能の連続測定において算出している放射能濃度は、ラドンの娘核種RaA、RaB、RaC、RaC'、それぞれの比が1 : 1 : 1 : 1と仮定して計算されるラドン娘核種あたりの平衡仮定濃度である。

$$Q = \frac{\lambda \cdot C \times 10^3}{\varepsilon \cdot \zeta \cdot \eta \cdot q \cdot F(S, T) \cdot \kappa} \dots\dots (1)$$

- Q : ラドン娘核種濃度 (Bq/m³)、λ : RaA の崩壊定数 (sec⁻¹)
- C : 測定時間中の正味の計数值、ε : 計数効率、ζ : 発現効率
- η : 捕集効率、q : 捕集流量 (λ · sec⁻¹)、κ : 補正係数
- F (S, T) : Batemannの式の解 (sec)

S : 捕集開始から現在までの時間(sec)、T : 計数開始から現在までの時間(sec)

平衡仮定濃度Qは、α計数值、β計数值からそれぞれ求められ (Q_A、Q_Bとする)、Q_Aに対するQ_Bの比率 (Q_B/Q_A=R_{BA}) をモニタリングの指標としている。通常では、ほとんどがラドン娘核種による計数值であるため、R_{BA}はほぼ一定であるが、発電所の寄与があった場合、放出される核種はほとんどがβ線放出核種であり、β計数值が増えるため、R_{BA}が上昇する。

空気中のガス状ヨウ素-131に対しては、ろ紙を通過した空気を50℃に加温し、毎分20 でCHC-50 (TEDA添着活性炭) に通して捕集し、ゲルマニウム測定器でバッチ測定している。

第4表 ゲルマニウム検出器による核種分析測定法

区分	試料	測定試料形態		測定用試料量		目的核種	参考核種	天然核種		
陸上モニタリング	大気中ヨウ素	県	活性炭カートリッジ CHC-50 (TEDA 添着炭)	約 400m ³ (連続採取)		¹³¹ I (ガス状)				
	浮遊じん	県	ろ紙 (HE-40T)	約 4000m ³ (連続採取)		²² Na, ⁵⁴ Mn, ⁵⁸ Co, ⁶⁰ Co, ¹³¹ I, ¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru, ¹⁴⁴ Ce	⁷ Be		
			ろ紙 (GB-100R)	約 1000m ³ (1日採取)						
	陸水	原電・関電・機構	ろ紙 (HE-40T)	約 2000m ³ (連続採取)		⁵⁴ Mn, ⁵⁸ Co, ⁶⁰ Co, ¹³¹ I, ¹³⁷ Cs				
			県	直接(マリネリカー)	2ℓ					
	陸土	樹脂吸着	乾燥ふるい、2mm 以下 (0~5cm で採取)	乾土	300 g 程度				⁵⁴ Mn, ⁵⁸ Co, ⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs	⁷ Be, ⁴⁰ K, Th-, U-系 列
			原電・関電・機構	樹脂吸着	10ℓ					
	農産物	乾燥物 (粉砕)	生 500 g 程度		²² Na, ⁵⁴ Mn, ⁵⁸ Co, ⁶⁰ Co, ¹³¹ I, ¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru, ¹⁴⁴ Ce, ¹⁴⁰ Ba			⁷ Be, ⁴⁰ K	
	原乳	直接(マリネリカー)	2ℓ							
	植物	乾燥物 (粉砕)	生 400 g 程度							
降下物	樹脂吸着	県・原電・関電・機構	約 0.2m ² 以上	約 0.2m ²		¹³⁷ Cs			⁷ Be	
			約 0.5m ²	約 0.5m ²						
海洋モニタリング	海水	MnO ₂ 法、AMP 法		20ℓ		⁵⁹ Fe, ¹³⁴ Cs				
	海底土	乾燥ふるい、2mm 以下 (主にエクマンバウジ採泥器で採取)		乾土	300 g 程度	⁵⁴ Mn, ⁵⁸ Co, ⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs	⁷ Be, ⁴⁰ K, Th-, U-系 列			
	海産食品	魚類	灰化物		生	1kg 程度	²² Na, ⁵⁴ Mn, ⁵⁸ Co, ⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru, ¹⁴⁴ Ce		
		貝類	灰化物		生 (除殻)	200 g 程度				
		藻類	乾燥物 (粉砕)		生	500g 程度	²² Na, ⁵⁴ Mn, ⁵⁸ Co, ⁶⁰ Co, ¹³¹ I, ¹³⁷ Cs		⁷ Be, ⁴⁰ K	
	指標海産生物	乾燥物 (粉砕)		ホタテ (生)	1kg 程度	²² Na, ⁵⁴ Mn, ⁵⁸ Co, ⁶⁰ Co, ¹³¹ I, ¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru, ¹⁴⁴ Ce, ¹⁴⁰ Ba			

(注) 計測時間は 500分以上。試料採取から測定までの期間は、¹³¹Iを対象とする試料は10日以内、¹³¹Iを対象としない試料は30日以内を目標とする。測定容器は各機関ともプラスチック製タッパーウェア V-1 (直径60mm、高さ30mm)、V-2 (同80mm、40mm)、V-3 (同95mm、50mm)、マリネリ容器(2ℓ)を使用する。

第4-2表 ゲルマニウム検出器による核種分析の検出目標値

試料	^{22}Na	^{54}Mn	^{58}Co	^{60}Co	^{137}Cs	^{131}I	表示単位	
陸上	大気	/	/	/	/	0.2	mBq/m ³	
	浮遊じん	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08		
	陸水	/	100	100	100	100	mBq/l	
	陸土	/	2	2	1.5	1.5	Bq/kg 乾土	
	農産物	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.8	Bq/kg 生
	指標植物	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.8	〃
	松葉	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	2	〃
降下物	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	Bq/m ²	
海洋	海水	/	8	8	8	8	mBq/l	
	海底土	/	2	2	2	2	Bq/kg 乾土	
	魚類	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	Bq/kg 生	
	貝類	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	〃	
	藻類	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.8	〃
	指標海産生物	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.8	〃

(注) 「/」は対象外。

第5表 液体シンチレーション検出器によるトリチウム測定法

分析試料	採取方法	測定試料	測定
蛇口水	蛇口より直接採取	採取時試料	蒸留後、試料水 40ml 「50ml」に乳化シンチレーター 60ml 「50ml」を加え、冷暗所に放置。 500分(50分×10回)測定。 検出限界値 0.5~1 Bq/l。 (注) 「」内は原子力機構が採用
大気中水分	除湿機による	月間試料	
雨水	トリチウム用 雨水採取器	3ヶ月間の月別 加重平均混合試料	
海水	船から直接採取	採取時試料	

第6表 ストロンチウム-90・プルトニウム測定法

区分	種類	分析試料量	
		ストロンチウム-90 (県)	プルトニウム (県、機構)
海底土	/	/	県: 20g乾土、機構: 20g乾土
陸土	/	/	県: 20g乾土、機構: 50g乾土
降下物	/	樹脂灰化物全量 県: 樹脂灰化物全量	
指標植物	ヨモギ	生500~1,000g(灰10~20g)	県: 生500~1,000g(灰10~20g)
農産物	大根葉	/	県: 生、約1,000g(灰、約10g)
海産食品	魚類(マグロ、ハマチ等)	/	県: 生500~1,000g(灰10~20g)
	貝類(サザエ、アサリ)		機構: 生500~1,500g(灰20g)
	藻類(ワカメ等)		
指標海産生物	ホンダワラ	生200~300g(灰10~20g)	県: 生200~400g(灰10~20g)
測定条件等		[目的核種]Sr-90 [分離法]エタノール・エーテル法 [測定時間]80,000秒以上	[目的核種]Pu-239(+240)、238 [分離法]県、機構: 陰イオン交換法 [測定時間]県: 80,000秒以上 (通常200,000秒) 機構: 80,000秒

第7表 測定器

(平成23年3月31日現在)

	県	原 電	関 電	原子力機構
積算線量	パナソニックUD-5160P UD-200S	富士電機 NSD3	パナソニック UD-512P UD-5120PGL UD-200S	旭テクノガラス FGD-202 FGD-202S SC-1
線量率 (連続測定)	東芝電力放射線 テクノサービス 2"φ×2"NaI(Tl) エネルギー, 温度補償型 東芝電力放射線 テクノサービス 約140 球形電離箱 Arガス 4気圧 〔 NaI(Tl) A0 2mmカバーおよびFRP 2mm遮熱 ケース付、検出 部へ定温送風 〕 〔 電離箱 CFRP 1mmカバー付、 検出部へ定温送 風 〕	富士 2"φ×2"NaI(Tl) エネルギー, 温度補償型 富士 14.50 球形電離箱 Arガス 8気圧 〔 両検出器とも A0 1mmカバー付、検 出部へ定温送風 〕	【美浜地区】 富士 2"φ×2"NaI(Tl) エネルギー, 温度補償型 富士 14.50 球形電離箱 Arガス 約780kPa 〔 両検出器とも A0 1mmカバー付、検 出部へ定温送風 〕	【敦賀、白木地区】 富士 2"φ×2"NaI(Tl) エネルギー, 温度補償型 (ふげん西D、ふげん 北Dは3"型) 富士; 14.50 球形 電離箱Arガス 8気圧 〔 両検出器とも A0 1mmカバー付、検 出部へ定温送風 〕
			【大飯地区】 富士 2"φ×2"NaI(Tl) エネルギー, 温度補償型 富士 14.50 球形電離箱 Arガス 8気圧 〔 両検出器とも A11mmカバーつき、検 出部へ定温送風 〕	【高浜地区】 アロカ 2"φ×2"NaI(Tl) エネルギー, 温度補償型 アロカ 140 球形電離箱 N ₂ +Arガス 4気圧 〔 両検出器とも AAS3mmカバーつき、検 出部へ定温送風 〕
浮遊じんの 放射能 (連続測定)	富士電機 検出器2"φ プラスチックシンチレタ、 ZnS(Ag)シンチレタ塗布			
トリチウム	アロカ LSC-LB5	アロカ LSC-LB5	アロカ LSC-LB5	アロカ LSC-LB5, LSC-LB3
ガンマ線 スペクトロ メトリー	オルテック GEM50-83-S HPGe55% キャンベラ GC4518 HPGe56% キャンベラ GC5019 HPGe57% キャンベラ GX-4519 γ-XHPGe59% キャンベラ GC4019/S HPGe43% キャンベラ製 波高分析器 5台	オルテック GEM-30195 HPGe 35% オルテック GEM-30195 HPGe 31% オルテック GEM-30195 HPGe 35% セイコーEG&G 7700シリーズ 波高分析器 1台	オルテック GEM30-70 HPGe34% オルテック GEM30-70-S HPGe35% プリンストンコンマテック IGC30185SD HPGe34% オルテック GEM30-70 HPGe34% オルテック GEM30-70 HPGe35% オルテック GEM30-70 HPGe34% セイコーEG&G 7600 波高分析器 3台	オルテック GEM-30185 HPGe34% オルテック GEM-30185 HPGe34% オルテック GEM-30185 HPGe32% オルテック GEM-45190 HPGe51% セイコーEG&G 7700シリーズ 波高分析器 2台
ストロンチウム	富士電機ビコバータ1インチ			
アルファ 放射能 (プルトニウム 239+240)	オルテック表面障壁型シリコン半導体 検出器 BU020-045-AS セイコーEG&G MCA7700			オルテック表面障壁型シリコン半導体 検出器 BR-SNA-450-100 セイコーEG&G MCA7600

第8表 空間線量率連続測定結果 その1 県テレメータシステム

機関：A（県）、線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3 σ をこえた 時間	M+3 σ をこえた 時間と原因		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
敦賀	敦賀A	4月	67.6	50.6	53.4	2.9	20	20	0	53.5
		5月	74.0	50.5	53.4	2.9	17	17	0	
		6月	71.3	50.9	53.5	2.7	17	17	0	
		7月	94.4	50.8	54.7	5.1	17	17	0	
		8月	64.1	50.6	53.3	2.1	8	4	4	
		9月	69.0	50.5	53.5	2.9	17	17	0	
		10月	72.6	50.3	53.7	2.6	12	12	0	
		11月	71.0	50.7	53.8	2.6	17	17	0	
		12月	89.3	48.4	56.2	6.9	23	23	0	
		1月	92.6	26.9	53.8	7.1	9	9	0	
		2月	70.9	27.7	49.7	6.7	1	1	0	
		3月	81.3	53.5	58.9	3.6	16	16	0	
		年間	94.4	26.9	54.0	4.8	174	170	4	
	浦底A	4月	95.7	63.3	66.4	3.5	20	20	0	66.3
		5月	89.4	62.5	66.3	3.2	23	23	0	
		6月	83.6	63.1	66.5	2.4	16	16	0	
		7月	112.2	62.5	67.0	5.2	21	21	0	
		8月	80.7	65.0	67.3	1.5	11	11	0	
		9月	82.2	64.2	67.1	2.5	20	20	0	
		10月	79.2	63.6	66.5	2.1	20	20	0	
		11月	80.4	63.6	66.9	2.3	22	22	0	
		12月	114.4	60.2	69.1	6.7	18	18	0	
		1月	104.0	28.8	67.6	7.9	11	11	0	
		2月	89.7	29.9	59.9	10.9	0	0	0	
		3月	106.0	65.3	74.8	4.4	17	17	0	
		年間	114.4	28.8	67.1	6.0	199	199	0	
	立石A	4月	82.3	59.8	62.1	2.4	20	20	0	62.7
		5月	71.5	59.7	62.1	1.8	24	24	0	
		6月	71.3	60.1	62.2	1.3	14	14	0	
		7月	93.1	59.5	62.3	2.5	16	16	0	
		8月	67.9	61.6	63.4	0.9	4	3	1	
		9月	72.0	61.0	63.2	1.5	12	12	0	
		10月	69.9	60.3	62.7	1.3	14	14	0	
11月		72.1	60.3	62.8	1.5	20	20	0		
12月		89.6	60.5	64.2	4.4	15	15	0		
1月		88.7	41.3	63.9	4.7	13	13	0		
2月		84.2	41.8	60.3	4.8	3	3	0		
3月		90.5	60.1	67.0	3.4	13	13	0		
年間		93.1	41.3	63.0	3.2	168	167	1		

過去平均線量率：2007～2009年度

第8表 空間線量率連続測定結果 その1 県テレメータシステム

機関：A（県）、線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3 σ をこえた 時間	M+3 σ をこえた 時間と原因		過去 平均 線量率	
								降雨	その他		
敦賀	河野A	4月	64.1	41.4	43.3	2.5	19	19	0	43.4	
		5月	61.2	41.2	43.2	2.3	22	22	0		
		6月	61.3	41.2	43.3	2.3	15	15	0		
		7月	79.1	41.0	43.6	3.8	18	18	0		
		8月	50.3	41.1	42.9	1.1	13	13	0		
		9月	56.1	41.3	43.3	2.1	18	18	0		
		10月	85.3	41.2	43.1	2.7	10	10	0		
		11月	57.9	41.1	43.6	2.2	19	19	0		
		12月	72.3	41.7	45.8	5.0	17	17	0		
		1月	73.6	34.6	46.5	5.0	12	12	0		
		2月	58.0	35.1	43.4	2.4	18	18	0		
		3月	67.3	41.9	47.0	3.2	16	16	0		
		年間	85.3	34.6	44.1	3.4	197	197	0		
白木	白木A	4月	93.7	68.6	71.5	3.7	24	24	0	72.1	
		5月	94.1	67.8	71.5	3.7	23	23	0		
		6月	96.0	68.4	71.5	2.7	18	18	0		
		7月	133.3	67.7	72.0	5.5	21	21	0		
		8月	84.2	70.1	72.9	1.3	9	9	0		
		9月	91.6	69.5	73.0	2.8	19	19	0		
		10月	91.6	69.1	71.9	2.6	19	19	0		
		11月	86.9	68.6	71.8	2.4	22	22	0		
		12月	123.8	68.3	73.5	6.4	18	18	0		
		1月	101.0	37.7	71.8	7.8	12	12	0		
		2月	93.4	38.3	66.6	9.0	0	0	0		
		3月	105.0	68.2	77.8	4.6	15	15	0		
		年間	133.3	37.7	72.2	5.4	200	200	0		
	白木峠A	白木峠A	4月	93.3	67.7	70.7	3.9	24	24	0	72.0
			5月	95.1	67.2	71.0	3.5	23	23	0	
			6月	94.3	67.8	71.3	2.8	19	19	0	
			7月	139.6	66.8	72.1	6.1	19	19	0	
			8月	85.3	71.6	74.9	1.4	7	7	0	
			9月	93.7	70.4	74.6	3.4	17	17	0	
			10月	93.6	69.4	72.6	2.8	16	16	0	
			11月	89.8	69.3	72.5	2.5	20	20	0	
			12月	103.7	64.8	73.3	5.9	21	21	0	
			1月	102.0	33.2	67.3	8.0	7	7	0	
2月	99.5	33.9	64.2	11.4	1	1	0				
3月	97.5	67.4	71.2	3.4	25	25	0				
年間	139.6	33.2	71.4	6.0	199	199	0				

過去平均線量率：2007～2009年度

第8表 空間線量率連続測定結果 その1 県テレメータシステム

機関：A（県）、線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3 σ をこえた 時間	M+3 σ をこえた 時間と原因		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
美浜	丹生A	4月	74.7	50.8	53.7	3.6	20	20	0	54.2
		5月	76.3	51.1	54.0	3.3	25	25	0	
		6月	75.5	52.2	54.3	2.5	15	15	0	
		7月	105.9	51.5	54.8	5.3	20	20	0	
		8月	62.7	52.3	54.3	1.1	10	10	0	
		9月	71.0	51.9	54.6	2.5	22	22	0	
		10月	69.0	51.7	54.3	2.4	20	20	0	
		11月	76.9	52.0	54.4	2.3	19	19	0	
		12月	93.7	52.0	56.9	6.5	19	19	0	
		1月	88.0	33.0	56.2	6.6	15	15	0	
		2月	79.9	34.8	52.0	4.8	10	10	0	
		3月	80.0	51.3	57.9	4.0	18	18	0	
		年間	105.9	33.0	54.8	4.4	213	213	0	
	竹波A	4月	79.1	58.0	61.3	3.5	23	23	0	62.2
		5月	74.4	57.8	61.1	2.7	23	23	0	
		6月	86.0	58.7	61.5	2.6	19	19	0	
		7月	114.7	58.4	62.2	5.3	17	17	0	
		8月	70.2	60.9	62.8	1.1	9	9	0	
		9月	80.3	59.5	62.8	2.6	22	22	0	
		10月	76.9	59.5	61.9	2.3	20	20	0	
		11月	83.1	59.0	62.5	2.3	21	21	0	
		12月	100.0	59.7	64.8	6.8	23	23	0	
		1月	105.0	41.9	63.5	6.8	11	11	0	
		2月	90.8	42.8	60.2	5.3	7	7	0	
		3月	94.5	60.0	71.5	4.6	15	15	0	
		年間	114.7	41.9	63.0	5.0	210	210	0	
	坂尻A	4月	77.7	52.2	55.0	3.7	23	23	0	55.6
		5月	72.0	50.9	54.6	3.0	20	20	0	
		6月	82.9	51.9	54.9	3.2	21	21	0	
		7月	122.0	51.4	56.3	6.9	12	12	0	
		8月	68.7	53.8	56.3	1.5	10	10	0	
		9月	77.0	53.4	56.7	3.1	21	21	0	
		10月	78.6	52.3	55.3	3.3	21	21	0	
		11月	97.5	52.6	55.6	3.7	14	14	0	
		12月	98.8	50.6	57.9	7.5	21	21	0	
1月		97.6	30.9	52.5	8.5	11	11	0		
2月		81.0	31.3	49.6	7.7	4	4	0		
3月		79.0	51.7	55.9	4.0	26	26	0		
年間		122.0	30.9	55.1	5.5	204	204	0		

過去平均線量率：2007～2009年度

第8表 空間線量率連続測定結果 その1 県テレメータシステム

機関：A（県）、線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3σ をこえた 時間	M+3σをこえた 時間と原因		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
大飯	小浜A	4月	57.7	40.4	42.7	2.4	27	27	0	42.9
		5月	55.7	40.2	42.6	2.1	23	23	0	
		6月	58.9	40.5	43.0	2.2	20	20	0	
		7月	80.7	40.4	43.6	3.9	14	14	0	
		8月	49.7	40.4	42.6	1.5	9	9	0	
		9月	60.3	40.5	43.4	2.8	19	19	0	
		10月	73.2	40.3	43.3	3.3	16	16	0	
		11月	69.3	40.6	43.7	3.6	20	20	0	
		12月	82.7	40.5	44.9	6.0	20	20	0	
		1月	76.9	34.1	43.9	6.4	22	22	0	
		2月	59.1	40.5	43.1	2.6	13	13	0	
		3月	64.9	39.4	47.3	3.9	12	12	0	
		年間	82.7	34.1	43.7	3.9	215	215	0	
	日角浜A	4月	58.1	36.9	39.1	2.9	17	17	0	39.1
		5月	50.2	36.4	38.6	2.2	22	22	0	
		6月	61.2	36.4	38.9	2.4	16	16	0	
		7月	72.5	36.6	39.6	4.2	25	25	0	
		8月	48.0	36.8	38.7	1.4	10	10	0	
		9月	68.0	36.6	39.3	3.4	18	18	0	
		10月	68.2	36.6	39.6	3.9	22	22	0	
		11月	77.1	37.0	39.9	3.8	17	17	0	
		12月	80.4	37.0	41.3	6.8	21	21	0	
		1月	81.6	28.2	40.0	7.4	21	21	0	
		2月	61.8	33.9	39.1	3.2	16	16	0	
		3月	66.7	36.5	42.4	4.2	16	16	0	
		年間	81.6	28.2	39.7	4.3	221	221	0	
	宮留A	4月	52.0	30.5	32.8	2.8	19	19	0	33.0
		5月	45.3	29.8	32.4	2.3	21	21	0	
		6月	54.2	30.3	32.6	2.4	14	14	0	
		7月	65.7	30.1	33.4	4.1	23	23	0	
		8月	41.8	30.5	32.7	1.6	10	10	0	
		9月	56.4	31.0	33.6	3.3	19	19	0	
		10月	58.4	30.7	33.6	3.5	22	22	0	
11月		70.3	30.7	33.8	3.9	21	21	0		
12月		74.1	30.6	35.1	7.1	23	23	0		
1月		70.9	25.2	35.0	6.7	19	19	0		
2月		57.5	30.1	33.3	3.2	12	12	0		
3月		53.3	30.9	34.9	3.4	16	16	0		
年間		74.1	25.2	33.6	4.1	219	219	0		

過去平均線量率：2007～2009年度

第8表 空間線量率連続測定結果 その1 県テレメータシステム

機関：A（県）、線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3 σ をこえた 時間	M+3 σ をこえた 時間と原因		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
大飯	阿納尻A	4月	45.8	27.6	29.9	2.6	21	21	0	30.1
		5月	40.0	27.0	29.5	2.0	18	18	0	
		6月	45.2	27.7	29.8	2.2	19	19	0	
		7月	64.6	27.5	30.4	3.9	18	18	0	
		8月	40.2	27.5	29.5	1.6	12	12	0	
		9月	45.4	27.7	30.1	2.5	22	22	0	
		10月	58.0	27.1	30.3	3.3	22	22	0	
		11月	55.6	27.4	30.9	3.6	22	22	0	
		12月	78.9	27.8	32.5	6.8	24	24	0	
		1月	79.5	21.4	30.9	6.6	16	16	0	
		2月	48.5	24.8	30.0	2.8	18	18	0	
		3月	52.4	26.7	32.3	3.6	19	19	0	
		年間	79.5	21.4	30.5	3.9	231	231	0	
	長井A	4月	55.6	32.4	35.0	3.1	14	14	0	35.3
		5月	51.6	31.8	34.6	2.4	14	14	0	
		6月	57.1	32.6	35.1	2.5	18	18	0	
		7月	66.3	32.5	35.8	3.8	23	23	0	
		8月	53.5	32.9	35.3	1.6	8	8	0	
		9月	70.2	33.0	36.1	3.8	20	20	0	
		10月	69.8	32.7	36.0	4.6	19	19	0	
11月		96.3	32.9	36.5	6.5	17	17	0		
12月		90.0	32.9	38.0	8.4	23	23	0		
1月		73.5	24.7	34.9	8.8	15	15	0		
2月		64.7	24.9	34.5	4.5	12	12	0		
3月		65.3	29.8	37.4	5.2	13	13	0		
年間		96.3	24.7	35.8	5.2	198	198	0		
高浜	小黑飯A	4月	51.8	34.9	37.1	2.8	21	21	0	37.2
		5月	49.5	34.5	36.7	2.1	26	26	0	
		6月	56.1	35.0	37.0	2.4	17	17	0	
		7月	66.1	34.7	37.4	3.8	23	23	0	
		8月	47.8	35.4	36.8	1.0	13	13	0	
		9月	59.6	35.3	37.7	3.5	24	24	0	
		10月	69.0	35.2	37.7	4.1	20	20	0	
		11月	83.2	35.3	38.1	5.1	21	21	0	
		12月	86.0	35.5	39.6	7.2	23	23	0	
		1月	68.6	28.9	38.5	6.3	21	21	0	
		2月	57.4	32.9	37.3	3.0	16	16	0	
		3月	62.4	34.4	39.8	4.0	15	15	0	
		年間	86.0	28.9	37.8	4.3	240	240	0	

過去平均線量率：2007～2009年度

第8表 空間線量率連続測定結果 その1 県テレメータシステム

機関：A（県）、線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3 σ をこえた 時間	M+3 σ をこえた 時間と原因		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
高浜	音海A	4月	59.3	38.0	40.8	3.4	20	20	0	39.8
		5月	54.9	38.1	40.4	2.3	24	24	0	
		6月	62.3	38.5	40.7	2.5	20	20	0	
		7月	73.1	38.4	41.2	3.9	24	24	0	
		8月	52.2	39.1	40.8	1.1	14	14	0	
		9月	71.0	39.1	41.8	4.1	25	25	0	
		10月	83.2	38.9	41.7	4.3	21	21	0	
		11月	77.7	38.9	42.1	4.8	18	18	0	
		12月	95.8	39.1	44.0	7.9	27	27	0	
		1月	78.9	35.3	44.2	6.8	18	18	0	
		2月	65.0	38.6	41.2	3.3	14	14	0	
		3月	65.7	37.4	43.1	4.3	14	14	0	
		年間	95.8	35.3	41.8	4.6	239	239	0	
	神野浦A	4月	44.6	24.9	27.3	3.2	18	18	0	27.4
		5月	40.2	24.4	26.6	2.1	24	24	0	
		6月	45.8	25.1	26.8	2.1	19	19	0	
		7月	57.9	24.9	27.3	3.6	23	23	0	
		8月	35.1	25.5	26.9	0.9	14	14	0	
		9月	49.3	25.8	27.9	3.0	24	24	0	
		10月	56.5	25.3	27.7	3.6	16	16	0	
		11月	70.2	25.3	28.3	5.5	22	22	0	
		12月	85.9	25.1	29.9	8.1	21	21	0	
		1月	68.1	20.8	28.8	7.2	20	20	0	
		2月	49.5	23.3	27.2	3.4	18	18	0	
		3月	54.0	22.9	28.8	4.4	17	17	0	
		年間	85.9	20.8	27.8	4.5	236	236	0	
	山中A	4月	43.2	24.0	26.6	3.1	15	15	0	26.7
		5月	38.7	23.9	25.9	2.2	25	25	0	
		6月	46.9	24.2	26.2	2.4	21	21	0	
		7月	60.3	24.3	26.9	4.3	22	22	0	
		8月	38.8	24.3	25.9	1.3	12	12	0	
		9月	49.2	24.5	26.9	3.4	23	23	0	
		10月	69.6	24.1	27.0	4.7	18	18	0	
11月		87.0	24.5	28.0	6.3	22	22	0		
12月		110.3	24.0	29.6	8.8	20	20	0		
1月		60.2	11.3	21.3	7.9	13	13	0		
2月		41.9	12.0	22.0	5.1	7	7	0		
3月		53.8	21.1	28.1	4.5	20	20	0		
年間		110.3	11.3	26.2	5.5	218	218	0		

過去平均線量率：2007～2009年度

第9表 空間線量率連続測定結果 その2 施設者のテレメータシステム

(測定地点の添字は担当機関を示す。B：原電、C：関電、D：原子力機構)

線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3 σ をこえた 時間	M+3 σ をこえた 時間と原因		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
敦賀	ふげん北D	4月	80.3	55.3	58.4	3.6	21	21	0	60.6
		5月	77.5	55.0	58.9	3.0	25	25	0	
		6月	82.3	55.5	59.5	2.8	18	18	0	
		7月	119.6	54.5	59.9	5.3	15	15	0	
		8月	70.6	58.7	62.3	1.5	6	6	0	
		9月	84.0	59.0	62.8	2.9	17	17	0	
		10月	79.6	58.1	61.4	2.4	16	16	0	
		11月	79.3	57.1	60.8	2.5	16	16	0	
		12月	102.2	57.0	62.1	6.2	15	15	0	
		1月	98.9	35.4	61.0	6.1	12	12	0	
		2月	87.7	36.0	57.7	5.9	8	8	0	
		3月	88.2	56.6	59.9	3.4	17	17	0	
		年間	119.6	35.4	60.4	4.4	186	186	0	
	立石B	4月	98.4	84.8	87.3	1.6	14	14	0	90.2
		5月	100.7	85.2	89.0	2.2	15	15	0	
		6月	96.4	86.2	89.7	1.7	12	6	6	
		7月	112.2	83.6	88.5	2.6	8	8	0	
		8月	94.2	88.1	90.4	1.0	9	2	7	
		9月	97.2	87.6	90.7	1.3	11	11	0	
		10月	96.0	85.6	90.6	1.9	0	0	0	
		11月	97.3	84.9	88.1	1.3	10	10	0	
		12月	110.8	85.3	88.4	2.9	16	16	0	
		1月	103.2	63.0	87.3	4.0	8	8	0	
		2月	100.4	64.4	84.7	5.3	0	0	0	
		3月	102.3	84.5	86.9	1.7	13	13	0	
		年間	112.2	63.0	88.5	3.1	116	103	13	
	立石山頂B	4月	99.7	73.3	77.7	4.2	17	17	0	78.7
		5月	98.5	72.4	78.2	4.0	17	17	0	
		6月	97.3	72.1	76.9	3.5	16	16	0	
		7月	140.4	70.3	76.1	5.7	13	13	0	
		8月	94.5	78.5	82.5	1.7	7	7	0	
		9月	105.0	77.1	82.3	3.6	15	15	0	
		10月	98.3	75.7	80.3	3.1	15	15	0	
11月		100.3	75.1	80.3	2.9	16	16	0		
12月		124.1	74.3	80.7	5.7	17	17	0		
1月		113.7	43.6	76.6	6.6	8	8	0		
2月		109.4	44.3	71.4	8.3	5	5	0		
3月		100.3	71.1	74.6	3.5	20	20	0		
年間		140.4	43.6	78.2	5.6	166	166	0		

過去平均線量率：2007～2009年度

第9表 空間線量率連続測定結果 その2 施設者のテレメータシステム

(測定地点の添字は担当機関を示す。B：原電、C：関電、D：原子力機構)

線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3 σ をこえた 時間	M+3 σ をこえた 時間と原因		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
敦賀	ふげん西D	4月	62.0	33.6	36.8	4.8	23	23	0	38.8
		5月	62.9	33.1	37.1	4.2	27	27	0	
		6月	68.8	34.2	37.6	3.6	20	20	0	
		7月	116.3	33.7	38.4	6.7	18	18	0	
		8月	52.6	37.1	39.4	1.6	13	13	0	
		9月	66.1	36.8	40.2	3.7	23	23	0	
		10月	65.1	35.0	38.9	3.2	20	20	0	
		11月	55.0	35.2	38.2	2.9	22	22	0	
		12月	84.7	33.7	39.3	6.7	15	15	0	
		1月	69.3	19.8	37.0	6.1	18	18	0	
		2月	67.7	20.4	34.5	6.4	15	15	0	
		3月	73.4	33.4	37.5	4.3	19	19	0	
		年間	116.3	19.8	37.9	5.0	233	233	0	
	猪ヶ池B	4月	114.7	73.3	77.9	4.6	16	16	0	80.2
		5月	110.0	73.4	78.5	4.6	22	22	0	
		6月	105.6	73.9	79.2	3.5	15	15	0	
		7月	154.1	72.9	80.4	6.8	15	15	0	
		8月	95.9	78.4	83.7	1.9	8	8	0	
		9月	103.8	77.3	82.8	3.9	16	16	0	
		10月	99.8	76.1	80.6	3.1	16	16	0	
		11月	99.2	75.6	80.3	3.3	21	21	0	
		12月	129.8	74.2	81.9	8.0	17	17	0	
		1月	131.9	35.1	79.1	9.2	10	10	0	
		2月	108.9	36.4	69.6	11.8	1	1	0	
		3月	119.1	74.2	78.6	4.9	16	16	0	
		年間	154.1	35.1	79.5	7.0	173	173	0	
	浦底B	4月	111.1	70.7	74.4	4.2	19	19	0	79.1
		5月	103.0	71.3	74.7	3.7	21	21	0	
		6月	94.2	72.1	75.3	2.8	17	17	0	
		7月	130.0	71.9	76.3	6.4	20	20	0	
		8月	92.1	73.1	76.4	1.8	12	12	0	
		9月	93.8	72.2	75.4	3.1	19	19	0	
		10月	90.4	71.4	74.6	2.5	22	22	0	
11月		90.3	71.8	74.7	2.7	22	22	0		
12月		127.2	67.4	77.0	7.9	17	17	0		
1月		114.4	38.7	73.9	8.4	13	13	0		
2月		101.2	40.1	65.9	9.8	1	1	0		
3月		109.6	70.4	74.4	4.5	18	18	0		
年間		130.0	38.7	74.5	6.0	201	201	0		

過去平均線量率：2007～2009年度

第9表 空間線量率連続測定結果 その2 施設者のテレメータシステム

(測定地点の添字は担当機関を示す。B：原電、C：関電、D：原子力機構)

線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3 σ をこえた 時間	M+3 σ をこえた 時間と原因		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
敦賀	水試裏B	4月	113.6	73.5	77.5	4.6	17	17	0	79.9
		5月	106.7	73.0	78.3	4.3	19	19	0	
		6月	100.1	73.5	79.1	3.3	17	17	0	
		7月	139.6	73.2	79.8	6.1	18	18	0	
		8月	95.1	78.3	82.3	1.6	9	9	0	
		9月	97.8	74.5	79.9	3.7	11	11	0	
		10月	95.1	73.8	78.0	2.9	16	16	0	
		11月	95.2	73.3	77.5	3.0	17	17	0	
		12月	133.0	70.4	78.1	7.7	18	18	0	
		1月	122.7	37.8	76.3	8.5	12	12	0	
		2月	103.4	39.5	69.0	10.3	1	1	0	
		3月	114.9	71.3	75.1	4.5	19	19	0	
		年間	139.6	37.8	77.6	6.4	174	174	0	
	色ヶ浜B	4月	110.9	75.7	78.6	3.7	19	19	0	81.0
		5月	97.3	75.3	78.7	3.1	22	22	0	
		6月	96.8	76.1	79.0	2.5	19	19	0	
		7月	126.7	75.5	79.7	5.7	18	18	0	
		8月	92.3	77.2	79.4	1.5	14	14	0	
		9月	99.6	76.2	79.4	2.9	24	24	0	
		10月	93.8	75.6	79.2	2.3	20	20	0	
		11月	92.9	76.4	79.4	2.5	21	21	0	
		12月	129.7	74.7	81.7	7.3	17	17	0	
		1月	122.5	41.8	79.8	7.9	10	10	0	
		2月	99.5	43.8	72.5	7.9	2	2	0	
		3月	116.7	75.0	78.9	4.3	16	16	0	
		年間	129.7	41.8	78.9	5.2	202	202	0	
	沓D	4月	74.2	50.9	54.4	3.7	25	25	0	58.7
		5月	81.4	50.3	54.5	3.5	23	23	0	
		6月	75.8	51.3	55.0	3.0	19	19	0	
		7月	131.7	49.9	55.7	7.1	16	16	0	
		8月	69.7	52.8	56.5	1.9	8	8	0	
		9月	78.4	52.0	56.6	3.4	18	18	0	
		10月	74.7	51.4	56.5	2.9	15	15	0	
11月		76.0	52.0	56.7	3.1	22	22	0		
12月		105.1	50.9	58.6	8.7	22	22	0		
1月		95.8	20.6	52.1	9.0	9	9	0		
2月		77.7	21.2	45.1	11.0	0	0	0		
3月		94.4	50.4	55.3	4.8	18	18	0		
年間		131.7	20.6	54.7	6.7	195	195	0		

過去平均線量率：2007～2009年度

第9表 空間線量率連続測定結果 その2 施設者のテレメータシステム

(測定地点の添字は担当機関を示す。B：原電、C：関電、D：原子力機構)

線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3 σ をこえた 時間	M+3 σ をこえた 時間と原因		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
敦賀	赤崎D	4月	67.7	46.9	49.4	3.2	24	24	0	50.2
		5月	69.7	46.8	49.5	3.1	19	19	0	
		6月	74.7	47.4	49.8	3.0	19	19	0	
		7月	96.1	47.1	50.4	5.3	18	18	0	
		8月	64.5	47.8	49.7	1.5	12	12	0	
		9月	72.9	47.6	50.3	2.8	22	22	0	
		10月	64.3	47.6	50.1	2.4	21	21	0	
		11月	70.3	48.1	50.6	2.8	20	20	0	
		12月	95.9	47.8	53.3	7.7	23	23	0	
		1月	89.2	24.8	49.6	7.7	10	10	0	
		2月	74.4	25.5	44.2	7.2	3	3	0	
		3月	70.6	46.5	50.2	3.3	20	20	0	
		年間	96.1	24.8	49.7	5.0	211	211	0	
	五幡B	4月	66.7	43.6	46.6	3.7	23	23	0	47.1
		5月	70.0	43.4	46.5	3.7	18	18	0	
		6月	75.4	43.8	46.8	3.3	20	20	0	
		7月	96.6	43.6	47.3	5.4	20	20	0	
		8月	59.4	44.4	46.5	1.5	13	13	0	
		9月	69.0	44.3	47.3	3.2	20	20	0	
		10月	63.3	43.7	46.8	2.4	23	23	0	
		11月	67.0	43.5	46.7	3.0	20	20	0	
		12月	93.3	44.1	50.2	8.5	19	19	0	
		1月	84.8	24.6	49.4	7.5	13	13	0	
		2月	72.4	25.3	43.0	6.7	7	7	0	
		3月	70.8	44.3	47.7	4.0	20	20	0	
		年間	96.6	24.6	47.1	5.1	216	216	0	
	阿曽D	4月	70.7	45.4	48.3	4.1	23	23	0	49.2
		5月	77.1	45.8	48.4	4.0	20	20	0	
		6月	80.9	45.3	48.4	3.5	22	22	0	
		7月	108.8	45.1	48.9	5.9	20	20	0	
		8月	69.1	46.5	49.1	1.7	15	15	0	
		9月	74.1	46.5	49.4	3.5	21	21	0	
		10月	68.8	46.0	48.7	2.6	19	19	0	
11月		70.4	45.8	48.4	3.1	22	22	0		
12月		95.7	45.7	51.1	7.8	19	19	0		
1月		80.7	21.3	48.1	7.7	10	10	0		
2月		77.4	21.8	39.5	9.2	4	4	0		
3月		78.7	44.3	48.0	3.9	16	16	0		
年間		108.8	21.3	48.0	5.8	211	211	0		

過去平均線量率：2007～2009年度

第9表 空間線量率連続測定結果 その2 施設者のテレメータシステム

(測定地点の添字は担当機関を示す。B：原電、C：関電、D：原子力機構)

線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3 σ をこえた 時間	M+3 σ をこえた 時間と原因		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
敦賀	杉津B	4月	76.0	47.3	50.7	4.3	23	23	0	52.7
		5月	80.4	46.7	50.6	4.1	21	21	0	
		6月	87.2	47.1	50.8	3.6	21	21	0	
		7月	122.8	47.0	51.4	6.8	17	17	0	
		8月	66.2	48.3	51.2	1.7	12	12	0	
		9月	75.9	48.0	51.1	3.6	23	23	0	
		10月	67.6	47.8	50.7	2.7	24	24	0	
		11月	77.2	47.9	51.3	3.2	20	20	0	
		12月	100.1	47.7	54.0	7.9	17	17	0	
		1月	86.4	23.3	51.5	7.5	11	11	0	
		2月	79.8	24.2	44.8	8.1	7	7	0	
		3月	82.1	46.5	50.9	4.2	21	21	0	
		年間	122.8	23.3	50.8	5.6	217	217	0	
	甲楽城B	4月	68.1	41.2	43.9	3.6	22	22	0	45.2
		5月	70.4	40.7	43.8	3.3	21	21	0	
		6月	72.7	40.5	43.7	3.3	16	16	0	
		7月	102.3	41.0	44.1	6.1	17	17	0	
		8月	54.2	41.4	43.7	1.5	19	19	0	
		9月	63.6	41.3	43.9	3.0	20	20	0	
		10月	94.7	41.1	44.1	3.6	12	12	0	
		11月	61.2	41.5	44.4	2.7	22	22	0	
		12月	87.1	42.1	46.9	6.4	17	17	0	
		1月	81.1	29.9	46.8	6.5	16	16	0	
		2月	67.9	30.3	42.9	4.3	16	16	0	
		3月	65.9	41.0	44.8	3.5	22	22	0	
		年間	102.3	29.9	44.4	4.4	220	220	0	
	今庄B	4月	53.9	36.0	38.7	2.9	20	20	0	39.9
		5月	58.4	35.7	39.1	2.9	18	18	0	
		6月	60.9	36.5	40.2	3.2	20	20	0	
		7月	78.6	36.4	41.1	5.0	16	16	0	
		8月	60.1	37.4	41.1	2.5	7	7	0	
		9月	55.8	36.3	40.2	3.4	20	20	0	
		10月	55.0	35.8	39.3	2.5	15	15	0	
11月		73.1	35.9	39.7	4.0	19	19	0		
12月		72.5	29.7	40.3	6.6	18	18	0		
1月		66.2	16.2	32.8	6.3	9	9	0		
2月		47.9	16.3	26.3	4.4	13	13	0		
3月		59.1	28.4	34.1	3.7	11	11	0		
年間		78.6	16.2	37.8	5.9	186	186	0		

過去平均線量率：2007～2009年度

第9表 空間線量率連続測定結果 その2 施設者のテレメータシステム

(測定地点の添字は担当機関を示す。B：原電、C：関電、D：原子力機構)

線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3 σ をこえた 時間	M+3 σ をこえた 時間と原因		過去 平均 線量率	
								降雨	その他		
敦賀	越前厨D	4月	64.7	35.5	38.6	4.0	14	14	0	40.4	
		5月	62.3	34.9	38.7	3.8	21	21	0		
		6月	68.2	35.9	39.0	3.0	20	20	0		
		7月	84.9	35.6	39.4	5.4	18	18	0		
		8月	55.3	36.7	39.9	1.9	19	19	0		
		9月	60.9	36.5	39.6	3.0	19	19	0		
		10月	58.5	36.4	39.2	2.6	13	13	0		
		11月	60.8	36.4	39.5	2.9	16	16	0		
		12月	78.9	36.2	41.3	5.6	8	8	0		
		1月	75.1	24.2	40.1	6.0	8	8	0		
		2月	58.3	24.2	37.5	4.6	14	14	0		
		3月	56.1	35.3	38.9	3.1	19	19	0		
		年間	84.9	24.2	39.3	4.1	189	189	0		
白木	松ヶ崎D	4月	88.2	59.7	62.8	3.8	20	20	0	62.9	
		5月	89.9	58.5	63.1	4.2	22	22	0		
		6月	89.3	59.9	63.4	2.8	15	15	0		
		7月	125.0	59.2	64.2	5.8	21	21	0		
		8月	77.0	61.7	65.0	1.4	8	8	0		
		9月	85.2	57.7	64.5	3.3	14	14	0		
		10月	79.5	57.1	60.3	2.7	19	19	0		
		11月	74.4	57.0	60.2	2.5	23	23	0		
		12月	113.2	57.1	62.3	6.5	14	14	0		
		1月	95.5	34.4	61.6	7.3	13	13	0		
		2月	86.6	35.4	57.3	6.6	8	8	0		
		3月	82.1	57.2	60.5	3.5	21	21	0		
		年間	125.0	34.4	62.1	5.0	198	198	0		
	白木	I D	4月	83.3	59.1	63.1	3.5	23	23	0	66.4
			5月	85.2	58.9	63.6	3.4	23	23	0	
			6月	94.5	59.6	63.6	3.2	15	15	0	
			7月	134.1	57.9	63.8	5.7	16	16	0	
			8月	76.2	64.8	68.2	1.3	4	4	0	
			9月	92.9	64.2	68.8	2.8	18	18	0	
			10月	91.0	63.8	67.4	2.7	15	15	0	
			11月	84.8	64.3	67.4	2.5	19	19	0	
			12月	100.1	59.3	67.4	5.6	15	15	0	
			1月	94.1	35.1	63.5	6.0	5	5	0	
2月	90.6	35.7	61.1	8.2	3	3	0				
3月	92.5	60.8	64.8	3.3	19	19	0				
年間	134.1	35.1	65.2	5.0	175	175	0				

過去平均線量率：2007～2009年度

第9表 空間線量率連続測定結果 その2 施設者のテレメータシステム

(測定地点の添字は担当機関を示す。B：原電、C：関電、D：原子力機構)

線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3 σ をこえた 時間	M+3 σ をこえた 時間と原因		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
白木	白木IID	4月	69.2	34.2	37.6	5.0	26	26	0	39.4
		5月	66.6	33.8	37.7	4.5	24	24	0	
		6月	72.8	34.0	37.8	3.8	18	18	0	
		7月	129.9	33.8	38.7	7.4	18	18	0	
		8月	53.6	37.8	40.8	1.5	12	12	0	
		9月	69.4	36.9	41.2	3.8	22	22	0	
		10月	68.4	36.1	39.9	3.7	22	22	0	
		11月	63.9	36.3	40.0	3.4	19	19	0	
		12月	91.0	33.2	41.2	7.7	12	12	0	
		1月	67.8	14.1	34.3	7.3	13	13	0	
		2月	70.0	14.7	31.2	8.0	7	7	0	
		3月	74.0	32.6	37.5	4.6	23	23	0	
		年間	129.9	14.1	38.1	6.1	216	216	0	
	白木IIID	4月	78.9	49.5	53.8	3.9	27	27	0	55.7
		5月	79.5	49.0	53.6	3.8	25	25	0	
		6月	80.7	49.8	53.6	3.0	18	18	0	
		7月	117.1	48.8	54.2	5.9	18	18	0	
		8月	70.6	54.0	57.4	1.5	8	8	0	
		9月	77.1	52.8	57.1	3.3	16	16	0	
		10月	77.7	52.2	55.3	2.8	22	22	0	
		11月	74.2	53.1	56.5	2.7	16	16	0	
		12月	99.0	48.5	58.1	6.4	14	14	0	
		1月	82.7	25.7	48.9	7.1	8	8	0	
		2月	80.5	26.6	46.6	9.1	2	2	0	
		3月	85.5	49.4	54.2	3.5	20	20	0	
		年間	117.1	25.7	54.1	5.8	194	194	0	
	白木IIVD	4月	66.3	40.2	43.7	4.0	24	24	0	46.5
		5月	69.3	39.7	44.2	4.2	22	22	0	
		6月	72.8	40.9	44.6	3.1	17	17	0	
		7月	107.9	40.2	45.2	5.9	21	21	0	
		8月	60.9	45.3	47.9	1.4	9	9	0	
		9月	70.4	44.1	47.9	3.2	19	19	0	
		10月	70.0	43.1	46.3	2.9	21	21	0	
11月		64.5	42.6	46.0	2.5	18	18	0		
12月		87.3	38.6	46.7	6.0	13	13	0		
1月		70.4	18.7	41.4	6.4	10	10	0		
2月		69.6	19.4	39.3	7.9	6	6	0		
3月		70.5	40.2	43.9	3.5	21	21	0		
年間		107.9	18.7	44.8	5.2	201	201	0		

過去平均線量率：2007～2009年度

第9表 空間線量率連続測定結果 その2 施設者のテレメータシステム

(測定地点の添字は担当機関を示す。B：原電、C：関電、D：原子力機構)

線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3 σ をこえた 時間	M+3 σ をこえた 時間と原因		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
美浜	奥浦C	4月	85.2	55.6	58.8	4.2	23	23	0	61.6
		5月	76.5	55.3	58.9	2.9	19	19	0	
		6月	83.9	56.1	59.5	2.9	16	16	0	
		7月	121.5	54.8	60.1	6.4	18	18	0	
		8月	70.9	58.4	61.5	1.4	9	9	0	
		9月	83.0	57.2	61.2	3.3	15	15	0	
		10月	80.7	56.5	60.2	3.0	18	18	0	
		11月	94.1	56.8	60.2	3.1	16	16	0	
		12月	107.4	56.6	62.5	8.1	22	22	0	
		1月	112.5	40.3	61.6	7.8	13	13	0	
		2月	94.2	41.1	57.4	5.5	11	11	0	
		3月	83.1	56.3	59.7	4.0	23	23	0	
		年間	121.5	40.3	60.2	4.4	203	203	0	
	丹生C	4月	71.8	48.7	52.1	3.6	22	22	0	52.5
		5月	65.9	48.4	51.8	2.8	24	24	0	
		6月	72.4	48.9	51.9	2.6	21	21	0	
		7月	106.3	49.3	52.9	5.4	18	18	0	
		8月	59.9	48.4	51.3	1.4	11	11	0	
		9月	66.0	48.1	51.5	2.6	22	22	0	
		10月	65.2	48.0	51.7	2.7	19	19	0	
		11月	76.8	48.9	52.2	2.5	16	16	0	
		12月	90.3	49.1	54.6	6.7	20	20	0	
		1月	93.8	37.6	54.4	6.3	16	16	0	
		2月	77.3	38.5	50.5	3.7	11	11	0	
		3月	70.6	48.8	52.4	3.2	21	21	0	
		年間	106.3	37.6	52.3	4.0	221	221	0	
	丹生寮C	4月	69.9	45.1	48.1	4.0	22	22	0	53.1
		5月	63.6	44.3	47.9	2.9	22	22	0	
		6月	68.8	45.4	48.0	2.4	18	18	0	
		7月	104.1	45.2	48.7	5.5	18	18	0	
		8月	57.3	45.8	48.5	1.2	12	12	0	
		9月	68.4	45.6	48.7	2.7	23	23	0	
		10月	65.7	45.7	48.4	2.7	19	19	0	
11月		78.5	45.7	48.6	2.8	18	18	0		
12月		98.1	45.4	51.1	7.7	21	21	0		
1月		101.6	31.5	50.6	7.4	12	12	0		
2月		79.9	32.4	45.6	5.2	11	11	0		
3月		69.5	44.9	48.9	3.8	21	21	0		
年間		104.1	31.5	48.6	4.8	217	217	0		

過去平均線量率：2007～2009年度

第9表 空間線量率連続測定結果 その2 施設者のテレメータシステム

(測定地点の添字は担当機関を示す。B：原電、C：関電、D：原子力機構)

線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3 σ をこえた 時間	M+3 σ をこえた 時間と原因		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
美浜	竹波C	4月	90.1	70.0	73.2	3.2	19	19	0	74.4
		5月	86.5	69.5	73.3	2.6	21	21	0	
		6月	97.1	70.8	74.0	2.5	17	17	0	
		7月	123.6	69.9	74.6	5.2	15	15	0	
		8月	83.7	73.1	75.8	1.4	6	6	0	
		9月	93.6	72.2	75.9	2.6	18	18	0	
		10月	88.5	71.5	74.8	2.3	19	19	0	
		11月	96.4	71.3	74.9	2.4	22	22	0	
		12月	109.9	71.5	76.8	6.7	23	23	0	
		1月	121.4	50.6	74.7	7.3	10	10	0	
		2月	106.9	51.5	70.5	6.5	4	4	0	
		3月	92.5	70.4	73.8	3.3	24	24	0	
		年間	123.6	50.6	74.4	4.3	198	198	0	
	菅浜C	4月	54.6	33.7	36.8	3.2	21	21	0	37.3
		5月	51.5	33.7	36.3	2.5	21	21	0	
		6月	58.7	33.9	36.5	2.6	21	21	0	
		7月	80.9	33.8	37.0	5.1	15	15	0	
		8月	52.1	32.8	35.7	1.5	10	10	0	
		9月	50.8	33.8	36.3	2.5	23	23	0	
		10月	52.1	33.8	36.4	2.4	18	18	0	
		11月	52.9	33.6	36.5	2.4	19	19	0	
		12月	70.6	33.5	39.0	6.3	19	19	0	
		1月	67.7	28.8	39.3	5.7	14	14	0	
		2月	60.4	29.4	36.3	3.0	17	17	0	
		3月	55.0	33.8	37.3	3.0	20	20	0	
		年間	80.9	28.8	37.0	3.3	218	218	0	
	佐田C	4月	72.3	51.5	54.0	2.9	21	21	0	54.6
		5月	64.5	51.3	53.8	2.1	27	27	0	
		6月	74.6	51.4	53.9	2.5	22	22	0	
		7月	102.9	51.2	54.4	5.1	13	13	0	
		8月	63.1	51.5	53.3	1.1	12	12	0	
		9月	68.8	51.8	53.9	2.3	24	24	0	
		10月	73.0	50.9	54.0	2.5	17	17	0	
11月		80.8	51.9	54.1	2.7	15	15	0		
12月		94.3	51.6	56.4	6.4	20	20	0		
1月		86.5	42.3	55.4	5.6	13	13	0		
2月		74.1	43.2	52.7	3.6	11	11	0		
3月		71.5	51.9	54.8	3.1	21	21	0		
年間		102.9	42.3	54.2	4.3	216	216	0		

過去平均線量率：2007～2009年度

第9表 空間線量率連続測定結果 その2 施設者のテレメータシステム

(測定地点の添字は担当機関を示す。B：原電、C：関電、D：原子力機構)

線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3 σ をこえた 時間	M+3 σ をこえた 時間と原因		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
美浜	新庄C	4月	84.6	57.4	60.8	3.1	16	16	0	61.2
		5月	78.2	57.4	60.7	2.7	16	16	0	
		6月	76.2	57.0	60.8	2.2	18	18	0	
		7月	95.2	56.5	61.7	4.7	18	18	0	
		8月	73.5	58.3	60.9	1.8	15	15	0	
		9月	81.4	58.4	61.6	2.4	20	20	0	
		10月	87.2	58.2	61.3	2.8	14	14	0	
		11月	103.2	58.0	61.3	3.5	13	13	0	
		12月	109.8	57.4	63.4	6.8	19	19	0	
		1月	96.7	34.3	49.7	8.2	13	13	0	
		2月	78.6	35.1	47.5	7.4	4	4	0	
		3月	85.7	55.3	61.6	3.9	20	20	0	
		年間	109.8	34.3	59.4	6.1	186	186	0	
	郷市C	4月	54.6	32.6	35.7	3.6	22	22	0	36.2
		5月	51.5	32.0	35.3	3.2	25	25	0	
		6月	62.1	33.0	35.7	3.0	20	20	0	
		7月	93.8	32.6	37.0	6.6	17	17	0	
		8月	46.9	33.0	35.3	1.8	15	15	0	
		9月	56.5	33.2	36.1	3.1	22	22	0	
		10月	59.3	33.1	36.5	3.7	20	20	0	
		11月	73.3	33.3	36.4	3.8	16	16	0	
		12月	89.8	32.9	39.4	8.8	23	23	0	
		1月	88.2	25.2	38.0	8.0	17	17	0	
		2月	61.4	25.8	34.5	4.0	14	14	0	
		3月	62.1	33.1	36.9	4.3	21	21	0	
		年間	93.8	25.2	36.4	5.2	232	232	0	
	早瀬C	4月	47.2	32.2	34.6	2.4	23	23	0	35.1
		5月	49.2	31.5	34.6	2.2	18	18	0	
		6月	50.3	32.4	34.8	2.1	15	15	0	
		7月	71.9	32.2	35.4	4.3	15	15	0	
		8月	41.3	31.8	34.5	1.4	4	4	0	
		9月	48.2	32.6	35.0	2.0	19	19	0	
		10月	57.2	31.9	35.0	3.0	19	19	0	
11月		62.1	32.4	34.8	2.9	15	15	0		
12月		72.6	31.8	36.8	6.4	23	23	0		
1月		69.0	24.3	35.6	5.8	20	20	0		
2月		52.4	25.3	33.0	3.2	13	13	0		
3月		52.1	31.5	34.6	2.9	22	22	0		
年間		72.6	24.3	34.9	3.7	206	206	0		

過去平均線量率：2007～2009年度

第9表 空間線量率連続測定結果 その2 施設者のテレメータシステム

(測定地点の添字は担当機関を示す。B：原電、C：関電、D：原子力機構)

線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3 σ をこえた 時間	M+3 σ をこえた 時間と原因		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
美浜	日向C	4月	58.0	39.4	41.6	3.0	24	24	0	41.7
		5月	58.8	39.0	41.5	2.6	21	21	0	
		6月	61.8	39.0	41.4	2.6	18	18	0	
		7月	86.0	38.6	41.9	5.2	17	17	0	
		8月	51.1	39.1	40.8	1.3	13	13	0	
		9月	56.9	38.8	41.1	2.4	23	23	0	
		10月	68.3	39.0	41.5	3.1	21	21	0	
		11月	69.3	39.0	41.4	3.0	15	15	0	
		12月	81.7	39.2	43.8	7.0	23	23	0	
		1月	80.6	34.5	44.0	6.5	16	16	0	
		2月	64.1	35.2	40.7	3.0	15	15	0	
		3月	60.6	38.9	41.7	3.2	21	21	0	
		年間	86.0	34.5	41.8	4.0	227	227	0	
	三方C	4月	47.8	27.6	31.1	3.3	21	21	0	31.7
		5月	43.7	27.3	31.1	2.7	21	21	0	
		6月	59.5	27.9	31.7	3.2	20	20	0	
		7月	78.2	28.8	32.6	5.6	17	17	0	
		8月	48.6	28.0	31.2	2.0	15	15	0	
		9月	52.6	29.3	32.1	3.3	21	21	0	
		10月	86.5	29.2	32.3	5.3	15	15	0	
		11月	71.0	29.0	32.2	4.4	18	18	0	
		12月	103.1	28.2	34.7	9.1	21	21	0	
		1月	81.2	21.6	30.3	8.6	19	19	0	
2月		53.3	22.4	28.2	3.9	17	17	0		
3月		59.2	28.6	32.3	4.2	16	16	0		
年間		103.1	21.6	31.7	5.1	221	221	0		
大飯	宮留C	4月	66.5	37.2	39.6	3.8	19	19	0	40.1
		5月	55.4	36.8	39.4	3.0	27	27	0	
		6月	75.8	37.3	39.6	3.5	16	16	0	
		7月	95.9	37.5	40.8	6.3	23	23	0	
		8月	55.2	37.8	39.6	1.7	13	13	0	
		9月	77.5	37.8	40.6	4.3	21	21	0	
		10月	72.0	37.8	40.9	4.7	20	20	0	
		11月	94.8	37.5	40.8	5.2	20	20	0	
		12月	95.3	37.4	42.3	8.5	22	22	0	
		1月	84.3	29.2	40.3	8.3	20	20	0	
		2月	71.9	33.5	39.4	4.2	13	13	0	
		3月	62.5	35.4	40.5	4.3	21	21	0	
		年間	95.9	29.2	40.3	5.4	235	235	0	

過去平均線量率：2007～2009年度

第9表 空間線量率連続測定結果 その2 施設者のテレメータシステム

(測定地点の添字は担当機関を示す。B：原電、C：関電、D：原子力機構)

線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3 σ をこえた 時間	M+3 σ をこえた 時間と原因		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
大飯	日角浜C	4月	63.3	34.6	37.6	3.7	17	17	0	37.9
		5月	51.6	34.5	37.2	2.9	24	24	0	
		6月	69.3	35.0	37.6	3.2	16	16	0	
		7月	86.9	35.2	38.9	6.0	25	25	0	
		8月	51.9	35.5	37.7	1.8	11	11	0	
		9月	74.6	35.5	38.8	4.5	19	19	0	
		10月	78.3	35.6	39.1	5.2	21	21	0	
		11月	86.9	35.7	38.9	5.0	18	18	0	
		12月	89.6	34.8	40.5	8.8	22	22	0	
		1月	90.6	26.6	38.9	9.1	22	22	0	
		2月	67.5	32.0	37.6	4.1	15	15	0	
		3月	62.1	32.7	38.6	4.5	18	18	0	
		年間	90.6	26.6	38.5	5.0	228	228	0	
	本郷C	4月	64.9	40.1	42.6	3.3	12	12	0	42.9
		5月	57.6	39.6	42.2	2.3	17	17	0	
		6月	63.6	40.4	42.7	2.5	17	17	0	
		7月	76.9	40.4	43.4	4.2	22	22	0	
		8月	54.6	40.0	42.2	1.5	9	9	0	
		9月	73.7	40.1	43.1	3.7	20	20	0	
		10月	79.5	40.4	43.4	4.6	18	18	0	
		11月	120.0	40.5	44.0	6.9	17	17	0	
		12月	100.4	40.1	45.3	8.6	23	23	0	
		1月	93.2	33.9	42.6	8.4	21	21	0	
		2月	66.9	35.4	41.8	3.8	16	16	0	
		3月	67.0	39.0	43.6	4.4	12	12	0	
		年間	120.0	33.9	43.1	4.9	204	204	0	
	加斗C	4月	72.8	42.0	46.3	3.6	21	21	0	47.0
		5月	64.1	42.5	46.1	3.0	19	19	0	
		6月	74.6	43.7	46.6	3.3	20	20	0	
		7月	99.0	43.7	47.5	5.6	24	24	0	
		8月	67.1	44.4	46.5	1.8	13	13	0	
		9月	79.2	43.7	47.4	4.3	23	23	0	
		10月	80.2	43.3	47.2	4.8	22	22	0	
11月		88.1	42.6	47.5	5.4	22	22	0		
12月		104.4	43.2	49.0	8.7	20	20	0		
1月		90.2	31.5	42.9	9.9	21	21	0		
2月		74.5	34.1	44.5	5.0	12	12	0		
3月		83.1	40.3	47.4	5.1	16	16	0		
年間		104.4	31.5	46.6	5.5	233	233	0		

過去平均線量率：2007～2009年度

第9表 空間線量率連続測定結果 その2 施設者のテレメータシステム

(測定地点の添字は担当機関を示す。B：原電、C：関電、D：原子力機構)

線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3 σ をこえた 時間	M+3 σ をこえた 時間と原因		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
大飯	小浜C	4月	71.7	41.2	46.2	3.8	23	23	0	47.2
		5月	65.2	42.2	46.1	3.2	21	21	0	
		6月	73.4	43.7	46.6	3.4	19	19	0	
		7月	110.8	42.8	47.7	5.9	18	18	0	
		8月	65.1	44.2	47.1	2.0	12	12	0	
		9月	74.4	44.4	48.1	4.2	22	22	0	
		10月	91.2	43.8	47.6	5.1	16	16	0	
		11月	89.8	44.0	48.0	5.1	24	24	0	
		12月	108.5	44.0	49.5	8.8	19	19	0	
		1月	101.0	30.1	42.6	10.7	22	22	0	
		2月	74.6	34.0	44.2	5.1	10	10	0	
		3月	74.5	40.7	47.7	5.2	15	15	0	
		年間	110.8	30.1	46.8	5.9	221	221	0	
	西津C	4月	57.7	33.2	36.0	3.5	19	19	0	36.2
		5月	50.5	32.8	35.7	2.8	22	22	0	
		6月	56.2	33.7	36.2	3.0	20	20	0	
		7月	88.0	32.3	36.6	5.6	15	15	0	
		8月	47.8	32.7	35.0	2.0	14	14	0	
		9月	56.8	32.8	35.7	3.5	23	23	0	
		10月	84.5	32.8	36.3	5.6	19	19	0	
		11月	75.0	33.1	36.9	5.4	25	25	0	
		12月	92.2	33.1	38.8	8.8	22	22	0	
		1月	85.5	27.2	38.5	8.8	20	20	0	
		2月	66.6	33.1	36.1	3.8	14	14	0	
		3月	56.9	31.2	37.3	4.8	21	21	0	
		年間	92.2	27.2	36.6	5.3	234	234	0	
	堅海C	4月	59.8	35.2	38.7	3.9	17	17	0	39.5
		5月	52.3	34.2	37.5	2.8	26	26	0	
		6月	60.0	36.2	38.9	2.9	21	21	0	
		7月	93.8	36.9	40.5	5.9	19	19	0	
		8月	51.0	36.9	39.3	1.8	15	15	0	
		9月	63.0	36.5	40.2	3.6	23	23	0	
		10月	91.9	36.5	40.4	5.8	19	19	0	
11月		83.3	36.5	40.7	5.6	28	28	0		
12月		106.6	36.4	42.2	9.4	23	23	0		
1月		85.8	29.7	41.4	8.7	22	22	0		
2月		60.2	35.5	39.1	3.3	20	20	0		
3月		63.9	34.4	40.1	4.6	16	16	0		
年間		106.6	29.7	39.9	5.6	249	249	0		

過去平均線量率：2007～2009年度

第9表 空間線量率連続測定結果 その2 施設者のテレメータシステム

(測定地点の添字は担当機関を示す。B：原電、C：関電、D：原子力機構)

線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3 σ をこえた 時間	M+3 σ をこえた 時間と原因		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
大飯	川上C	4月	69.6	46.1	48.7	3.3	12	12	0	49.2
		5月	63.8	45.0	48.0	2.3	20	20	0	
		6月	80.9	46.2	49.1	3.1	16	16	0	
		7月	71.2	46.4	49.6	3.6	24	24	0	
		8月	57.9	45.6	48.4	1.6	9	9	0	
		9月	72.8	46.4	49.3	3.9	25	25	0	
		10月	91.8	46.3	49.7	5.5	21	21	0	
		11月	125.8	45.4	50.5	9.1	20	20	0	
		12月	155.7	46.3	51.9	11.3	17	17	0	
		1月	92.8	33.1	41.8	8.7	18	18	0	
		2月	74.9	35.7	45.2	5.3	19	19	0	
		3月	84.4	38.8	48.8	6.1	15	15	0	
		年間	155.7	33.1	48.4	6.7	216	216	0	
	鹿野C	4月	67.8	38.9	42.2	4.3	17	17	0	42.7
		5月	62.3	38.3	41.4	2.9	17	17	0	
		6月	73.6	39.2	42.4	3.3	17	17	0	
		7月	68.1	39.4	43.2	4.2	25	25	0	
		8月	51.2	39.3	42.2	1.9	6	6	0	
		9月	78.2	39.5	43.1	4.6	21	21	0	
		10月	93.8	39.0	43.3	6.7	21	21	0	
		11月	163.9	39.6	43.8	9.4	18	18	0	
		12月	141.0	39.5	45.4	11.7	18	18	0	
		1月	88.6	25.8	36.6	10.2	18	18	0	
		2月	69.5	27.1	38.1	6.5	13	13	0	
		3月	83.7	31.9	43.1	6.7	16	16	0	
		年間	163.9	25.8	42.1	7.0	207	207	0	
	名田庄C	4月	65.6	40.7	43.9	3.4	15	15	0	44.6
		5月	60.6	40.0	43.3	2.5	11	11	0	
		6月	63.6	40.9	44.5	3.4	17	17	0	
		7月	65.0	41.0	45.0	3.7	21	21	0	
		8月	54.5	41.2	44.6	2.8	5	5	0	
		9月	81.0	41.3	45.1	4.2	19	19	0	
		10月	94.6	40.1	45.1	5.2	13	13	0	
11月		110.3	40.8	45.5	6.4	17	17	0		
12月		102.7	40.5	46.4	8.7	27	27	0		
1月		82.1	29.0	37.9	8.6	20	20	0		
2月		63.3	31.2	40.7	4.7	18	18	0		
3月		78.8	31.9	44.5	6.4	17	17	0		
年間		110.3	29.0	43.9	5.7	200	200	0		

過去平均線量率：2007～2009年度

第9表 空間線量率連続測定結果 その2 施設者のテレメータシステム

(測定地点の添字は担当機関を示す。B：原電、C：関電、D：原子力機構)

線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3 σ をこえた 時間	M+3 σ をこえた 時間と原因		過去 平均 線量率	
								降雨	その他		
大飯	上中C	4月	58.7	34.0	36.6	3.4	23	23	0	36.9	
		5月	57.4	33.5	36.5	3.6	20	20	0		
		6月	63.5	34.1	36.6	3.3	21	21	0		
		7月	98.3	33.8	37.5	6.4	16	16	0		
		8月	59.3	33.9	35.8	2.2	18	18	0		
		9月	63.4	33.8	36.9	3.9	21	21	0		
		10月	68.0	34.1	37.2	4.0	21	21	0		
		11月	63.5	34.1	38.1	4.1	25	25	0		
		12月	96.9	34.1	40.1	8.1	18	18	0		
		1月	84.4	19.7	31.1	10.3	24	24	0		
		2月	55.2	21.2	29.8	4.7	15	15	0		
		3月	63.2	29.4	37.4	5.1	16	16	0		
		年間	98.3	19.7	36.2	5.8	238	238	0		
高浜	音海C	4月	59.8	41.5	43.8	3.0	20	20	0	44.2	
		5月	57.2	41.3	43.5	2.3	26	26	0		
		6月	66.1	41.9	43.8	2.6	18	18	0		
		7月	73.2	41.4	44.1	3.7	24	24	0		
		8月	56.0	42.4	43.8	1.1	14	14	0		
		9月	71.7	42.2	44.8	3.8	25	25	0		
		10月	86.1	41.9	44.6	4.1	22	22	0		
		11月	82.5	41.9	44.9	4.6	18	18	0		
		12月	94.5	42.2	46.3	6.9	25	25	0		
		1月	78.3	37.8	46.0	5.8	18	18	0		
		2月	68.3	41.5	43.9	3.0	14	14	0		
		3月	66.8	41.4	44.5	3.7	12	12	0		
		年間	94.5	37.8	44.5	4.1	236	236	0		
	田ノ浦C		4月	57.5	36.0	38.4	3.4	20	20	0	38.9
			5月	52.4	35.5	37.9	2.3	25	25	0	
			6月	60.7	36.1	38.2	2.6	16	16	0	
			7月	76.3	35.6	38.7	4.5	22	22	0	
			8月	49.5	37.1	38.7	1.1	14	14	0	
			9月	66.0	36.9	39.8	4.2	25	25	0	
			10月	81.7	36.7	39.6	4.9	21	21	0	
			11月	84.4	36.4	39.8	5.8	20	20	0	
			12月	91.6	36.4	41.1	7.8	26	26	0	
			1月	71.9	31.8	39.9	7.0	23	23	0	
		2月	59.7	34.4	38.4	3.4	19	19	0		
		3月	65.1	34.5	39.1	4.1	16	16	0		
		年間	91.6	31.8	39.1	5.0	247	247	0		

過去平均線量率：2007～2009年度

第9表 空間線量率連続測定結果 その2 施設者のテレメータシステム

(測定地点の添字は担当機関を示す。B：原電、C：関電、D：原子力機構)

線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3 σ をこえた 時間	M+3 σ をこえた 時間と原因		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
高浜	小黒飯C	4月	55.5	34.2	36.6	3.4	20	20	0	37.8
		5月	51.5	32.5	36.2	2.5	22	22	0	
		6月	60.8	34.5	36.5	2.8	17	17	0	
		7月	70.9	34.3	37.1	4.6	20	20	0	
		8月	49.7	34.8	36.4	1.1	13	13	0	
		9月	65.5	34.9	37.4	3.9	26	26	0	
		10月	73.1	34.6	37.5	4.8	21	21	0	
		11月	97.2	34.7	37.9	5.9	22	22	0	
		12月	106.1	34.0	39.6	9.2	23	23	0	
		1月	80.1	27.9	37.7	7.7	22	22	0	
		2月	60.9	30.9	36.3	3.6	15	15	0	
		3月	68.7	31.4	37.6	4.9	17	17	0	
	年間	106.1	27.9	37.2	5.3	238	238	0		
	神野浦C	4月	50.3	26.1	28.8	3.9	20	20	0	28.9
		5月	46.3	25.4	28.1	2.9	25	25	0	
		6月	56.5	26.2	28.4	3.1	19	19	0	
		7月	72.5	26.0	29.1	5.4	22	22	0	
		8月	41.8	26.9	28.5	1.4	15	15	0	
		9月	59.1	27.1	29.9	4.3	24	24	0	
		10月	72.7	26.8	29.7	5.3	16	16	0	
		11月	80.7	26.8	30.5	6.8	22	22	0	
		12月	96.4	26.3	32.4	10.1	18	18	0	
		1月	79.4	22.0	30.7	8.3	17	17	0	
		2月	55.3	23.6	28.5	4.2	15	15	0	
		3月	61.3	23.7	30.0	5.5	16	16	0	
	年間	96.4	22.0	29.6	5.4	229	229	0		
	日引C	4月	56.3	33.2	35.7	3.6	19	19	0	35.8
		5月	49.2	32.8	35.1	2.4	21	21	0	
		6月	59.4	33.6	35.3	2.6	20	20	0	
		7月	71.8	33.4	35.8	4.3	22	22	0	
		8月	46.9	34.1	35.3	1.1	15	15	0	
		9月	62.5	33.8	36.4	4.3	24	24	0	
		10月	95.1	33.8	36.3	5.3	14	14	0	
11月		94.5	33.7	37.0	6.2	18	18	0		
12月		96.0	33.0	38.6	8.8	26	26	0		
1月		82.5	26.2	35.6	8.1	20	20	0		
2月		60.4	27.6	34.5	3.8	11	11	0		
3月		67.4	30.6	36.6	4.8	13	13	0		
年間	96.0	26.2	36.0	5.3	223	223	0			

過去平均線量率：2007～2009年度

第9表 空間線量率連続測定結果 その2 施設者のテレメータシステム

(測定地点の添字は担当機関を示す。B：原電、C：関電、D：原子力機構)

線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3 σ をこえた 時間	M+3 σ をこえた 時間と原因		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
高浜	青郷C	4月	62.2	35.5	39.7	3.6	17	17	0	39.7
		5月	56.9	35.8	38.9	2.5	23	23	0	
		6月	68.0	37.0	39.5	2.9	17	17	0	
		7月	69.8	37.2	40.3	4.5	23	23	0	
		8月	45.5	37.9	39.6	1.1	14	14	0	
		9月	70.9	37.1	40.4	4.1	25	25	0	
		10月	89.2	36.7	40.6	5.6	17	17	0	
		11月	125.1	36.4	41.7	8.1	24	24	0	
		12月	155.4	37.6	43.4	11.9	17	17	0	
		1月	83.6	26.2	35.9	9.5	17	17	0	
		2月	70.6	26.9	37.8	6.1	12	12	0	
		3月	81.8	31.6	41.2	6.2	17	17	0	
		年間	155.4	26.2	39.9	6.6	223	223	0	
高浜	C	4月	53.7	33.7	36.4	2.9	16	16	0	36.4
		5月	49.6	33.4	35.9	2.0	19	19	0	
		6月	59.2	34.0	36.1	2.3	17	17	0	
		7月	58.8	34.0	36.6	3.4	20	20	0	
		8月	41.0	34.5	35.9	0.8	14	14	0	
		9月	60.9	33.7	36.5	3.4	27	27	0	
		10月	67.8	33.8	36.6	3.9	17	17	0	
		11月	82.0	34.1	37.1	5.1	20	20	0	
		12月	100.4	34.3	38.7	7.7	24	24	0	
		1月	72.8	29.5	38.3	6.5	22	22	0	
		2月	62.4	33.4	36.6	3.5	14	14	0	
		3月	66.7	32.4	37.4	4.4	19	19	0	
		年間	100.4	29.5	36.8	4.7	229	229	0	
和田	C	4月	56.1	34.7	37.0	3.1	21	21	0	36.9
		5月	50.3	34.3	36.5	2.2	18	18	0	
		6月	66.8	34.9	36.8	2.5	16	16	0	
		7月	66.4	34.8	37.4	4.0	21	21	0	
		8月	43.3	34.5	36.4	1.0	10	10	0	
		9月	65.5	34.7	37.2	3.8	27	27	0	
		10月	65.4	34.7	37.4	3.9	27	27	0	
		11月	75.8	35.0	37.8	4.9	19	19	0	
		12月	89.3	35.0	39.5	8.0	25	25	0	
		1月	73.9	30.5	39.2	7.2	21	21	0	
		2月	62.1	34.4	37.3	3.5	16	16	0	
		3月	66.1	34.5	38.1	4.3	15	15	0	
		年間	89.3	30.5	37.6	4.1	236	236	0	

過去平均線量率：2007～2009年度

第9表 空間線量率連続測定結果 その2 施設者のテレメータシステム

(測定地点の添字は担当機関を示す。B：原電、C：関電、D：原子力機構)

線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3 σ をこえた 時間	M+3 σ をこえた 時間と原因		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
高浜	田井C	4月	65.2	40.7	43.3	3.8	17	17	0	43.6
		5月	61.3	40.3	42.6	2.7	27	27	0	
		6月	67.6	40.1	42.9	3.0	19	19	0	
		7月	80.4	40.7	43.6	4.6	24	24	0	
		8月	57.5	41.3	43.1	1.3	11	11	0	
		9月	67.2	40.3	43.9	3.7	27	27	0	
		10月	76.8	41.0	43.7	3.4	19	19	0	
		11月	90.6	41.0	44.4	5.3	21	21	0	
		12月	104.4	40.9	46.3	8.9	24	24	0	
		1月	83.0	30.6	43.9	8.9	18	18	0	
		2月	70.2	35.8	43.0	3.9	16	16	0	
		3月	72.0	38.2	44.2	4.8	18	18	0	
		年間	104.4	30.6	43.7	5.5	241	241	0	
	夕潮台C	4月	47.1	28.1	30.4	2.8	19	19	0	30.7
		5月	40.5	27.8	29.9	1.7	12	12	0	
		6月	51.4	28.5	30.5	2.0	15	15	0	
		7月	52.6	28.4	30.7	3.0	22	22	0	
		8月	34.4	28.3	30.4	1.2	2	2	0	
		9月	47.4	28.6	31.0	2.7	18	18	0	
		10月	60.6	28.3	31.0	3.0	14	14	0	
		11月	62.7	28.5	31.6	4.0	17	17	0	
		12月	88.6	27.9	33.0	7.6	24	24	0	
1月		73.5	22.5	31.8	5.9	20	20	0		
2月		48.2	28.3	31.0	2.9	16	16	0		
3月		54.6	27.7	31.3	3.6	17	17	0		
年間		88.6	22.5	31.1	3.4	196	196	0		

過去平均線量率：2007～2009年度

<第8、9表に関する注釈>

- 第8、9表に示した結果は、1時間値を基に算出したものである。「 $M+3\sigma$ 」を超えた時間数の年間値は、月間の時間数の和である。降雨には、降雪も含まれる。
参考として、過去平均線量率の欄に2007～2009年度の平均値（ただし積雪期の第4期を除く）を示した。
- 以下の地点では2007年度以降に観測局周辺の状況変化や測定装置更新等があり、測定値が若干変化した。

(1) 県 (A)

- 音海Aは、2009年12月から2010年1月にかけて周辺でプール撤去工事が行われ、周辺環境が変化した。
- 県18観測局のうち、白木峠Aおよび坂尻Aを除く16観測局について、2011年2月27日から3月22日にかけて測定装置の更新を行った。その結果、装置特性等の違いにより、表1のようにバックグラウンド値が変化した。なお、白木峠Aおよび坂尻Aについては、2011年度第2四半期中の完了を予定しており、第1表の測定結果は従来 of 測定装置による値である。

表1 測定装置更新に伴う空間線量率の変化

単位：nGy/h

局名	更新期間	更新前	更新後	局名	更新期間	更新前	更新後
敦賀A	2/28～3/3	53.0	58.8	日角浜A	3/14～3/16	38.8	44.0
浦底A	3/2～3/4	66.1	73.8	宮留A	3/15～3/17	32.6	35.9
立石A	3/5～3/7	62.3	69.2	阿納尻A	3/10～3/12	29.7	31.1
河野A	3/7～3/9	42.8	47.1	長井A	3/12～3/15	34.6	36.4
白木A	3/4～3/6	70.9	77.5	小黑飯A	3/17～3/19	36.5	40.2
丹生A	3/6～3/8	53.6	60.2	音海A	3/18～3/19	40.5	43.6
竹波A	3/3～3/5	61.8	71.3	神野浦A	3/21～3/22	26.6	29.1
小浜A	3/9～3/11	42.5	47.6	山中A	3/20～3/22	26.1	28.3

※ 積雪期間および降雨影響時刻を除いた、更新前2010年11月(11/1～11/30)と更新後2011年4月(4/26～5/22)の平均値を示した。

(2) 原電 (B)

- 水試裏Bでは、2010年9月から2011年7月にかけて、周辺に物品を仮置きしていた影響により、周辺環境が変化するとともに線量率が変化した。

(3) 関西電力 (C)

- 奥浦Cは、道路改良工事のため2007年10月から2008年6月にかけて周辺で工事が行われ、周辺環境が変化した。
- 丹生寮Cは、関電丹生寮の建て替えのため2008年1月から11月にかけて周辺で工事が行われ、周辺環境が変化した。
- 青郷Cは、青郷小学校体育館改修のため2009年5月から12月にかけて周辺で工事が行われ、その間周辺環境が変化するとともに線量率が変化した。

3. 観測局の気象観測について

観測局に気象観測装置（雨量計、感雨計）が実装されている局、またはその近傍に併設されている局は表2のとおりである。

表2 気象観測装置実装局

地区	気 象 観 測 局 名 称					備 考
敦賀	敦 賀A	浦 底A	立 石A	河 野A	沓 D	*：線量率連続測定地点から幾分離れて気象観測装置が設置されているもの。
	赤 崎D	杉 津B	甲楽城B	今 庄B	越前厨D	
白木	白 木A	白木峠A	松ヶ崎D	—	—	
美浜	丹 生A	竹 波A	坂 尻A	竹 波C*	新 庄C*	
	郷 市C	三 方C*	—	—	—	
大飯	小 浜A	日角浜A	宮 留A	阿納尻A	長 井A	
	日角浜C	本 郷C	小 浜C	名田庄C*	上 中C*	
高浜	小黒飯A	音 海A	神野浦A	山 中A	神野浦C	
	高 浜C*	夕潮台C*	—	—	—	

気象観測装置が設置されていない局については、次表のように近くの地点で気象観測装置（雨量計と感雨計）が設置されている局で代用する。

表3 気象観測装置代用局一覧

測定地点	代用局	測定地点	代用局
ふげん北D	敦賀発電所気象露場	佐 田C	郷市C
立 石B		早 瀬C	
立石山頂B		日 向C	
ふげん西D		宮 留C	日角浜C
猪ヶ池B		川 上C	本郷C
浦 底B		鹿 野C	
水試裏B		加 斗C	小浜C
色ヶ浜B	西 津C		
五 幡B	杉津B	堅 海C	
阿 曾D	赤崎D		
白 木ID	もんじゅ気象露場	田ノ浦C	神野浦C
白 木IID		音 海C	
白 木IIID		小黒飯C	
白 木IIVD		日 引C	
奥 浦C	落合川ポンプ場	田 井C	高浜（関電高浜営業所）
丹 生C		青 郷C	
丹生寮C		高 浜C	
竹 波C		和 田C	
菅 浜C		夕潮台C	

第10表 積算線量測定結果

3ヶ月積算線量 単位：mGy/92日

年間積算値 単位：mGy/年

地区	測定地点	積算線量（92日換算値）				年間積算値	過去の平均値		現在の設置状況となった年・月
		4～6月	7～9月	10～12月	1～3月		92日換算値	年間積算値	
敦賀	立石A5	0.248	0.246	0.230	0.245	0.970	0.241	0.964	06.04
	立石山頂B1	0.232	0.243	0.238	0.212	0.925	0.226	0.904	04.04
	ふげん西D2	0.163	0.167	0.161	0.154	0.645	0.161	0.644	03.04
	猪ヶ池B1	0.233	0.241	0.236	0.220	0.930	0.232	0.928	04.04
	原子力館B	0.195	0.206	0.199	0.191	0.791	0.203	0.812	04.04
	水産試験場B2	0.181	0.186	0.181	0.176	0.724	0.179	0.716	04.04
	明神寮B2	0.223	0.235	0.224	0.210	0.892	0.229	0.916	04.04
	浦底A5	0.242	0.243	0.250	0.259	0.993	0.246	0.984	02.04
	水試裏B1	0.250	0.261	0.248	0.230	0.989	0.247	0.988	04.04
	色ヶ浜A3	0.267	0.248	0.267	0.274	1.056	0.266	1.064	02.04
	手ノ浦A3	0.221	0.216	0.211	0.225	0.873	0.219	0.876	02.04
	手ノ浦B3	0.221	0.228	0.222	0.209	0.880	0.224	0.896	04.04
	沓B5	0.242	0.255	0.246	0.228	0.971	0.262	1.048	04.04
	常宮A3	0.216	0.219	0.214	0.227	0.876	0.227	0.908	02.04
	常宮B4*1	0.223	0.232	0.222	0.196	0.873	(0.218)	(0.872)	09.04
	縄間B	0.264	0.271	0.263	0.237	1.035	0.264	1.056	04.04
	名子B1	0.176	0.181	0.176	0.167	0.700	0.176	0.704	06.04
	松島B3	0.212	0.220	0.211	0.206	0.849	0.211	0.844	04.04
	松栄B3	0.210	0.218	0.210	0.186	0.824	0.207	0.828	04.04
	赤崎A3	0.179	0.179	0.175	0.179	0.712	0.183	0.732	02.04
	阿曽A2	0.184	0.185	0.185	0.192	0.746	0.188	0.752	02.04
	杉津A4	0.170	0.168	0.166	0.173	0.676	0.172	0.688	02.04
	元比田A5	0.169	0.167	0.162	0.167	0.664	0.167	0.668	02.04
	大谷A3	0.182	0.167	0.171	0.173	0.692	0.174	0.696	02.04
大良B	0.176	0.183	0.176	0.125	0.660	0.175	0.700	04.04	
吉河A2	0.178	0.160	0.179	0.165	0.681	0.173	0.692	02.04	

過去の平均値：2005～2009年度

県(A)は2006～2009年度
(p.83 注釈(16)参照)

*1：常宮B4は、設置環境が変化したため、過去実績は2年未満（4期分）である。

第10表 積算線量測定結果

3ヶ月積算線量 単位：mGy/92日

年間積算値 単位：mGy/年

地区	測定地点	積算線量（92日換算値）				年間積算値	過去の平均値		現在の設置状況となった年・月
		4～6月	7～9月	10～12月	1～3月		92日換算値	年間積算値	
白木	白木ⅠD2	0.231	0.234	0.233	0.218	0.916	0.228	0.912	03.04
	白木ⅡD2	0.157	0.159	0.157	0.142	0.615	0.155	0.620	03.04
	白木ⅢD2	0.216	0.224	0.222	0.205	0.867	0.217	0.868	03.04
	白木ⅣD2	0.197	0.203	0.196	0.186	0.782	0.197	0.788	03.04
	白木A4	0.232	0.224	0.222	0.228	0.907	0.233	0.932	02.04
	白木D6	0.242	0.245	0.242	0.232	0.961	0.243	0.972	03.04
	松ヶ崎D2	0.230	0.234	0.231	0.222	0.917	0.230	0.920	03.04
	白城神社A2	0.231	0.230	0.239	0.242	0.942	0.232	0.928	02.04
	白城神社D4	0.226	0.228	0.228	0.218	0.900	0.227	0.908	03.04
	門ヶ崎D3	0.252	0.263	0.254	0.243	1.012	0.257	1.028	03.04
	白木トンネル北口A2	0.256	0.255	0.277	0.288	1.076	0.258	1.032	02.04
	白木トンネル北口D3	0.231	0.239	0.235	0.219	0.924	0.235	0.940	03.04
	白木トンネル南口A2	0.231	0.225	0.249	0.232	0.937	0.231	0.924	02.04
	もんじゅ寮D1	0.240	0.240	0.239	0.218	0.937	0.239	0.956	04.04
美浜	奥浦C	0.209	0.217	0.223	0.221	0.870	0.218	0.872	96.04
	丹生診療所C6	0.179	0.166	0.181	0.174	0.700	0.173	0.692	97.01
	丹生A4	0.193	0.173	0.210	0.203	0.778	0.191	0.764	02.04
	丹生C3	0.177	0.177	0.191	0.183	0.728	0.182	0.728	96.04
	丹生小中学校A	0.213	0.198	0.217	0.233	0.862	0.209	0.836	04.04
	丹生寮C5	0.214	0.213	0.220	0.214	0.861	0.215	0.860	97.01
	竹波A4	0.240	0.223	0.237	0.239	0.939	0.218	0.872	02.04
	竹波C5	0.221	0.215	0.226	0.225	0.887	0.219	0.876	96.10
	馬背川C2	0.215	0.214	0.225	0.213	0.867	0.218	0.872	96.04
	菅浜A3	0.219	0.185	0.217	0.217	0.838	0.203	0.812	02.04
	菅浜C2	0.171	0.162	0.174	0.166	0.673	0.169	0.676	96.04
けやき台C1	0.155	0.147	0.160	0.151	0.613	0.151	0.604	96.04	

過去の平均値：2005～2009年度

県(A)は2006～2009年度
(p.83 注釈(16)参照)

第10表 積算線量測定結果

3ヶ月積算線量 単位：mGy/92日

年間積算値 単位：mGy/年

地区	測定地点	積算線量(92日換算値)				年間積算値	過去の平均値		現在の設置状況となった年・月
		4～6月	7～9月	10～12月	1～3月		92日換算値	年間積算値	
美浜	佐田A3*2	0.188	0.180	0.192	0.201	0.761	(0.184)	(0.736)	09.04
	坂尻C2	0.171	0.168	0.177	0.171	0.687	0.171	0.684	96.04
	新庄C3	0.168	0.168	0.178	0.166	0.680	0.172	0.688	97.01
	和田A	0.189	0.175	0.198	0.196	0.758	0.182	0.728	04.04
	郷市C6	0.143	0.136	0.146	0.143	0.568	0.136	0.544	97.01
	久々子C1	0.146	0.139	0.150	0.138	0.573	0.145	0.580	96.04
	早瀬C5	0.134	0.136	0.142	0.141	0.553	0.138	0.552	97.07
	日向C5	0.152	0.153	0.164	0.162	0.631	0.159	0.636	97.01
	三方C4	0.118	0.117	0.126	0.121	0.482	0.120	0.480	96.10
	沓見C	0.182	0.188	0.198	0.178	0.746	0.187	0.748	04.04
大飯	赤礁崎C	0.099	0.105	0.113	0.112	0.429	0.107	0.428	04.04
	宮留奥A	0.124	0.116	0.129	0.129	0.498	0.120	0.480	04.04
	宮留A6	0.133	0.126	0.134	0.142	0.536	0.127	0.508	02.04
	宮留C3	0.113	0.116	0.127	0.120	0.476	0.119	0.476	02.10
	日角浜C3	0.108	0.112	0.124	0.118	0.462	0.116	0.464	02.10
	西村A2	0.131	0.116	0.131	0.140	0.519	0.124	0.496	02.04
	西村C1	0.084	0.085	0.097	0.091	0.357	0.089	0.356	96.04
	犬見C2	0.117	0.123	0.130	0.126	0.496	0.128	0.512	96.04
	本郷A4	0.137	0.133	0.147	0.150	0.568	0.137	0.548	02.04
	本郷C5	0.116	0.121	0.132	0.128	0.497	0.124	0.496	04.07
	鯉川A2	0.148	0.135	0.147	0.145	0.575	0.138	0.552	02.04
	加斗A4	0.146	0.140	0.150	0.147	0.583	0.141	0.564	02.04
	西勢A2	0.136	0.131	0.145	0.150	0.563	0.134	0.536	02.04
	東勢C1	0.122	0.121	0.137	0.120	0.500	0.126	0.504	96.04
	小浜市野球場C2	0.122	0.126	0.136	0.133	0.517	0.129	0.516	02.10
	小浜市大原A3	0.191	0.183	0.200	0.195	0.769	0.189	0.756	03.07
若狭健康福祉センターA2	0.166	0.173	0.175	0.185	0.699	0.168	0.672	02.04	

過去の平均値：2005～2009年度

県(A)は2006～2009年度

(p.83 注釈(16)参照)

*2：佐田A3は、あおなみ保育園建て替え工事が2009年3月で完了したため、2009年4月から測定を再開した。
佐田A3は、設置環境が変化したため、過去実績は2年未満(4期分)である。

第10表 積算線量測定結果

3ヶ月積算線量 単位：mGy/92日

年間積算値 単位：mGy/年

地区	測定地点	積算線量(92日換算値)				年間積算値	過去の平均値		現在の設置状況となった年・月
		4～6月	7～9月	10～12月	1～3月		92日換算値	年間積算値	
大飯	西津A2	0.135	0.146	0.149	0.160	0.591	0.138	0.428	02.04
	西津C3	0.109	0.111	0.124	0.119	0.463	0.116	0.480	02.10
	堅海A2	0.150	0.146	0.156	0.149	0.600	0.147	0.508	02.04
	堅海C3	0.120	0.124	0.134	0.132	0.510	0.129	0.476	02.10
	泊C2	0.132	0.130	0.142	0.135	0.539	0.137	0.464	96.04
	川上C4	0.119	0.124	0.137	0.127	0.507	0.128	0.496	02.07
	鹿野C5	0.116	0.122	0.135	0.123	0.496	0.123	0.356	02.10
	名田庄C3	0.124	0.124	0.139	0.121	0.508	0.129	0.512	02.10
	上中C3	0.100	0.106	0.115	0.105	0.426	0.108	0.548	02.10
高浜	音海A3	0.128	0.127	0.134	0.137	0.527	0.127	0.428	02.04
	音海C4	0.114	0.117	0.132	0.126	0.489	0.124	0.480	99.01
	音海県道C1	0.104	0.110	0.120	0.114	0.448	0.111	0.508	96.04
	田ノ浦C	0.108	0.112	0.124	0.117	0.461	0.117	0.476	99.01
	小黒飯A3	0.136	0.142	0.138	0.144	0.561	0.137	0.464	02.04
	小黒飯C3	0.116	0.118	0.129	0.126	0.489	0.124	0.496	99.01
	旧神野小学校A	0.136	0.142	0.147	0.142	0.568	0.139	0.356	04.04
	神野A4	0.114	0.117	0.121	0.121	0.473	0.115	0.512	02.04
	神野浦C2	0.092	0.093	0.106	0.099	0.390	0.099	0.548	96.04
	山中A3	0.132	0.136	0.135	0.142	0.546	0.137	0.428	02.04
	山中C2	0.087	0.089	0.100	0.090	0.366	0.092	0.480	96.04
	下A2	0.113	0.114	0.119	0.113	0.460	0.109	0.508	02.04
	目引C3	0.105	0.107	0.120	0.110	0.442	0.113	0.476	96.04
	上瀬A2	0.098	0.091	0.104	0.099	0.392	0.094	0.464	02.04
	六路谷A3	0.111	0.112	0.121	0.120	0.464	0.110	0.496	02.04
	六路谷C2	0.125	0.129	0.142	0.121	0.517	0.131	0.356	96.04
	高野C	0.121	0.124	0.140	0.112	0.497	0.126	0.512	04.04
青郷C2	0.122	0.123	0.136	0.127	0.508	0.128	0.548	96.04	

過去の平均値：2005～2009年度

県(A)は2006～2009年度

(p.83 注釈(16)参照)

第10表 積算線量測定結果

3ヶ月積算線量 単位：mGy/92日

年間積算値 単位：mGy/年

地区	測定地点	積算線量（92日換算値）				年間積算値	過去の平均値		現在の設置状況となった年・月
		4～6月	7～9月	10～12月	1～3月		92日換算値	年間積算値	
高浜	東三松A4	0.147	0.140	0.158	0.149	0.594	0.148	0.592	02.04
	東三松C2	0.113	0.116	0.127	0.123	0.479	0.120	0.480	96.04
	高浜町役場A3	0.112	0.113	0.117	0.118	0.460	0.108	0.432	02.04
	高浜C	0.103	0.105	0.117	0.112	0.437	0.110	0.440	99.01
	和田C3	0.112	0.110	0.125	0.117	0.464	0.117	0.468	96.04
	田井C3	0.130	0.133	0.145	0.140	0.548	0.138	0.552	99.01
	夕潮台C2	0.095	0.099	0.108	0.104	0.406	0.102	0.408	96.04
対照	金津A2	0.163	0.152	0.169	0.151	0.635	0.149	0.596	02.04
	川西A3	0.126	0.132	0.136	0.139	0.535	0.129	0.516	02.04
	福井市原目町A2	0.150	0.145	0.159	0.150	0.604	0.147	0.588	02.04
	殿下A3	0.174	0.162	0.187	0.159	0.682	0.168	0.672	02.04
	勝山A3*3	0.181	0.178	0.199	0.167	0.725	(0.176)	(0.704)	09.01
	美山A4	0.156	0.135	0.158	0.128	0.577	0.144	0.576	02.04
	宮崎A3	0.151	0.157	0.160	0.127	0.594	0.145	0.580	02.04
	武生A2	0.162	0.152	0.175	0.144	0.632	0.159	0.636	02.04
	越前市妙法寺町A	0.232	0.221	0.225	0.186	0.864	0.219	0.876	06.04
	池田A2	0.149	0.152	0.167	0.141	0.608	0.146	0.584	02.04

過去の平均値：2005～2009年度

県(A)は2006～2009年度

(p.83 注釈(16)参照)

*3：勝山A3は、2009年1月に地点移動を行ったため、過去実績は2年未満（5期分）である。

＜第10表に関する注釈＞

- (1) 第10表に示した年間積算値は、四半期値の和である。過去の平均値は、2005年度第1期から2009年度第4期までのデータから算出した。2005年度第1期以降に設置状況や周辺環境に変化のあった場合は、その時点からの平均値を示した。
設置状況等の変化により過去のデータが2年未満の地点については、過去平均値を()で示した。
- (2) 日本原電株は、2005年度から積算線量測定に、これまでのTLDに替えて電子式線量計を採用している。従って、2005年度第1期より地点番号を一つずつ進めた。
- (3) 県は、2006年度第1期から、新規に対照地区の越前市妙法寺Aで測定を開始した。
- (4) 立石A4は、2006年2月から3月にかけて、周辺で工事が行われ、周辺環境が変化した。暫定的に同じ地点番号として取り扱ってきた。2007年度第1期に、周辺環境変化の前後でデータの有意差検定を行ったところ、有意差が認められたため、2006年度第1期から地点番号をひとつ進めて「立石A5」とした。
- (5) 名子Bは、NTTによる携帯電話の無線基地局の設置（工事期間：2006年3月～4月）に伴い周辺環境が変化した。暫定的に同じ地点番号として取り扱ってきた。しかし、2006年度の年間積算値において、平常の変動幅を下回った。このため、周辺環境の変化が生じた前後（2004年度第1期～2005年度第4期と2006年度第1期～2007年度第1期）で、データの有意差検定を行ったところ、有意差が認められたため、2006年度第1期から地点番号をひとつ進めて「名子B1」とした。
- (6) (独)日本原子力研究開発機構は、2007年度第1期から積算線量測定に、これまでのTLDに替えて蛍光ガラス線量計（RPLD）を採用している。従って、2007年度第1期から地点番号を一つずつ進めた。
- (7) 東三松C2は、2007年7月より約2m移動するとともに、道路拡張工事のため2007年9月から10月にかけて周辺で工事が行われ、周辺環境が変化した。暫定的に従来と同一地点として取り扱ってきた。2008年度第3期終了後、周辺環境変化の前後でデータの有意差検定を行ったところ、有意差が認められなかったため、従来と同一地点として取り扱った。
- (8) 奥浦Cは、道路改良工事のため2007年10月から2008年6月にかけて周辺で工事が行われ、周辺環境が変化した。暫定的に従来と同一地点として取り扱ってきた。2009年度第2期終了後、周辺環境変化の前後でデータの有意差検定を行ったところ、データの有意差が認められなかったため、従来と同一地点として取り扱った。
- (9) 丹生寮C5は、関電丹生寮建て替えのため2008年1月から11月にかけて周辺で工事が行われ、周辺環境が変化した。暫定的に従来と同一地点として取り扱ってきた。2009年度第3期終了後、周辺環境変化の前後でデータの有意差検定を行ったところ、データの有意差が認められなかったため、従来と同一地点として取り扱った。
- (10) 菅浜C2は、2008年7月から10月にかけて周辺で新築工事が行われたと共に、11月に約2.6m移動するなど周辺環境が変化した。暫定的に従来と同一地点として取り扱ってきた。2009年度第3期終了後、周辺環境変化の前後でデータの有意差検定を行ったところ、データの有意差が認められなかったため、従来と同一地点として取り扱った。
- (11) 武生A2は、2008年11月から駐車場拡張工事が行われ、12月初めに県道側に約20m移動するなど周辺環境が変化した。暫定的に従来と統一地点として取り扱ってきた。2009年度第4期終了後、周辺環境変化の前後でデータの有意差検定を行ったところ、データの有意差が認められなかったため、従来と同一地点として取り扱った。

- (12) 「勝山 A2」は、行政組織統合により 2009 年 1 月に旧奥越健康福祉センターから奥越土木事務所（勝山土木部）に地点を約 800m 移設したため、2008 年度第 4 期から地点番号をひとつ進めて、「勝山 A3」とした。
- (13) 音海 A 3 は、2008 年 1 月に駐車場整備のため、約 1.5m 移動して、周辺環境が変化している。2008 年度第 4 期に測定結果の「平均値の差」および「ばらつきの差」の有意差検定を行ったところ、いずれも有意差が認められなかったため、従来と同一地点として取り扱った。
- (14) 山中 A 3 は、2008 年 1 月に衛星アンテナ設置のため、約 0.7m 移動し、周辺環境が変化している。2008 年度第 4 期に測定結果の「平均値の差」および「ばらつきの差」の有意差検定を行ったところ、いずれも有意差が認められなかったため、従来と同一地点として取り扱った。
- (15) 竹波 A 4 は、2008 年 1 月に衛星アンテナ設置のため、約 2 m 移動し、周辺環境が変化している。2008 年度第 4 期に測定結果の「平均値の差」および「ばらつきの差」の有意差検定を行ったところ、いずれも有意差が認められなかったため、従来と同一地点として取り扱った。
- (16) 2008 年度第 4 期の手ノ浦 A 3、白木 A 4 および竹波 A 4 の測定結果が平常の変動幅「平均値＋標準偏差の 3 倍」を超過したため、県の TLD リーダー更新前後（2002 年度第 1 期～2005 年度第 4 期と 2006 年度第 1 期～2008 年度第 4 期）で、県の全ての積算線量測定地点（51 地点）について、測定値の「平均値の差」および「ばらつきの差」の有意差検定を行った。結果は、21 地点で、「平均値の差」および「ばらつきの差」のいずれかに有意差があった。このことから、県は、2009 年度の積算線量測定結果の評価に用いる「過去の平均値」および「平常の変動幅」の算出にあたっては、新 TLD リーダ採用後の 2006 年度第 1 期からのデータを用いた。
- (17) 佐田 A 2 は、あおなみ保育園建て替え工事のため、2008 年度第 2 期から 2008 年度第 4 期まで測定を休止していたが、工事が 2009 年 3 月末までに完了したので、2009 年度第 1 期から測定を再開した。設置環境が変化したため、地点番号をひとつ進めて 2009 年度第 1 期から「佐田 A 3」とする。
- (18) 常宮 B 3 は、2009 年 4 月に測定地点周辺の整備工事のため約 30m 移動し、周辺環境が変化していたが、暫定的に従来と同一地点として取り扱ってきた。2010 年度第 1 期に、周辺環境変化の前後でデータの有意差検定を行ったところ、有意差が認められたため、2009 年度第 1 四半期から地点番号をひとつ進め、常宮 B 4 として取り扱う。

第11表 浮遊じんの放射能濃度の連続測定結果

機関：A、 単位＝放射能濃度：Bq/m³、放射能濃度比：%

地区	測定地点	測定月	ベータ放射能濃度				アルファ放射能濃度				(ベータ/アルファ)放射能濃度比				
			最高濃度	最低濃度	月間平均濃度	月間標準偏差	最高濃度	最低濃度	月間平均濃度	月間標準偏差	最高	最低	月間平均濃度比	月間標準偏差σ	M+3σを超えた数
			敦賀	浦底A	4月	11.8	0.3	2.5	1.8	22.9	0.6	4.7	3.3	62	44
5月	17.8	0.1			3.0	3.3	36.5	0.2	5.8	6.5	60	44	52	3	0
6月	23.9	0.3			5.0	4.5	45.6	0.7	9.7	8.7	61	45	52	3	0
7月	21.4	0.6			5.3	4.9	42.5	1.1	10.3	9.7	62	42	52	4	0
8月	25.1	0.4			4.4	4.3	47.9	0.7	8.5	8.5	64	45	53	4	0
9月	20.5	0.7			3.9	3.4	36.2	1.3	7.2	6.3	64	47	54	4	0
10月	18.6	0.7			4.6	3.0	35.7	1.3	8.6	5.6	65	46	54	4	0
11月	10.6	0.4			3.6	1.7	18.7	0.8	6.6	3.2	65	45	56	4	0
12月	10.6	0.5			3.2	1.9	20.0	1.0	5.8	3.5	65	46	55	4	0
1月	6.1	0.3			2.1	1.3	11.1	0.5	3.8	2.3	67	46	55	4	2
2月	12.6	0.7			3.8	2.3	24.2	1.3	7.2	4.5	64	45	53	3	2
3月	12.1	0.8			3.2	2.0	23.3	1.4	6.0	3.8	60	41	53	3	0
年間	25.1	0.1			3.7	3.2	47.9	0.2	7.0	6.3	67	41	54	4	4
過去実績	51.5	0.3			3.8	3.4	107.4	0.5	7.5	6.8	67	40	51	4	7
立石A	立石A	4月	12.7	0.4	2.4	1.4	25.9	0.7	4.6	2.7	62	46	51	3	1
		5月	17.0	0.1	2.8	2.5	35.5	0.3	5.6	5.3	65	41	50	4	2
		6月	17.0	0.5	4.3	2.7	34.2	0.8	8.6	5.4	60	43	50	3	1
		7月	16.4	0.7	4.2	2.8	33.7	1.4	8.5	5.8	59	42	51	4	0
		8月	14.6	0.6	4.0	2.9	30.1	1.1	8.1	6.1	62	43	51	3	1
		9月	13.9	0.6	3.3	2.2	26.0	0.9	6.1	4.2	66	46	54	4	1
		10月	12.2	0.7	3.8	2.2	26.4	1.4	7.1	4.3	64	45	54	4	0
		11月	7.9	0.4	3.2	1.4	15.5	0.9	6.0	2.7	65	46	54	4	2
		12月	7.2	0.4	2.8	1.4	14.0	0.7	5.2	2.6	66	45	53	3	2
		1月	5.6	0.3	1.9	1.2	10.2	0.5	3.6	2.2	64	42	53	4	1
		2月	8.1	0.7	3.0	1.3	15.7	1.3	5.8	2.6	68	43	53	4	4
		3月	8.1	0.7	2.6	1.1	17.1	1.4	4.9	2.2	59	46	53	2	0
		年間	17.0	0.1	3.2	2.2	35.5	0.3	6.2	4.4	68	41	52	4	15
		過去実績	18.4	0.3	3.3	2.0	42.6	0.5	6.6	4.1	64	38	50	3	9

過去実績：2007～2009年度

(注1) 測定地点は、いずれも県テレメータ観測局である。データはいずれも3時間毎の素データを計算の基礎において算出したものである。

(注2) 「M+3σを超えた数」の過去の実績は、月毎に算出した数の年間和の平均である。

(注3) 「平均値+標準偏差の3倍」の平常の変動幅を超えたものについて原因の調査を行っている。これらは、平常の変動幅をわずかの超えたもの、もしくは空气中放射能濃度が低いときに観測されたものであり、天然放射能の変動によるものであると見なされる。

なお、3月のゲルマニウム半導体検出器による核種分析において、福島第一原子力発電所事故の影響と考えられるI-131、Cs-137等の人工放射性核種が検出されたが、天然放射能レベルに比べて十分に低く、浮遊じん放射能の連続測定に影響を与えるものではなかった。

第11表 浮遊じんの放射能濃度の連続測定結果

機関：A、 単位＝放射能濃度：Bq/m³、放射能濃度比：%

地区	測定地点	測定月	ベータ放射能濃度				アルファ放射能濃度				(ベータ/アルファ)放射能濃度比				
			最高濃度	最低濃度	月間平均濃度	月間標準偏差	最高濃度	最低濃度	月間平均濃度	月間標準偏差	最高	最低	月間平均濃度比	月間標準偏差σ	M+3σを超えた数
			白木	白木A	4月	9.6	0.3	2.2	1.4	18.2	0.5	4.2	2.6	61	47
		5月	14.3	0.1	2.9	2.9	30.0	0.2	5.7	5.9	60	44	52	3	0
		6月	28.9	0.4	5.4	4.9	57.3	0.7	10.5	9.3	60	46	51	3	2
		7月	23.3	0.6	5.3	4.5	46.1	1.1	10.3	8.8	59	44	52	3	0
		8月	22.1	0.4	4.9	4.6	41.7	0.8	9.3	8.9	65	46	54	4	0
		9月	18.2	0.6	3.6	3.0	35.2	1.0	6.6	5.6	65	47	55	3	0
		10月	17.4	0.6	3.8	2.5	32.4	1.3	7.1	4.7	65	45	54	4	0
		11月	8.5	0.4	3.1	1.5	16.8	0.8	5.8	2.8	62	45	54	3	0
		12月	8.3	0.4	2.6	1.5	15.7	0.7	4.9	2.8	70	47	55	3	2
		1月	6.5	0.2	1.9	1.1	11.9	0.5	3.4	2.1	65	46	55	4	0
		2月	8.6	0.7	3.1	1.7	16.4	1.2	5.9	3.3	67	46	53	4	2
		3月	11.0	0.8	2.8	1.7	19.5	1.4	5.0	3.1	63	45	55	3	0
		年間	28.9	0.1	3.5	3.1	57.3	0.2	6.6	6.1	70	44	54	4	6
		過去実績	40.7	0.2	3.6	3.1	78.9	0.3	7.0	6.1	68	41	52	3	11
	白木峠A	4月	7.1	0.3	2.0	0.8	14.3	0.6	3.9	1.6	64	44	51	3	3
		5月	9.7	0.1	2.0	1.5	19.4	0.2	4.1	3.1	64	40	51	3	2
		6月	11.7	0.4	3.4	2.1	23.2	0.7	6.7	4.1	62	44	51	3	2
		7月	12.7	0.6	3.2	2.0	26.5	1.1	6.4	4.3	63	43	51	4	2
		8月	11.1	0.4	3.0	2.2	24.8	0.8	6.1	4.5	64	43	51	4	2
		9月	10.9	0.7	2.6	1.6	20.9	1.2	5.0	3.1	68	44	54	4	1
		10月	8.9	0.6	3.0	1.5	16.4	1.2	5.5	2.8	66	44	55	4	0
		11月	6.9	0.4	2.8	1.1	13.0	0.7	5.2	2.1	67	47	55	4	1
		12月	6.1	0.4	2.4	1.1	12.2	0.7	4.4	2.0	65	48	55	4	0
		1月	4.9	0.2	1.9	1.1	10.1	0.4	3.6	2.0	62	45	53	3	0
		2月	6.1	0.7	2.6	1.0	11.6	1.2	5.1	1.9	62	44	52	4	0
		3月	5.9	0.8	2.4	0.9	11.1	1.5	4.4	1.8	61	44	54	3	0
		年間	12.7	0.1	2.6	1.5	26.5	0.2	5.0	3.1	68	40	53	4	13
		過去実績	13.7	0.0	2.6	1.4	26.5	0.1	5.1	2.9	67	41	52	4	12

過去実績：2007～2009年度

(注1) 測定地点は、いずれも県テレメータ観測局である。データはいずれも3時間毎の素データを計算の基礎において算出したものである。

(注2) 「M+3σを超えた数」の過去の実績は、月毎に算出した数の年間和の平均である。

(注3) 「平均値+標準偏差の3倍」の平常の変動幅を超えたものについて原因の調査を行っている。これらは、平常の変動幅をわずかの超えたもの、もしくは空气中放射能濃度が低いときに観測されたものであり、天然放射能の変動によるものであると見なされる。

なお、3月のゲルマニウム半導体検出器による核種分析において、福島第一原子力発電所事故の影響と考えられるI-131、Cs-137等の人工放射性核種が検出されたが、天然放射能レベルに比べて十分に低く、浮遊じん放射能の連続測定に影響を与えるものではなかった。

第11表 浮遊じんの放射能濃度の連続測定結果

機関：A、 単位＝放射能濃度：Bq/m³、放射能濃度比：%

地区	測定地点	測定月	ベータ放射能濃度				アルファ放射能濃度				(ベータ/アルファ)放射能濃度比				
			最高濃度	最低濃度	月間平均濃度	月間標準偏差	最高濃度	最低濃度	月間平均濃度	月間標準偏差	最高	最低	月間平均濃度比	月間標準偏差σ	M+3σを超えた数
			美浜	丹生A	4月	11.3	0.3	2.3	1.5	22.3	0.6	4.1	2.7	65	50
5月	13.9	0.1			2.7	2.7	26.1	0.2	4.9	5.1	66	47	56	3	1
6月	15.5	0.4			4.1	3.0	28.0	0.7	7.3	5.4	65	49	56	3	2
7月	12.2	0.7			3.7	2.5	23.0	1.1	6.9	4.8	68	47	55	4	2
8月	13.2	0.4			3.5	3.0	24.8	0.7	6.6	5.8	68	48	55	4	1
9月	13.0	0.6			3.0	2.1	22.7	1.0	5.1	3.7	74	50	59	4	1
10月	11.4	0.6			3.5	2.2	22.2	1.1	6.1	3.9	70	49	58	4	1
11月	9.1	0.5			3.2	1.6	14.7	0.9	5.4	2.7	69	50	59	4	0
12月	11.2	0.3			2.8	1.8	17.3	0.6	4.7	3.0	69	50	59	4	0
1月	5.4	0.2			1.9	1.2	10.1	0.3	3.3	2.0	70	50	59	4	3
2月	11.0	0.7			3.2	2.0	20.6	1.1	5.7	3.7	68	47	58	4	0
3月	11.8	0.7			2.8	1.8	22.1	1.3	4.9	3.1	66	48	57	3	0
年間	15.5	0.1			3.1	2.3	28.0	0.2	5.4	4.2	74	47	57	4	13
過去実績	17.2	0.1			3.2	2.2	33.4	0.3	6.0	4.2	69	42	54	4	10
竹波A	竹波A	4月	12.0	0.3	2.7	1.8	23.8	0.6	5.2	3.5	59	44	51	3	0
		5月	15.7	0.1	2.9	2.8	34.4	0.3	5.9	5.7	60	42	50	3	1
		6月	27.5	0.5	5.7	5.2	56.6	0.9	11.5	10.5	59	42	50	3	2
		7月	29.2	0.7	5.5	4.5	57.9	1.4	11.1	9.1	62	42	50	3	3
		8月	18.5	0.4	5.1	4.4	37.4	0.8	9.9	8.8	66	43	53	5	0
		9月	22.9	0.5	4.2	3.5	41.6	0.9	7.6	6.5	65	46	55	4	0
		10月	19.6	0.7	4.4	3.0	37.4	1.3	8.5	5.8	65	45	53	4	2
		11月	10.4	0.5	3.7	1.8	21.7	0.9	7.0	3.5	64	46	53	3	2
		12月	12.6	0.3	3.2	2.1	21.5	0.6	5.9	3.7	67	46	54	3	2
		1月	7.9	0.2	2.3	1.6	14.3	0.4	4.3	2.9	67	44	54	4	1
		2月	17.1	0.7	3.7	2.2	31.7	1.2	7.2	4.4	62	44	52	3	1
		3月	13.6	0.8	3.3	2.2	25.7	1.4	6.3	4.2	62	46	53	3	0
		年間	29.2	0.1	3.9	3.3	57.9	0.3	7.5	6.6	67	42	52	4	14
		過去実績	44.2	0.2	4.1	3.3	88.3	0.5	8.3	6.9	66	40	49	3	10

過去実績：2007～2009年度

(注1) 測定地点は、いずれも県テレメータ観測局である。データはいずれも3時間毎の素データを計算の基礎において算出したものである。

(注2) 「M+3σを超えた数」の過去の実績は、月毎に算出した数の年間和の平均である。

(注3) 「平均値+標準偏差の3倍」の平常の変動幅を超えたものについて原因の調査を行っている。

これらは、平常の変動幅をわずかの超えたもの、もしくは空气中放射能濃度が低いときに観測されたものであり、天然放射能の変動によるものであると見なされる。

なお、3月のゲルマニウム半導体検出器による核種分析において、福島第一原子力発電所事故の影響と考えられるI-131、Cs-137等の人工放射性核種が検出されたが、天然放射能レベルに比べて十分に低く、浮遊じん放射能の連続測定に影響を与えるものではなかった。

第11表 浮遊じんの放射能濃度の連続測定結果

機関：A、 単位＝放射能濃度：Bq/m³、放射能濃度比：%

地区	測定地点	測定月	ベータ放射能濃度				アルファ放射能濃度				(ベータ/アルファ)放射能濃度比				
			最高濃度	最低濃度	月間平均濃度	月間標準偏差	最高濃度	最低濃度	月間平均濃度	月間標準偏差	最高	最低	月間平均濃度比	月間標準偏差σ	M+3σを超えた数
			大飯	日角浜 A	4月	9.8	0.4	2.3	1.7	19.2	0.7	4.4	3.4	64	44
5月	12.5	0.1			2.6	2.5	25.1	0.2	5.1	5.0	59	42	51	3	0
6月	13.7	0.4			4.0	2.7	25.2	0.8	7.7	5.3	61	45	52	3	2
7月	14.5	0.4			4.2	3.1	31.2	0.7	8.4	6.3	62	43	51	3	1
8月	14.9	0.4			4.3	3.7	33.6	0.8	8.7	7.7	63	44	51	4	2
9月	16.9	0.5			3.6	3.3	30.4	0.9	6.7	6.2	62	45	54	3	0
10月	11.8	0.6			3.6	2.4	22.9	1.2	6.9	4.8	62	44	52	3	0
11月	13.4	0.5			4.0	2.5	23.8	1.0	7.6	4.7	62	46	53	3	0
12月	13.5	0.2			3.4	2.4	27.4	0.3	6.5	4.5	64	47	53	3	1
1月	7.7	0.2			2.3	1.4	15.6	0.4	4.4	2.6	64	45	53	3	1
2月	14.9	0.6			4.0	2.9	30.0	1.1	7.9	5.9	61	46	52	3	1
3月	11.0	0.7			3.1	2.2	20.9	1.4	6.0	4.1	60	45	52	3	0
年間	16.9	0.1			3.4	2.7	33.6	0.2	6.7	5.4	64	42	52	3	10
過去実績	20.1	0.2			3.4	2.6	39.2	0.3	6.8	5.2	64	41	51	3	11
宮留 A	宮留 A	4月	9.5	0.4	2.3	1.7	18.2	0.7	4.4	3.4	63	43	52	3	1
		5月	12.4	0.1	2.5	2.4	26.7	0.2	5.0	5.1	60	43	50	3	0
		6月	14.1	0.4	3.7	2.7	25.7	0.8	7.4	5.5	61	44	50	3	1
		7月	14.5	0.3	4.1	3.2	28.6	0.6	8.2	6.6	63	43	50	4	1
		8月	15.8	0.4	4.1	3.6	32.3	0.8	8.2	7.5	64	44	52	4	0
		9月	16.0	0.5	3.5	3.3	29.9	0.8	6.6	6.2	65	46	54	4	0
		10月	11.1	0.6	3.5	2.4	22.3	1.0	6.7	4.7	63	43	53	3	1
		11月	13.2	0.4	3.9	2.5	25.7	0.8	7.4	4.8	64	45	54	4	0
		12月	14.2	0.2	3.3	2.4	28.6	0.4	6.1	4.6	64	46	54	4	0
		1月	7.8	0.2	2.2	1.4	14.0	0.4	4.0	2.5	66	46	55	4	0
		2月	14.1	0.6	3.8	2.9	30.0	1.2	7.6	5.8	63	43	51	4	1
		3月	10.2	0.6	3.0	2.1	20.9	1.1	5.8	4.1	61	43	53	4	0
		年間	16.0	0.1	3.3	2.7	32.3	0.2	6.5	5.4	66	43	52	4	5
		過去実績	22.2	0.3	3.4	2.6	44.3	0.5	6.7	5.2	64	41	51	3	12

過去実績：2007～2009年度

(注1) 測定地点は、いずれも県テレメータ観測局である。データはいずれも3時間毎の素データを計算の基礎において算出したものである。

(注2) 「M+3σを超えた数」の過去の実績は、月毎に算出した数の年間和の平均である。

(注3) 「平均値+標準偏差の3倍」の平常の変動幅を超えたものについて原因の調査を行っている。これらは、平常の変動幅をわずかの超えたもの、もしくは空气中放射能濃度が低いときに観測されたものであり、天然放射能の変動によるものであると見なされる。

なお、3月のゲルマニウム半導体検出器による核種分析において、福島第一原子力発電所事故の影響と考えられるI-131、Cs-137等の人工放射性核種が検出されたが、天然放射能レベルに比べて十分に低く、浮遊じん放射能の連続測定に影響を与えるものではなかった。

第11表 浮遊じんの放射能濃度の連続測定結果

機関：A、 単位＝放射能濃度：Bq/m³、放射能濃度比：%

地区	測定地点	測定月	ベータ放射能濃度				アルファ放射能濃度				(ベータ/アルファ)放射能濃度比				
			最高濃度	最低濃度	月間平均濃度	月間標準偏差	最高濃度	最低濃度	月間平均濃度	月間標準偏差	最高	最低	月間平均濃度比	月間標準偏差σ	M+3σを超えた数
			高浜	小黒飯A	4月	4.3	0.3	1.7	0.7	9.5	0.5	3.3	1.4	58	45
5月	6.3	0.1	1.7		1.3	13.8	0.2	3.5	2.7	58	40	50	3	0	
6月	8.3	0.3	2.7		1.5	17.1	0.6	5.4	3.0	57	45	50	3	0	
7月	7.6	0.3	2.5		1.6	16.6	0.6	5.0	3.3	58	43	50	3	0	
8月	7.1	0.3	2.4		1.5	14.1	0.5	4.6	3.1	65	45	53	4	0	
9月	7.4	0.5	2.1		1.3	14.5	0.8	4.0	2.6	62	46	53	3	0	
10月	6.1	0.5	2.3		1.0	13.2	1.1	4.4	2.0	63	44	53	3	0	
11月	6.9	0.6	2.9		1.3	14.0	1.0	5.5	2.5	62	43	53	4	0	
12月	8.4	0.2	2.7		1.5	16.4	0.4	5.2	2.9	65	45	53	4	3	
1月	5.6	0.1	2.0		1.0	11.1	0.3	3.8	1.9	64	41	53	3	1	
2月	6.9	0.7	2.6		1.2	14.5	1.5	5.2	2.5	63	44	51	3	1	
3月	6.0	0.6	2.2		0.8	11.1	1.1	4.3	1.7	59	44	51	3	0	
年間	8.4	0.1	2.3		1.3	17.1	0.2	4.5	2.6	65	40	52	4	5	
過去実績	10.3	0.2	2.5		1.4	22.3	0.5	5.1	2.8	63	40	50	3	12	
音海A	音海A	4月	4.5	0.3	1.8	0.8	9.4	0.6	3.5	1.5	60	42	51	3	1
5月		7.1	0.1	1.9	1.5	15.4	0.2	3.9	3.0	60	40	50	3	0	
6月		8.0	0.3	2.9	1.5	16.1	0.6	5.9	3.0	57	42	49	3	1	
7月		8.2	0.4	2.8	1.7	18.4	0.8	5.8	3.6	59	42	50	3	0	
8月		9.8	0.4	2.8	1.9	20.7	0.7	5.7	4.0	60	42	50	4	1	
9月		7.9	0.5	2.5	1.6	15.3	0.9	4.7	3.1	64	45	54	3	1	
10月		7.4	0.6	2.6	1.2	14.5	1.1	4.9	2.4	61	45	53	3	0	
11月		7.7	0.6	3.4	1.5	14.4	1.1	6.4	3.0	63	44	53	3	0	
12月		10.4	0.3	3.1	1.8	19.7	0.5	5.8	3.4	64	46	54	3	1	
1月		7.0	0.1	2.5	1.5	13.8	0.3	4.8	2.8	62	45	52	3	1	
2月		8.6	0.6	2.8	1.4	18.0	1.1	5.5	2.8	60	43	51	3	0	
3月		5.4	0.7	2.4	1.0	10.8	1.2	4.7	2.0	62	45	51	3	1	
年間		10.4	0.1	2.6	1.5	20.7	0.2	5.1	3.1	64	40	51	4	7	
過去実績		12.2	0.3	2.8	1.6	26.5	0.6	5.6	3.2	65	38	50	3	11	

過去実績：2007～2009年度

(注1) 測定地点は、いずれも県テレメータ観測局である。データはいずれも3時間毎の素データを計算の基礎において算出したものである。

(注2) 「M+3σを超えた数」の過去の実績は、月毎に算出した数の年間和の平均である。

(注3) 「平均値+標準偏差の3倍」の平常の変動幅を超えたものについて原因の調査を行っている。これらは、平常の変動幅をわずかの超えたもの、もしくは空气中放射能濃度が低いときに観測されたものであり、天然放射能の変動によるものであると見なされる。

なお、3月のゲルマニウム半導体検出器による核種分析において、福島第一原子力発電所事故の影響と考えられるI-131、Cs-137等の人工放射性核種が検出されたが、天然放射能レベルに比べて十分に低く、浮遊じん放射能の連続測定に影響を与えるものではなかった。

第11表 浮遊じんの放射能濃度の連続測定結果

機関：A、 単位＝放射能濃度：Bq/m³、放射能濃度比：%

地区	測定地点	測定月	ベータ放射能濃度				アルファ放射能濃度				(ベータ/アルファ)放射能濃度比				
			最高濃度	最低濃度	月間平均濃度	月間標準偏差	最高濃度	最低濃度	月間平均濃度	月間標準偏差	最高	最低	月間平均濃度比	月間標準偏差σ	M+3σを超えた数
			高浜	神野浦A	4月	4.5	0.3	1.8	0.8	9.3	0.6	3.6	1.5	60	46
		5月	6.6	0.1	2.0	1.5	13.9	0.2	3.9	3.0	61	44	51	3	1
		6月	8.3	0.2	3.1	1.7	16.1	0.4	6.1	3.3	61	44	50	3	3
		7月	8.2	0.3	2.7	1.6	17.6	0.5	5.6	3.4	63	43	50	3	1
		8月	8.5	0.3	2.8	1.8	18.4	0.6	5.8	4.0	64	43	50	4	1
		9月	8.6	0.5	2.4	1.6	17.7	0.9	4.8	3.3	63	44	52	3	1
		10月	6.0	0.6	2.3	1.0	12.6	1.2	4.5	2.1	59	42	51	3	0
		11月	7.4	0.4	2.8	1.3	14.2	0.8	5.3	2.6	65	46	53	3	1
		12月	7.5	0.4	2.6	1.5	14.5	0.8	4.8	2.8	65	46	55	3	1
		1月	6.3	0.1	2.2	1.2	11.7	0.3	4.0	2.3	67	44	54	4	1
		2月	7.4	0.7	2.4	1.2	15.9	1.2	4.6	2.4	64	45	53	3	1
		3月	5.5	0.7	2.2	0.9	11.6	1.3	4.2	1.7	60	45	53	3	0
		年間	8.6	0.1	2.4	1.4	18.4	0.2	4.8	2.9	67	42	52	4	11
		過去実績	10.5	0.3	2.6	1.5	21.3	0.5	5.1	2.9	69	41	50	3	12

過去実績：2007～2009年度

(注1) 測定地点は、いずれも県テレメータ観測局である。データはいずれも3時間毎の素データを計算の基礎において算出したものである。

(注2) 「M+3σを超えた数」の過去の実績は、月毎に算出した数の年間和の平均である。

(注3) 「平均値+標準偏差の3倍」の平常の変動幅を超えたものについて原因の調査を行っている。

これらは、平常の変動幅をわずかの超えたもの、もしくは空气中放射能濃度が低いときに観測されたものであり、天然放射能の変動によるものであると見なされる。

なお、3月のゲルマニウム半導体検出器による核種分析において、福島第一原子力発電所事故の影響と考えられるI-131、Cs-137等の人工放射性核種が検出されたが、天然放射能レベルに比べて十分に低く、浮遊じん放射能の連続測定に影響を与えるものではなかった。

第12表 大気中のヨウ素-131分析結果

単位：mBq/m³

地区	採取地点	採取期間	¹³¹ 粒子状 I 濃度	¹³¹ ガス状 I 濃度	過去実績		機関
					¹³¹ 粒子状 I	¹³¹ ガス状 I	
敦賀	浦底A	10.04.08～10.05.12	—	—	—	—	A
		10.05.12～10.06.03	—	—			
		10.06.03～10.07.08	—	—			
		10.07.08～10.08.05	—	—			
		10.08.05～10.09.08	—	—			
		10.09.08～10.10.07	—	—			
		10.10.07～10.11.05	—	—			
		10.11.05～10.12.02	—	—			
		10.12.02～11.01.07	—	—			
		11.01.07～11.02.09	—	—			
		11.02.09～11.03.03	—	—			
		11.03.03～11.04.07	0.1	0.3			
白木	白木A	10.04.07～10.05.12	—	—	—	—	A
		10.05.12～10.06.03	—	—			
		10.06.03～10.07.07	—	—			
		10.07.07～10.08.05	—	—			
		10.08.05～10.09.08	—	—			
		10.09.08～10.10.06	—	—			
		10.10.06～10.11.05	—	—			
		10.11.05～10.12.02	—	—			
		10.12.02～11.01.06	—	—			
		11.01.06～11.02.09	—	—			
		11.02.09～11.03.03	—	—			
		11.03.03～11.04.06	0.1	0.2			
美浜	竹波A	10.04.07～10.05.12	—	—	—	—	A
		10.05.12～10.06.03	—	—			
		10.06.03～10.07.07	—	—			
		10.07.07～10.08.05	—	—			
		10.08.05～10.09.08	—	—			
		10.09.08～10.10.06	—	—			
		10.10.06～10.11.05	—	—			
		10.11.05～10.12.02	—	—			
		10.12.02～11.01.06	—	—			
		11.01.06～11.02.09	—	—			
		11.02.09～11.03.03	—	—			
		11.03.03～11.04.06	0.1	0.2			

過去実績：2007～2009年度

第12表 大気中のヨウ素-131分析結果

単位：mBq/m³

地区	採取地点	採取期間	¹³¹ 粒子状 I 濃度	¹³¹ ガス状 I 濃度	過去実績		機関
					¹³¹ 粒子状 I	¹³¹ ガス状 I	
大飯	宮留 A	10.04.07～10.05.11	—	—	—	—	A
		10.05.11～10.06.02	—	—			
		10.06.02～10.07.07	—	—			
		10.07.07～10.08.04	—	—			
		10.08.04～10.09.07	—	—			
		10.09.07～10.10.06	—	—			
		10.10.06～10.11.04	—	—			
		10.11.04～10.12.01	—	—			
		10.12.01～11.01.06	—	—			
		11.01.06～11.02.08	—	—			
		11.02.08～11.03.02	—	—			
		11.03.02～11.04.06	0.1	0.1			
高浜	小黒飯 A	10.04.06～10.05.11	—	—	—	—	A
		10.05.11～10.06.02	—	—			
		10.06.02～10.07.06	—	—			
		10.07.06～10.08.04	—	—			
		10.08.04～10.09.07	—	—			
		10.09.07～10.10.05	—	—			
		10.10.05～10.11.04	—	—			
		10.11.04～10.12.01	—	—			
		10.12.01～11.01.05	—	—			
		11.01.05～11.02.08	—	—			
		11.02.08～11.03.02	—	—			
		11.03.02～11.04.05*	0.1	0.2			

過去実績：2007～2009年度

以下の分析結果の表では／は調査対象外を、—は検出限界値未満を、0.0は0.05未満で検出限界値以上の測定値を示す。

測定値はいずれも採取時の値である。過去実績の欄で—と記したものは検出実績の1例もないものである。

*：高浜地区小黒飯Aの粒子状I-131は、試料一部欠損のため3月3日～4月5日採取分の結果である。

第13表 核種分析結果 その1 浮遊じん

単位： mBq/m³

地区	採取地点	採取期間	目的核種						参考核種		天然核種	過去実績		機関	
			²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁴ Ce		⁷ Be	⁶⁰ Co		¹³⁷ Cs
敦賀	立石B	10.04.01~10.05.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.6	-	-	B
	〃	10.05.07~10.06.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.3	-	-	
	〃	10.06.01~10.07.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.7	-	-	
	〃	10.07.01~10.08.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.8	-	-	
	〃	10.08.02~10.09.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.7	-	-	
	〃	10.09.02~10.10.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.6	-	-	
	〃	10.10.04~10.11.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.4	-	-	
	〃	10.11.02~10.12.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.0	-	-	
	〃	10.12.02~11.01.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.3	-	-	
	〃	11.01.05~11.02.08	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.9	-	-	
	〃	11.02.08~11.03.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.3	-	-	
	〃	11.03.01~11.04.04	-	-	-	-	0.1	0.0	-	-	-	5.8	-	-	
	浦底A	10.04.08~10.05.12	-	-	-	-	/	-	-	-	-	5.0	-	-	A
	〃	10.05.12~10.06.03	-	-	-	-	/	-	-	-	-	2.7	-	-	
	〃	10.06.03~10.07.08	-	-	-	-	/	-	-	-	-	2.8	-	-	
	〃	10.07.08~10.08.05	-	-	-	-	/	-	-	-	-	1.4	-	-	
	〃	10.08.05~10.09.08	-	-	-	-	/	-	-	-	-	1.6	-	-	
	〃	10.09.08~10.10.07	-	-	-	-	/	-	-	-	-	4.7	-	-	
	〃	10.10.07~10.11.05	-	-	-	-	/	-	-	-	-	5.4	-	-	
	〃	10.11.05~10.12.02	-	-	-	-	/	-	-	-	-	5.9	-	-	
	〃	10.12.02~11.01.07	-	-	-	-	/	-	-	-	-	3.9	-	-	
	〃	11.01.07~11.02.09	-	-	-	-	/	-	-	-	-	4.3	-	-	
	〃	11.02.09~11.03.03	-	-	-	-	/	-	-	-	-	5.3	-	-	
	〃	11.03.03~11.04.07	-	-	-	-	/	0.1	-	-	-	5.2	-	-	
	浦底B	10.04.01~10.05.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.0	-	-	B
	〃	10.05.07~10.06.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.6	-	-	
	〃	10.06.01~10.07.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.2	-	-	
	〃	10.07.01~10.08.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.0	-	-	
	〃	10.08.02~10.09.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.8	-	-	
	〃	10.09.02~10.10.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.0	-	-	
	〃	10.10.04~10.11.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.1	-	-	
	〃	10.11.02~10.12.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.2	-	-	
	〃	10.12.02~11.01.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.2	-	-	
〃	11.01.05~11.02.08	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.8	-	-		
〃	11.02.08~11.03.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.3	-	-		
〃	11.03.01~11.04.04	-	-	-	-	0.1	-	-	-	-	5.8	-	-		
色ヶ浜B	10.04.01~10.05.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.5	-	-	B	
〃	10.05.07~10.06.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.3	-	-		
〃	10.06.01~10.07.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.8	-	-		
〃	10.07.01~10.08.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.9	-	-		
〃	10.08.02~10.09.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.5	-	-		
〃	10.09.02~10.10.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.5	-	-		

過去実績：2007～2009年度

(注) ヨウ素-131は、ガス状のものを含まない浮遊じんのみの測定結果である。

以下の核種分析結果の表では/は調査対象外、-は検出限界値未満、0.0は0.05未満で検出限界値以上の測定値を意味する。

過去実績の欄で、-と記したものは、検出値が1例もないものである。濃度は採取時の値である。

第13表 核種分析結果 その1 浮遊じん

単位： mBq/m³

地区	採取地点	採取期間	目的核種						参考核種		天然核種	過去実績		機関	
			²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁴ Ce	⁷ Be	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs		
敦賀	色ヶ浜B	10.10.04~10.11.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.2	-	-	B
	"	10.11.02~10.12.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.1	-	-	
	"	10.12.02~11.01.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.3	-	-	
	"	11.01.05~11.02.08	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.7	-	-	
	"	11.02.08~11.03.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.2	-	-	
	"	11.03.01~11.04.04	-	-	-	-	0.1	-	-	-	-	5.8	-	-	
白木	白木A	10.04.07~10.05.12	-	-	-	-	/	-	-	-	-	5.4	-	-	A
	"	10.05.12~10.06.03	-	-	-	-	/	-	-	-	-	2.8	-	-	
	"	10.06.03~10.07.07	-	-	-	-	/	-	-	-	-	2.8	-	-	
	"	10.07.07~10.08.05	-	-	-	-	/	-	-	-	-	1.6	-	-	
	"	10.08.05~10.09.08	-	-	-	-	/	-	-	-	-	1.6	-	-	
	"	10.09.08~10.10.06	-	-	-	-	/	-	-	-	-	4.6	-	-	
	"	10.10.06~10.11.05	-	-	-	-	/	-	-	-	-	5.1	-	-	
	"	10.11.05~10.12.02	-	-	-	-	/	-	-	-	-	5.6	-	-	
	"	10.12.02~11.01.06	-	-	-	-	/	-	-	-	-	3.9	-	-	
	"	11.01.06~11.02.09	-	-	-	-	/	-	-	-	-	4.2	-	-	
	"	11.02.09~11.03.03	-	-	-	-	/	-	-	-	-	5.0	-	-	
	"	11.03.03~11.04.06	-	-	-	-	/	0.0	-	-	-	5.3	-	-	
	松ヶ崎D	10.04.01~10.05.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.3	-	-	D
	"	10.05.07~10.06.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.2	-	-	
	"	10.06.01~10.07.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.9	-	-	
	"	10.07.01~10.08.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.3	-	-	
	"	10.08.02~10.09.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.3	-	-	
	"	10.09.01~10.10.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.4	-	-	
	"	10.10.01~10.11.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.7	-	-	
	"	10.11.01~10.12.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.6	-	-	
	"	10.12.01~11.01.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.3	-	-	
	"	11.01.05~11.02.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.1	-	-	
美浜	竹波A	10.04.07~10.05.12	-	-	-	-	/	-	-	-	-	5.2	-	-	A
	"	10.05.12~10.06.03	-	-	-	-	/	-	-	-	-	2.9	-	-	
	"	10.06.03~10.07.07	-	-	-	-	/	-	-	-	-	2.8	-	-	
	"	10.07.07~10.08.05	-	-	-	-	/	-	-	-	-	1.6	-	-	
	"	10.08.05~10.09.08	-	-	-	-	/	-	-	-	-	1.5	-	-	
	"	10.09.08~10.10.06	-	-	-	-	/	-	-	-	-	4.5	-	-	
	"	10.10.06~10.11.05	-	-	-	-	/	-	-	-	-	4.9	-	-	
	"	10.11.05~10.12.02	-	-	-	-	/	-	-	-	-	5.4	-	-	
	"	10.12.02~11.01.06	-	-	-	-	/	-	-	-	-	3.8	-	-	
	"	11.01.06~11.02.09	-	-	-	-	/	-	-	-	-	4.1	-	-	
	"	11.02.09~11.03.03	-	-	-	-	/	-	-	-	-	5.1	-	-	
	"	11.03.03~11.04.06	-	-	-	-	/	0.0	-	-	-	4.8	-	-	

過去実績：2007~2009年度

第13表 核種分析結果 その1 浮遊じん

単位： mBq/m³

地区	採取地点	採取期間	目的核種						参考核種		天然核種	過去実績		機関	
			²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁴ Ce	⁷ Be	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs		
美浜	丹生	10.04.01~10.05.06	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6.4	—	—	C
	〃	10.05.06~10.06.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3.6			
	〃	10.06.01~10.07.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3.8			
	〃	10.07.01~10.08.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.8			
	〃	10.08.02~10.09.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.0			
	〃	10.09.01~10.10.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4.4			
	〃	10.10.01~10.11.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5.1			
	〃	10.11.01~10.12.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6.0			
	〃	10.12.01~11.01.04	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4.5			
	〃	11.01.04~11.02.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4.6			
	〃	11.02.02~11.03.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6.4			
〃	11.03.01~11.04.05	—	—	—	—	0.1	—	—	—	—	5.9				
大飯	宮留A	10.04.07~10.05.11	—	—	—	—	/	—	—	—	—	5.7	—	—	A
	〃	10.05.11~10.06.02	—	—	—	—	/	—	—	—	—	2.9			
	〃	10.06.02~10.07.07	—	—	—	—	/	—	—	—	—	2.9			
	〃	10.07.07~10.08.04	—	—	—	—	/	—	—	—	—	1.7			
	〃	10.08.04~10.09.07	—	—	—	—	/	—	—	—	—	1.6			
	〃	10.09.07~10.10.06	—	—	—	—	/	—	—	—	—	4.8			
	〃	10.10.06~10.11.04	—	—	—	—	/	—	—	—	—	5.0			
	〃	10.11.04~10.12.01	—	—	—	—	/	—	—	—	—	5.3			
	〃	10.12.01~11.01.06	—	—	—	—	/	—	—	—	—	4.1			
	〃	11.01.06~11.02.08	—	—	—	—	/	—	—	—	—	4.5			
	〃	11.02.08~11.03.02	—	—	—	—	/	—	—	—	—	5.4			
	〃	11.03.02~11.04.06	—	—	—	—	/	0.0	—	—	—	5.1			
	宮留	10.04.02~10.05.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6.9	—	—	C
	〃	10.05.07~10.06.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3.7			
	〃	10.06.02~10.07.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3.9			
	〃	10.07.02~10.08.03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.1			
	〃	10.08.03~10.09.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.0			
	〃	10.09.02~10.10.04	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5.9			
	〃	10.10.04~10.11.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6.0			
	〃	10.11.02~10.12.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5.9			
	〃	10.12.02~11.01.05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4.8			
〃	11.01.05~11.02.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4.6				
〃	11.02.01~11.03.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6.4				
〃	11.03.02~11.04.04	—	—	—	—	0.1	—	—	—	—	5.7				
高浜	音海	10.04.02~10.05.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6.4	—	—	C
	〃	10.05.07~10.06.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3.7			
	〃	10.06.02~10.07.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3.6			
	〃	10.07.02~10.08.03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.8			
	〃	10.08.03~10.09.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.7			
	〃	10.09.02~10.10.04	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5.3			

過去実績：2007～2009年度

第13表 核種分析結果 その1 浮遊じん

単位： mBq/m³

地区	採取地点	採取期間	目的核種						参考核種		天然核種	過去実績		機関		
			²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁴ Ce		⁷ Be	⁶⁰ Co		¹³⁷ Cs	
高浜	音海	10.10.04~10.11.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5.5	—	—	C	
	〃	10.11.02~10.12.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6.3				
	〃	10.12.02~11.01.05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5.0				
	〃	11.01.05~11.02.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4.7				
	〃	11.02.01~11.03.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6.6				
	〃	11.03.02~11.04.04	—	—	—	—	0.1	—	—	—	—	6.0				
	小黒飯A	10.04.06~10.05.11	—	—	—	—	/	—	—	—	—	5.5	—	—	A	
	〃	10.05.11~10.06.02	—	—	—	—	/	—	—	—	—	3.0				
	〃	10.06.02~10.07.06	—	—	—	—	/	—	—	—	—	2.8				
	〃	10.07.06~10.08.04	—	—	—	—	/	—	—	—	—	1.6				
	〃	10.08.04~10.09.07	—	—	—	—	/	—	—	—	—	1.3				
	〃	10.09.07~10.10.05	—	—	—	—	/	—	—	—	—	4.9				
	〃	10.10.05~10.11.04	—	—	—	—	/	—	—	—	—	4.8				
	〃	10.11.04~10.12.01	—	—	—	—	/	—	—	—	—	5.6				
	〃	10.12.01~11.01.05	—	—	—	—	/	—	—	—	—	4.1				
	〃	11.01.05~11.02.08	—	—	—	—	/	—	—	—	—	4.8				
	〃	11.02.08~11.03.02	—	—	—	—	/	—	—	—	—	5.8				
	〃	11.03.03~11.04.05*	—	—	—	—	/	—	—	—	—	5.2				
	小黒飯	10.04.02~10.05.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7.0	—	—		C
	〃	10.05.07~10.06.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3.9				
〃	10.06.02~10.07.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4.1					
〃	10.07.02~10.08.03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.7					
〃	10.08.03~10.09.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.9					
〃	10.09.02~10.10.04	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5.2					
〃	10.10.04~10.11.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5.9					
〃	10.11.02~10.12.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6.3					
〃	10.12.02~11.01.05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4.8					
〃	11.01.05~11.02.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4.8					
〃	11.02.01~11.03.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6.2					
〃	11.03.02~11.04.04	—	—	—	—	0.1	—	—	—	—	5.8					
対照	原目町(福分室)	10.04.13~10.04.14	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6.7	—	—	A	
	〃	10.05.06~10.05.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6.4				
	〃	10.06.02~10.06.03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6.9				
	〃	10.07.01~10.07.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.5				
	〃	10.08.02~10.08.03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.6				
	〃	10.09.01~10.09.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.6				
	〃	10.10.01~10.10.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7.3				
	〃	10.11.01~10.11.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3.6				
	〃	10.12.01~10.12.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6.7				
	〃	11.01.04~11.01.05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4.5				
	〃	11.02.01~11.02.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3.6				
	〃	11.03.01~11.03.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.9				

過去実績：2007~2009年度

(注) 浮遊じんの調査地点は各機関の線量率連続測定地点あるいはその付近である。I-131はガス状のものを含まない浮遊じんのみの測定結果である。

対照地区以外において機関Aはろ紙を灰化したものを測定しているため、I-131は調査対象外である。

灰化前のI-131濃度は第5表 粒子状I-131の欄を参照。

*：高浜地区小黒飯Aは試料を一部欠損している。

第13表 核種分析結果 その1 浮遊じん(参考データ：3ヶ月試料)

単位： mBq/m³

地区	採取地点	採取期間	目的核種						参考核種		天然核種	過去実績		機関
			²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁴ Ce		⁷ Be	⁶⁰ Co	
敦賀	立石A	10.04.08～10.07.08	—	—	—	—	/	—	—	—	2.8	—	—	A
	〃	10.07.08～10.10.07	—	—	—	—	/	—	—	—	2.1	—	—	
	〃	10.10.07～11.01.07	—	—	—	—	/	—	—	—	3.6	—	—	
	〃	11.01.07～11.04.07	—	—	—	—	/	0.0	—	—	3.6	—	—	
白木	白木峠A	10.04.07～10.07.07	—	—	—	—	/	—	—	—	2.8	—	—	A
	〃	10.07.07～10.10.06	—	—	—	—	/	—	—	—	2.4	—	—	
	〃	10.10.06～11.01.06	—	—	—	—	/	—	—	—	3.9	—	—	
	〃	11.01.06～11.04.06	—	—	—	—	/	0.0	—	—	3.9	—	—	
美浜	丹生A	10.04.07～10.07.07	—	—	—	—	/	—	—	—	2.6	—	—	A
	〃	10.07.07～10.10.06	—	—	—	—	/	—	—	—	2.1	—	—	
	〃	10.10.06～11.01.06	—	—	—	—	/	—	—	—	3.7	—	—	
	〃	11.01.06～11.04.06	—	—	—	—	/	0.0	—	—	3.6	—	—	
大飯	日角浜A	10.04.07～10.07.07	—	—	—	—	/	—	—	—	2.8	—	—	A
	〃	10.07.07～10.10.06	—	—	—	—	/	—	—	—	2.3	—	—	
	〃	10.10.06～11.01.06	—	—	—	—	/	—	—	—	4.0	—	—	
	〃	11.01.06～11.04.06	—	—	—	—	/	—	—	—	3.7	—	—	
高浜	音海A	10.04.06～10.07.06	—	—	—	—	/	—	—	—	2.8	—	—	A
	〃	10.07.06～10.10.05	—	—	—	—	/	—	—	—	2.3	—	—	
	〃	10.10.05～11.01.05	—	—	—	—	/	—	—	—	3.8	—	—	
	〃	11.01.05～11.04.05	—	—	—	—	/	—	—	—	3.5	—	—	
	神野浦A	10.04.06～10.07.06	—	—	—	—	/	—	—	—	3.0	—	—	A
	〃	10.07.06～10.10.05	—	—	—	—	/	—	—	—	2.2	—	—	
	〃	10.10.05～11.01.05	—	—	—	—	/	—	—	—	3.7	—	—	
	〃	11.01.05～11.04.05	—	—	—	—	/	—	—	—	3.5	—	—	

過去実績：2007～2009年度

(注) 吸引量は約12,000立方メートル

(注) 平成11年度から開始した浮遊じん連続採取による3ヶ月分の集合(コンボジット)試料の核種分析結果。

第14表 核種分析結果 その2 陸水

単位： mBq/l

地区	採取地点	種類	採取年月日	目的核種					参考核種		天然核種	過去実績		機関
				⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁴ Ce		⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	
敦賀	浦底（水試）	水道水	10.06.03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	A
	〃	〃	10.09.08	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	〃	〃	10.12.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	〃	〃	11.03.03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	B
	浦底（明神寮）	〃	10.04.06	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	〃	〃	10.07.05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
白木	〃	〃	10.10.04	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	A
	〃	〃	11.01.06	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	白木（民家）	〃	10.06.03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	〃	〃	10.09.08	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	D
	〃	〃	10.12.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	〃	〃	11.03.03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	〃	〃	10.05.14	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
美浜	〃	〃	10.08.05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	A
	〃	〃	10.11.11	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	〃	〃	11.02.14	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	C
	丹生（漁協飼料保管解凍施設横）	〃	10.08.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	〃	〃	11.02.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
大飯	丹生（民家）	〃	10.06.03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	A
	〃	〃	10.09.08	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	〃	〃	10.12.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	C
	〃	〃	11.03.03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	〃	〃	10.06.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	〃	〃	10.09.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
高浜	〃	〃	10.12.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	A
	〃	〃	11.03.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	〃	〃	11.03.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	〃	〃	10.08.03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	C
	〃	〃	11.02.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	〃	〃	10.08.03	—	—	—	—	—	—	—	—	/	/	C
	〃	〃	11.02.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
対照	原目町（福井分析管理室）	〃	10.06.08	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	A
	〃	〃	10.09.09	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	〃	〃	10.12.08	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	〃	〃	11.03.04	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
美浜	竹波（落合川）	河川水	10.08.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	C
	〃	〃	11.02.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

過去実績：2007～2009年度

(注) 機関Aはマリネリピーカーを用いて直接測定、その他の機関はパウデックス樹脂に吸着後測定。

第15表 核種分析結果 その3 陸土

単位：Bq/kg乾土

地区	採取地点	種類	採取年月日	目的核種				参考核種		天然核種				過去実績		機関
				⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁴ Ce	⁷ Be	⁴⁰ K	Th-Ser	U-Ser	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	
敦賀	浦底(明神寮)	土床	10.05.12	—	—	—	8.3	—	—	7.2	840	55	34	—	8.4~13	A
	〃	〃	10.11.05	—	—	—	12	—	—	6.0	870	68	40			B
	〃	〃	10.07.05	—	—	—	8.9	—	—	8.5	1300	90	44			
	〃	〃	11.01.06	—	—	—	8.8	—	—	18	1300	79	42			
	〃	〃	10.05.12	—	—	—	22	—	—	—	1200	86	57	—	19 ~28	D
	〃	〃	10.08.06	—	—	—	24	—	—	—	1200	85	46			
	〃	〃	10.11.10	—	—	—	23	—	—	—	1200	87	56			
	〃	〃	11.02.09	—	—	—	21	—	—	7.4	1200	82	46			
白木	松ヶ崎	土床	10.05.12	—	—	—	0.9	—	—	8.1	1000	67	39	—	0.8~2.2	A
	〃	〃	10.11.05	—	—	—	1.2	—	—	8.3	1100	88	46			
	〃	〃	10.07.08	—	—	—	1.9	—	—	—	1200	110	47			D
	〃	〃	11.01.13	—	—	—	1.8	—	—	21	1200	120	54			
美浜	丹生	〃	10.05.12	—	—	—	2.5	—	—	12	1100	82	46	—	3.1~6.2	A
	〃	〃	10.11.05	—	—	—	2.6	—	—	6.1	1200	83	47			
	〃	〃	10.09.01	—	—	—	3.9	—	—	8.0	1200	87	38			C
	〃	〃	11.03.01	—	—	—	5.2	—	—	16	1100	93	39			
大飯	日角浜	未耕土	10.05.11	—	—	—	64	—	—	—	290	26	21	—	44 ~89	A
	〃	〃	10.11.04	—	—	—	51	—	—	5.2	320	30	28			
	畑村	〃	10.09.02	—	—	—	2.5	—	—	9.6	340	18	15			C
	〃	〃	11.03.02	—	—	—	3.9	—	—	54	340	19	11			
高浜	小黒飯	山土	10.05.11	—	—	—	4.7	—	—	19	550	44	28	—	4.3~8.8	A
	〃	〃	10.11.04	—	—	—	5.8	—	—	12	560	45	23			
	〃	未耕土	10.09.02	—	—	—	4.4	—	—	—	700	40	26			C
	〃	〃	11.03.02	—	—	—	5.8	—	—	22	640	32	18			
対照	原目町(衛環研)	〃	10.05.13	—	—	—	3.2	—	—	16	520	25	17	—	2.6~4.5	A
	〃	〃	10.11.04	—	—	—	3.3	—	—	13	510	24	18			
	奥越高原牧場	山土	10.06.23	—	—	—	150	—	—	9.4	180	19	8.5			—

過去実績：2007~2009年度

(注) 0~5cmで採取した試料の粒径2mm以下を分析した。Th系列(Th-Ser)はTl-208から系列ガンマ線放出比30.7%を用いて、U系列(U-Ser)はBi-214またはPb-214から系列ガンマ線放出比44.2%(または36.0%)を用いて求めたものである。

第16表 核種分析結果 その4 指標植物

単位： Bq/kg生

地区	採取地点	種類	採取年月日	目的核種						参考核種			天然核種		過去実績		機関
				²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁰ Ba	¹⁴⁴ Ce	⁷ Be	⁴⁰ K	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	
敦賀	浦底	ヨモギ	10.05.12	—	—	—	—	—	—	—	—	—	44	230	—	ND~0.2	A
	〃	〃	10.06.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	37	240			
	〃	〃	10.07.08	—	—	—	—	—	—	—	—	—	40	240			
	〃	〃	10.08.05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	49	290			
	〃	〃	10.09.06	—	—	—	—	—	—	—	—	—	13	290			
	〃	〃	10.10.07	—	—	—	—	—	0.1	—	—	—	72	230			
	〃	〃	10.11.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	180	190			
白木	白木	〃	10.05.12	—	—	—	—	—	—	—	—	—	37	170	—	ND~0.2	A
	〃	〃	10.06.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	35	210			
	〃	〃	10.07.08	—	—	—	—	—	—	—	—	—	33	220			
	〃	〃	10.08.05	—	—	—	—	—	0.3	—	—	—	38	260			
	〃	〃	10.09.06	—	—	—	—	—	—	—	—	—	15	290			
	〃	〃	10.10.07	—	—	—	—	—	0.2	—	—	—	100	210			
	〃	〃	10.11.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	160	180			
美浜	竹波	〃	10.05.12	—	—	—	—	—	0.2	—	—	—	45	220	—	ND~0.3	A
	〃	〃	10.06.03	—	—	—	—	—	0.1	—	—	—	32	240			
	〃	〃	10.07.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	50	250			
	〃	〃	10.08.05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	45	270			
	〃	〃	10.09.06	—	—	—	—	—	0.2	—	—	—	24	270			
	〃	〃	10.10.06	—	—	—	—	—	0.4	—	—	—	110	230			
	〃	〃	10.11.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	190	190			
大飯	日角浜	〃	10.05.11	—	—	—	—	—	—	—	—	—	33	190	—	—	A
	〃	〃	10.06.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	30	240			
	〃	〃	10.07.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	65	210			
	〃	〃	10.08.04	—	—	—	—	—	—	—	—	—	36	280			
	〃	〃	10.09.07	—	—	—	—	—	0.2	—	—	—	8.4	300			
	〃	〃	10.10.06	—	—	—	—	—	—	—	—	—	47	200			
	〃	〃	10.11.04	—	—	—	—	—	—	—	—	—	110	200			
高浜	小黒飯	〃	10.05.11	—	—	—	—	—	—	—	—	—	27	180	—	—	A
	〃	〃	10.06.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	27	260			
	〃	〃	10.07.06	—	—	—	—	—	—	—	—	—	81	230			
	〃	〃	10.08.04	—	—	—	—	—	—	—	—	—	46	260			
	〃	〃	10.09.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7.6	270			
	〃	〃	10.10.05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	82	200			
	〃	〃	10.11.04	—	—	—	—	—	—	—	—	—	230	170			
対照	原目町(衛研付近)	ヨモギ	10.05.10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	33	250	—	—	A
	〃	〃	10.06.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	18	190			
	〃	〃	10.07.01	—	—	—	—	—	0.1	—	—	—	25	240			
	〃	〃	10.08.06	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.6	240			
	〃	〃	10.09.03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6.5	240			
	〃	〃	10.10.15	—	—	—	—	—	0.1	—	—	—	55	210			
	〃	〃	10.11.04	—	—	—	—	—	—	—	—	—	130	180			

過去実績：2007~2009年度

第16表 核種分析結果 その4 指標植物

単位： Bq/kg生

地区	採取地点	種類	採取年月日	目的核種						参考核種			天然核種		過去実績		機関	
				²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁰ Ba	¹⁴⁴ Ce	⁷ Be	⁴⁰ K	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs		
対照	原目町（衛研付近）	ヨモギ	10.05.10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	33	250	—	—	A
	〃	〃	10.06.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	18	190			
	〃	〃	10.07.01	—	—	—	—	—	0.1	—	—	—	—	25	240			
	〃	〃	10.08.06	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.6	240			
	〃	〃	10.09.03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6.5	240			
	〃	〃	10.10.15	—	—	—	—	—	0.1	—	—	—	—	55	210			
	〃	〃	10.11.04	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	130	180			

過去実績：2007～2009年度

第17表 核種分析結果 その5 松葉（2年葉）

単位：Bq/kg生

地区	採取地点	種類	採取年月日	目的核種						参考核種			天然核種		過去実績		機関
				²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁰ Ba	¹⁴⁴ Ce	⁷ Be	⁴⁰ K	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	
敦賀	浦底（明神寮）	松葉	10.06.09	—	—	—	—	—	—	—	—	—	42	65	—	—	B
	〃	〃	10.12.06	—	—	—	—	—	—	—	—	—	51	96	—	—	
	発電所北端周辺	〃	10.08.18	—	—	—	—	—	—	—	—	—	11	64	—	—	D
	〃	〃	11.02.16	—	—	—	—	—	—	—	—	—	63	81			
白木	白木トンネル北口付近	〃	10.08.17	—	—	—	—	—	—	—	—	9.8	76	—	—	D	
	〃	〃	11.02.16	—	—	—	—	—	—	—	—	32	56				
美浜	丹生	〃	10.06.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	30	59	—	—	C
	〃	〃	10.12.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	41	63			
大飯	畑村	〃	10.06.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	45	52	—	—	C
	〃	〃	10.12.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	57	71			
高浜	小黑飯	〃	10.06.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	54	57	—	—	C
	〃	〃	10.12.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	53	61			
対照	福井市寮町（県農試）	〃	10.11.12	—	—	—	—	—	—	—	—	—	29	71	—	ND～0.6	A

過去実績：2007～2009年度

第18表 核種分析結果 その6 農産物

単位：Bq/kg生

地区	採取地点	種類	採取年月日	目的核種						参考核種			天然核種		過去実績		機関
				²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁰ Ba	¹⁴⁴ Ce	⁷ Be	⁴⁰ K	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	
敦賀	浦底	大根	10.11.03	—	—	—	—	—	0.0	—	—	—	9.7	120	—	ND~0.0	A
白木	白木	〃	10.11.05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7.2	100	—	ND~0.0	A
美浜	丹生	〃	10.11.04	—	—	—	—	—	0.0	—	—	—	18	120	—	—	A
大飯	長井	〃	10.11.03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	13	110	—	—	A
高浜	神野	〃	10.11.09	—	—	—	—	—	—	—	—	—	11	130	—	—	A
対照	あわら市	〃	10.11.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	23	93	—	—	A

過去実績：2007～2009年度

第19表 核種分析結果 その7 降下物

単位： Bq/m²

地区	採取地点	採取期間	目的核種						参考核種			天然核種	過去実績		機関
			²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁰ Ba	¹⁴⁴ Ce	⁷ Be	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	
敦賀	浦底（水試）	10.04.08～10.05.12	—	—	—	—	—	—	—	—	—	260	—	ND～0.2	A
	〃	10.05.12～10.06.03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	110			
	〃	10.06.03～10.07.08	—	—	—	—	—	—	—	—	—	150			
	〃	10.07.08～10.08.05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	84			
	〃	10.08.05～10.09.08	—	—	—	—	—	—	—	—	—	34			
	〃	10.09.08～10.10.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	160			
	〃	10.10.07～10.11.05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	310			
	〃	10.11.05～10.12.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	360			
	〃	10.12.02～11.01.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1100			
	〃	11.01.07～11.02.09	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1200			
	〃	11.02.09～11.03.03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	140			
	〃	11.03.03～11.04.07	—	—	—	—	6.0	—	—	—	—	350			
	浦底（明神寮）	10.04.01～10.05.06	—	—	—	—	—	—	—	—	—	270			
〃		10.05.06～10.06.01	—	—	—	—	—	—	—	—	120				
〃		10.06.01～10.07.01	—	—	—	—	—	—	—	—	77				
〃		10.07.01～10.08.02	—	—	—	—	—	—	—	—	120				
〃		10.08.02～10.09.01	—	—	—	—	—	—	—	—	27				
〃		10.09.01～10.10.01	—	—	—	—	—	—	—	—	160				
〃		10.10.01～10.11.02	—	—	—	—	—	—	—	—	300				
〃		10.11.02～10.12.01	—	—	—	—	—	—	—	—	390				
〃		10.12.01～11.01.04	—	—	—	—	—	—	—	—	990				
〃		11.01.04～11.02.04	—	—	—	—	—	—	—	—	1400				
〃		11.02.04～11.03.01	—	—	—	—	—	—	—	—	120				
〃		11.03.01～11.04.01	—	—	—	—	6.1	0.3	—	—	—	430			
白木		松ヶ崎	10.04.07～10.05.12	—	—	—	—	—	—	—	—	250	—	—	A
	〃	10.05.12～10.06.03	—	—	—	—	—	—	—	—	64				
	〃	10.06.03～10.07.07	—	—	—	—	—	—	—	—	110				
	〃	10.07.07～10.08.05	—	—	—	—	—	—	—	—	61				
	〃	10.08.05～10.09.08	—	—	—	—	—	—	—	—	27				
	〃	10.09.08～10.10.06	—	—	—	—	—	—	—	—	150				
	〃	10.10.06～10.11.05	—	—	—	—	—	—	—	—	140				
	〃	10.11.05～10.12.02	—	—	—	—	—	—	—	—	160				
	〃	10.12.02～11.01.06	—	—	—	—	—	—	—	—	830				
	〃	11.01.06～11.02.09	—	—	—	—	—	—	—	—	810				
	〃	11.02.09～11.03.03	—	—	—	—	—	—	—	—	74				
	〃	11.03.03～11.04.06	—	—	—	—	4.1	—	—	—	—	280			

過去実績：2007～2009年度

(注) 各地区で過去3ヶ年の実績を超えたI-131、Cs-137が観測された。これは福島第一原子力発電所事故の影響と考えられる。詳細は付4.4を参照。

第19表 核種分析結果 その7 降下物

単位： Bq/m²

地区	採取地点	採取期間	目的核種							参考核種			天然核種	過去実績		機関		
			²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁰ Ba	¹⁴⁴ Ce	⁷ Be	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs				
白木	松ヶ崎	10.04.01~10.05.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	190	-	-	D		
	〃	10.05.07~10.06.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	98	-	-			
	〃	10.06.01~10.07.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	53	-	-			
	〃	10.07.01~10.08.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	110	-	-			
	〃	10.08.02~10.09.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14	-	-			
	〃	10.09.01~10.10.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	110	-	-			
	〃	10.10.01~10.11.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	130	-	-			
	〃	10.11.01~10.12.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	210	-	-			
	〃	10.12.01~11.01.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	750	-	-			
	〃	11.01.05~11.02.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	860	-	-			
	〃	11.02.02~11.03.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	110	-	-			
	〃	11.03.01~11.04.01	-	-	-	-	6.0	-	-	-	-	-	320	-	-			
美浜	竹波（落合川取水場）	10.04.07~10.05.12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	260	-	ND~0.2	A		
	〃	10.05.12~10.06.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	90	-	ND~0.2			
	〃	10.06.03~10.07.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	160	-	ND~0.2			
	〃	10.07.07~10.08.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100	-	ND~0.2			
	〃	10.08.05~10.09.08	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	32	-	ND~0.2			
	〃	10.09.08~10.10.06	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	160	-	ND~0.2			
	〃	10.10.06~10.11.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	250	-	ND~0.2			
	〃	10.11.05~10.12.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	190	-	ND~0.2			
	〃	10.12.02~11.01.06	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1000	-	ND~0.2			
	〃	11.01.06~11.02.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	960	-	ND~0.2			
	〃	11.02.09~11.03.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	160	-	ND~0.2			
	〃	11.03.03~11.04.06	-	-	-	-	4.3	-	-	-	-	-	350	-	ND~0.2			
	丹生	〃	10.04.01~10.05.06	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	210	-		ND~0.3	C
		〃	10.05.06~10.06.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	82	-		ND~0.3	
〃		10.06.01~10.07.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	85	-	ND~0.3			
〃		10.07.01~10.08.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	140	-	ND~0.3			
〃		10.08.02~10.09.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	23	-	ND~0.3			
〃		10.09.01~10.10.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	170	-	ND~0.3			
〃		10.10.01~10.11.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	150	-	ND~0.3			
〃		10.11.01~10.12.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	340	-	ND~0.3			
〃		10.12.01~11.01.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	900	-	ND~0.3			
〃		11.01.04~11.02.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1200	-	ND~0.3			
〃	11.02.02~11.03.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	180	-	ND~0.3				
〃	11.03.01~11.04.05	-	-	-	-	5.0	-	-	-	-	-	440	-	ND~0.3				

過去実績：2007~2009年度

(注) 各地区で過去3ヶ年の実績を超えたI-131、Cs-137が観測された。これは福島第一原子力発電所事故の影響と考えられる。詳細は付4.4を参照。

第19表 核種分析結果 その7 降下物

単位： Bq/m²

地区	採取地点	採取期間	目的核種						参考核種			天然核種	過去実績		機関		
			²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁰ Ba	¹⁴⁴ Ce	⁷ Be	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs			
大飯	宮留	10.04.07~10.05.11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	200	-	-	A		
	〃	10.05.11~10.06.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	69	-	-			
	〃	10.06.02~10.07.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	160	-	-			
	〃	10.07.07~10.08.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	95	-	-			
	〃	10.08.04~10.09.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	22	-	-			
	〃	10.09.07~10.10.06	-	-	-	-	-	-	-	-	-	230	-	-			
	〃	10.10.06~10.11.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	270	-	-			
	〃	10.11.04~10.12.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	280	-	-			
	〃	10.12.01~11.01.06	-	-	-	-	-	-	-	-	-	460	-	-			
	〃	11.01.06~11.02.08	-	-	-	-	-	-	-	-	-	560	-	-			
	〃	11.02.08~11.03.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	220	-	-			
	〃	11.03.02~11.04.06	-	-	-	-	12	0.3	-	-	-	450	-	-			
	日角浜	日角浜	10.04.02~10.05.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	220	-		-	C
		〃	10.05.07~10.06.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	90	-		-	
〃		10.06.02~10.07.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	110	-	-			
〃		10.07.02~10.08.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	130	-	-			
〃		10.08.03~10.09.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20	-	-			
〃		10.09.02~10.10.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	220	-	-			
〃		10.10.04~10.11.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	420	-	-			
〃		10.11.02~10.12.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	320	-	-			
〃		10.12.02~11.01.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	510	-	-			
〃		11.01.05~11.02.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	580	-	-			
〃		11.02.01~11.03.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	260	-	-			
〃		11.03.02~11.04.04	-	-	-	-	14	0.3	-	-	-	410	-	-			
高浜		小黒飯	10.04.06~10.05.11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	260	-	ND~0.1	A	
		〃	10.05.11~10.06.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	85	-	-		
	〃	10.06.02~10.07.06	-	-	-	-	-	-	-	-	-	150	-	-			
	〃	10.07.06~10.08.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	86	-	-			
	〃	10.08.04~10.09.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14	-	-			
	〃	10.09.07~10.10.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	210	-	-			
	〃	10.10.05~10.11.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	370	-	-			
	〃	10.11.04~10.12.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	360	-	-			
	〃	10.12.01~11.01.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	480	-	-			
	〃	11.01.05~11.02.08	-	-	-	-	-	-	-	-	-	550	-	-			
	〃	11.02.08~11.03.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	240	-	-			
	〃	11.03.02~11.04.05	-	-	-	-	2.5	-	-	-	-	400	-	-			

過去実績：2007~2009年度

(注) 各地区で過去3ヶ年の実績を超えたI-131、Cs-137が観測された。これは福島第一原子力発電所事故の影響と考えられる。詳細は付4.4を参照。

第19表 核種分析結果 その7 降下物

単位： Bq/m²

地区	採取地点	採取期間	目的核種							参考核種			天然核種	過去実績		機関
			²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁰ Ba	¹⁴⁴ Ce	⁷ Be	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs		
高浜	小和田	10.04.02~10.05.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	270	-	-	C	
	"	10.05.07~10.06.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	110				
	"	10.06.02~10.07.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	120				
	"	10.07.02~10.08.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	130				
	"	10.08.03~10.09.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12				
	"	10.09.02~10.10.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	250				
	"	10.10.04~10.11.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	420				
	"	10.11.02~10.12.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	390				
	"	10.12.02~11.01.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	560				
	"	11.01.05~11.02.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	570				
	"	11.02.01~11.03.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	410				
	"	11.03.02~11.04.04	-	-	-	-	2.9	-	-	-	-	460				
対照	原目町（福井分析管理室）	10.04.05~10.05.07	0.1	-	-	-	-	-	-	-	-	260	-	ND~0.3	A	
	"	10.05.07~10.06.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	120				
	"	10.06.02~10.07.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	140				
	"	10.07.05~10.08.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	73				
	"	10.08.02~10.09.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	58				
	"	10.09.07~10.10.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	220				
	"	10.10.05~10.11.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	210				
	"	10.11.02~10.12.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	510				
	"	10.12.01~11.01.05	0.1	-	-	-	-	-	-	-	-	1200				
	"	11.01.05~11.02.08	0.1	-	-	-	-	-	-	-	-	1200				
	"	11.02.08~11.03.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	150				
	"	11.03.01~11.04.04	-	-	-	-	2.0	0.1	-	-	-	400				

過去実績：2007~2009年度

(注1) 各地区で過去3ヶ年の実績を超えたI-131、Cs-137が観測された。これは福島第一原子力発電所事故の影響と考えられる。詳細は付4.4を参照。

(注2) 対照地区の原目町（採取面積：0.5 m²）の4月、12月および1月分で検出されたNa-22は宇宙線により生成された核種であり、通常同じ宇宙線生成核種であるBe-7の約1万分の1である。

第20表 核種分析結果 その8 海水

単位：mBq/l

地区	採取地点	種類	採取年月日	目的核種				参考核種		過去実績		機関
				⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	⁵⁹ Fe	¹³⁴ Cs	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	
敦賀	立石沖	海水	10.08.05	—	—	—	2.0	—	—	—	2.0~2.2	B
	〃	〃	11.02.03	—	—	—	1.9	—	—	—	—	B
	2号放水口	〃	10.04.16	—	—	—	1.9	—	—	—	1.3~2.3	A
	〃	〃	10.08.05	—	—	—	2.2	—	—	—		B
	〃	〃	10.10.19	—	—	—	—	—	—	—		A
	〃	〃	11.02.03	—	—	—	2.0	—	—	—		B
	ふげん放水口	〃	10.04.16	—	—	—	1.6	—	—	—		ND~2.4
	〃	〃	10.09.07	—	—	—	1.5	—	—	—	D	
	〃	〃	10.10.19	—	—	—	1.9	—	—	—	A	
〃	〃	11.03.15	—	—	—	1.6	—	—	—	D		
白木	もんじゅ放水口	〃	10.04.16	—	—	—	1.6	—	—	—	ND~2.1	A
	〃	〃	10.08.06	—	—	—	1.1	—	—	—		D
	〃	〃	10.10.14	—	—	—	1.4	—	—	—		A
	〃	〃	11.02.08	—	—	—	1.8	—	—	—		D
	白木漁港	〃	10.08.06	—	—	—	1.3	—	—	—	1.2~1.9	D
〃	〃	11.02.08	—	—	—	1.6	—	—	—	D		
美浜	1, 2号放水口	〃	10.04.16	—	—	—	—	—	—	—	ND~2.0	A
	〃	〃	10.05.12	—	—	—	2.5	—	—	—		C
	〃	〃	10.08.05	—	—	—	—	—	—	—		C
	〃	〃	10.10.14	—	—	—	1.5	—	—	—		A
	〃	〃	10.11.11	—	—	—	2.0	—	—	—		C
	〃	〃	11.02.03	—	—	—	—	—	—	—	C	
	3号放水口	〃	10.04.16	—	—	—	2.0	—	—	—	ND~2.6	A
	〃	〃	10.05.12	—	—	—	1.5	—	—	—		C
	〃	〃	10.08.05	—	—	—	—	—	—	—		C
	〃	〃	10.10.14	—	—	—	1.2	—	—	—		A
〃	〃	10.11.11	—	—	—	1.9	—	—	—	C		
〃	〃	11.02.03	—	—	—	—	—	—	—	C		
大飯	放水口	〃	10.04.21	—	—	—	1.3	—	—	—	ND~2.0	A
	〃	〃	10.05.11	—	—	—	—	—	—	—		C
	〃	〃	10.08.04	—	—	—	—	—	—	—		C
	〃	〃	10.10.13	—	—	—	1.5	—	—	—		A
	〃	〃	10.11.12	—	—	—	1.6	—	—	—		C
	〃	〃	11.02.02	—	—	—	1.6	—	—	—		C
高浜	1, 2号放水口	〃	10.04.21	—	—	—	1.5	—	—	—	ND~2.5	A
	〃	〃	10.05.11	—	—	—	—	—	—	—		C
	〃	〃	10.08.04	—	—	—	—	—	—	—		C
	〃	〃	10.10.13	—	—	—	1.6	—	—	—		A
	〃	〃	10.11.12	—	—	—	2.0	—	—	—		C
	〃	〃	11.02.02	—	—	—	—	—	—	—		C
	3, 4号放水口	〃	10.04.21	—	—	—	1.6	—	—	—	ND~2.2	A
	〃	〃	10.05.11	—	—	—	—	—	—	—		C
	〃	〃	10.08.04	—	—	—	2.1	—	—	—		C
	〃	〃	10.10.13	—	—	—	—	—	—	—		A
〃	〃	10.11.12	—	—	—	—	—	—	—	C		
〃	〃	11.02.02	—	—	—	2.2	—	—	—	C		
対照	福井市小丹生町	〃	10.04.23	—	—	—	—	—	—	—	1.0~1.8	A
	〃	〃	10.10.07	—	—	—	1.6	—	—	—		A

過去実績：2007~2009年度

第21表 核種分析結果 その9 海底土

単位：Bq/kg乾土

地区	採取地点	種類	採取年月日	目的核種				参考核種		天然核種				過去実績		機関
				⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁴ Ce	⁷ Be	⁴⁰ K	Th-Ser	U-Ser	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	
敦賀	1号放水口	砂	10.10.19	—	—	—	0.3	—	—	4.4	1100	52	33	—	ND~1.9	A
	〃	砂・泥	10.08.05	—	—	—	1.6	—	—	12	1400	68	36			B
	〃	〃	11.02.03	—	—	—	1.7	—	—	6.7	1300	76	37			B
	明神崎F	砂	10.10.07	—	—	—	—	—	—	4.3	1100	20	14	—	ND~0.3	A
	浦底湾口	砂・泥	10.10.19	—	—	—	3.1	—	—	3.7	700	56	29	—	3.1~4.0	A
	立石	砂	〃	—	—	—	—	—	—	—	1000	42	21	—	—	A
	〃	〃	10.06.08	—	—	—	—	—	—	4.8	1000	35	17			D
	〃	〃	10.09.07	—	—	—	—	—	—	—	980	37	18			D
	〃	〃	10.12.01	—	—	—	—	—	—	—	1100	45	22			D
	〃	〃	11.03.15	—	—	—	—	—	—	13	970	37	18			D
	2号放水口	〃	10.04.16	—	—	—	—	—	—	4.5	900	17	12	—	—	A
	〃	〃	10.10.19	—	—	—	—	—	—	3.3	930	22	16			A
	〃	〃	10.05.11	—	—	—	—	—	—	4.5	910	15	10			B
	〃	〃	10.08.05	—	—	—	—	—	—	7.5	880	17	11			B
	〃	〃	10.11.17	—	—	—	—	—	—	6.3	960	16	12			B
	〃	〃	11.02.03	—	—	—	—	—	—	7.4	920	16	11			B
	2号放水口沖	〃	10.05.11	—	—	—	—	—	—	—	1000	25	16	／	／	B
	〃	〃	10.08.05	—	—	—	—	—	—	—	1100	39	19			B
	〃	〃	10.11.17	—	—	—	—	—	—	—	1400	34	20			B
	〃	〃	11.02.03	—	—	—	—	—	—	6.0	830	25	18			B
	ふげん放水口	〃	10.11.22	—	—	—	—	—	—	5.9	820	23	17	—	—	A
	〃	〃	10.06.08	—	—	—	—	—	—	5.1	730	28	16			D
	〃	〃	10.09.07	—	—	—	—	—	—	8.2	830	27	16			D
	〃	〃	10.12.01	—	—	—	—	—	—	4.8	770	28	18			D
〃	〃	11.03.15	—	—	—	—	—	—	—	660	26	20			D	
白木	もんじゅ放水口	〃	10.04.16	—	—	—	—	—	—	3.8	1300	23	16	—	—	A
	〃	〃	10.10.14	—	—	—	—	—	—	—	1200	15	12			A
	〃	〃	10.05.11	—	—	—	—	—	—	—	1300	24	15			D
	〃	〃	10.08.06	—	—	—	—	—	—	—	1300	19	14			D
	〃	〃	10.11.19	—	—	—	—	—	—	—	1300	23	12			D
	〃	〃	11.02.08	—	—	—	—	—	—	—	1300	37	16			D
	もんじゅ放水口沖	〃	10.04.16	—	—	—	—	—	—	15	920	430	110	—	—	A
	〃	〃	10.10.14	—	—	—	—	—	—	—	1100	190	53			A
	もんじゅ放水口東	〃	〃	—	—	—	—	—	—	—	1300	19	14	—	—	A
	もんじゅ取水口	砂・泥	〃	—	—	—	—	—	—	—	1100	24	16	—	—	A
	白木漁港	砂	10.05.11	—	—	—	—	—	—	—	1400	19	12	—	—	D
	〃	〃	10.08.06	—	—	—	—	—	—	—	1300	24	16			D
	〃	〃	10.11.19	—	—	—	—	—	—	—	1300	28	16			D
	〃	〃	11.02.08	—	—	—	—	—	—	—	1400	19	13			D
門ヶ崎	〃	10.10.14	—	—	—	—	—	—	—	1100	20	15	—	—	A	
美浜	1, 2号放水口	〃	10.04.16	—	—	—	—	—	—	12	730	44	19	—	ND~0.3	A
	〃	〃	10.10.14	—	—	—	—	—	—	4.7	760	41	19			A
	〃	〃	10.04.08	—	—	—	—	—	—	15	730	37	17			C
	〃	〃	10.07.08	—	—	—	—	—	—	13	690	46	20			C
	〃	〃	10.10.07	—	—	—	—	—	—	7.1	690	43	18			C
	〃	〃	11.01.14	—	—	—	—	—	—	8.0	740	53	21			C

(注) エクマンバージ等の採泥器で採取した試料の粒径2mm以下を分析した。天然核種の求め方は陸土と同様である。

第21表 核種分析結果 その9 海底土

単位：Bq/kg乾土

地区	採取地点	種類	採取年月日	目的核種				参考核種		天然核種				過去実績		機関
				⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁴ Ce	⁷ Be	⁴⁰ K	Th-Ser	U-Ser	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	
美浜	1, 2号放水口沖	〃	10.10.14	—	—	—	—	—	—	4.6	720	39	18	—	—	A
	〃	〃	10.04.08	—	—	—	—	—	—	7.4	1200	54	29			C
	〃	〃	10.07.08	—	—	—	—	—	—	—	1200	30	17			C
	〃	〃	10.10.07	—	—	—	—	—	—	—	1200	70	35			C
	〃	〃	11.01.14	—	—	—	—	—	—	—	1100	57	30			C
	3号放水口	〃	10.04.08	—	—	—	—	—	—	—	870	28	16	—	—	C
	〃	〃	10.07.08	—	—	—	—	—	—	—	860	46	20			C
	〃	〃	10.10.07	—	—	—	—	—	—	—	810	37	19			C
	〃	〃	11.01.14	—	—	—	—	—	—	5.4	820	22	14			C
	3号放水口沖	〃	10.10.14	—	—	—	—	—	—	3.6	670	36	17	—	—	A
	丹生湾中央	泥	10.04.16	—	—	—	5.7	—	—	14	660	62	29	—	5.8~8.3	A
	〃	〃	10.10.14	—	—	—	6.2	—	—	8.9	660	64	27			A
	〃	〃	10.04.08	—	—	—	6.1	—	—	—	650	64	28			C
	〃	〃	10.07.08	—	—	—	6.3	—	—	—	660	62	29			C
	〃	〃	10.10.07	—	—	—	6.6	—	—	—	670	66	30			C
	〃	〃	11.01.14	—	—	—	6.8	—	—	—	670	57	26			C
避難港	〃	10.10.14	—	—	—	8.7	—	—	6.5	750	88	39	—	7.8~8.8	A	
丹生湾奥	砂	〃	〃	—	—	—	0.9	—	—	3.8	1200	49	28	—	ND~3.0	A
美浜発電所取水口	〃	〃	〃	—	—	—	—	—	—	4.2	970	48	27	—	ND~1.0	A
大飯	放水口	〃	10.04.21	—	—	—	—	—	—	3.6	110	4.0	4.1	—	ND~0.2	A
	〃	〃	10.10.13	—	—	—	0.1	—	—	3.0	130	5.1	4.4			A
	〃	〃	10.04.06	—	—	—	—	—	—	3.1	120	3.2	4.0			C
	〃	〃	10.07.06	—	—	—	—	—	—	3.2	110	3.6	3.3			C
	〃	〃	10.10.05	—	—	—	—	—	—	6.5	150	4.7	4.3			C
	〃	〃	11.01.05	—	—	—	—	—	—	3.7	110	3.8	3.5			C
	放水口沖	〃	10.04.06	—	—	—	—	—	—	3.1	160	6.0	5.8	—	—	C
	〃	〃	10.07.06	—	—	—	—	—	—	5.1	120	4.8	4.1			C
	〃	〃	10.10.05	—	—	—	—	—	—	4.6	140	5.8	5.2			C
	〃	〃	11.01.05	—	—	—	—	—	—	3.7	170	6.4	5.7			C
	冠者島横	〃	10.10.13	—	—	—	0.8	—	—	3.8	180	8.8	5.1	—	0.3~1.6	A
西村入江	泥	〃	〃	—	—	—	3.9	—	—	4.8	500	23	14	—	3.9~4.5	A
高浜	1, 2号放水口	砂	10.04.21	—	—	—	0.7	—	—	4.7	400	17	13	—	0.7~1.4	A
	〃	砂・泥	10.10.13	—	—	—	0.8	—	—	5.7	430	20	13			A
	〃	砂	10.04.07	—	—	—	0.9	—	—	8.1	400	19	12			C
	〃	〃	10.07.07	—	—	—	1.4	—	—	12	600	29	15			C
	〃	〃	10.10.06	—	—	—	1.2	—	—	15	340	19	11			C
	〃	〃	11.01.06	—	—	—	0.8	—	—	22	600	31	18			C
	3, 4号放水口	砂・泥	10.04.21	—	—	—	1.2	—	—	32	400	24	14	—	ND~1.1	A
	〃	泥	10.10.13	—	—	—	0.9	—	—	8.8	390	23	13			A
	〃	砂	10.04.07	—	—	—	0.4	—	—	17	410	25	15			C
	〃	〃	10.07.07	—	—	—	—	—	—	8.8	450	26	15			C
	〃	〃	10.10.06	—	—	—	0.5	—	—	6.8	360	20	12			C
〃	〃	11.01.06	—	—	—	—	—	—	8.6	420	23	13			C	

過去実績：2007~2009年度

(注) エクマンバージ等の採泥器で採取した試料の粒径2mm以下を分析した。天然核種の求め方は陸土と同様である。

第21表 核種分析結果 その9 海底土

単位：Bq/kg乾土

地区	採取地点	種類	採取年月日	目的核種				参考核種		天然核種				過去実績		機関
				⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁴ Ce	⁷ Be	⁴⁰ K	Th-Ser	U-Ser	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	
高浜	放水口沖	泥	10.10.13	—	—	—	2.7	—	—	5.4	380	18	11	—	1.1~2.2	A
	〃	〃	10.04.07	—	—	—	1.3	—	—	6.6	360	16	9.9			C
	〃	〃	10.07.07	—	—	—	1.5	—	—	4.1	390	17	10			C
	〃	砂	10.10.06	—	—	—	1.6	—	—	4.3	350	16	11			C
	〃	〃	11.01.06	—	—	—	1.2	—	—	4.6	360	16	9.6			C
	旧内浦港口ブイ	〃	10.10.13	—	—	—	1.5	—	—	2.8	490	12	7.7	—	ND~1.9	A
	神野浦	砂・泥	〃	—	—	—	0.7	—	—	5.0	260	9.6	5.6	—	0.6~0.8	A
	白井入江	泥	〃	—	—	—	0.7	—	—	8.8	220	8.4	6.4	—	0.6~1.2	A
	音海	砂	〃	—	—	—	1.0	—	—	—	500	19	17	—	1.3~3.9	A

過去実績：2007~2009年度

(注) エクマンバージ等の採泥器で採取した試料の粒径2mm以下を分析した。天然核種の求め方は陸土と同様である。

第22表 核種分析結果 その10 海産食品

単位：Bq/kg生

地区	採取地点	種類	部位	採取年月日	目的核種						参考核種		天然核種		平均体長 cm	平均体重 g	過去実績		機関
					²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁴ Ce	⁷ Be	⁴⁰ K			⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	
敦賀	立石岬	ホオボウ	全身	10.04.05	-	-	-	-	/	0.1	-	-	0.4	100	21	130	-	ND~0.2	A
	えりヶ崎	メジナ	肉	〃	-	-	-	-	/	0.1	-	-	-	110	20	264	-	-	A
	色ヶ浜(養殖)	マダイ	〃	10.06.02	-	-	-	-	/	0.1	-	-	-	130	34	1200	-	-	A
	〃	〃	〃	10.09.07	-	-	-	-	/	0.1	-	-	-	110	37	1525	-	-	A
	立石沖	ハマチ	〃	10.10.07	-	-	-	-	/	0.1	-	-	-	130	34	600	-	-	B
	立石漁港	アジ	全身	〃	-	-	-	-	/	0.1	-	-	-	97	14	51	-	-	A
	〃	カマス	〃	〃	-	-	-	-	/	0.1	-	-	-	100	23	99	-	-	A
	立石沖	アジ	〃	10.11.10	-	-	-	-	/	0.1	-	-	-	100	14	52	-	-	D
	色ヶ浜(養殖)	マダイ	肉	10.12.01	-	-	-	-	/	0.1	-	-	-	130	40	1850	-	-	A
	〃	〃	〃	11.03.03	-	-	-	-	/	0.1	-	-	-	120	35	1481	-	-	A
	えりヶ崎	サザエ	除殻	10.06.01	-	-	-	-	/	-	-	-	4.4	75		81	-	-	A
	立石岬	〃	〃	10.06.02	-	-	-	-	/	0.0	-	-	4.1	75		77	-	-	A
	立石沖	〃	〃	10.07.08	-	-	-	-	/	-	-	-	3.0	97		80	-	-	B
	立石漁港	〃	〃	〃	-	-	-	-	/	-	-	-	9.0	70		69	-	-	A
	えりヶ崎	ワカメ	除根	10.04.05	-	-	-	-	-	-	-	-	2.4	220			-	-	A
	立石沖	〃	〃	10.04.16	-	-	-	-	-	-	-	-	1.5	300			-	-	B
立石漁港	モズク	全体	10.05.03	-	-	-	-	-	-	-	-	0.7	89			-	-	A	
えりヶ崎	ワカメ	除根	10.05.11	-	-	-	-	-	-	-	-	4.4	180			-	-	A	
白木	もんじゅ放水口沖	イワシ	全身	10.04.24	-	-	-	-	/	0.1	-	-	1.1	110	6	2	-	0.0~0.2	A
	〃	サワラ	肉	〃	-	-	-	-	/	0.3	-	-	-	140	47	809	-	-	A
	白木沖	アジ	全身	10.08.06	-	-	-	-	/	0.0	-	-	-	98	8	4	-	-	D
	アジゴ崎	ブリ	肉	10.10.02	-	-	-	-	/	0.1	-	-	0.2	120	29	576	-	-	A
	〃	メジナ	〃	10.10.04	-	-	-	-	/	0.1	-	-	-	94	20	294	-	-	A
	〃	サザエ	除殻	10.06.10	-	-	-	-	/	-	-	-	5.2	83		40	-	ND~0.0	A
	松ヶ崎	アワビ	〃	10.06.17	-	-	-	-	/	0.0	-	-	2.7	65		142	-	-	A
	門ヶ崎	サザエ	〃	10.07.09	-	-	-	-	/	-	-	-	9.3	71		44	-	-	A
	白木沿岸	〃	〃	10.08.25	-	-	-	-	/	-	-	-	3.2	56		47	-	-	D
	松ヶ崎	ワカメ	除根	10.04.05	-	-	-	-	-	-	-	-	0.9	240			-	-	A
	〃	〃	〃	10.05.02	-	-	-	-	-	-	-	-	4.1	230			-	-	A
	門ヶ崎	〃	〃	〃	-	-	-	-	-	-	-	-	3.6	190			-	-	A
	白木沿岸	〃	〃	10.06.01	-	-	-	-	-	-	-	-	0.9	280			-	-	D
美浜	1, 2号放水口	コノシロ	肉	10.04.06	-	-	-	-	/	0.0	-	-	-	120	23	217	-	ND~0.1	A
	〃	シロサバフグ	全身	〃	-	-	-	-	/	0.1	-	-	1.0	92	10	37	-	-	A
	〃	サバ	〃	10.06.16	-	-	-	-	/	0.1	-	-	0.4	110	9	7	-	-	C
	3号放水口	アジ	〃	10.06.17	-	-	-	-	/	0.1	-	-	-	100	17	50	-	-	C
	1, 2号放水口沖	〃	〃	10.07.06	-	-	-	-	/	0.1	-	-	0.3	110	6	3	-	-	A
	〃	〃	〃	10.10.05	-	-	-	-	/	0.1	-	-	-	110	8	9	-	-	A
	〃	カマス	〃	〃	-	-	-	-	/	0.1	-	-	-	120	19	56	-	-	A
	1, 2号放水口	アジ	〃	10.10.13	-	-	-	-	/	0.1	-	-	-	120	15	29	-	-	C
	3号放水口	〃	〃	〃	-	-	-	-	/	0.1	-	-	-	110	10	10	-	-	C
	3号放水口沖	アワビ	除殻	10.06.02	-	-	-	-	/	0.0	-	-	3.7	66		155	-	ND~0.0	A
〃	サザエ	〃	10.06.06	-	-	-	-	/	-	-	-	3.1	83		52	-	-	A	
〃	〃	〃	10.07.06	-	-	-	-	/	-	-	-	3.9	70		52	-	-	A	

過去実績：2007~2009年度

(注) 実績欄の値は、地区毎の魚、貝、藻別にまとめて求めたものである。付帯データのうち体長は全長、重量は全身または殻込みの重量である。各放水口は放水口付近を含む。

第22表 核種分析結果 その10 海産食品

単位：Bq/kg生

地区	採取地点	種類	部位	採取年月日	目的核種						参考核種		天然核種		平均体長 cm	平均体重 g	過去実績		機 関
					²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁴ Ce	⁷ Be	⁴⁰ K			⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	
美浜	1, 2号放水口	サザエ	除殻	10.07.13	-	-	-	-	/	-	-	-	2.6	54		57	-	ND~0.0	C
	3号放水口	〃	〃	〃	-	-	-	-	/	-	-	-	2.5	54		57			C
	竹波	ワカメ	除根	10.04.07	-	-	-	-	-	-	-	-	1.1	200			-	-	A
	3号放水口	〃	〃	10.05.16	-	-	-	-	-	-	-	-	1.1	200					A
	3号放水口沖	〃	〃	〃	-	-	-	-	-	-	-	-	1.1	200					A
	1, 2号放水口	〃	〃	11.04.01	-	-	-	-	0.3	-	-	-	-	170					C
	3号放水口	〃	〃	〃	-	-	-	-	-	-	-	-	1.3	130					C
大飯	髷島	スズキ	肉	10.04.06	-	-	-	-	/	0.1	-	-	-	110	31	397	-	0.0~0.2	A
	髷島沖	マトウダイ	全身	〃	-	-	-	-	/	0.1	-	-	0.2	73	20	236			A
	放水口	アジ	肉	10.06.12	-	-	-	-	/	0.1	-	-	-	110	29	273			C
	肥前(添浜)	〃	全身	10.10.05	-	-	-	-	/	0.1	-	-	-	110	8	9			A
	〃	フグ	〃	〃	-	-	-	-	/	0.0	-	-	-	110	16	80			A
	放水口	アジ	肉	10.10.13	-	-	-	-	/	0.1	-	-	-	120	35	367			C
	肥前(添浜)	サザエ	除殻	10.06.01	-	-	-	-	/	0.0	-	-	5.3	87		101	-	ND~0.0	A
	〃	アワビ	〃	〃	-	-	-	-	/	0.0	-	-	4.6	68		145			A
	放水口	サザエ	〃	10.07.05	-	-	-	-	/	-	-	-	3.9	63		60			C
	赤礁崎	〃	〃	10.07.15	-	-	-	-	/	-	-	-	3.9	59		77			A
	〃	ワカメ	除根	10.04.06	-	-	-	-	-	-	-	-	0.6	300			-	-	A
	黒崎	〃	〃	10.05.08	-	-	-	-	-	-	-	-	0.5	330					A
	赤礁崎	モズク	全体	〃	-	-	-	-	-	-	-	-	2.2	130					A
	放水口	ワカメ	除根	11.03.14	-	-	-	-	-	-	-	-	1.7	250					C
高浜	小黒飯漁港前	スズキ	肉	10.04.19	-	-	-	-	/	0.1	-	-	-	110	43	1377	-	0.0~0.2	A
	〃	ナマコ	全身	10.04.29	-	-	-	-	/	0.0	-	-	14	28	24	485			A
	内浦湾	アジ	肉	10.06.08	-	-	-	-	/	0.1	-	-	-	120	26	223			C
	小黒飯漁港前	アイゴ	全身	10.10.02	-	-	-	-	/	0.0	-	-	3.7	87	9	19			A
	〃	アジ	〃	10.10.05	-	-	-	-	/	0.1	-	-	-	110	8	9			A
	内浦湾	マダイ	肉	10.10.13	-	-	-	-	/	0.1	-	-	-	140	36	920			C
	神野浦	サザエ	除殻	10.06.09	-	-	-	-	/	-	-	-	2.8	78		72	-	-	A
	名島	〃	〃	〃	-	-	-	-	/	-	-	-	4.0	81		119			A
	ダンノ鼻	〃	〃	10.07.03	-	-	-	-	/	0.0	-	-	4.4	57		107			A
	内浦湾	〃	〃	10.07.06	-	-	-	-	/	-	-	-	3.1	63		99			C
	小黒飯漁港前	ワカメ	除根	10.04.17	-	-	-	-	-	-	-	-	2.1	190			-	-	A
	三松テトラ	〃	〃	10.05.03	-	-	-	-	-	-	-	-	2.4	180					A
	名島	〃	〃	10.05.08	-	-	-	-	-	-	-	-	1.5	260					A
	内浦湾	〃	〃	11.03.14	-	-	-	-	-	-	-	-	1.9	200					C
	対照	越廼沖	アジ	肉	10.05.10	-	-	-	-	/	0.2	-	-	-	120	23	184	-	0.1~0.2
越前町		サゴシ	〃	10.05.20	-	-	-	-	/	0.3	-	-	-	140	44	518			A
越廼沖		〃	〃	10.10.05	-	-	-	-	/	0.2	-	-	-	230	40	471			A
鷹巣沖		サザエ	除根	10.06.09	-	-	-	-	/	-	-	-	2.2	63		94	-	-	A
越廼(茶崎)		ワカメ	〃	10.05.18	-	-	-	-	-	-	-	-	0.7	240			-	-	A
河野沖		モズク	全体	10.06.20	-	-	-	-	-	-	-	-	0.6	89					A

過去実績：2007~2009年度

(注) 実績欄の値は、地区毎の魚、貝、藻別にまとめて求めたものである。付帯データのうち体長は全長、重量は全身または殻込みの重量である。各放水口は放水口付近を含む。

第23表 核種分析結果 その11 指標海産生物

単位：Bq/kg生

地区	採取地点	種類	採取年月日	目的核種						参考核種			天然核種		過去実績		機関
				²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁰ Ba	¹⁴⁴ Ce	⁷ Be	⁴⁰ K	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	
敦賀	明神崎F	ホンダワラ	10.05.11	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6.8	300	—	ND~0.1	B
	〃	〃	10.11.02	—	—	—	—	—	0.1	—	—	—	21	240	—	—	A
	水島	〃	10.05.11	—	—	—	—	—	—	—	—	—	11	340	—	—	B
	〃	〃	10.11.17	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6.3	320	—	—	B
	釜谷元川河口	〃	10.05.11	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8.3	310	—	ND~0.1	B
	〃	〃	10.11.02	—	—	—	—	—	0.1	—	—	—	10	270	—	—	A
	立石	〃	10.05.11	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5.7	280	—	—	B
	〃	〃	10.11.17	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8.2	280	—	—	B
	2号放水口	〃	10.05.11	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8.2	300	—	—	B
	〃	〃	10.06.09	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4.9	330	—	—	A
	〃	〃	10.08.05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8.5	400	—	—	B
	〃	〃	10.09.15	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.5	210	—	—	A
	〃	〃	10.11.17	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3.0	300	—	—	B
	〃	〃	10.11.22	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6.9	210	—	—	A
	〃	〃	11.02.03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	11	290	—	—	B
	〃	〃	11.03.14	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6.0	220	—	—	A
	ふげん放水口	〃	10.04.19	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5.2	230	—	—	D
	〃	〃	10.06.09	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.4	220	—	—	A
	〃	〃	10.07.06	—	—	—	—	—	—	—	—	—	16	200	—	—	D
	〃	〃	10.09.15	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.9	200	—	—	A
〃	〃	10.10.05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6.2	280	—	—	D	
〃	〃	10.11.22	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8.7	210	—	—	A	
〃	〃	11.02.08	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6.9	200	—	—	D	
〃	〃	11.03.14	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8.3	210	—	—	A	
白木	松ヶ崎	〃	10.04.19	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4.0	280	—	—	D
	〃	〃	10.06.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3.6	350	—	—	A
	〃	〃	10.07.06	—	—	—	—	—	—	—	—	—	22	140	—	—	D
	〃	〃	10.09.06	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4.6	170	—	—	A
	〃	〃	10.10.05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4.4	200	—	—	D
	〃	〃	10.11.22	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3.8	200	—	—	A
	〃	〃	11.02.16	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4.0	240	—	—	D
	〃	〃	11.03.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4.7	230	—	—	A
美浜	1, 2号放水口	〃	10.04.08	—	—	—	—	—	—	—	—	—	32	270	—	ND~0.2	C
	〃	〃	10.06.09	—	—	—	—	—	—	—	—	—	9.3	250	—	—	A
	〃	〃	10.07.08	—	—	—	—	—	—	—	—	—	21	250	—	—	C
	〃	〃	10.09.15	—	—	—	—	—	0.1	—	—	—	12	260	—	—	A
	〃	〃	10.10.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3.6	250	—	—	C
	〃	〃	10.11.22	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8.1	280	—	—	A
	〃	〃	11.01.14	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4.0	300	—	—	C
	〃	〃	11.03.14	—	—	—	—	—	—	—	—	—	34	170	—	—	A

過去実績：2007～2009年度

(注) ホンダワラは除根試料を分析した。

第23表 核種分析結果 その11 指標海産生物

単位：Bq/kg生

地区	採取地点	種類	採取年月日	目的核種						参考核種			天然核種		過去実績		機関
				²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁰ Ba	¹⁴⁴ Ce	⁷ Be	⁴⁰ K	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	
美浜	3号放水口	〃	10.04.08	—	—	—	—	—	—	—	—	—	15	230	—	—	C
	〃	〃	10.06.09	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.9	220	—	—	A
	〃	〃	10.07.08	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6.5	270	—	—	C
	〃	〃	10.09.15	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7.4	200	—	—	A
	〃	〃	10.10.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.5	230	—	—	C
	〃	〃	10.11.22	—	—	—	—	—	—	0.1	—	—	15	230	—	—	A
	〃	〃	11.01.14	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7.2	330	—	—	C
	〃	〃	11.03.14	—	—	—	—	—	—	—	—	—	14	260	—	—	A
大飯	放水口	〃	10.04.06	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5.6	250	—	—	C
	〃	〃	10.07.06	—	—	—	—	—	—	—	—	—	13	260	—	—	C
	〃	〃	10.10.05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.7	280	—	—	C
	〃	〃	11.01.05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5.1	320	—	—	C
	台場浜	〃	10.06.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5.6	280	—	ND~0.1	A
	〃	〃	10.09.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	9.9	150	—	—	A
	〃	〃	10.11.04	—	—	—	—	—	—	—	—	—	15	270	—	—	A
	〃	〃	11.03.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	18	230	—	—	A
高浜	釈迦浜	〃	11.03.08	—	—	—	—	—	—	—	—	—	11	250	/	/	A
	3, 4号放水口	〃	10.04.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5.5	200	—	ND~0.1	C
	〃	〃	10.07.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4.1	240	—	—	C
	〃	〃	10.10.06	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3.0	290	—	—	C
	〃	〃	11.01.06	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.0	280	—	—	C
	神野浦	〃	10.06.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8.4	210	—	ND~0.3	A
	〃	〃	10.09.07	—	—	—	—	—	—	0.1	—	—	9.6	160	—	—	A
	〃	〃	10.11.04	—	—	—	—	—	—	0.1	—	—	12	250	—	—	A
	音海	〃	10.04.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7.6	250	—	—	C
	〃	〃	10.07.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	23	290	—	—	C
	〃	〃	10.10.06	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.5	240	—	—	C
	〃	〃	11.01.06	—	—	—	—	—	—	—	—	—	12	260	—	—	C
	貯木場	〃	10.04.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	32	200	/	/	C
	〃	〃	10.07.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	22	320	—	—	C
	〃	〃	10.10.06	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5.9	230	—	—	C
	〃	〃	11.01.06	—	—	—	—	—	—	—	—	—	16	230	—	—	C
	へたケ崎	〃	10.06.09	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4.9	320	—	—	A
	〃	〃	10.09.15	—	—	—	—	—	—	—	—	—	9.5	220	—	—	A
	〃	〃	10.11.22	—	—	—	—	—	—	—	—	—	12	240	—	—	A
	〃	〃	11.03.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6.9	240	—	—	A
対照	福井市小丹生町	〃	10.04.08	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6.3	280	—	ND~0.1	A
	〃	〃	10.07.08	—	—	—	—	—	—	—	—	—	17	260	—	—	A
	〃	〃	10.10.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6.4	260	—	—	A
	〃	〃	11.03.28	—	—	—	—	—	—	0.6	—	—	15	240	—	—	A

過去実績：2007～2009年度

(注) ホンダワラは除根試料を分析した。

第24表 トリチウム分析結果 その1 陸水

単位：Bq/l

地区	採取地点	種類	採取年月日	放射能濃度	過去実績	機関
敦賀	浦底（水試）	水道水	10.06.03	0.9	ND～1.6	A
		〃	10.09.08	0.9		
		〃	10.12.02	0.8		
		〃	11.03.03	0.9		
	浦底（明神寮）	〃	10.04.06	1.1	0.9～1.2	B
		〃	10.07.05	1.0		
		〃	10.10.04	0.9		
		〃	11.01.06	1.0		
白木	白木（民家）	〃	10.05.14	1.4	ND～1.5	D
		〃	10.06.03	0.8		A
		〃	10.08.05	0.6		D
		〃	10.09.08	0.9		A
		〃	10.11.11	0.9		D
		〃	10.12.02	0.5		A
		〃	11.02.14	1.0		D
		〃	11.03.03	—		A
美浜	丹生（漁協飼料保管解凍施設横）	〃	10.08.02	1.0	0.7～1.8	C
		〃	11.02.02	1.0		
	丹生（民家）	〃	10.06.03	1.0	ND～1.6	A
		〃	10.09.08	0.9		
		〃	10.12.02	0.9		
		〃	11.03.03	1.0		
大飯	宮留（民家）	〃	10.06.02	—	ND～1.5	A
		〃	10.08.03	0.7		C
		〃	10.09.07	0.8		A
		〃	10.12.01	0.7		
		〃	11.02.01	0.6		C
		〃	11.03.02	0.6		A
高浜	音海（民家）	〃	10.06.02	0.9	ND～1.6	A
		〃	10.09.07	—		
		〃	10.12.01	1.1		
		〃	11.03.02	0.7		

過去実績：2007～2009年度

(注) 計数値が計数誤差の3倍未満の場合は、検出されず（—、またはND）とした。

第24表 トリチウム分析結果 その1 陸水

単位：Bq/l

地区	採取地点	種類	採取年月日	放射能濃度	過去実績	機関
高浜	小黒飯（民家）	水道水	10.08.03	0.7	0.9～1.5	C
		〃	11.02.01	0.6		
	神野浦（民家）	〃	10.08.03	0.7	／	C
		〃	11.02.01	0.6		
対照	原目町（福井分析管理室）	〃	10.06.08	—	ND～0.9	A
		〃	10.09.09	0.6		
		〃	10.12.08	—		
		〃	11.03.04	—		

過去実績：2007～2009年度

（注）計数値が計数誤差の3倍未満の場合は、検出されず（－、またはND）とした。

第25表 トリチウム分析結果 その2 大気中水分

単位：Bq/l

地区	採取地点	採取期間	放射能濃度	過去実績	機関
敦賀	立石A	10.04.05～10.05.06	3.3	0.9～11	D
		10.05.06～10.06.07	3.0		
		10.06.07～10.07.05	3.6		
		10.07.05～10.08.02*	1.6*		
		10.08.02～10.09.06	1.4		
		10.09.06～10.10.04	2.2		
		10.10.04～10.11.01	1.1		
		10.11.01～10.12.06	1.5		
		10.12.06～11.01.04*	1.7*		
		11.01.04～11.02.03	2.2		
		11.02.03～11.03.07	1.4		
		11.03.07～11.04.04	1.3		
			猪ヶ池B		
10.05.07～10.06.01	9.0				
10.06.01～10.07.01	11				
10.07.01～10.08.02	6.4				
10.08.02～10.09.02	3.9				
10.09.02～10.10.04	3.4				
10.10.04～10.11.02	3.5				
10.11.02～10.12.02	4.1				
10.12.02～11.01.05	3.7				
11.01.05～11.02.08	5.2				
11.02.08～11.03.01	4.5				
11.03.01～11.04.04	3.3				
	浦底A			10.04.08～10.05.12	7.4
		10.05.12～10.06.03	8.6		
		10.06.03～10.07.08	5.3		
		10.07.08～10.08.05	1.4		
		10.08.05～10.09.08	1.3		
		10.09.08～10.10.07	3.4		
		10.10.07～10.11.05	3.2		
		10.11.05～10.12.02	2.5		

過去実績：2007～2009年度

(注) 県(A)、原電(B)、原子力機構(D)はテレメータ観測局内、関電(C)は気象観測局内、
対照地区は福井分析管理室の除湿水を分析した。

*：敦賀地区立石Aの7月分および12月分については、未採取期間があったため参考値とする。

第25表 トリチウム分析結果 その2 大気中水分

単位：Bq/ℓ

地区	採取地点	採取期間	放射能濃度	過去実績	機関
敦賀	浦底A	10.12.02～11.01.07	2.2	1.5～9.7	A
		11.01.07～11.02.09	2.6		
		11.02.09～11.03.03	2.0		
		11.03.03～11.04.07	2.3		
	浦底B	10.04.01～10.05.07	7.5	1.5～9.7	B
		10.05.07～10.06.01	5.4		
		10.06.01～10.07.01	4.7		
		10.07.01～10.08.02	2.8		
		10.08.02～10.09.02	2.4		
		10.09.02～10.10.04	2.7		
		10.10.04～10.11.02	3.0		
		10.11.02～10.12.02	2.3		
		10.12.02～11.01.05	2.2		
		11.01.05～11.02.08	2.6		
		11.02.08～11.03.01	2.1		
		11.03.01～11.04.04	2.2		
色ヶ浜B	10.04.01～10.05.07	4.2	1.4～5.0	B	
	10.05.07～10.06.01	3.9			
	10.06.01～10.07.01	3.9			
	10.07.01～10.08.02	2.9			
	10.08.02～10.09.02	2.4			
	10.09.02～10.10.04	2.1			
	10.10.04～10.11.02	2.0			
	10.11.02～10.12.02	1.9			
	10.12.02～11.01.05	1.9			
	11.01.05～11.02.08	1.6			
	11.02.08～11.03.01	1.7			
	11.03.01～11.04.04	1.6			
白木	白木A	10.04.07～10.05.12	2.5	1.0～3.3	A
		10.05.12～10.06.03	2.8		
		10.06.03～10.07.07	2.9		
		10.07.07～10.08.05	0.9		

過去実績：2007～2009年度

(注) 県 (A)、原電 (B)、原子力機構 (D) はテレメータ観測局内、関電 (C) は気象観測局内、
対照地区は福井分析管理室の除湿水を分析した。

第25表 トリチウム分析結果 その2 大気中水分

単位：Bq/ℓ

地区	採取地点	採取期間	放射能濃度	過去実績	機関
白木	白木A	10.08.05～10.09.08	1.3	1.0～3.3	A
		10.09.08～10.10.06	1.5		
		10.10.06～10.11.05	1.4		
		10.11.05～10.12.02	1.6		
		10.12.02～11.01.06	2.1		
		11.01.06～11.02.09	1.3		
		11.02.09～11.03.03	1.2		
		11.03.03～11.04.06	1.2		
	白木峠A	10.04.05～10.05.07	2.4	1.3～4.5	D
		10.05.07～10.06.07	3.4		
		10.06.07～10.07.05	3.2		
		10.07.05～10.08.02	1.7		
		10.08.02～10.09.06	1.8		
		10.09.06～10.10.04	1.5		
		10.10.04～10.11.01	1.7		
		10.11.01～10.12.06	1.8		
		10.12.06～11.01.04	1.9		
		11.01.04～11.02.03	1.7		
		11.02.03～11.03.07	2.3		
11.03.07～11.04.04	1.8				
美浜	竹波A	10.04.07～10.05.12	2.7	1.7～5.6	A
		10.05.12～10.06.03	3.8		
		10.06.03～10.07.07	5.5		
		10.07.07～10.08.05	1.5		
		10.08.05～10.09.08	1.5		
		10.09.08～10.10.06	1.9		
		10.10.06～10.11.05	2.3		
		10.11.05～10.12.02	2.1		
		10.12.02～11.01.06	2.5		
		11.01.06～11.02.09	2.4		
		11.02.09～11.03.03	1.8		
		11.03.03～11.04.06	2.0		

過去実績：2007～2009年度

(注) 県(A)、原電(B)、原子力機構(D)はテレメータ観測局内、関電(C)は気象観測局内、
 対照地区は福井分析管理室の除湿水を分析した。

第25表 トリチウム分析結果 その2 大気中水分

単位：Bq/l

地区	採取地点	採取期間	放射能濃度	過去実績	機関
美浜	竹波（落合川取水場）	10.04.01～10.05.06	1.8	2.0～5.4	C
		10.05.06～10.06.01	2.1		
		10.06.01～10.07.01	4.3		
		10.07.01～10.08.02	2.5		
		10.08.02～10.09.01	1.3		
		10.09.01～10.10.01	1.3		
		10.10.01～10.11.01	2.2		
		10.11.01～10.12.01	3.8		
		10.12.01～11.01.04	10		
		11.01.04～11.02.02	6.5		
		11.02.02～11.03.01	2.7		
		11.03.01～11.04.05	2.8		
大飯	宮留A	10.04.07～10.05.11	9.8	2.0～11	A
		10.05.11～10.06.02	8.9		
		10.06.02～10.07.07	12		
		10.07.07～10.08.04	4.7		
		10.08.04～10.09.07	7.0		
		10.09.07～10.10.06	7.3		
		10.10.06～10.11.04	4.2		
		10.11.04～10.12.01	3.8		
		10.12.01～11.01.06	7.9		
		11.01.06～11.02.08	7.2		
		11.02.08～11.03.02	9.1		
		11.03.02～11.04.06	6.5		
	日角浜		10.04.02～10.05.07	6.0	1.9～6.0
10.05.07～10.06.02			3.4		
10.06.02～10.07.02			5.6		
10.07.02～10.08.03			4.6		
10.08.03～10.09.02			2.6		
10.09.02～10.10.05			3.0		
10.10.05～10.11.02			2.8		
10.11.02～10.12.02			3.2		

過去実績：2007～2009年度

(注) 県(A)、原電(B)、原子力機構(D)はテレメータ観測局内、関電(C)は気象観測局内、
対照地区は福井分析管理室の除湿水を分析した。

第25表 トリチウム分析結果 その2 大気中水分

単位：Bq/l

地区	採取地点	採取期間	放射能濃度	過去実績	機関
大飯	日角浜	10.12.02～11.01.05	2.4	1.9～6.0	C
		11.01.05～11.02.01	2.5		
		11.02.01～11.03.02	4.9		
		11.03.02～11.04.04	3.1		
高浜	小黒飯A	10.04.06～10.05.11	14	8.1～52	A
		10.05.11～10.06.02	11		
		10.06.02～10.07.06	17		
		10.07.06～10.08.04	17		
		10.08.04～10.09.07	19		
		10.09.07～10.10.05	26		
		10.10.05～10.11.04	23		
		10.11.04～10.12.01	35		
		10.12.01～11.01.05	25		
		11.01.05～11.02.08	25		
		11.02.08～11.03.02	23		
		11.03.02～11.04.05	23		
		神野浦	10.04.02～10.05.07		
	10.05.07～10.06.02		6.4		
	10.06.02～10.07.02		11		
	10.07.02～10.08.03		7.9		
	10.08.03～10.09.02		7.5		
	10.09.02～10.10.05		5.7		
	10.10.05～10.11.02		3.5		
	10.11.02～10.12.02		7.2		
	10.12.02～11.01.05		5.5		
	11.01.05～11.02.01		0.7		
対照	原目町（福井分析管理室）	10.04.02～10.05.07	—	ND～1.2	A
		10.05.07～10.06.02	0.9		
		10.06.02～10.07.06	1.2		
		10.07.06～10.08.04	—		

過去実績：2007～2009年度

(注) 県(A)、原電(B)、原子力機構(D)はテレメータ観測局内、関電(C)は気象観測局内、
対照地区は福井分析管理室の除湿水を分析した。

第25表 トリチウム分析結果 その2 大気中水分

単位：Bq/ℓ

地区	採取地点	採取期間	放射能濃度	過去実績	機関
対照	原目町（福井分析管理室）	10.08.04～10.09.07	—	ND～1.2	A
		10.09.07～10.10.01	0.7		
		10.10.01～10.11.04	0.6		
		10.11.04～10.12.01	0.7		
		10.12.01～11.01.04	0.6		
		11.01.04～11.02.08	—		
		11.02.08～11.03.03	0.7		
		11.03.03～11.04.06	—		

過去実績：2007～2009年度

(注1) 県(A)、原電(B)、原子力機構(D)はテレメータ観測局内、関電(C)は気象観測局内、対照地区は福井分析管理室の除湿水を分析した。

(注2) 大気中水分トリチウム分析については、2005年度第1期から1ヶ月試料を分析している。

(注3) 美浜地区竹波の12月の試料で、10 Bq/ℓと過去実績(2.0～5.4 Bq/ℓ)を上回った。この値は過去最高値である。なお、これまでの最高値は、2006年3月の8.6 Bq/ℓであった。

(注4) 大飯地区宮留Aの6月の試料で、12 Bq/ℓと過去実績(2.0～11 Bq/ℓ)を上回った。この値は過去最高値である。なお、これまでの最高値は、2006年5月の19 Bq/ℓであった。

(備考) 大気中水分のトリチウム分析は、吸入に伴う内部被ばく線量を把握する目的で行っている。内部被ばく線量把握のために必要な空气中濃度への換算方法等を付4.3に示す。

第26表 トリチウム分析結果 その3 雨水

単位：Bq/ℓ

地区	採取地点	採取期間	放射能濃度	過去実績	機関
敦賀	浦底（水試）	10.04.08～10.07.08	4.6	1.1～6.6	A
		10.07.08～10.10.07	1.5		
		10.10.07～11.01.07	1.5		
		11.01.07～11.04.07	1.6		
	浦底（明神寮）	10.04.01～10.07.01	4.9	1.2～3.5	B
		10.07.01～10.10.01	1.9		
		10.10.01～11.01.04	1.5		
		11.01.04～11.04.01	1.6		
白木	松ヶ崎（機構Mステーション）	10.04.07～10.07.07	1.1	ND～1.9	A
		10.07.07～10.10.06	0.8		
		10.10.06～11.01.06	0.7		
		11.01.06～11.04.06	0.8		
		10.04.01～10.07.01	0.6		D
		10.07.01～10.10.01	0.7		
		10.10.01～11.01.05	1.4		
		11.01.05～11.04.01	0.9		
美浜	竹波（落合川取水場）	10.04.07～10.07.07	2.6	1.1～2.9	A
		10.07.07～10.10.06	1.1		
		10.10.06～11.01.06	2.8		
		11.01.06～11.04.06	2.3		
	丹生（関電丹生寮）	10.04.01～10.07.01	2.5	1.5～3.8	C
		10.07.01～10.10.01	1.0		
		10.10.01～11.01.04	2.4		
		11.01.04～11.04.05	2.1		
大飯	宮留（県テレメ観測局）	10.04.07～10.07.07	7.7	2.2～6.7	A
		10.07.07～10.10.06	2.7		
		10.10.06～11.01.06	2.6		
		11.01.06～11.04.06	3.7		
	日角浜（ヴィラ大島）	10.04.02～10.07.02	2.4	1.2～4.0	C
		10.07.02～10.10.04	2.2		
		10.10.04～11.01.05	2.2		
		11.01.05～11.04.04	2.3		
高浜	小黒飯（県テレメ観測局）	10.04.06～10.07.06	6.4	5.1～9.5	A
		10.07.06～10.10.05	4.9		
		10.10.05～11.01.05	5.9		
		11.01.05～11.04.05	7.8		

過去実績：2007～2009年度

第26表 トリチウム分析結果 その3 雨水

単位：Bq/ℓ

地区	採取地点	採取期間	放射能濃度	過去実績	機関
高浜	小和田（小和田ポンプ所）	10.04.02～10.07.02	1.6	1.0～2.8	C
		10.07.02～10.10.04	1.2		
		10.10.04～11.01.05	1.3		
		11.01.05～11.04.04	0.6		
対照	原目町（福井分析管理室）	10.04.05～10.07.06	0.6	ND～0.8	A
		10.07.06～10.10.05	—		
		10.10.05～11.01.05	—		
		11.01.05～11.04.04	—		

過去実績：2007～2009年度

（注1）雨水のトリチウム分析については、2005年度第1期から3ヶ月の混合試料を分析している。

（注2）敦賀地区浦底（明神寮）の第1期試料で、4.9 Bq/ℓと過去実績(1.2～3.5 Bq/ℓ)を上回った。

なお、過去最高値は、2003年9月の7.1 Bq/ℓである。

（注3）大飯地区宮留（県テレメ観測局）の第1期試料で、7.7 Bq/ℓと過去実績(2.2～6.7 Bq/ℓ)を上回った。なお、過去最高値は、1999年3月の24 Bq/ℓである。

第27表 トリチウム分析結果 その4 海水

単位：Bq/ℓ

地区	採取地点	種類	採取年月日	放射能濃度	過去実績	機関	
敦賀	立石岬	海水	10.04.16	—	ND~1.6	A	
		〃	10.10.19	0.7			
	敦賀発電所2号放水口	〃	10.04.16	0.9	ND~14	A	
		〃	10.05.11	1.0		B	
		〃	10.08.05	0.7		A	
		〃	10.10.19	0.9		B	
		〃	10.11.17	0.7		A	
		〃	11.02.03	0.7		B	
		〃	11.02.03	0.7		A	
	ふげん放水口	〃	10.04.16	—	ND~1100	A	
		〃	10.06.08	21		D	
		〃	10.09.07	—		A	
		〃	10.10.19	—		D	
		〃	10.12.01	—		A	
		〃	11.03.15	0.5		D	
	白木	もんじゅ放水口	〃	10.04.16	—	ND~1.4	A
〃			10.05.11	—	D		
〃			10.08.06	1.3	A		
〃			10.10.14	—	D		
〃			10.11.19	—	A		
〃			11.02.08	—	D		
もんじゅ放水口沖		〃	10.04.16	—	ND~1.9	A	
		〃	10.10.14	0.7			
美浜		美浜発電所1, 2号放水口	〃	10.04.16	—	ND~3.1	A
			〃	10.05.12	3.2		C
	〃		10.08.05	0.7	A		
	〃		10.10.14	—	C		
	〃		10.11.11	3.0	A		
	〃		11.02.03	5.6	C		
	美浜発電所1, 2号放水口沖	〃	10.04.16	—	0.7~1.7	A	
		〃	10.10.14	0.6			
	美浜発電所3号放水口	〃	10.04.16	—	ND~4.0	A	
		〃	10.05.12	1.9		C	

過去実績：2007~2009年度

(注) 実績欄の値は、同一採取地点毎にまとめて求めたものである。

第27表 トリチウム分析結果 その4 海水

単位：Bq/ℓ

地区	採取地点	種類	採取年月日	放射能濃度	過去実績	機関	
美浜	美浜発電所3号放水口	海水	10.08.05	—	ND~4.0	C	
		〃	10.10.14	—		A	
		〃	10.11.11	2.3		C	
		〃	11.02.03	2.4			
	美浜発電所3号放水口沖	〃	10.04.16	—	0.6~2.9	A	
		〃	10.10.14	—			
大飯	大飯発電所放水口	〃	10.04.21	2.1	ND~1.9	A	
		〃	10.05.11	—		C	
		〃	10.08.04	—			
		〃	10.10.13	0.6		A	
		〃	10.11.12	0.7		C	
		〃	11.02.02	—			
	髷島	〃	10.04.21	1.7	ND~1.1	A	
		〃	10.10.13	0.8			
	高浜	高浜発電所1, 2号放水口	〃	10.04.07	1.7	ND~10	C
			〃	10.04.21	1.1		A
〃			10.05.11	2.0	C		
〃			10.07.07	0.9			
〃			10.08.04	—			
〃			10.10.06	—			
〃			10.10.13	—	A		
〃			10.11.12	0.9	C		
〃			11.01.06	0.6			
〃			11.02.02	—			
高浜発電所3, 4号放水口		〃	10.04.07	1.9	ND~3.2	C	
		〃	10.04.21	0.9		A	
		〃	10.05.11	1.5		C	
		〃	10.07.07	0.8			
		〃	10.08.04	—			
		〃	10.10.06	0.6			
		〃	10.10.13	0.8		A	
		〃	10.11.12	0.7		C	

過去実績：2007~2009年度

(注) 実績欄の値は、同一採取地点毎にまとめて求めたものである。

第27表 トリチウム分析結果 その4 海水

単位：Bq/ℓ

地区	採取地点	種類	採取年月日	放射能濃度	過去実績	機関
高浜	高浜発電所3, 4号放水口	海水	11.01.06	0.6	ND~3.2	C
		〃	11.02.02	—		
	高浜発電所放水口沖	〃	10.04.07	2.2	ND~2.7	C
		〃	10.05.11	2.5		
		〃	10.07.07	1.4		
		〃	10.08.04	—		
		〃	10.10.06	—		
		〃	10.11.12	0.8		
		〃	11.01.06	0.7		
		〃	11.02.02	—		
	旧内浦港口ブイ	〃	10.04.21	1.3	ND~2.9	A
〃		10.10.13	—			
対照	福井市小丹生町	〃	10.04.23	—	ND~1.0	A
		〃	10.10.07	—		

過去実績：2007～2009年度

(注1) 実績欄の値は、同一採取地点毎にまとめて求めたものである。

(注2) 美浜発電所1, 2号放水口において、過去実績 (ND~3.1 Bq/ℓ) を上回る値 (3.2 Bq/ℓおよび5.6 Bq/ℓ) が検出された。この値は過去最高値である。なお、これまでの最高値は2006年の5.7 Bq/ℓであった。

(注3) 大飯発電所放水口において、過去実績 (ND~1.9 Bq/ℓ) を上回る値 (2.1 Bq/ℓ) が検出されたが、過去最高値 (1979年度：11 Bq/ℓ) より低い値であった。

第28表 放射化学分析等による⁹⁰Sr・¹³⁷Cs・²³⁹Pu分析結果

(その1 ストロンチウム-90)

分析機関：A

単位：mBq/kg生

区分	地区	採取地点	種類	採取日	放射能濃度	過去実績
指標植物	敦賀	浦底	ヨモギ	10.06.01	25	180 ~ 280
	白木	白木		10.06.01	44	200 ~ 300
	美浜	竹波		10.06.03	530	360 ~ 1200
	大飯	日角浜		10.06.02	30	120 ~ 340
	高浜	小黒飯		10.06.02	430	320 ~ 890
	対照	福井市原目町		10.06.01	280	280 ~ 430
指標海産生物	敦賀	敦賀2号放水口	ホンダワラ	10.06.09	52	94 ^(注2)
	白木	松ヶ崎		10.06.01	33	27 ~ 39
	美浜	美浜1,2号放水口		10.06.09	37	ND ~ 45
	大飯	台場浜		10.06.02	37	28 ~ 56
	高浜	へたが崎		10.06.09	31	/ ^(注3)
	対照	小丹生		10.04.08	57	45 ~ 83

過去実績：2007～2009年度

(注1) - およびNDは、検出限界値未満を示す(以下、同じ)。

(注2) 2009年度より採取地点が変更されたため、過去実績は2009年度のみ。

(注3) 今年度より採取地点が変更されたため、過去実績がない。

単位：生物試料 mBq/kg生、海底土 mBq/kg乾土

区分	地区	採取地点	種類	採取月日	放射能濃度	過去実績
海底土	敦賀	敦賀2号放水口	砂	10.04.16	—	— (注2)
		ふげん放水口	砂	10.11.22	—	ND ~ 93
	白木	もんじゅ放水口	砂	10.04.16	—	—
	美浜	美浜1,2号放水口	砂・泥	10.10.14	340	280 ~ 350
		美浜1,2号放水口沖	砂	10.10.14	130	ND ~ 180
		美浜3号放水口沖	砂	10.10.14	—	—
	大飯	大飯放水口	砂	10.10.13	150	110 ~ 270
	高浜	高浜1,2号放水口	砂	10.04.21	790	810 ~ 920
高浜3,4号放水口		砂	10.04.21	1300	700 ~ 990	
海産食品	敦賀	えりヶ崎	ワカメ	10.04.05	14	19 ~ 23
	白木	松ヶ崎		10.04.05	15	15 ~ 19
	美浜	美浜3号放水口		10.05.16	28	14 ~ 19
	大飯	赤礁崎		10.04.06	33	23 ~ 26
	高浜	名島		10.05.08	20	17 ~ 26
	対照	越廼(茱崎)		10.05.18	20	15 ~ 34
	敦賀	立石岬	サザエ	10.06.02	21	18 ~ 23
	白木	アジゴ崎		10.06.10	30	16 ~ 35
	美浜	美浜3号放水口沖		10.06.06	20	20 ~ 33
	大飯	肥前(添浜)		10.06.01	24	15 ~ 28
	高浜	名島		10.06.09	17	18 ~ 22
	対照	鷹巣沖		10.06.09	19	12 ~ 21
指標海産生物	敦賀	ふげん放水口	ホンダワラ	10.11.22	35	ND ~ 33
		明神崎F		10.11.02	140	56 ~ 110
	白木	松ヶ崎		10.11.22	48	24 ~ 37
	美浜	美浜1,2号放水口		10.11.22	51	53 ~ 67
	大飯	台場浜		10.11.04	53	34 ~ 39
	高浜	へたヶ崎		10.11.22	30	28 ~ 46

過去実績：2007～2009年度

(その3 プルトニウム-238、239(+240) 陸上試料)

単位：生物試料 mBq/kg生、陸土 mBq/kg乾土

区分	地区	採取地点	種類	採取月日	²³⁸ Pu濃度	²³⁹ Pu濃度	過去実績		機関
							²³⁸ Pu	²³⁹ Pu	
陸土	白木	松ヶ崎	土床	10.05.12	—	26	—	37 ~ 75	A
				10.07.08	—	61			D
				10.11.05	—	43			A
				11.01.13	—	55			D
	対照	勝山市池ヶ原	山土	10.06.23	92	3800	120 ~ 160	4300 ~ 5000	A
指標植物	敦賀	浦底	ヨモギ	10.05.12	—	—	—	ND ~ 0.47	A
	白木	松ヶ崎		10.05.12	—	0.74	—	ND ~ 0.54	A
				10.06.01	—	0.39			A
				10.07.08	—	—			A
				10.08.05	—	—			A
				10.09.06	—	—			A
				10.10.07	—	—			A
				10.11.02	—	0.47			A
	美浜	竹波		10.05.12	—	0.42	—	ND ~ 0.86	A
	大飯	目角浜		10.05.11	—	—	—	ND ~ 0.31	A
	高浜	小黒飯		10.05.11	—	0.45	—	—	A
	対照	福井市原目町		10.05.10	—	—	—	—	A
	農産物	白木		白木	大根葉	10.11.05	—	0.41	—

過去実績：2007～2009年度

注) プルトニウム分析結果において²³⁸Puが検出された場合、²³⁸Pu/²³⁹Pu比が3%前後であれば、核実験フォールアウト由来と判断できる。
今年度²³⁸Puが検出された試料の²³⁸Pu/²³⁹Pu比は、全てその範囲内であった。

(その4 プルトニウム-238、239(+240) 海洋試料)

単位：生物試料 mBq/kg生、海底土 mBq/kg乾土

区分	地区	採取地点	種類	採取月日	²³⁸ Pu濃度	²³⁹ Pu濃度	過去実績		機関	
							²³⁸ Pu	²³⁹ Pu		
海底土	敦賀	2号放水口	砂	10.10.19	—	110	— ^(注2)	98 ^(注2)	A	
		浦底湾口	砂	10.10.19	—	1600	／ ^(注3)	／ ^(注3)	A	
	白木	もんじゅ放水口	砂	10.04.16	—	76	—	45 ~ 70.2	A	
				10.05.11	—	110			D	
				10.10.14	—	53			A	
				10.11.19	—	46			D	
		もんじゅ放水口東	砂	10.10.14	—	110	—	74 ~ 120	A	
		白木漁港	砂	10.05.11	—	46	—	48 ~ 76	D	
				10.11.19	—	70			D	
		もんじゅ放水口沖	砂	10.10.14	—	85	—	89 ~ 140	A	
	門ヶ崎	砂	10.10.14	—	28	—	19 ~ 71	A		
	美浜	丹生湾中央	泥	10.04.16	34	1700	43 ~ 60	1700 ~ 1900	A	
	大飯	西村入江	砂・泥	10.10.13	25	1400	ND ~ 47	1300 ~ 1500	A	
	高浜	放水口沖	砂・泥	10.10.13	24	1300	ND ~ 37	880 ~ 1100	A	
海産食品	白木	もんじゅ沖	サワラ	10.04.24	—	—	—	—	A	
		もんじゅ沖	イワシ	10.04.24	—	—			A	
		アジゴ崎	ブリ	10.10.02	—	—			A	
		アジゴ崎	メジナ	10.10.04	—	—			A	
		白木沖	アジ	10.08.06	—	—			D	
		白木沖	ハマチ	11.02.03	—	—			D	
	白木	アジゴ崎	サザエ	10.06.10	—	39	ND ~ 1.6	13 ~ 56	A	
		松ヶ崎	アワビ	10.06.17	—	11			A	
		門ヶ崎	サザエ	10.07.09	0.63	44			A	
		白木沿岸	サザエ	10.08.25	—	41			D	
	敦賀	えりヶ崎	ワカメ	10.04.05	—	2.7	—	1.6 ~ 3.6	A	
	白木	松ヶ崎		10.04.05	—	1.9	—	ND ~ 4.5	A	
		門ヶ崎		10.05.02	—	6.3			A	
		松ヶ崎		10.05.02	—	4.8			A	
		白木沿岸		10.06.01	—	3.1			D	
	美浜	竹波		10.04.07	—	1.9	—	1.7 ~ 2.1	A	
	大飯	赤礁崎		10.04.06	—	1.3	—	1.6 ~ 1.8	A	
	高浜	小黒飯漁港		10.04.17	—	2.6	—	3.3 ~ 4.5	A	
	対照	越廼(菜崎)		10.05.18	—	3.9	—	2.3 ~ 4.7	A	
指標海産生物	敦賀	2号放水口		ホンダワラ	10.06.09	—	19	— ^(注2)	34 ^(注2)	A
		明神崎F			10.11.02	—	25	—	8.9 ~ 9.7	A
	白木	松ヶ崎			10.06.01	—	9.3	—	5.5 ~ 18	A
					10.09.06	—	7.9			A
			10.11.22		—	8.6	A			
			11.03.01		—	7.1	A			
			10.06.09		—	22	ND ~ 1.8			26 ~ 95
	美浜	1,2号放水口	10.06.09		—	14	—	7.6 ~ 25	A	
	大飯	台場浜	10.06.02		—	16	—	14 ~ 18	A	
	高浜	へたヶ崎	10.06.09		—	13	—	5.9 ~ 15	A	
	対照	福井小丹生	10.04.08		—	9.1	—	9.3 ~ 10	A	

過去実績：2007~2009年度

第29表 年間降下物の⁹⁰Sr・²²Na・¹³⁷Cs・¹³⁴Cs・²³⁹Pu分析結果

(参考：定期外調査)

単位：mBq/m²・年

採取地点	採取期間	放射能濃度					過去実績				
		⁹⁰ Sr	²² Na	¹³⁷ Cs	¹³⁴ Cs	²³⁹ Pu	⁹⁰ Sr	²² Na	¹³⁷ Cs	¹³⁴ Cs	²³⁹ Pu
浦底 水試 A	10.04.08 ～11.04.07	91	500	240	ND	15	ND ～ 120	320 ～ 480	ND ～ 410	—	5.7 ～ 15
浦底 明神寮 B	10.04.01 ～11.04.01	/	380	610	ND	/	/	290 ～ 380	ND ～ 420	—	/
松ヶ崎 A	10.04.07 ～11.04.6	440	320	260	ND	6.7	ND ～ 540	400 ～ 460	190 ～ 380	—	4.5 ～ 9.7
松ヶ崎 D	10.04.01 ～11.04.01	/	300	250	ND	/	/	230 ～ 360	130 ～ 270	—	/
竹波 A	10.04.07 ～11.04.06	250	330	300	ND	9.1	130 ～ 230	380 ～ 530	190 ～ 400	—	4.5 ～ 9.6
丹生 C	10.04.01 ～11.04.05	/	490	340	ND	/	/	350 ～ 410	210 ～ 460	—	/
宮留 A	10.04.07 ～11.04.06	100	330	490	310	5.7	ND ～ 86	330 ～ 430	130 ～ 290	—	5.2 ～ 8.3
日角浜 C	10.04.02 ～11.04.04	/	280	490	290	/	/	270 ～ 360	ND ～ 160	—	/
小黒飯 A	10.04.06 ～11.04.05	210	410	—	ND	8.0	ND ～ 320	440 ～ 520	ND ～ 200	—	2.7 ～ 5.7
小和田 C	10.04.02 ～11.04.04	/	410	150	ND	/	/	340 ～ 420	150 ～ 210	—	/
原目町 A	10.04.05 ～11.04.04	140	500	360	39	9.0	ND ～ 130	400 ～ 470	170 ～ 500	—	8.4 ～ 14

過去実績：2007～2009年度

- (注1) 各地点での月間降下物測定試料（パウデックス樹脂）の12ヶ月分を混ぜ合わせ、灰化物集合試料とし、測定したもの。
- (注2) ²²Na, ¹³⁷Cs, ¹³⁴CsはGe半導体検出器によるγ線スペクトロメトリによる結果であり、⁹⁰Sr, ²³⁹Puは放射化学分析の結果である。
- (注3) 採取地点のA, B, C, Dはそれぞれ県、原電、関電、原子力機構が分析した試料であることを示す。
- (注4) 各地区の²²Naは宇宙線で生成されたものである。

第30表 原乳の核種分析結果（参考：定期外調査）

単位： Bq/l

地区	採取地点	種類	採取年月日	目的核種					参考核種			天然核種	過去実績	機関	
				⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁴ Ce	¹³⁴ Cs	⁴⁰ K	¹³¹ I		
美浜	安江	原乳	10.06.11	—	—	—	—	—	—	—	—	—	51	—注2	A
	〃	〃	10.08.11	—	—	—	—	—	—	—	—	—	51		
	〃	〃	10.10.29	—	—	—	—	—	—	—	—	—	49		
対照	奥越高原牧場(勝山市池ヶ原)	〃	10.06.08	—	—	—	—	—	—	—	—	—	49	—	A
	〃	〃	10.08.10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	49		
	〃	〃	10.10.15	—	—	—	—	—	—	—	—	—	48		

(注1) マリネリピーカーを用いて直接測定。

過去実績：2007～2009年度

(注2) 2009年度より測定を開始したため過去実績は2009年度のみ。

第31表 各地の積雪量 (2010年12月～2011年1月) [参考データ]

単位：c m

月	日	今庄 (今庄)	敦賀 (松栄)	小浜 (遠敷)	県テレメータ観測局								
					浦底	白木峠	竹波	坂尻	宮留	長井	小黑飯	山中	
12	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	15	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	16	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	17	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	18	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	24	5	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	4
	25	30	7	-	-	3	-	-	-	-	-	-	4
	26	26	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	27	23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	28	19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	29	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	30	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	31	41	19	40	12	12	11	25	16	23	22	22	33
1	1	44	18	30	10	11	9	18	11	18	17	33	
	2	39	14	20	7	11	7	13	5	10	9	21	
	3	29	6	14	3	8	3	8	-	-	3	10	
	4	28	4	13	-	3	2	7	-	-	-	3	
	5	29	-	11	-	-	-	4	-	-	-	-	
	6	33	-	13	-	-	-	1	-	-	-	8	
	7	37	-	19	-	-	-	-	-	-	-	17	
	8	31	-	21	-	-	-	3	-	-	-	17	
	9	30	-	17	-	-	-	-	-	-	-	10	
	10	30	-	22	-	-	-	-	-	-	-	17	
	11	28	1	33	-	-	-	7	-	-	-	17	
	12	38	-	25	-	-	-	1	-	2	-	14	
	13	41	-	36	-	1	-	10	2	6	4	34	
	14	47	3	29	-	3	1	7	-	3	-	32	
	15	52	2	27	-	3	-	6	-	-	-	24	
	16	76	12	55	8	5	4	15	4	3	16	32	
	17	84	12	54	5	3	3	14	3	5	15	36	
	18	83	7	48	2	-	-	12	-	1	5	36	
	19	88	5	43	-	-	-	10	-	-	1	29	
	20	96	4	41	-	-	-	9	-	-	-	33	
	21	93	3	45	-	3	-	12	-	2	1	42	
	22	95	2	43	-	1	-	10	-	1	-	36	
	23	96	-	41	-	-	-	9	-	-	-	33	
	24	97	-	41	-	-	-	7	-	-	-	32	
	25	101	-	53	-	-	-	10	-	-	-	35	
	26	131	3	57	-	×	-	15	2	4	1	49	
	27	144	9	62	-	×	1	22	2	6	-	55	
	28	147	8	64	-	×	4	22	1	10	3	61	
	29	152	11	64	3	×	1	25	1	6	5	57	
	30	215	36	61	54	36	14	45	2	9	13	61	
	31	244	78	65	89	51	35	64	6	9	9	55	

(注)・積雪深計による1日の最大積雪深を示す。
 ・測定値の0は積雪なし(-)とした。
 ・×は県テレメータ観測局において欠測したデータである。
 ・今庄、敦賀、小浜の値は、気象庁ホームページの気象統計情報(過去の気象データ検索)から引用した。

第31表 各地の積雪量 (2011年2月～2011年3月) [参考データ]

単位：c m

月	日	今庄 (今庄)	敦賀 (松栄)	小浜 (遠敷)	県テレメータ観測局							
					浦底	白木峠	竹波	坂尻	宮留	長井	小黒飯	山中
2	1	239	72	60	83	51	27	58	—	6	4	52
	2	219	50	57	55	41	16	46	—	1	—	48
	3	204	36	54	45	36	13	39	—	—	—	39
	4	190	30	52	36	31	12	36	—	—	—	35
	5	178	26	50	32	25	10	32	—	—	—	32
	6	169	21	49	28	20	6	29	—	—	—	28
	7	158	14	46	20	15	—	26	—	—	—	20
	8	151	7	43	16	10	—	22	—	—	—	7
	9	149	3	40	12	4	—	20	—	—	—	3
	10	145	—	36	4	—	—	15	—	—	—	—
	11	143	—	34	2	—	—	14	—	—	—	—
	12	142	—	32	—	—	—	13	—	—	—	—
	13	147	—	31	—	—	—	11	—	—	—	—
	14	146	—	32	—	—	—	10	—	—	—	—
	15	145	—	31	—	—	—	8	—	—	—	—
	16	140	—	28	—	—	—	4	—	—	—	—
	17	137	—	24	—	—	—	—	—	—	—	—
	18	131	—	11	—	—	—	—	—	—	—	—
	19	126	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	20	124	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	21	120	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	22	117	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	23	112	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	24	107	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	25	98	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	26	92	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	27	90	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	28	87	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3	1	83	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	2	81	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	3	80	—	11	—	—	—	—	—	—	—	3
	4	85	—	14	—	—	—	—	—	—	—	5
	5	84	—	4	—	—	—	—	—	—	—	2
	6	78	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	7	76	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	8	74	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	9	78	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8
	10	83	—	5	—	—	—	—	—	—	—	9
	11	80	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	12	77	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	13	72	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	14	67	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	15	59	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	16	61	—	3	—	—	—	—	—	—	—	6
	17	72	2	6	—	—	—	—	—	2	2	9
	18	72	—	6	—	—	—	—	—	—	1	8
	19	58	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	20	50	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	21	43	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	22	35	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	23	28	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	24	23	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	25	23	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	26	19	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	27	19	—	3	—	—	—	—	—	—	—	—
	28	14	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	29	10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	30	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	31	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注)・積雪深計による1日の最大積雪深を示す。
 ・測定値の0は積雪なし(—)とした。
 ・×は県テレメータ観測局において欠測したデータである。
 ・今庄、敦賀、小浜の値は、気象庁ホームページの気象統計情報(過去の気象データ検索)から引用した。

4. 付

- 4. 1 空間放射線の構成成分
- 4. 2 県環境放射線監視テレメータシステムによる空間線量率及び気象の調査結果
- 4. 3 大気中水分、雨水（降下物）のトリチウム分析結果について
- 4. 4 東北地方太平洋沖地震に伴う福島第一発電所事故に関連した臨時放射能調査
- 4. 5 環境モニタリング結果に基づく内部被ばく預託実効線量評価結果

4. 1 空間放射線の構成成分

これまで県内各地点における空間放射線の構成成分を調べるため、ポータブルスペクトロメータを用いて γ 線スペクトル測定を行ってきた。今年度は、TLD設置地点15地点（各サイト3地点）について、空間放射線の構成成分調査を実施した。

今年度の測定地点名と測定結果を表-1と図-1に示す。

測定器は3" ϕ \times 3" NaI(Tl) スペクトロメータ (Aloka JSM-112)で、測定時間は各10分間である。解析法は脚注に示した。ここで測定した値は降雨等の自然条件や測定条件などにより個々の測定点でも測定毎に20~30%の変動がある。

測定結果の各成分のカリウム-40、ウラン系列、トリウム系列は天然の放射線源である。降雨時には雨により空気中のラドンの娘核種が降下し、地表面に溜まるため、ウラン系列の放射線が増加する。今回の測定時の天候は晴あるいは曇であったが、前日までの数日間は降雨の日であった。

地域や地点により線量率に差があるのは、地質によって天然放射性核種の濃度が違うためである。敦賀半島はその大部分が花崗岩（酸性岩）からなり、天然放射性核種の濃度が高いので線量率も高い。嶺南地区の西部は粘板岩ないし安山岩等（堆積岩ないし塩基性岩）からなり線量率は低い。嶺北地区については、砂礫および粘土を主体とした沖積層の福井平野に位置しているため線量率は低い。

今年度の調査結果をまとめると、線量率の最も高かったのは、浦底A5の110.5 nGy/hで、最も低かったのは、旧神野小学校A3の28.6 nGy/hであった。

線量構成比を比較すると、浦底A5は、ウラン系列；19%、トリウム系列；49%、カリウム；32%であり、旧神野小学校Aは、ウラン系列；20%、トリウム系列；37%、カリウム；43%となっている。

(解析法) 測定エネルギー範囲を0~3.2 MeVとした。測定された波高分布から線量率を求めるには2つのステップが必要である。①波高分布を入射エネルギースペクトルに変換すること、②このエネルギースペクトルから線量率に換算することの2つである。

(1)波高分布→入射エネルギースペクトル変換

入射 γ 線のスペクトル（求めるべきエネルギースペクトル）をN、シンチレーションスペクトロメータの出力波高分布をPとし、これらの関係をベクトルで表示すると

$$P = N \cdot R \quad \text{と書ける。}$$

Nを逐次近似的にレスポンス行列（R）を用いて求めるのがレスポンス行列法である。

(2)入射エネルギースペクトル→線量率換算

(1)で得られた入射 γ 線エネルギースペクトルの各ビンに、そのビンのエネルギーに対応する質量エネルギー吸収係数をかけ、それらを積算して0~3.2 MeVの線量率を求める。ただし、3.0~3.2MeVについては宇宙線寄与分として取扱い、その影響を除外している。

参考文献：①名古屋工業試験所報告、第31巻 第5号、p132-146（1982）

②福井県衛生研究所年報、第28集、p91~95（1989）

③福井県原子力環境監視センター所報、第8巻、p47~59（2001）

表-1 測定地点と核種別線量率

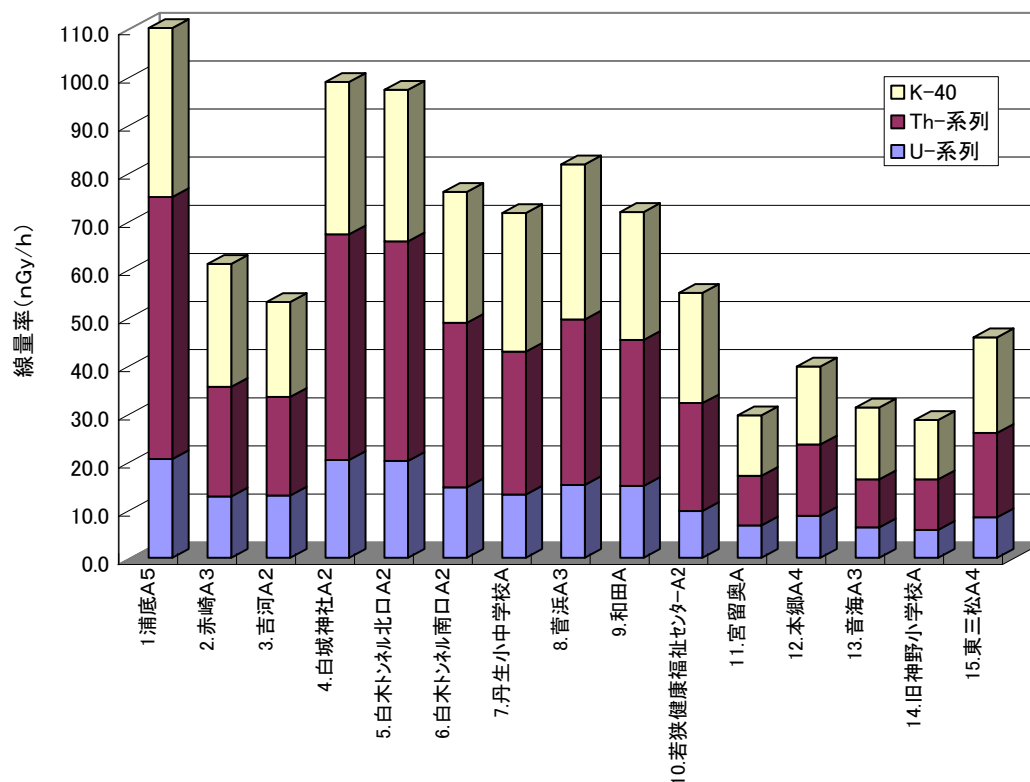
地区	測定地点	線量率 (nGy/h)				線量構成比(%)		
		U-系列	Th-系列	K-40	TOTAL	U-系列	Th-系列	K-40
敦賀市	1 浦底A 5	20.5	54.4	35.6	110.5	18.6	49.2	32.2
	2 赤崎A 3	12.7	22.8	25.5	61.0	20.8	37.4	41.8
	3 吉河A 2	12.9	20.5	19.7	53.1	24.3	38.6	37.1
	4 白城神社A 2	20.3	46.9	31.6	98.8	20.5	47.5	32.0
	5 白木トンネル北口A 2	20.1	45.6	31.5	97.2	20.7	46.9	32.4
	6 白木トンネル南口A 2	14.6	34.2	27.2	76.0	19.2	45.0	35.8
美浜町	7 丹生小中学校A	13.1	29.7	28.8	71.6	18.3	41.5	40.2
	8 菅浜A 3	15.1	34.4	32.2	81.7	18.5	42.1	39.4
	9 和田A	14.9	30.3	26.6	71.8	20.8	42.2	37.0
小浜市	10 若狭健康福祉センターA2	9.7	22.4	22.9	55.0	17.6	40.7	41.6
おおい町	11 宮留奥A	6.7	10.3	12.6	29.6	22.6	34.8	42.6
	12 本郷A 4	8.7	14.8	16.2	39.7	21.9	37.3	40.8
高浜町	13 音海A 3	6.3	10.0	14.9	31.2	20.2	32.1	47.8
	14 旧神野小学校A	5.8	10.5	12.3	28.6	20.3	36.7	43.0
	15 東三松A 4	8.4	17.5	19.9	45.8	18.3	38.2	43.4

測定年月日

地点 1～9 2011年3月22日

地点 10～15 2011年3月18日

図-1 測定結果



4. 2 県環境放射線監視テレメータシステムによる空間線量率および気象の調査結果

福井県環境放射線監視テレメータシステムでは、各原子力発電所周辺に18ヶ所の観測局を設け、波高弁別器バイアス変調(以下、DBM)方式のNaI(Tl)検出器により、空間線量率を連続測定し10分毎にデータ収集している。

観測局の位置は、添付資料第2図(p.34~p.35)に示した。測定器の仕様、測定項目などの詳細については、各年度の「福井県原子力環境監視センター所報」を参照されたい。なお、県の観測局のうち白木峠Aおよび坂尻Aを除く16局について2011年2月27日から3月22日にかけて測定装置の更新をおこなったため、装置特性の違いにより更新前に比べバックグラウンド値が変動している。

線量率の測定結果では、各観測局の月毎に求めた「平均値+標準偏差の3倍」の範囲を超えた線量率について、原因の究明を行っている。各観測局で月毎に処理するのは、観測地点の周辺環境の違いと降雨、降雪などの気象条件が季節によって異なるためである。また、検出器に入射する放射線のエネルギー成分を検討するため、DBM通過率(線量率と計数率の比)の解析を行っている。ほかに降雨量、風向、風速等の気象情報も収集しており、線量率が「平均値+標準偏差の3倍」の範囲を超えた場合には、これらの気象情報や近接局の状況を加味して、線量率上昇の原因を判断している。なお、ここで取り扱ったデータは、すべて1時間値をもとにしたものである。

添付資料第8表(p.51~p.56)は、線量率の最高値、最低値、平均値、標準偏差、「平均値+標準偏差の3倍」の範囲を超えた時間と原因を観測局別に示している。「平均値+標準偏差の3倍」の範囲を超えた時間数は各地点とも例年どおり200時間前後であり、原因のほとんどが降雨または降雪によるものであった。

その他に、静穏な気象状態になると、大気中のラドン娘核種の拡散・希釈が抑制されてラドン娘核種濃度が高くなるなどして、「平均値+標準偏差の3倍」を超えることがある。今年度は、敦賀Aで4時間、立石Aで1時間観測された。

各観測局の線量率と降雨量の全測定結果を図4.2.1(p.153~p.161)に示す。

2月末以降、線量率が変動している観測局があるのは、測定装置の更新によるバックグラウンド値の変動の影響である。図より、降雨または降雪による線量率の上昇が、全局で顕著にみられている。7月下旬から9月上旬にかけての少雨期には、土壌中の水分が蒸発して地中からの放射線に対する遮蔽効果が減少し、線量率が徐々に増加する現象が白木、白木峠、竹波観測局等でみられた。

平野部(注)に設置された敦賀、小浜観測局等では、降雨のない期間に数nGy/h程度の1日周期の線量率変化が現れている。これは、大気状態が安定になりやすい夏季に多く見られる現象で、夜半から明け方にかけて地表付近の大気中においてラドン等の天然放射性核種濃度が高くなるために起きる現象である。冬季(12月~2月)には、積雪の影響により顕著な線量率の低下が見られる。今年度は1月末に大雪があり2月中旬にかけて積雪の多い状態であったため、敦賀、浦底、立石、白木、白木峠、丹生、竹波、坂尻および山中の各観測局で顕著な線量率低下が観測された。

表4.2.1(p.141~p.148)、図4.2.2(p.162~p.165)にテレメータシステムで観測した気象関係の統計結果を示す。

以上のことより、今年度の調査結果では、県内の原子力発電所の運転による線量率上昇は観測されなかった。

(注)海岸線の俯角、標高100m地点の仰角が共に小さい所を平坦な地としている。参考として下表に各観測局の周辺状況を示す。

(参考) 観測局周辺状況

単位：距離(m)、俯角・仰角(°)

観測局	標高	海までの距離	標高100m(200m)までの距離	海岸線までの俯角	標高100m(200m)までの仰角
敦賀	6	1500	3100	0.2°	2.7°
浦底	12	35	350	18.9°	14.1°
立石	20	40	150	26.6°	28.1°
河野	2	3	230	33.7°	23.1°
白木	20	130	300	8.7°	14.9°
白木峠	180	800	350*	12.7°	3.3°*

*：白木峠観測局は標高200mまで

(参 考) 観測局周辺状況 (つづき)

単位：距離(m)、俯角・仰角(°)

観測局	標高	海までの距離	標高100m(200m)までの距離	海岸線までの俯角	標高100m(200m)までの仰角
丹生	3	15	228	11.3°	23.0°
竹波	10	225	238	2.5°	20.7°
坂尻	35	320	150	6.2°	23.4°
小浜	5	538	725	0.5°	7.5°
日角浜	15	100	338	8.5°	14.1°
宮留	4	50	350	4.6°	15.3°
阿納尻	14	100	290	8.0°	16.5°
長井	14	150	420	5.3°	11.5°
小黒飯	35	25	125	54.5°	27.5°
音海	2	163	213	0.7°	24.7°
神野浦	9	60	340	8.5°	15.0°
山中	144	1100	400*	7.5°	8.0°*

*：山中観測局は標高200mまで

表4. 2. 1 各地の気象 その1 降雨(降雪)、風速、気温 敦賀地区

2010年度

観測局	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間	
敦賀	月間降雨時間(時間)	109	100	82	82	26	75	87	80	196	196	55	113	1201	
	月間感雨時間(時間)	195	196	137	157	55	119	155	140	289	469	128	244	2284	
	月間降雨量(mm)	175.5	116.5	154.5	317.0	53.5	293.0	147.5	147.5	147.5	409.5	341.0	84.0	104.5	2344.0
	月間平均風速(m/s)	2.2	2.2	1.8	1.8	2.0	1.7	1.5	1.5	1.8	2.1	2.1	1.9	1.9	1.9
	無風(0.5m/s未満)出現回数	41	30	49	55	34	39	71	36	36	37	36	43	73	544
	月間平均気温(℃)	12.0	17.3	23.1	27.2	30.1	25.5	18.8	12.3	7.8	7.8	2.1	5.6	6.4	15.7
	月間降雨時間(時間)	109	112	67	83	26	72	85	83	216	332	59	114	1358	
浦底	月間感雨時間(時間)	200	189	130	143	55	113	162	155	309	499	141	249	2345	
	月間降雨量(mm)	193.5	163.0	119.0	338.5	59.0	262.5	182.0	124.0	325.5	428.5	93.5	144.5	2433.5	
	月間平均風速(m/s)	2.7	2.5	1.7	1.9	2.5	1.5	1.3	1.7	2.4	1.9	2.0	1.8	2.0	
	無風(0.5m/s未満)出現回数	88	91	142	156	100	85	143	81	40	28	91	140	1185	
	月間平均気温(℃)	11.6	16.7	22.4	26.5	29.6	24.9	18.4	12.2	7.7	2.1	5.4	6.1	15.4	

表4. 2. 1 各地の気象 その1 降雨(降雪)、風速、気温 敦賀地区

2010年度

観測局	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
立石	月間降雨時間(時間)	102	87	66	61	18	65	80	70	164	253	53	94	1113
	月間感雨時間(時間)	182	181	126	134	53	105	137	141	329	514	135	244	2281
	月間降雨量(mm)	174.5	96.5	97.0	254.5	33.5	245.0	232.5	98.0	217.0	295.0	78.5	99.0	1921.0
	月間平均風速(m/s)	3.4	3.2	2.3	2.8	3.3	2.4	2.4	2.8	3.5	3.1	2.9	2.6	2.9
	無風(0.5m/s未満)出現回数	43	34	60	55	30	25	29	17	8	8	24	52	385
	月間平均気温(℃)	13.4	18.3	23.6	27.9	30.9	26.6	20.4	14.4	10.0	4.2	7.4	6.2	17.0
	月間降雨時間(時間)	101	106	71	63	30	74	95	84	188	298	66	122	1298
	月間感雨時間(時間)	186	173	125	132	54	108	145	176	352	561	170	271	2453
	月間降雨量(mm)	159.5	131.5	145.5	312.0	81.0	259.0	221.0	141.0	257.5	353.0	98.0	119.0	2278.0
	月間平均風速(m/s)	2.8	2.6	2.3	2.6	2.9	2.8	3.0	3.9	5.1	4.6	2.7	2.9	3.2
河野	無風(0.5m/s未満)出現回数	52	42	44	27	15	21	27	9	7	4	30	31	309
	月間平均気温(℃)	11.4	16.3	22.1	26.5	29.2	24.7	18.5	12.2	8.5	2.8	5.4	6.0	15.4

表4. 2. 1 各地の気象 その1 降雨(降雪)、風速、気温 白木地区

2010年度

観測局	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
白木	月間降雨時間(時間)	98	97	69	72	22	70	85	70	176	274	60	97	1190
	月間感雨時間(時間)	187	185	125	133	49	106	157	154	287	532	149	270	2334
	月間降雨量(mm)	177.5	128.5	108.0	308.5	29.5	242.5	170.0	98.5	281.5	328.0	92.0	104.5	2069.0
	月間平均風速(m/s)	3.6	3.3	1.9	2.2	2.8	2.6	2.8	3.0	3.6	3.9	3.5	3.3	3.0
	無風(0.5m/s未満)出現回数	19	5	21	13	3	13	9	3	2	4	6	24	122
	月間平均気温(℃)	11.3	16.1	21.4	25.7	29.1	24.5	18.2	12.0	7.8	2.4	5.6	6.0	15.1
	月間降雨時間(時間)	102	103	74	78	23	69	81	71	170	237	53	88	1149
	月間感雨時間(時間)	191	198	135	148	52	112	158	155	291	524	139	259	2362
	月間降雨量(mm)	180.5	135.0	115.0	302.0	30.0	239.0	164.0	87.5	249.5	266.0	80.5	90.0	1939.0
	月間平均風速(m/s)	5.3	5.2	2.8	3.5	4.3	3.8	3.9	4.0	4.8	5.3	4.9	4.3	4.3
白木峠	無風(0.5m/s未満)出現回数	14	10	47	26	18	15	33	13	8	1	9	28	222
	月間平均気温(℃)	10.4	15.4	20.8	25.0	27.9	23.4	17.2	11.0	6.7	1.0	4.5	5.0	14.1

表4. 2. 1 各地の気象 その1 降雨(降雪)、風速、気温 美浜地区

2010年度

観測局	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
丹生	月間降雨時間(時間)	103	96	67	69	20	65	85	65	171	253	56	100	1150
	月間感雨時間(時間)	190	185	130	135	50	100	144	148	288	532	141	238	2281
	月間降雨量(mm)	187.0	109.5	92.5	271.5	28.0	225.0	156.5	81.0	262.0	298.5	78.0	114.5	1904.0
	月間平均風速(m/s)	2.4	2.3	1.6	1.8	2.4	1.6	1.6	1.9	3.0	2.6	1.8	1.5	2.1
	無風(0.5m/s未満)出現回数	118	122	157	127	84	110	151	106	76	17	113	172	1353
	月間平均気温(℃)	13.5	18.6	24.5	28.9	31.9	27.2	20.8	14.8	10.4	4.1	7.7	6.3	17.5
	月間降雨時間(時間)	106	104	71	81	25	76	92	77	182	303	62	122	1301
竹波	月間感雨時間(時間)	199	190	130	140	51	108	151	140	283	523	133	246	2294
	月間降雨量(mm)	201.5	121.0	117.5	306.0	38.5	263.5	171.5	85.5	297.5	362.0	92.5	133.0	2190.0
	月間平均風速(m/s)	1.4	1.5	1.1	1.1	1.2	1.0	1.1	1.5	2.0	2.2	1.2	1.3	1.4
	無風(0.5m/s未満)出現回数	107	94	146	105	71	98	111	74	66	69	96	138	1175
	月間平均気温(℃)	11.4	16.4	22.0	26.2	29.0	24.1	17.9	11.8	7.9	2.3	5.2	5.6	15.0
	月間降雨時間(時間)	113	102	84	87	24	78	101	67	175	258	57	115	1261
	月間感雨時間(時間)	191	178	134	139	61	108	160	134	291	478	130	232	2236
坂尻	月間降雨量(mm)	180.0	128.0	139.0	317.5	38.0	254.0	168.5	146.0	315.0	331.5	95.5	138.5	2251.5
	月間平均風速(m/s)	1.9	1.7	1.0	1.2	1.3	1.3	1.4	1.4	1.6	1.9	1.7	1.8	1.5
	無風(0.5m/s未満)出現回数	85	99	171	123	122	124	108	94	102	91	112	133	1364
	月間平均気温(℃)	11.4	16.3	21.8	26.0	28.8	24.3	18.0	11.6	7.1	1.4	5.0	5.7	14.8

表4. 2. 1 各地の気象 その1 降雨(降雪)、風速、気温 大飯地区

2010年度

観測局	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間	
小浜	月間降雨時間(時間)	99	100	72	82	25	74	104	94	142	240	70	145	1247	
	月間感雨時間(時間)	228	169	135	155	38	118	173	156	248	388	158	253	2219	
	月間降雨量(mm)	145.0	128.0	104.5	178.5	46.5	307.0	197.5	153.5	229.0	338.5	102.5	179.0	2109.5	
	月間平均風速(m/s)	1.4	1.4	1.1	1.2	1.3	1.1	1.1	1.2	1.5	1.5	1.4	1.2	1.3	
	無風(0.5m/s未満)出現回数	83	66	89	79	66	94	90	68	36	33	44	94	842	
	月間平均気温(℃)	11.7	17.0	22.5	26.9	29.8	25.2	18.5	11.9	7.7	7.7	1.9	5.4	6.1	15.4
	月間降雨時間(時間)	104	85	63	79	21	66	118	78	130	213	61	130	1148	
	月間感雨時間(時間)	197	158	123	152	41	118	174	149	230	381	143	233	2099	
	月間降雨量(mm)	154.0	103.5	98.0	198.0	37.0	243.0	226.5	115.5	203.5	272.5	94.5	146.5	1892.5	
	月間平均風速(m/s)	1.9	1.8	1.1	1.2	1.6	1.4	1.3	1.4	1.7	1.9	1.7	1.5	1.5	
日角浜	無風(0.5m/s未満)出現回数	87	101	160	154	111	87	112	86	48	39	84	113	1182	
	月間平均気温(℃)	11.3	16.4	21.9	26.8	29.7	25.3	18.6	12.1	7.8	2.4	5.6	5.9	15.4	
	月間降雨時間(時間)	102	84	63	81	20	67	104	72	125	213	62	130	1123	
	月間感雨時間(時間)	215	168	121	146	40	117	178	154	223	403	151	230	2146	
	月間降雨量(mm)	155.5	110.5	101.0	196.0	36.5	233.5	191.5	111.5	213.5	279.0	97.5	154.0	1880.0	
	月間平均風速(m/s)	3.0	2.7	1.8	2.1	2.3	2.5	2.5	2.7	3.5	3.5	3.0	2.5	2.7	
	無風(0.5m/s未満)出現回数	40	51	62	54	46	39	54	32	22	10	33	65	508	
	月間平均気温(℃)	11.2	16.2	21.7	26.4	29.4	25.1	18.7	12.3	8.1	2.6	5.7	5.9	15.3	
	宮留														

表4. 2. 1 各地の気象 その1 降雨(降雪)、風速、気温 大飯地区

2010年度

観測局	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間	
阿納尻	月間降雨時間(時間)	101	96	73	85	24	71	95	81	147	226	61	131	1191	
	月間感雨時間(時間)	210	169	132	159	47	115	160	154	253	412	138	237	2186	
	月間降雨量(mm)	152.5	130.0	98.5	191.0	57.5	232.0	174.5	142.0	239.0	302.0	93.5	152.0	1964.5	
	月間平均風速(m/s)	2.0	1.9	1.3	1.3	1.5	1.5	1.5	1.5	1.7	2.6	2.9	1.8	1.9	1.8
	無風(0.5m/s未満)出現回数	82	105	136	116	109	106	125	112	67	49	109	147	1263	
	月間平均気温(℃)	12.7	17.9	23.4	27.7	30.6	26.2	19.7	13.1	8.9	3.0	6.4	6.1	16.4	
	月間降雨時間(時間)	109	102	60	81	27	74	114	114	85	124	184	69	135	1164
長井	月間感雨時間(時間)	202	179	127	156	41	114	174	154	208	320	158	240	2073	
	月間降雨量(mm)	147.0	130.5	85.5	135.5	38.5	252.5	219.5	133.0	163.0	215.0	93.5	150.0	1763.5	
	月間平均風速(m/s)	2.5	2.1	1.6	1.6	1.7	2.3	2.3	2.2	2.6	2.8	2.8	2.4	2.2	
	無風(0.5m/s未満)出現回数	40	41	67	58	43	23	39	26	20	15	28	39	439	
	月間平均気温(℃)	11.4	16.4	21.7	26.3	28.9	24.7	18.2	11.5	7.4	1.7	5.1	5.4	15.0	

表4. 2. 1 各地の気象 その1 降雨(降雪)、風速、気温 高浜地区

2010年度

観測局	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間	
小黒飯	月間降雨時間(時間)	120	103	69	86	20	76	104	85	149	227	79	139	1257	
	月間感雨時間(時間)	208	161	123	152	32	113	164	156	258	413	155	242	2177	
	月間降雨量(mm)	183.0	130.0	120.0	216.5	34.5	283.5	250.5	154.5	223.5	275.0	114.0	163.5	2148.5	
	月間平均風速(m/s)	1.0	1.0	0.7	0.7	0.9	0.8	0.6	0.9	0.9	1.2	1.1	0.9	0.8	0.9
	無風(0.5m/s未満)出現回数	201	193	278	302	228	205	248	166	166	101	90	150	226	2388
	月間平均気温(℃)	11.8	16.8	21.9	26.5	29.4	25.5	19.2	12.8	12.8	8.3	2.7	6.8	6.5	15.7
	月間降雨時間(時間)	110	94	60	82	16	72	101	72	72	129	190	63	115	1104
音海	月間感雨時間(時間)	191	148	123	153	35	113	162	150	239	364	154	223	2055	
	月間降雨量(mm)	165.0	115.5	113.0	194.5	29.0	264.0	216.0	115.5	162.5	211.0	94.0	122.0	1802.0	
	月間平均風速(m/s)	2.3	2.1	1.4	1.5	1.7	2.0	1.8	3.1	3.1	4.1	4.8	2.6	3.1	2.5
	無風(0.5m/s未満)出現回数	103	118	190	162	146	118	144	91	91	62	25	76	78	1313
	月間平均気温(℃)	11.3	16.3	21.3	26.2	29.2	25.3	19.1	12.6	12.6	8.4	2.9	6.4	6.3	15.5

表4. 2. 1 各地の気象 その1 降雨(降雪)、風速、気温 高浜地区

2010年度

観測局	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
神野浦	月間降雨時間(時間)	122	104	59	73	23	78	101	90	155	238	82	138	1263
	月間感雨時間(時間)	200	165	132	152	37	116	174	153	269	428	171	260	2257
	月間降雨量(mm)	182.0	131.0	104.0	184.5	34.0	242.0	218.0	188.5	238.0	296.0	121.0	168.0	2107.0
	月間平均風速(m/s)	0.9	0.8	0.5	0.5	0.7	0.7	0.8	0.9	0.9	0.8	1.0	0.8	0.8
	無風(0.5m/s未満)出現回数	151	156	264	295	168	153	192	103	93	88	76	181	1920
	月間平均気温(℃)	10.7	15.8	20.6	25.3	27.6	23.8	17.6	10.6	6.7	1.6	5.1	5.2	14.3
	月間降雨時間(時間)	125	110	65	82	18	79	109	83	140	164	64	132	1171
	月間感雨時間(時間)	207	165	130	158	35	114	174	149	254	394	165	243	2188
	月間降雨量(mm)	198.5	140.0	116.5	220.0	27.0	268.0	240.5	168.5	235.0	208.5	105.5	180.5	2108.5
	月間平均風速(m/s)	2.1	2.1	1.6	1.8	1.8	2.0	1.9	2.7	3.2	3.5	2.4	2.4	2.3
山中	無風(0.5m/s未満)出現回数	29	36	69	53	30	28	38	11	12	3	18	32	359
	月間平均気温(℃)	10.4	15.6	20.7	25.1	27.9	23.7	17.3	10.5	6.1	0.6	4.5	4.7	14.0

表4. 2. 1 各地の気象 その2 3ヶ月毎の風向出現率 敦賀地区

2010年度
単位：%

局	期 間	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	calm
敦賀	4～6月	4.2	1.2	0.3	0.4	1.1	9.0	24.6	10.3	2.2	1.4	1.2	3.0	4.0	6.9	8.8	15.9	5.5
	7～9月	3.4	0.9	0.5	0.6	1.2	11.7	28.5	15.5	3.6	1.9	1.8	2.0	2.1	3.2	5.1	12.1	5.8
	10～12月	2.4	1.0	0.6	0.8	1.8	8.5	22.1	13.7	3.2	2.6	2.7	5.8	6.4	5.1	7.7	8.9	6.5
	1～3月 年 間	2.8	0.8	0.4	0.6	1.9	5.5	12.4	10.3	3.2	1.2	2.5	9.2	7.6	7.5	12.7	14.1	7.2
浦底	4～6月	0.7	0.8	1.1	1.1	2.0	2.7	15.5	17.8	1.5	0.6	0.5	3.2	9.7	23.6	3.6	1.1	14.7
	7～9月	0.5	0.9	1.0	1.0	1.3	2.4	23.4	21.4	1.5	0.3	0.6	3.2	8.7	12.9	4.0	1.4	15.5
	10～12月	0.5	0.2	0.3	0.5	0.9	1.4	10.8	17.5	2.6	1.3	1.5	8.9	17.2	20.6	3.2	0.5	12.0
	1～3月 年 間	0.6	0.5	0.5	0.9	1.0	1.9	7.5	11.9	1.2	0.9	1.5	6.8	19.2	29.1	3.1	1.1	12.1
立石	4～6月	1.8	0.5	0.7	0.4	11.2	17.5	2.9	2.5	4.0	5.5	4.6	3.3	2.8	3.3	15.9	16.8	6.3
	7～9月	2.0	1.0	0.7	0.5	14.9	24.4	2.4	4.1	4.1	6.1	3.3	3.2	3.2	2.9	10.4	11.7	5.0
	10～12月	4.6	2.7	1.9	2.8	13.6	12.2	2.2	5.1	5.9	8.1	2.9	2.7	3.0	3.3	11.8	14.9	2.4
	1～3月 年 間	5.0	3.2	2.4	2.4	9.4	8.4	2.9	3.5	4.2	4.2	2.4	1.6	1.9	2.9	16.0	25.7	3.9
河野	4～6月	0.6	3.3	20.7	22.5	8.2	4.4	2.4	1.7	0.7	0.8	2.0	4.0	16.6	4.3	0.8	0.6	6.3
	7～9月	0.4	2.1	25.1	26.2	6.4	3.9	5.5	4.7	1.0	1.0	1.0	3.1	13.6	2.4	0.4	0.4	2.9
	10～12月	0.5	3.3	27.5	25.1	4.8	1.7	4.7	4.1	1.3	1.3	2.5	6.3	9.6	3.9	1.0	0.5	1.9
	1～3月 年 間	0.9	3.2	22.7	27.9	5.1	1.7	2.7	2.2	1.2	1.0	1.7	6.8	10.6	7.5	1.1	0.8	3.1
年 間	4～6月	0.6	3.0	24.0	25.4	6.1	2.9	3.8	3.2	1.1	1.0	1.8	5.0	12.6	4.5	0.8	0.6	3.5

表4. 2. 1 各地の気象 その2 3ヶ月毎の風向出現率 白木、美浜地区

2010年度
単位：%

局	期 間	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	calm
白木	4～6月	8.0	3.5	1.3	1.0	1.2	2.0	12.4	21.0	14.0	3.4	0.9	0.4	0.3	0.7	5.9	22.0	2.1
	7～9月	9.3	3.9	1.6	1.0	0.7	2.6	14.3	27.5	16.1	3.2	0.6	0.4	0.0	0.1	2.9	14.4	1.3
	10～12月	9.8	9.0	2.8	1.6	1.6	4.1	16.2	25.8	10.9	2.5	0.3	0.2	0.0	0.4	2.7	11.4	0.6
	1～3月 年 間	13.2 10.1	13.8 7.5	3.2 2.2	1.8 1.4	1.3 1.2	1.9 2.6	12.0 13.7	19.6 23.5	9.2 12.5	1.2 2.6	0.3 0.5	0.3 0.5	0.1 0.3	0.3 0.1	0.0 0.3	4.0 3.9	16.6 16.1
白木 峠	4～6月	5.7	1.1	0.8	0.3	0.8	3.9	31.1	8.7	0.8	0.3	0.2	0.1	0.1	0.5	5.9	36.3	3.3
	7～9月	4.5	1.2	0.5	0.3	0.8	5.5	40.7	9.1	0.7	0.1	0.0	0.0	0.1	0.3	3.9	29.3	2.7
	10～12月	6.0	2.4	1.1	0.8	1.5	10.0	32.2	6.5	1.0	0.0	0.1	0.0	0.1	0.7	2.9	32.2	2.4
	1～3月 年 間	6.0 5.6	1.4 1.5	0.9 0.8	1.0 0.6	1.2 1.1	8.2 6.9	24.7 32.2	4.7 7.3	0.7 0.8	0.1 0.1	0.1 0.1	0.0 0.1	0.0 0.1	0.1 0.1	0.2 0.4	2.6 3.8	46.4 36.0
丹生	4～6月	3.3	4.2	5.8	11.2	15.3	9.3	3.4	2.8	2.6	3.9	6.9	3.4	1.8	1.6	2.2	4.1	18.2
	7～9月	4.6	4.8	6.7	11.3	18.6	9.8	3.9	2.4	2.4	4.2	5.6	1.3	0.8	1.2	2.9	4.9	14.5
	10～12月	5.8	7.7	11.2	8.5	9.9	5.7	2.0	2.4	4.1	8.3	7.8	1.0	0.6	0.9	2.6	6.3	15.1
	1～3月 年 間	5.4 4.8	6.7 5.8	14.3 9.5	11.8 10.7	8.0 13.0	5.2 7.5	1.9 2.8	2.3 2.5	3.6 3.2	7.9 6.1	6.0 6.6	1.7 1.9	1.1 1.1	0.9 1.2	2.5 2.6	6.7 5.5	14.2 15.5
竹波	4～6月	1.2	2.3	9.4	24.1	4.0	1.1	0.5	0.5	0.8	1.4	15.7	14.4	3.9	2.3	1.6	0.8	15.9
	7～9月	1.6	2.1	9.0	36.6	4.5	1.0	0.5	0.4	0.7	1.3	11.0	10.0	3.8	2.2	1.5	1.4	12.4
	10～12月	1.0	1.5	10.3	33.0	5.4	2.1	1.2	0.8	1.0	1.3	7.1	16.2	3.6	2.0	0.9	1.1	11.4
	1～3月 年 間	0.7 1.1	1.7 1.9	8.2 9.2	24.0 29.5	6.2 5.0	2.1 1.6	1.3 0.9	0.9 0.7	1.4 1.0	1.9 1.5	9.5 10.8	21.0 15.3	4.0 3.8	1.5 2.0	0.8 1.2	0.5 1.0	14.5 13.5
坂尻	4～6月	7.8	3.9	3.2	3.3	7.1	6.4	2.3	2.3	4.8	9.8	3.1	2.1	2.8	3.3	5.9	15.8	16.3
	7～9月	6.6	2.7	1.5	3.8	9.8	6.8	2.4	3.1	6.2	14.8	3.9	2.7	2.9	3.0	3.2	9.9	16.7
	10～12月	6.2	3.7	2.4	4.7	8.7	7.0	2.5	2.4	6.2	16.0	4.0	3.1	3.4	3.5	4.2	8.3	13.8
	1～3月 年 間	9.4 7.5	4.7 3.7	2.7 2.4	3.2 3.7	10.4 9.0	6.1 6.6	1.8 2.3	2.5 2.6	4.5 5.4	9.5 12.5	2.1 3.3	1.4 2.3	1.7 2.7	2.0 3.0	2.0 4.5	4.8 12.7	17.1 15.7

表4. 2. 1 各地の気象 その2 3ヶ月毎の風向出現率 大飯地区

2010年度
単位：%

局	期 間	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	caIm
小浜	4～6月	2.2	0.9	2.6	35.0	5.0	1.4	1.3	1.3	1.4	1.5	1.7	9.5	8.7	7.7	4.7	4.2	10.9
	7～9月	1.6	1.1	2.9	43.9	7.5	2.3	2.6	2.5	1.4	0.9	1.4	5.1	4.4	3.9	4.1	3.6	10.8
	10～12月	2.6	2.0	3.0	33.8	8.7	2.5	2.4	3.7	2.1	4.7	5.5	5.7	5.4	3.1	2.9	3.1	8.8
	1～3月 年 間	3.9	1.5	1.9	30.7	4.2	1.5	1.4	1.4	2.1	1.9	3.6	7.6	8.2	6.6	5.1	5.5	8.1
日角浜	4～6月	0.8	0.9	0.8	2.5	11.5	16.3	4.2	1.6	1.5	1.3	1.8	4.9	19.2	12.3	3.5	1.0	15.9
	7～9月	0.8	0.9	0.7	2.8	14.2	20.6	6.0	2.0	1.4	1.0	1.6	2.2	14.2	11.3	2.7	1.7	16.0
	10～12月	1.0	0.9	1.0	2.6	8.3	11.2	4.7	2.9	2.0	2.2	1.8	4.9	22.6	16.8	3.9	1.9	11.2
	1～3月 年 間	0.7	0.8	1.0	2.4	9.6	8.0	3.4	3.1	2.1	3.0	2.4	8.1	26.9	12.3	3.7	1.4	11.1
宮留	4～6月	14.3	8.9	2.8	8.6	5.8	3.2	3.9	5.9	4.2	3.3	2.5	1.8	3.6	7.0	6.7	10.6	7.0
	7～9月	13.5	4.7	4.3	10.8	7.5	5.1	5.3	6.4	3.0	2.2	1.4	2.2	3.2	6.3	7.0	10.7	6.3
	10～12月	9.7	5.7	2.8	6.5	3.2	3.8	4.3	6.2	10.6	14.3	3.7	2.9	2.3	5.3	5.4	8.6	4.9
	1～3月 年 間	13.9	9.6	2.1	5.6	2.0	2.4	3.4	4.4	10.8	18.4	4.3	2.1	1.8	4.1	3.8	6.3	5.0
阿納尻	4～6月	11.7	8.3	8.7	6.4	4.0	4.4	3.9	2.2	1.8	3.1	4.2	4.5	4.2	4.0	4.3	9.5	14.8
	7～9月	10.4	7.9	10.6	7.6	5.8	6.0	5.2	2.6	2.0	1.9	3.9	3.1	3.3	3.6	3.4	7.5	15.0
	10～12月	4.3	4.3	7.8	6.0	5.2	7.2	9.2	5.2	3.4	6.9	8.3	5.5	4.4	3.0	1.7	3.8	13.8
	1～3月 年 間	4.5	4.0	5.1	5.1	3.3	4.9	5.5	4.7	4.9	8.7	10.8	7.9	5.1	3.6	2.4	5.2	14.4
長井	4～6月	11.0	16.8	5.8	1.6	1.0	1.8	4.5	13.0	16.4	6.0	1.8	1.2	1.7	1.5	2.7	6.4	6.8
	7～9月	8.1	18.4	3.7	1.5	1.4	2.1	5.0	16.9	21.8	6.6	2.0	1.0	0.7	0.9	1.3	3.0	5.6
	10～12月	8.2	7.8	3.1	0.8	0.9	1.1	2.8	12.7	26.6	17.6	4.8	2.5	1.7	1.0	1.6	3.0	3.9
	1～3月 年 間	9.0	10.2	2.3	0.5	0.6	1.0	1.6	9.3	19.9	21.3	5.2	2.9	2.0	2.2	2.2	5.9	3.8
		9.1	13.3	3.7	1.1	1.0	1.5	3.5	13.0	21.2	12.8	1.9	1.5	1.4	1.9	4.6	5.0	

表4. 2. 1 各地の気象 その2 3ヶ月毎の風向出現率 高浜地区

2010年度
単位：%

局	期 間	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	calm
小黒飯	4～6月	2.0	4.1	4.3	8.5	6.8	6.2	5.3	5.0	4.8	9.9	3.6	2.9	1.8	1.2	1.4	1.4	30.8
	7～9月	2.9	2.7	4.0	7.9	6.6	4.4	3.5	2.3	4.0	11.4	6.9	4.5	1.5	0.7	1.5	1.9	33.3
	10～12月	4.3	2.3	1.6	1.7	3.1	4.4	4.8	4.5	6.1	18.1	7.8	6.4	2.9	1.7	2.6	4.3	23.4
	1～3月 年 間	3.9	2.5	2.0	3.1	4.5	5.7	5.5	5.4	9.3	17.7	6.2	4.3	1.6	1.2	1.9	3.1	22.1
音海	4～6月	1.2	2.1	3.4	4.8	19.5	3.5	1.1	0.9	0.7	0.7	1.7	5.5	20.6	11.9	2.5	1.1	18.8
	7～9月	1.0	2.4	3.3	5.9	19.2	3.3	1.4	1.1	0.8	1.0	1.2	3.7	16.1	13.7	5.3	1.4	19.3
	10～12月	0.7	1.2	1.1	2.4	6.9	3.4	1.3	1.0	0.8	1.0	1.8	8.1	37.7	14.7	3.6	0.9	13.5
	1～3月 年 間	0.5	0.6	1.2	2.2	7.4	2.4	0.4	0.9	0.7	1.4	1.8	10.5	42.9	15.4	2.6	0.8	8.3
神野浦	4～6月	3.9	13.7	7.8	4.8	4.0	1.3	1.0	7.2	16.6	2.3	1.9	1.6	1.8	2.5	1.5	1.8	26.1
	7～9月	1.8	9.2	9.2	3.9	3.9	2.0	1.2	7.3	20.6	3.3	2.7	2.4	1.9	1.8	0.5	0.5	27.9
	10～12月	2.7	9.6	2.3	2.4	0.9	0.5	0.4	6.6	25.9	7.8	7.9	4.7	4.9	3.7	1.3	0.8	17.7
	1～3月 年 間	5.2	11.1	3.1	1.8	0.7	0.3	0.6	5.2	14.7	5.8	7.3	8.9	7.6	7.4	2.5	1.4	16.4
山中	4～6月	2.4	5.5	11.1	7.5	6.0	5.3	1.2	0.7	1.6	6.8	22.8	13.0	4.1	2.8	1.6	1.5	6.1
	7～9月	1.1	2.7	9.7	6.4	6.4	4.5	0.8	1.3	1.8	8.4	30.0	14.9	3.5	1.7	1.0	0.7	5.0
	10～12月	2.2	4.0	8.9	2.6	1.9	2.4	1.2	0.7	1.2	9.1	30.8	23.5	5.0	1.4	1.2	1.0	2.8
	1～3月 年 間	1.6	4.2	8.5	3.0	1.8	2.1	0.6	0.6	1.0	7.5	31.8	23.3	6.3	2.6	0.9	1.8	2.5
		1.8	4.1	9.6	4.9	4.0	3.6	1.0	0.8	1.4	8.0	28.9	18.6	4.7	2.1	1.1	1.3	4.1

図4. 2. 1 空間線量率と降雨量の測定結果 (2010年4月~2011年3月) 上段：線量率 下段：降雨量

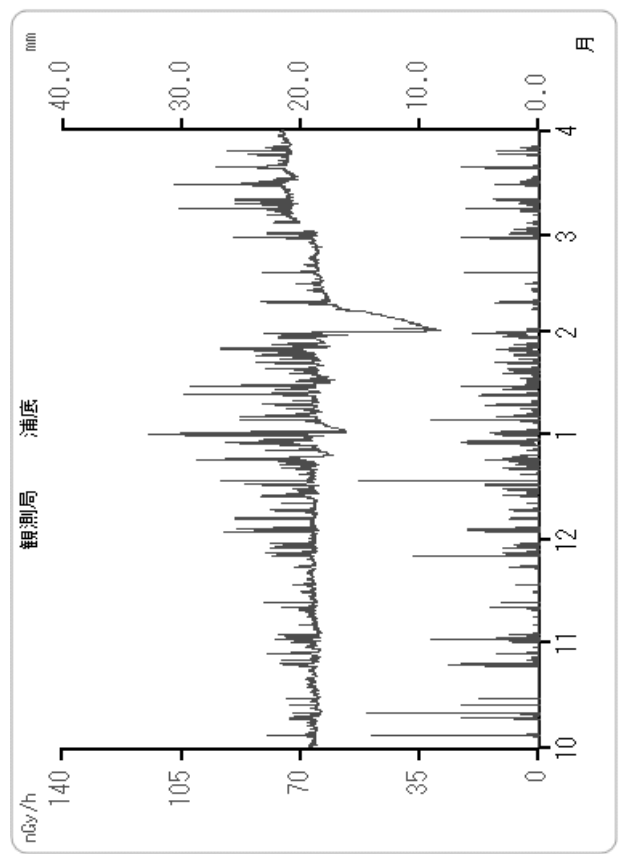
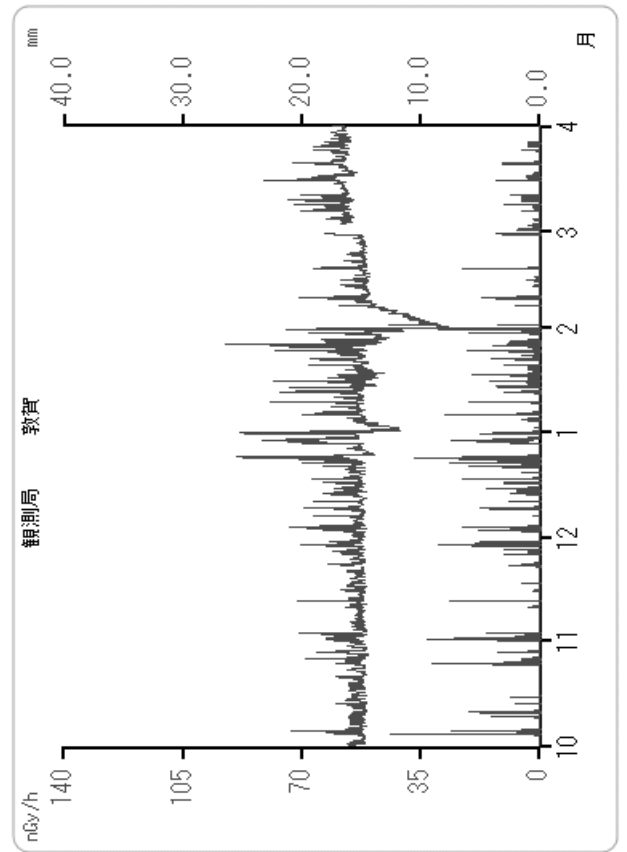
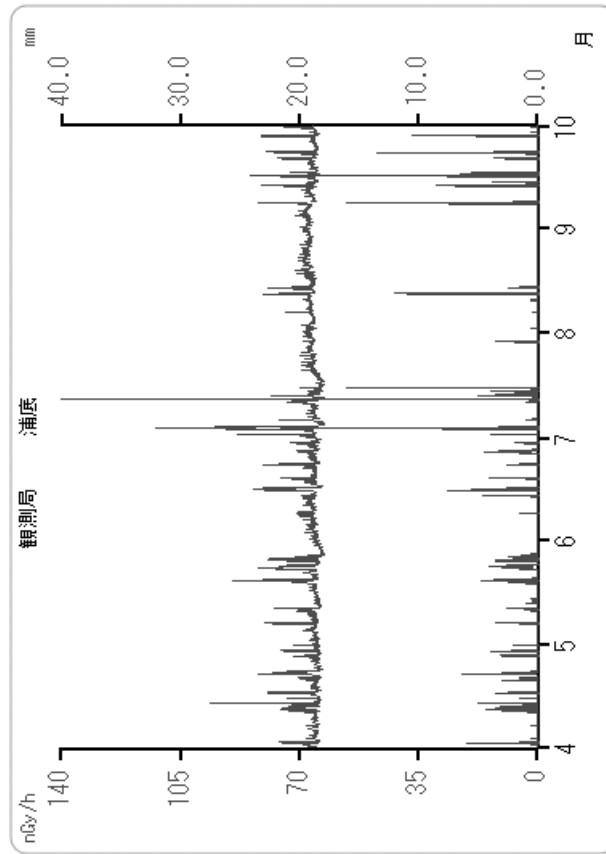
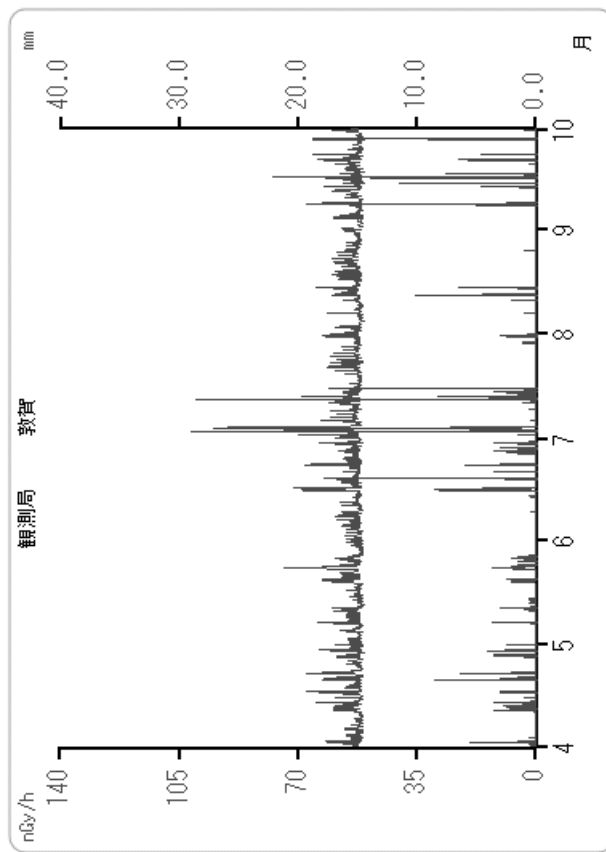


図4. 2. 1 空間線量率と降雨量の測定結果 (2010年4月~2011年3月) 上段：線量率 下段：降雨量

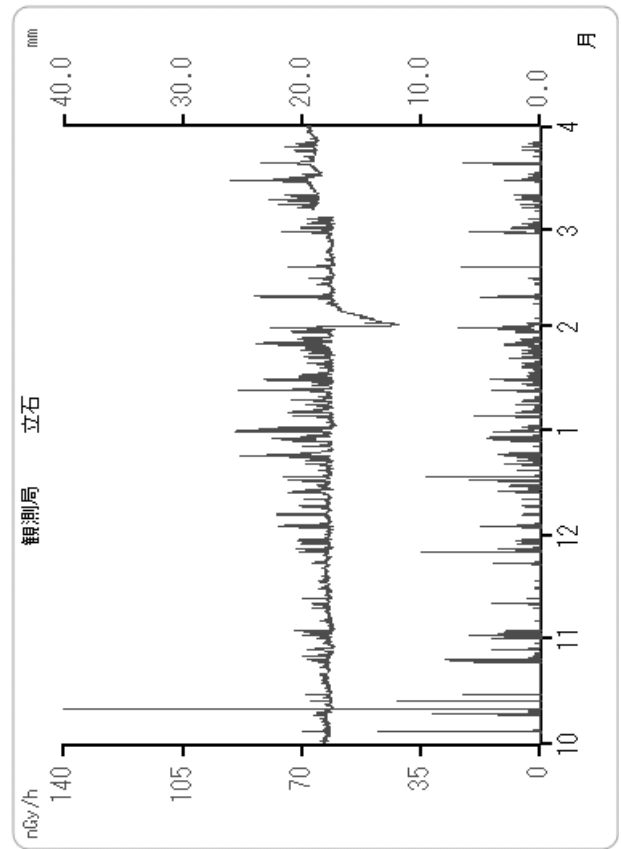
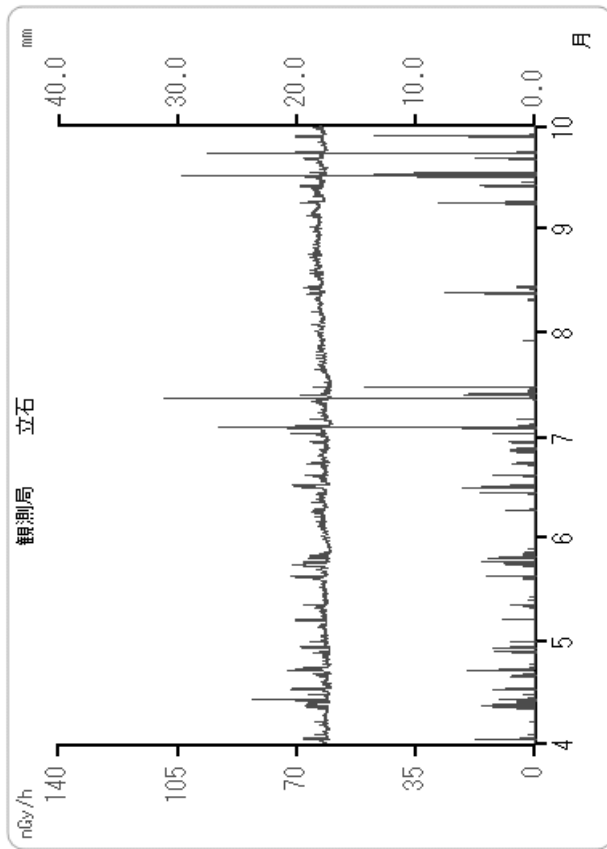
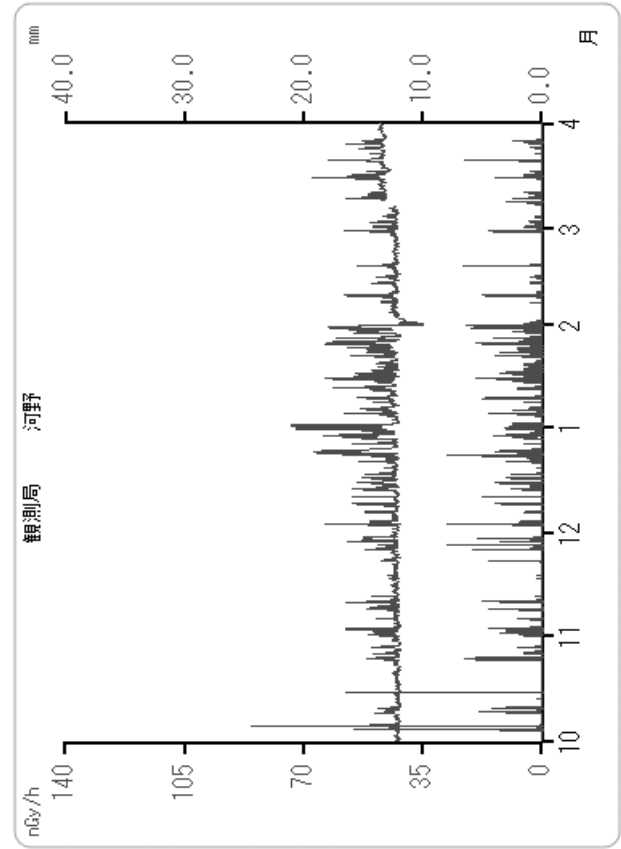
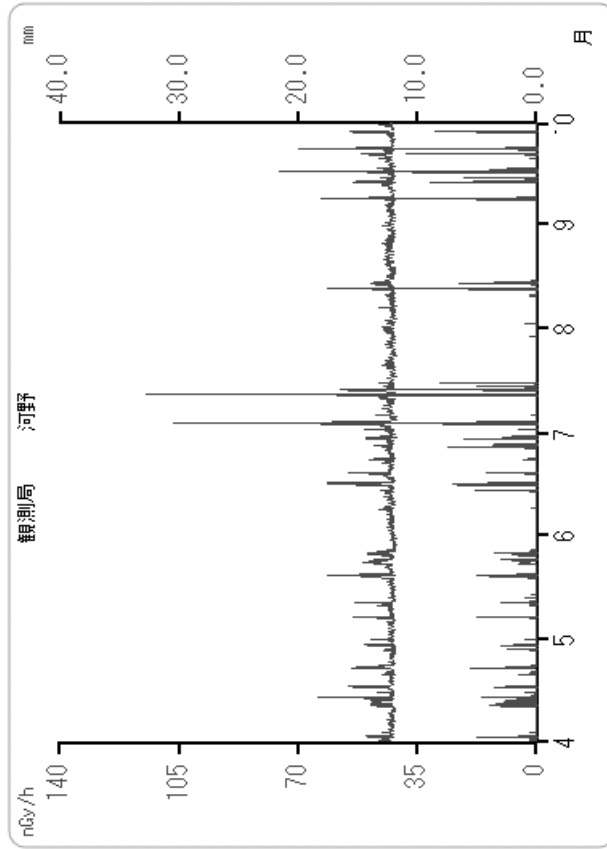


図4. 2. 1 空間線量率と降雨量の測定結果 (2010年4月~2011年3月) 上段：線量率 下段：降雨量

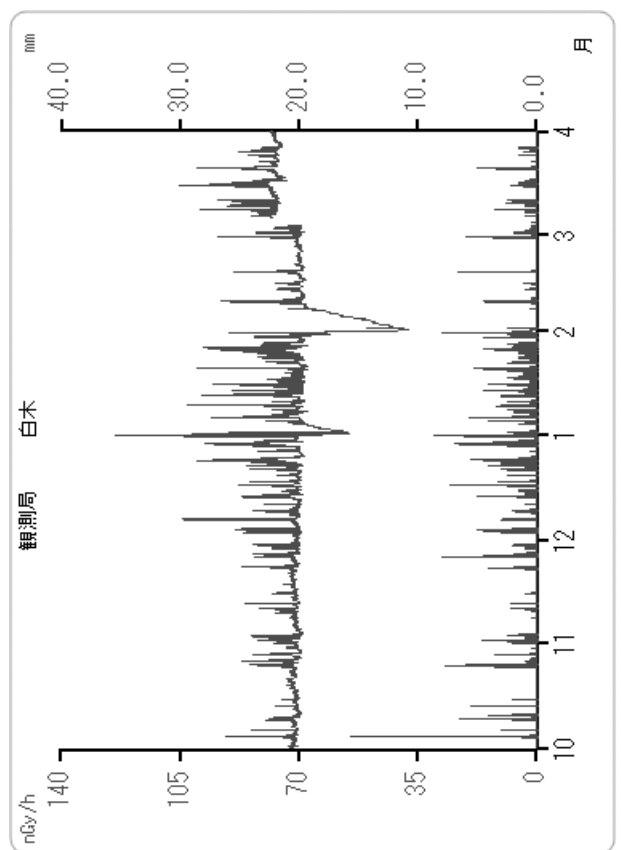
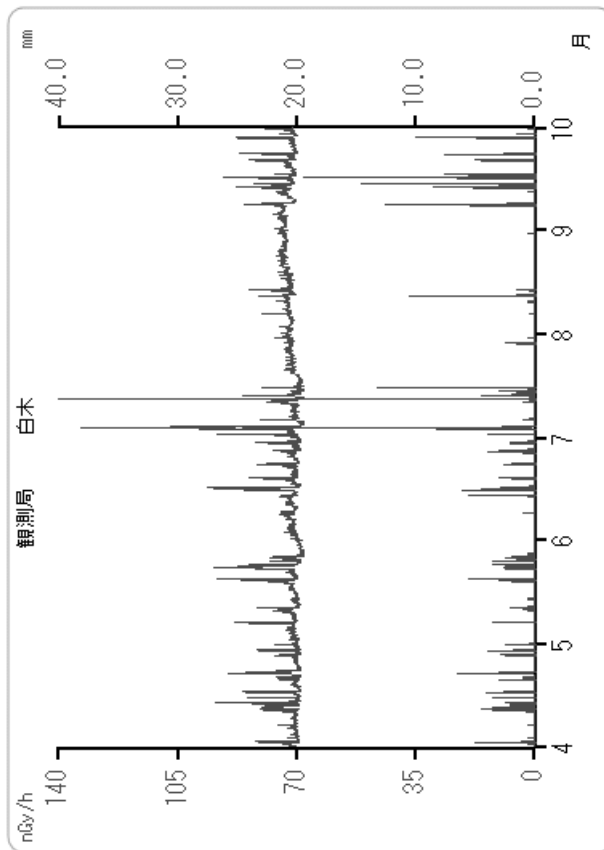
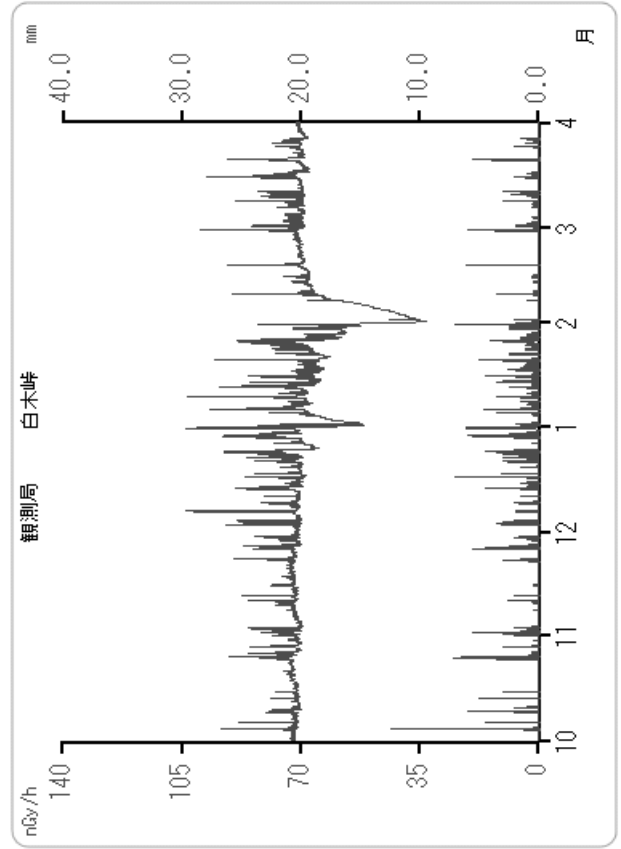
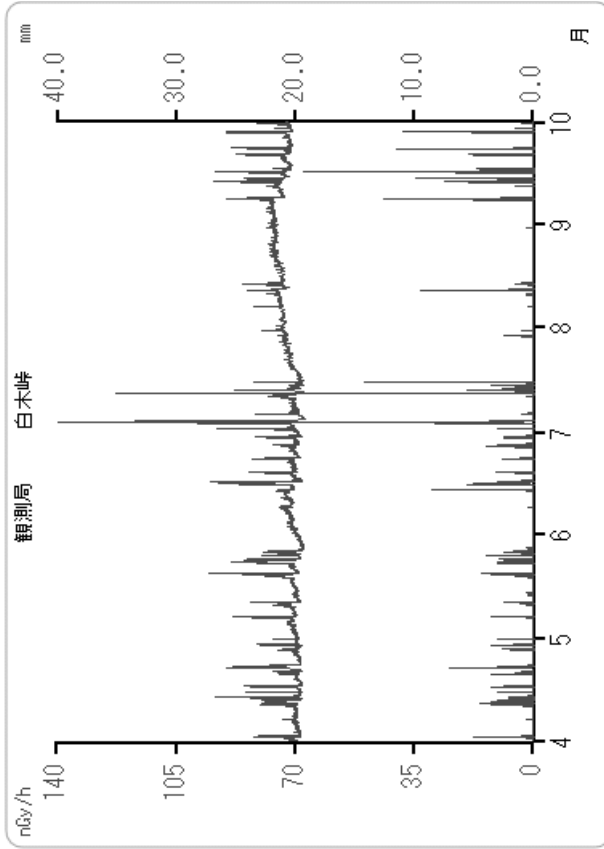


図4. 2. 1 空間線量率と降雨量の測定結果 (2010年4月～2011年3月) 上段：線量率 下段：降雨量

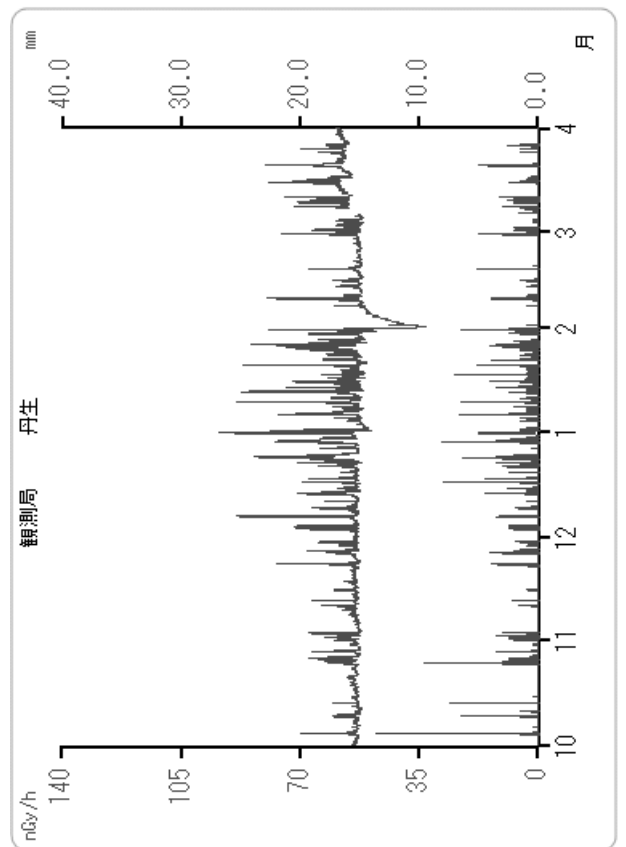
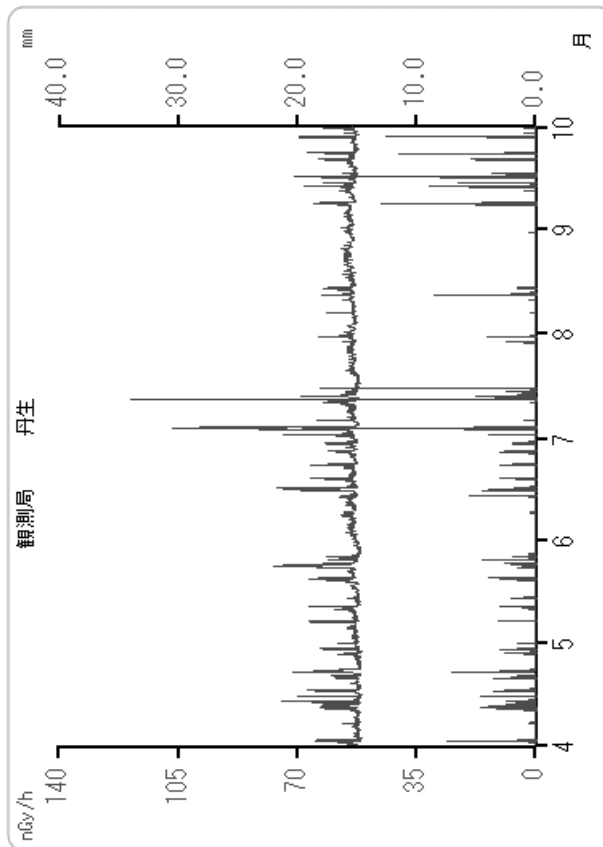
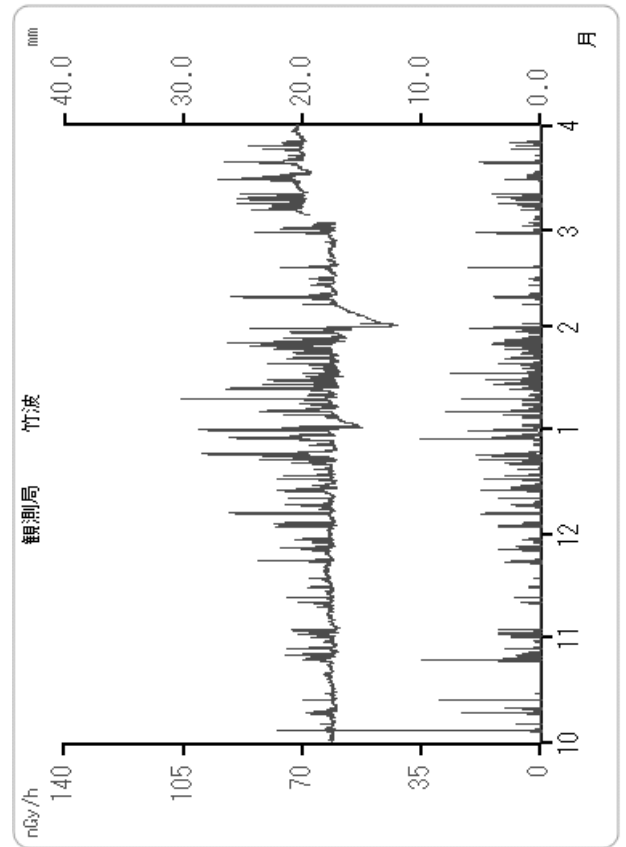
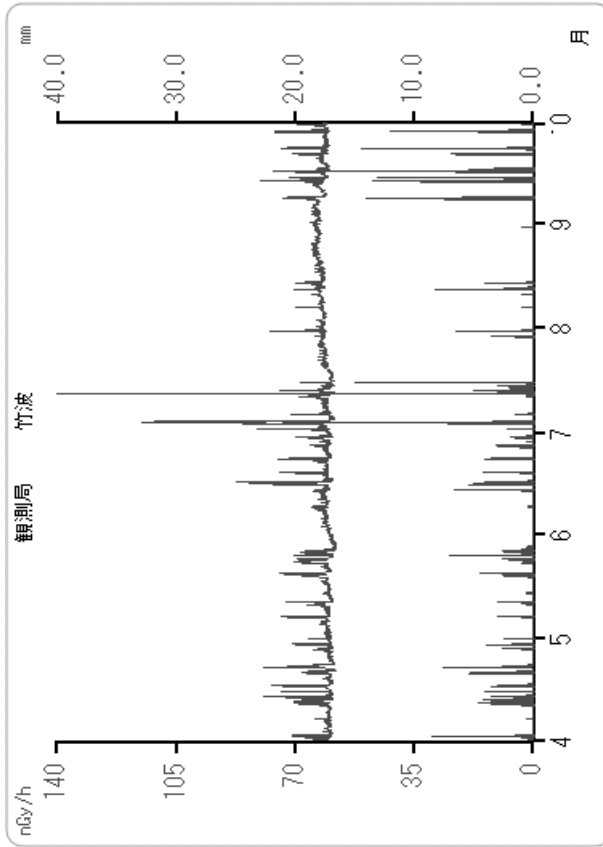


図4. 2. 1 空間線量率と降雨量の測定結果 (2010年4月～2011年3月) 上段：線量率 下段：降雨量

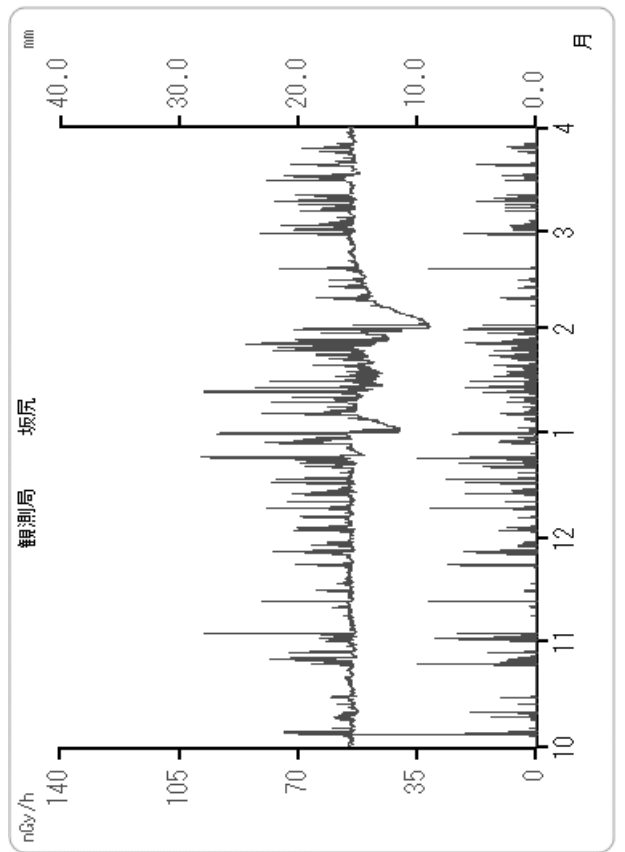
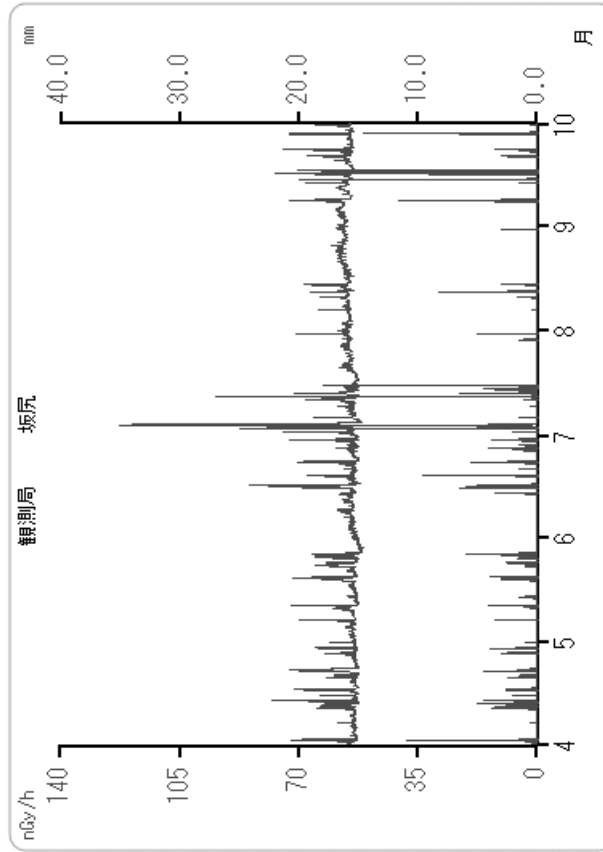
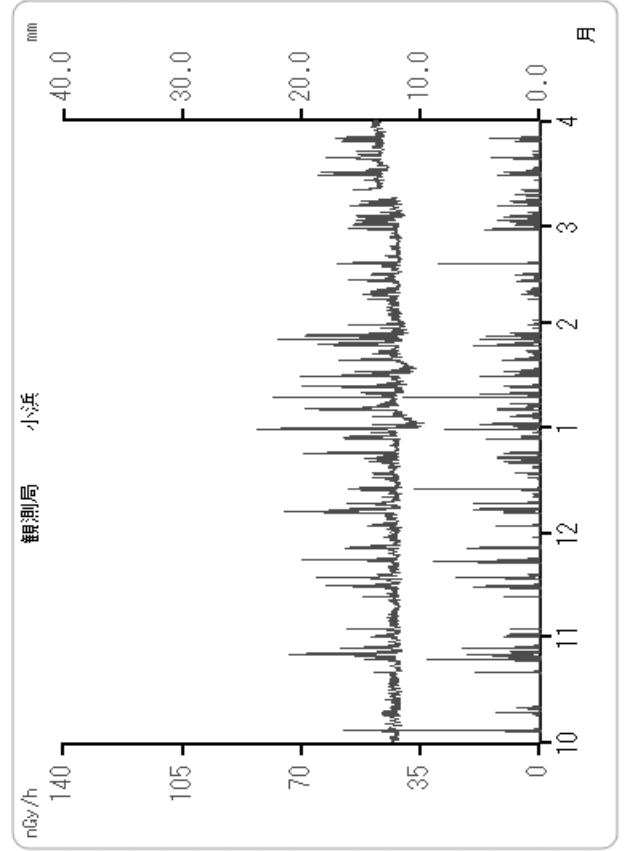
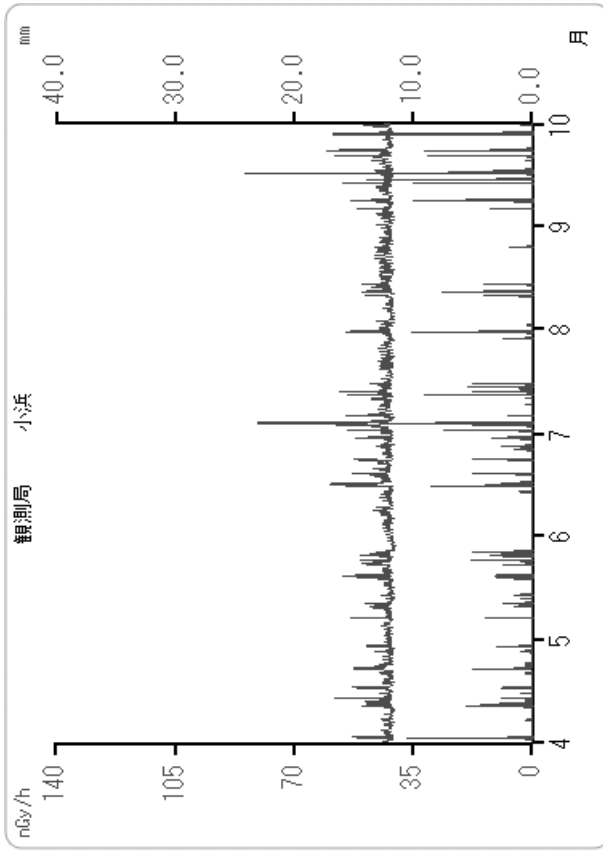


図4. 2. 1 空間線量率と降雨量の測定結果 (2010年4月～2011年3月) 上段：線量率 下段：降雨量

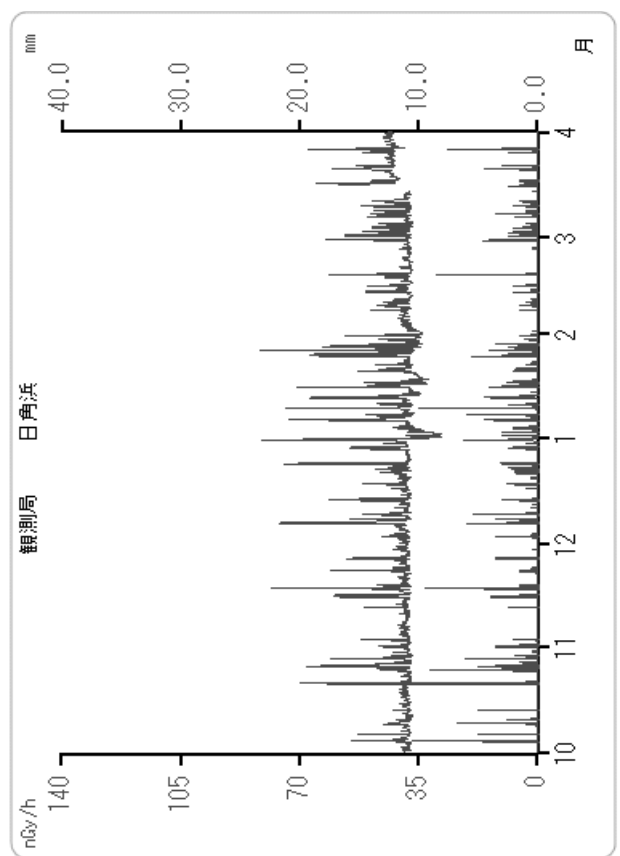
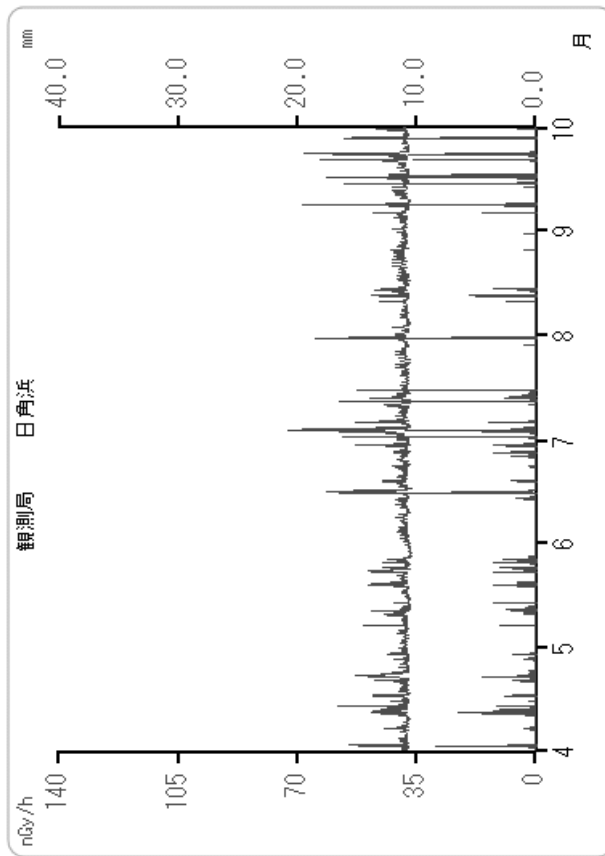
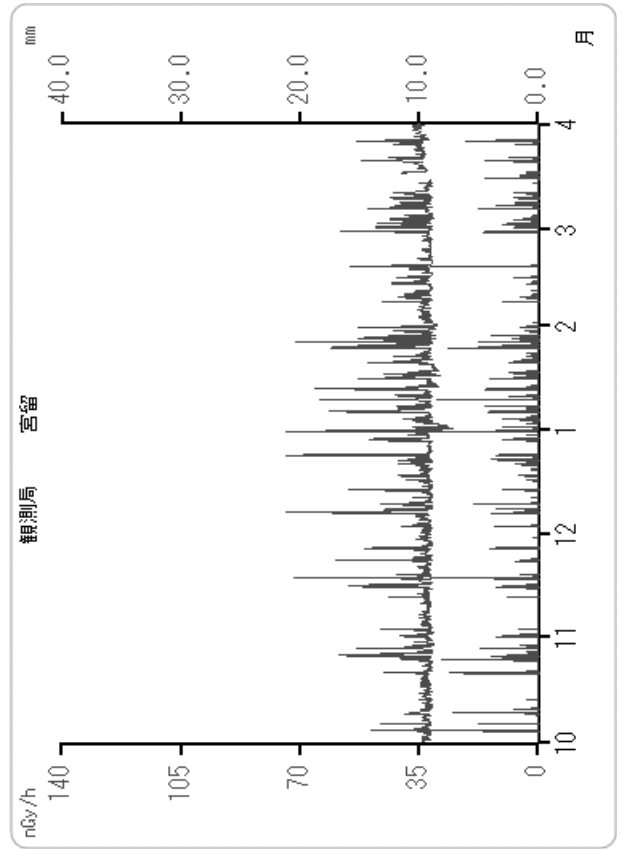
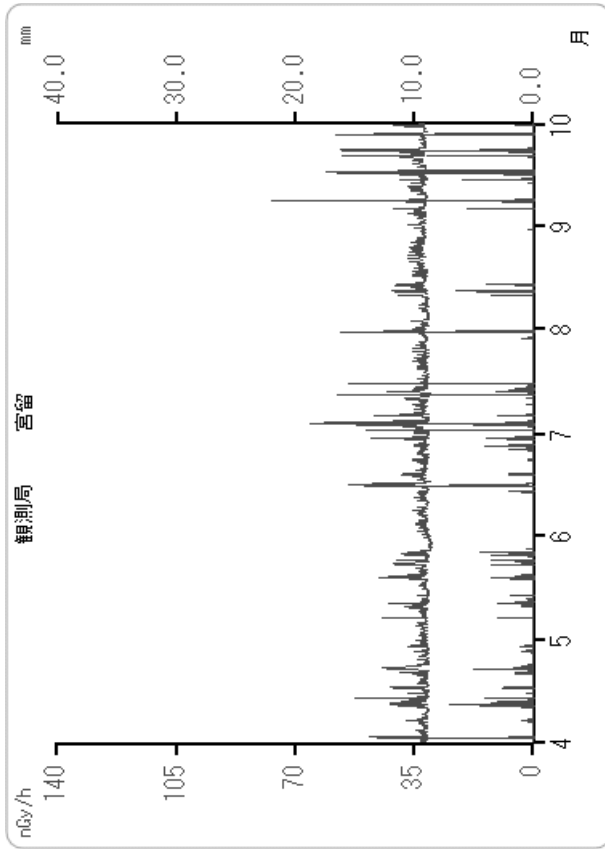


図4. 2. 1 空間線量率と降雨量の測定結果 (2010年4月～2011年3月) 上段：線量率 下段：降雨量

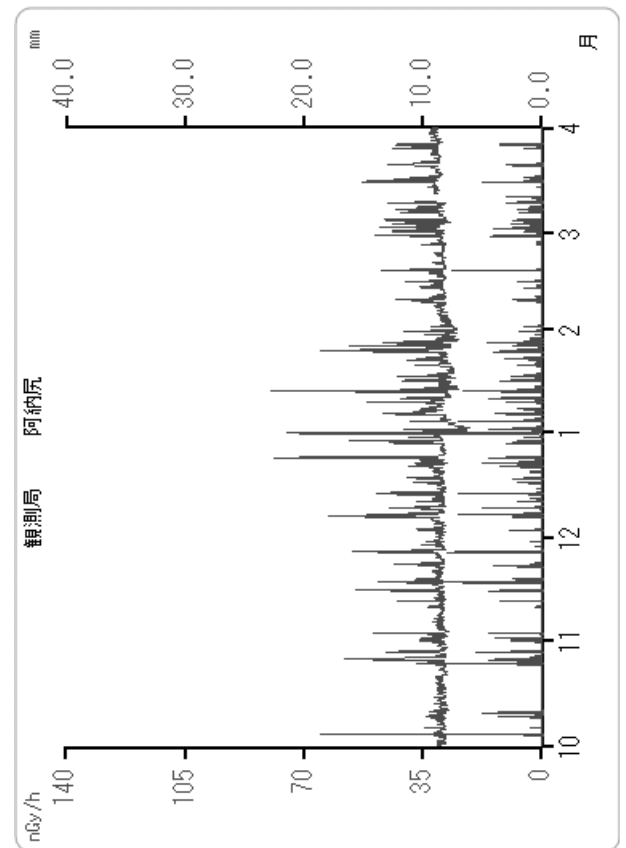
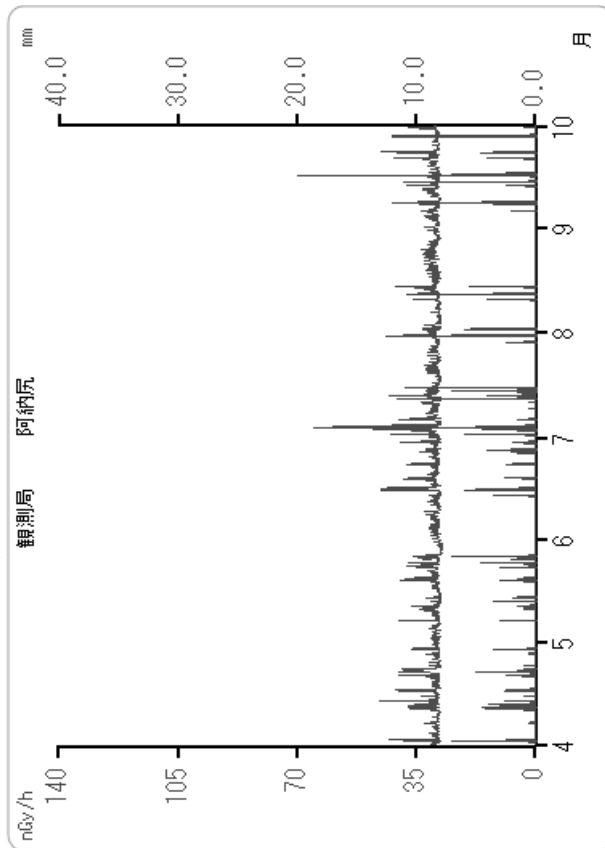
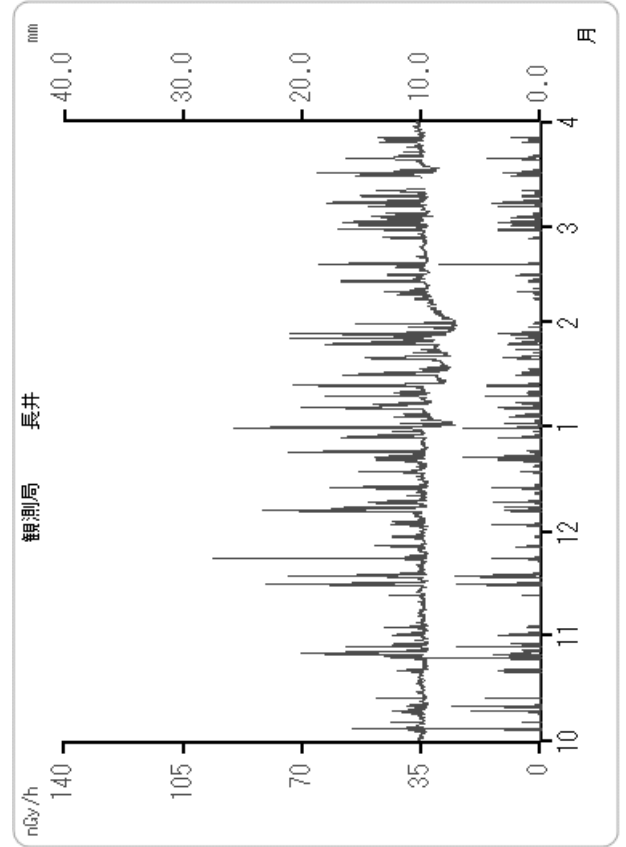
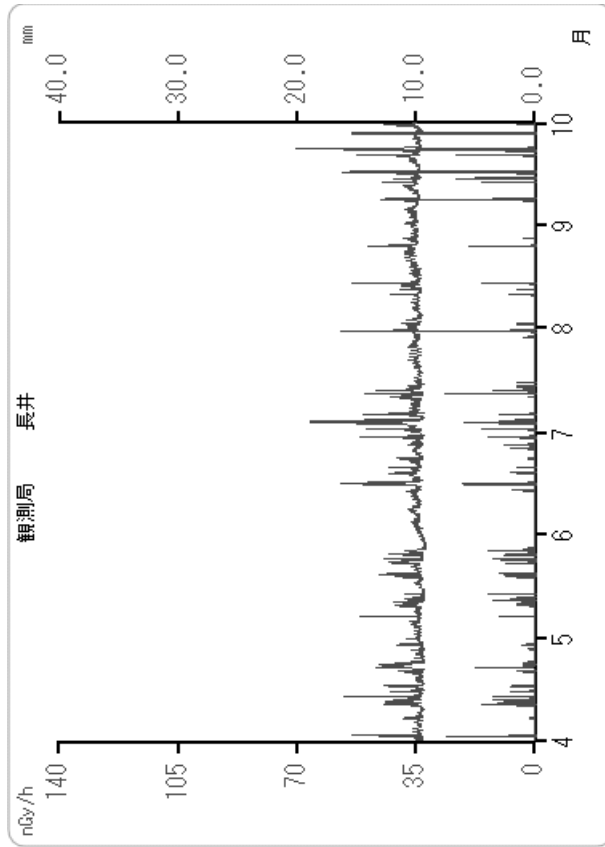


図4. 2. 1 空間線量率と降雨量の測定結果 (2010年4月～2011年3月) 上段：線量率 下段：降雨量

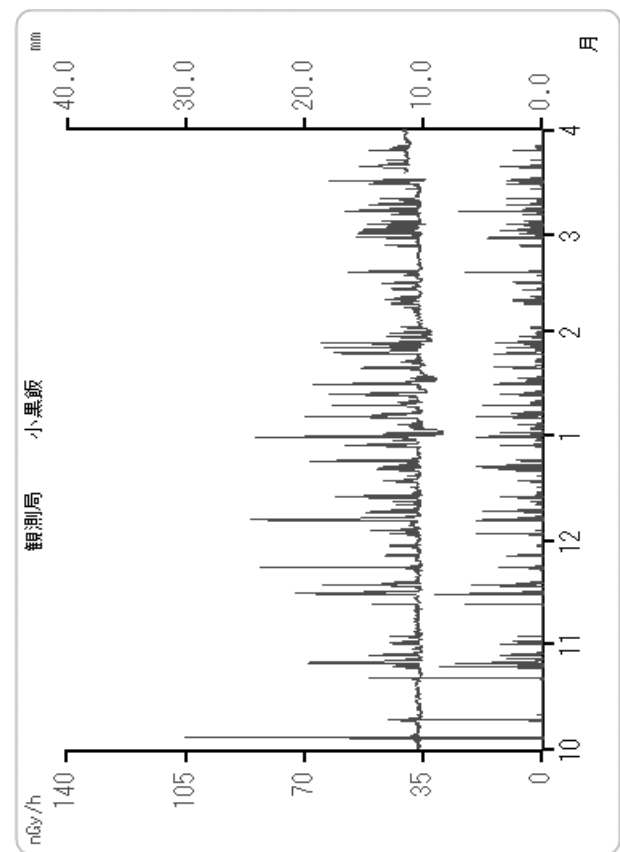
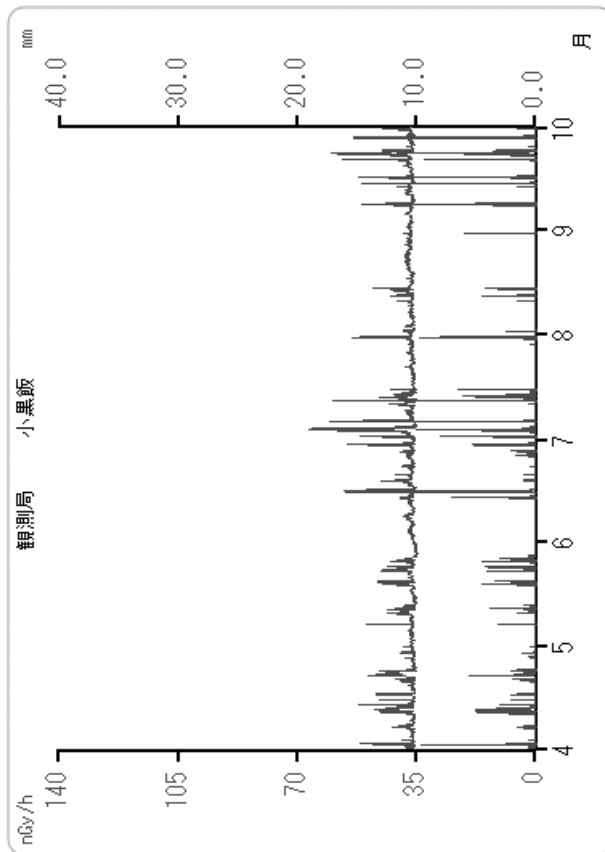
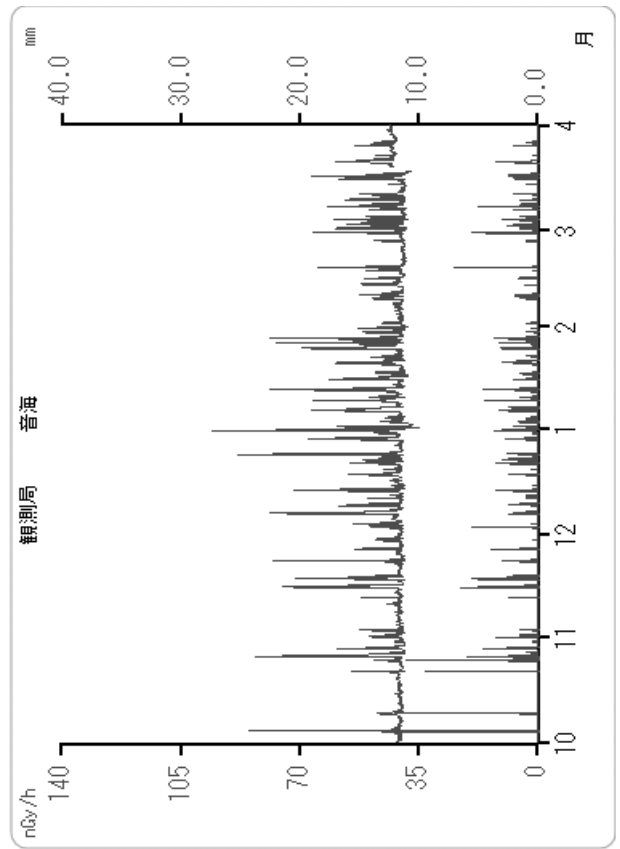
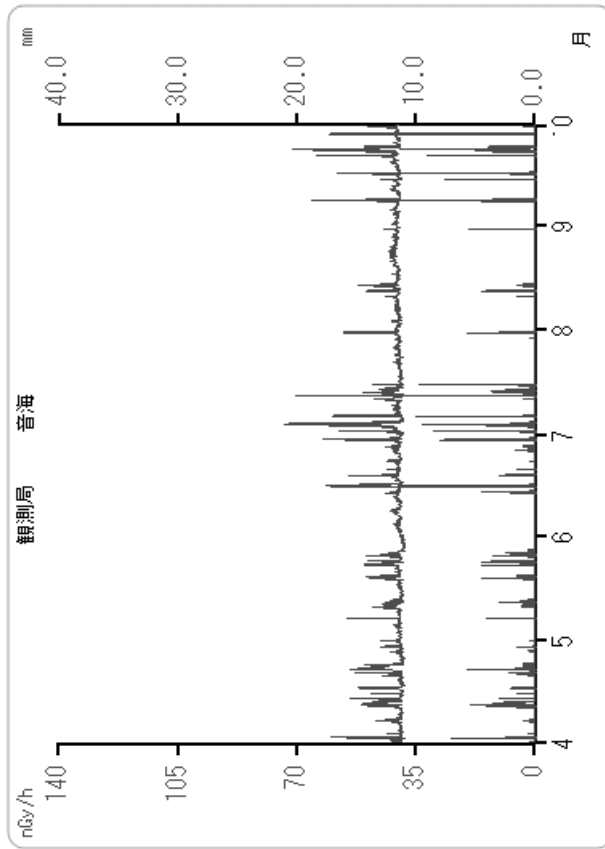


図4. 2. 1 空間線量率と降雨量の測定結果 (2010年4月～2011年3月) 上段：線量率 下段：降雨量

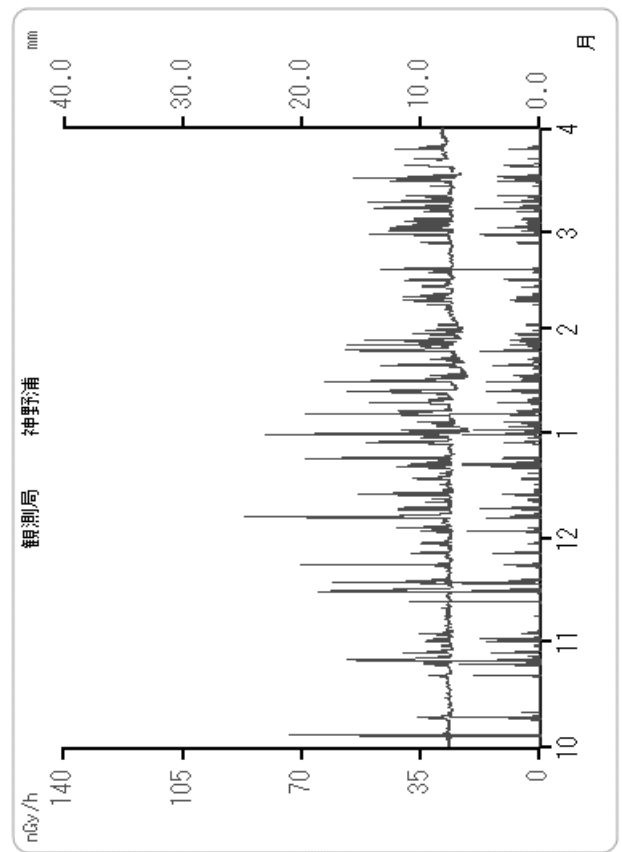
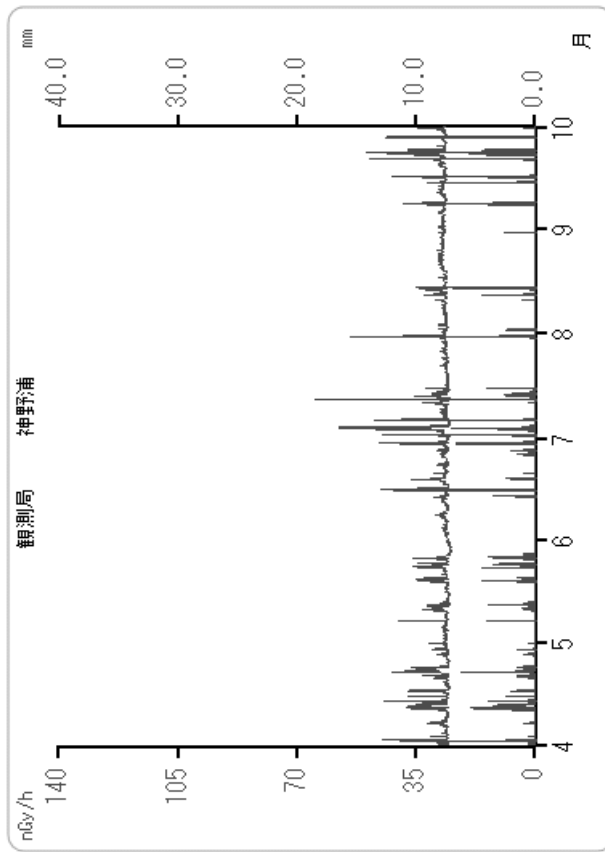
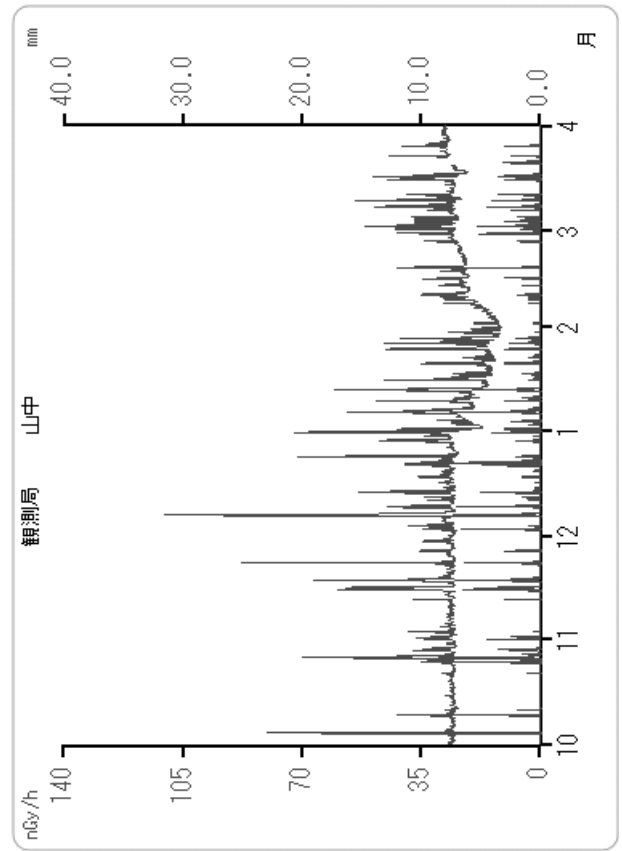
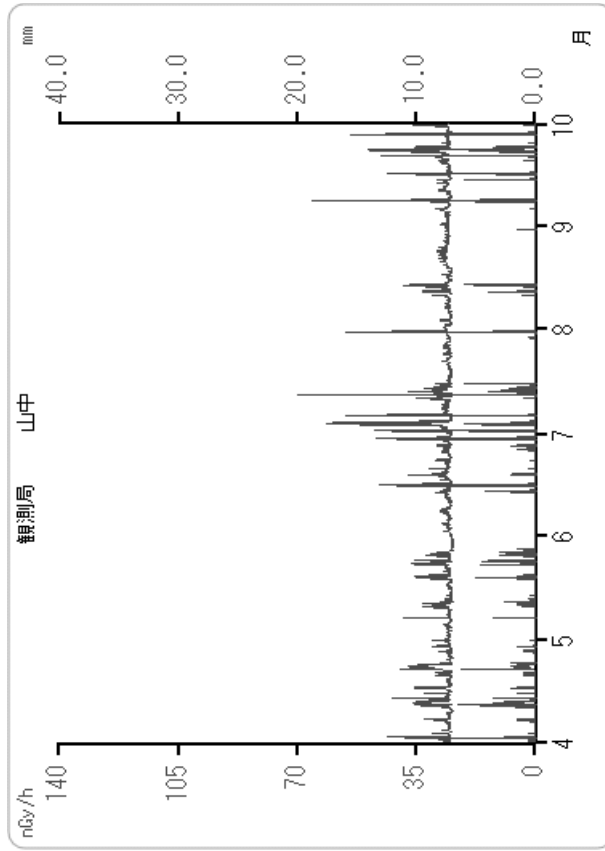
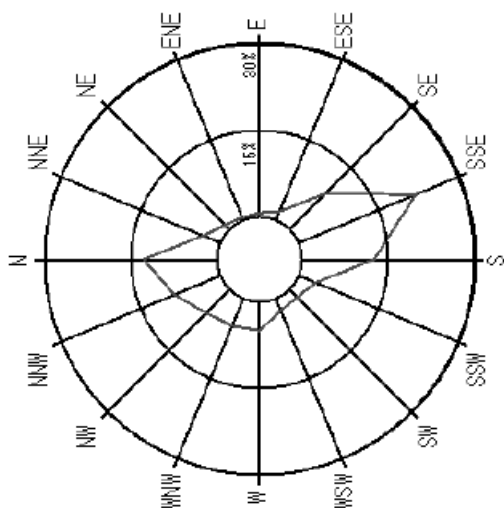
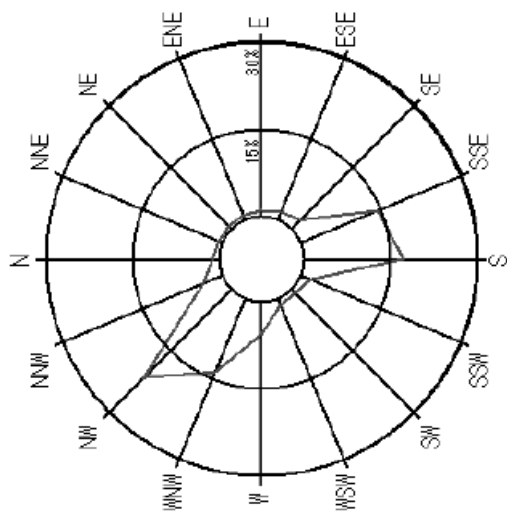


図4.2.2 各地の風配図 敦賀地区

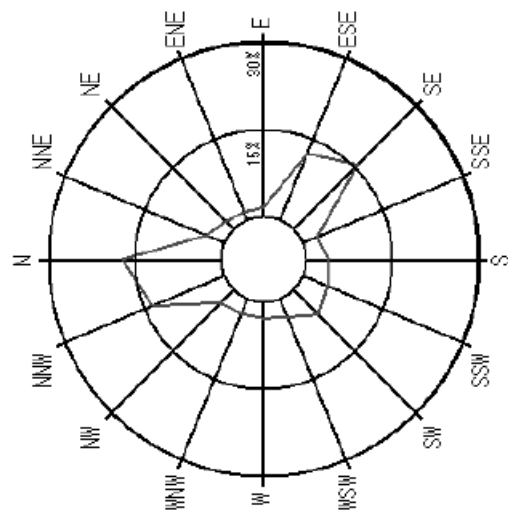
敦賀観測局



浦底観測局



立石観測局



河野観測局

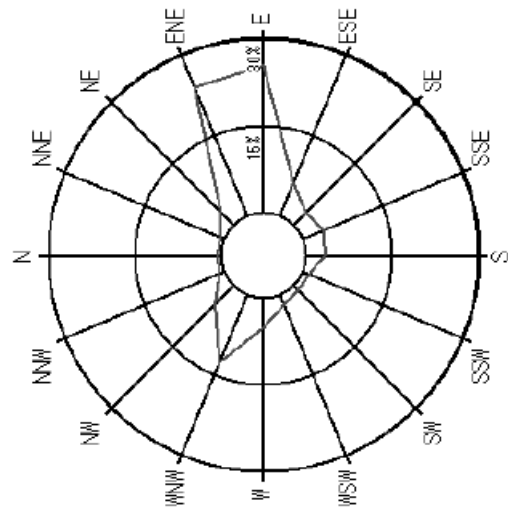
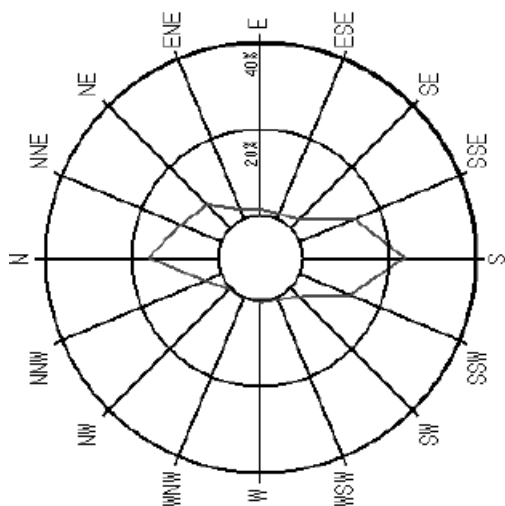


図4.2.2 各地の風配図 白木地区

白木観測局



白木峠観測局

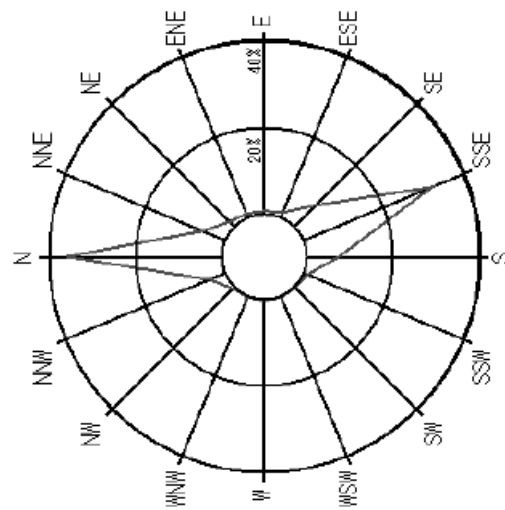
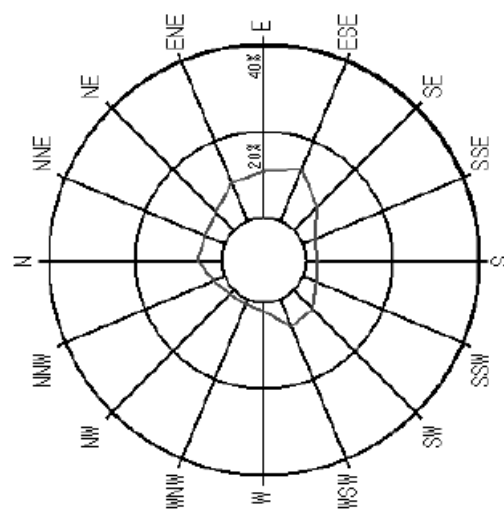
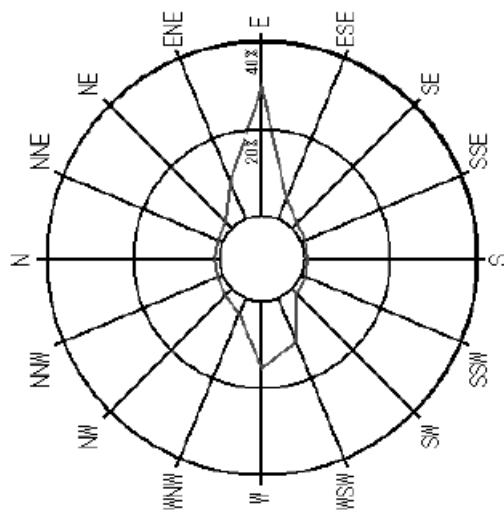


図4.2.2 各地の風配図 美浜地区

丹生観測局



竹波観測局



坂尻観測局

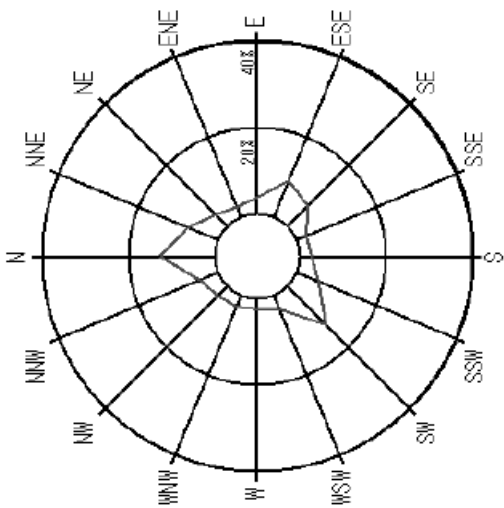
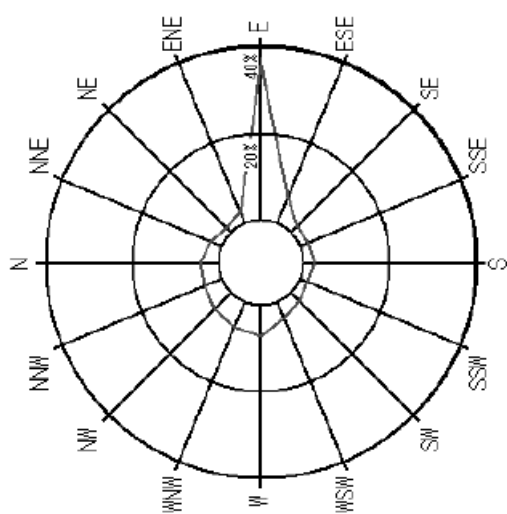
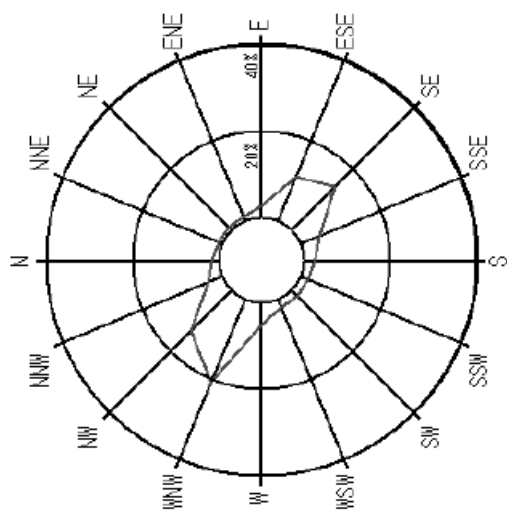


図 4. 2. 2 各地の風配図 大飯地区

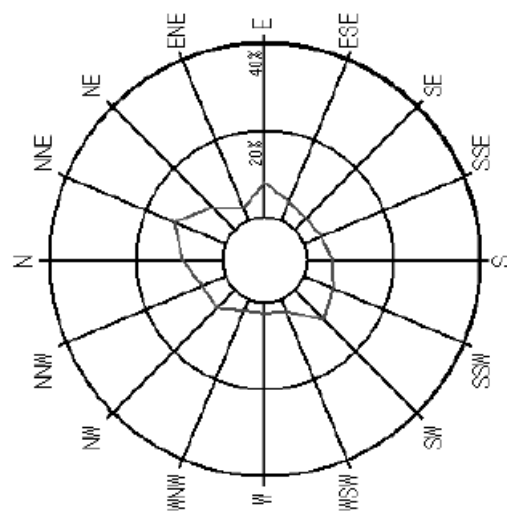
小浜観測局



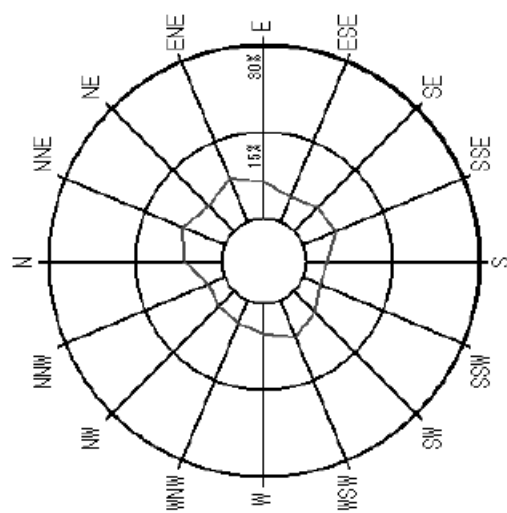
日角浜観測局



宮留観測局



阿納尻観測局



長井観測局

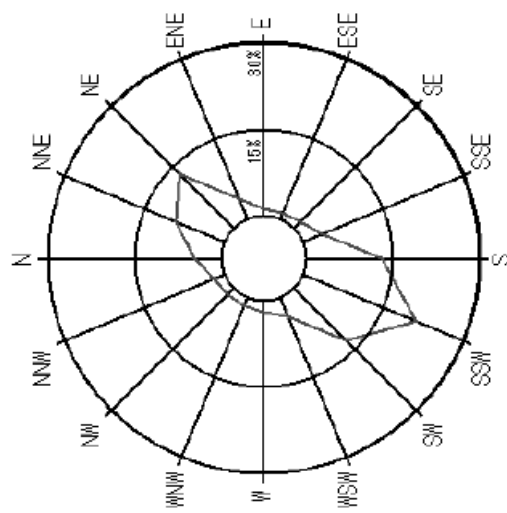
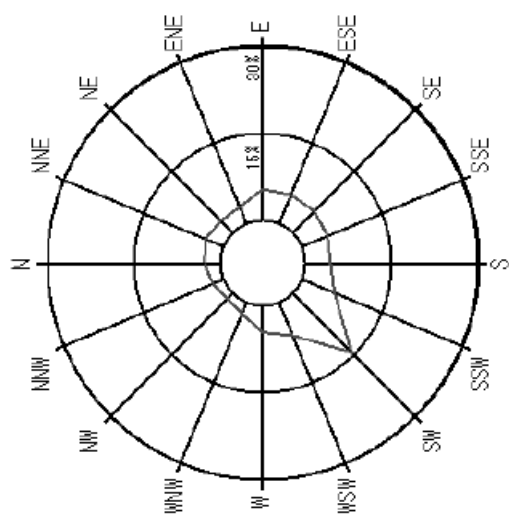
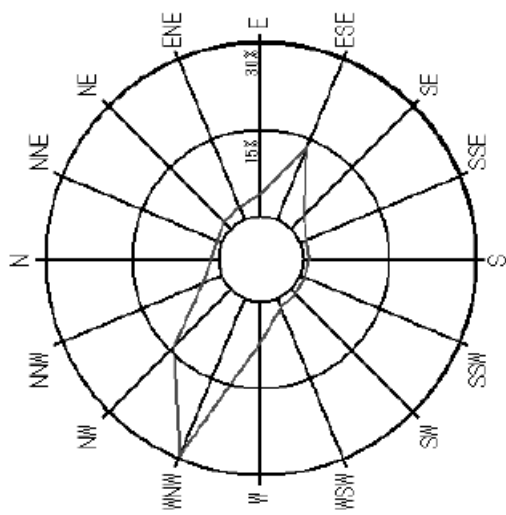


図4.2.2 各地の風配図 高浜地区

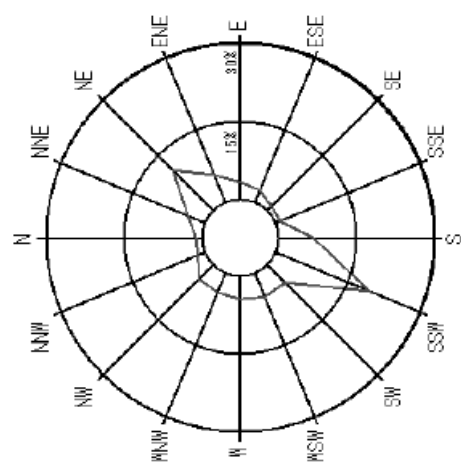
小黑飯観測局



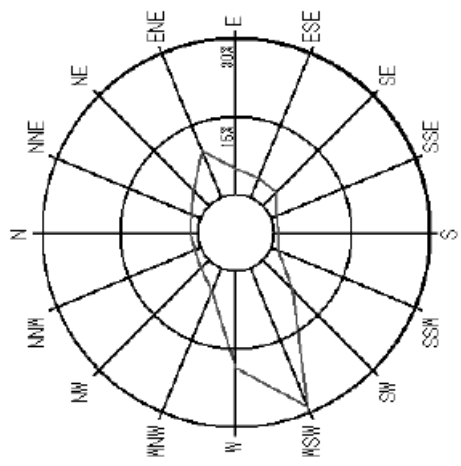
音海観測局



神野浦観測局



山中観測局



4. 3 大気中水分、雨水（降下物）のトリチウム分析結果について

【測定の目的・経緯】

大気中水分、雨水（降下物）のトリチウムの測定については、平成8年度から定期調査として報告を開始し、平成17年度からは、大気中水分を期間調査から月間調査に、雨水を月間調査から期間調査に変更した。

トリチウムは「表-1」に示すように、単位放射能当たりの線量への寄与が他の主要な核種と比べ数百分の1～数千分の1と小さく、環境安全上大きな問題となるものではないが、放射性ヨウ素やコバルト-60等の放射性核種の放出がほとんどなくなったことから、環境モニタリングにおいて相対的にトリチウムの比重が高くなっており、また、希ガスを除けば、定常的に放出される唯一の核種であるので、定期調査に加えたものである。

県内で多数を占める軽水型原子炉施設を例にとれば、気体廃棄物中のトリチウムは、海への液体廃棄物の放出とは異なり、使用済燃料プールや定期検査時の原子炉キャビティーからの蒸発や格納容器パージがあるため、ほぼ定常的に発生し、放出される。

大気中水分のトリチウム分析は、吸入に伴う内部被ばく線量を把握するためであり、雨水（降下物）については、雨によるウォッシュアウト（洗い落とし）効果によって大気中のトリチウムが地表にもたらされることや、空気中の水蒸気と地表面に溜まった水とが比較的容易に入れ代わること等から、大気中水分の測定結果を解釈する際の参考として分析しているものである。トリチウムの存在形態としてはHTやT₂のようなガス状の存在も考えられるが、環境では速やかにHTOに変換するとされているので、水分を採取することとしている。

表-1 1Bqを経口または吸入摂取した場合の成人の実効線量係数 (mSv/Bq)

	経口摂取	吸入摂取
³ H	1.8 × 10 ⁻⁸	1.8 × 10 ⁻⁸
⁶⁰ Co	3.4 × 10 ⁻⁶ (³ Hに対する倍数 190)	3.1 × 10 ⁻⁵ (³ Hに対する倍数 1,700)
¹³¹ I	1.6 × 10 ⁻⁵ (" 890)	1.5 × 10 ⁻⁵ (" 830)
¹³⁷ Cs	1.3 × 10 ⁻⁵ (" 720)	3.9 × 10 ⁻⁵ (" 2200)

【試料の採取・測定法】

大気中水分は、線量率連続モニタの観測局等に設置した除湿器により月毎に採取したものを測定試料としている。雨水は、降下物の核種分析用の水盤または別の水盤から月毎に分取し、それを3ヶ月分まとめたもの（集合試料）を測定試料としている。測定試料を蒸留後、40ml分取して60mlの乳化シンチレータと混合、静置し、低バックグラウンド液体シンチレーション検出器により原則として計500分（50分×10回）測定している。検出限界値は測定条件によって多少違うが、およそ0.5～1Bq/lである。

【数値の取扱い・大気中濃度への換算方法】

分析結果はBq/l（水）で報告する。

測定値は、有効数字2桁または表示単位の小数点以下第1位までとし、第2位を四捨五入する。

トリチウム濃度をN、その誤差を△Nとした時に、N ≥ 3 △Nの場合を検出されたものとする。

発電所影響の調査を行う検討基準として、海水の調査結果のうち、2.0Bq/l以上のデータを除いた過去3年間の調査結果（およそのバックグラウンドレベル）を基に平均値(M) + 3 × 標準偏差(σ)を算出し、(M + 3σ)が2.0Bq/l未満の時は、(M + 3σ)を、(M + 3σ)が2.0Bq/l以上の時は、2.0Bq/lを検討基準とする。（2010年度の検討基準は、2.0Bq/lである。P.29「測定値の取扱いについて」参照。）

なお、大気中水分のトリチウム濃度 (Bq/l) は、空気中の水分量が気温、相対湿度によって変動するため季節によって3～4倍値が違い、大気中濃度 (Bq/m³) が一定であっても冬季は大きな値となるので、測定結果を見る場合は注意を要する。

大気中水分のトリチウム (Bq/l) を大気中濃度 (Bq/m³) に換算するには、当該期間の平均気温と平均相対湿度を用いて求めた空気中の水分量 (l/m³) を乗じる。2010年度の月毎の平均的な空気中の水分量は「表-2」の通りである。過去に報告された大気中水分のトリチウム濃度 (Bq/l) も、同様に当該期間中の空気中の水分量を用いて大気中濃度 (Bq/m³) に換算することができる。

表-2 月毎および年間の平均的な空気中の水分量 (単位: ml/m³) *

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月平均	7.8	10.6	14.6	17.5	16.0	13.7	10.9	7.5	5.4	5.2	4.9	5.6
年平均	10.0											

* : 敦賀特別地域気象観測所における2010年度の平均気温および平均相対湿度を基に計算した。

【線量評価】

大気中水分を吸入することによる預託実効線量は、仮に100Bq/lのトリチウム濃度の水分を含む空気を成人が年間連続して呼吸し続けると仮定した場合、表-1の線量換算係数および1日の呼吸量を用いれば、

$(100\text{Bq/l} \times 0.0100 \text{ l/m}^3) \times 22.2\text{m}^3/\text{日} \times 365\text{日} \times 1.8 \times 10^{-8} \text{mSv/Bq} = 1.5 \times 10^{-4} \text{mSv}$
と計算される。これは、公衆の線量限度1mSvあるいは2008年国連科学委員会報告によるラドン等の吸入による内部被ばく線量1.26mSvと比べ、無視し得るくらいの極めて小さな値である。

【過去の実績およびバックグラウンドレベル】

「表-3」に過去の実績として1975～2009年度の間最高値を、また、参考として「表-4」に对照地点の調査結果を示す。

表-3 過去の実績(1975～2009年度の最高値)

	地区	水中濃度	大気中濃度
大気中	高浜	52 Bq/l 07年11月 小黒飯	0.38 Bq/m ³
水分	对照	5.4Bq/l 81年4月 福井	0.062 Bq/m ³
雨水	大飯	24.1Bq/l 99年3月 宮留	
	对照	6.5Bq/l 75年6月 福井	

表-4 对照地点の測定結果(2007～09年度)

	試料数	平均濃度±標準偏差
大気中水分	36	0.65±0.32Bq/l
雨水	12	0.46±0.26Bq/l

(検出限界値未満の場合を含む全試料の平均)

4. 4 東北地方太平洋沖地震に伴う福島第一原子力発電所事故に関連した臨時放射能調査

(「原子力発電所周辺の環境放射能調査報告 平成22年度第4報」より)

1. はじめに

2011年3月11日14時46分頃三陸沖で発生した巨大地震(最大震度=震度7)に伴い、これまでの想定を遙かに超える大津波が岩手県、宮城県、福島県および茨城県を中心に広範囲に甚大な被害をもたらした。

東北電力(株)女川原子力発電所、東京電力(株)福島第一原子力発電所、同福島第二原子力発電所および日本原子力発電(株)東海第二発電所の運転中のプラントについては、地震の揺れにより地震発生直後に原子炉が自動停止し、多くのプラントで外部電源も失われたが、非常用ディーゼル発電機が起動し、原子炉の冷却機能は維持された。しかし、地震約1時間後に押し寄せた大津波により、福島第一原子力発電所では、非常用電源系統等も損壊し、1～4号機では全交流電源喪失の結果、原子炉および使用済燃料プールの冷却機能が失われる事態に至り、国では、原子力緊急事態宣言を発令し、原子力災害対策本部を設置した。その後、格納容器ベント、水素爆発等により、1～4号機から大量の放射性物質が外部に放出され、国際原子力機関(IAEA)の事故評価尺度の最高ランク7と暫定的に評価される過酷事故に至った。

福井県内では、事故直後から文部科学省からの指示を受けた全国調査の一環として福井県が環境モニタリング強化(空間放射線量率、降下物、飲料水測定)の体制を取ったほか、福井県および本会議の構成員である県内原子力事業者が自主的に大気試料(浮遊じん、大気)や降下物試料の臨時調査を実施しており、その結果については、随時公表している。現在までの臨時調査の結果では、福島第一原子力発電所事故に起源すると考えられるI-131、Cs-134およびCs-137が一部の試料から検出されているがその濃度は極微量であり、健康および環境安全上問題となるものではないことを確認している。

ここでは、平成23年3月11日以降に実施した定期調査および臨時調査について取り纏めた結果について報告する。なお、定期調査結果については既に本文中で報告したとおりであるが、セシウム-134に関しては目的核種および参考核種の対象外であるため、本付録で結果を収録した。

2. 測定結果の概要

(1) 空間線量

①テレメータシステムによる線量率連続測定結果

県および事業者が71地点で行っているテレメータシステムによる線量率の常時監視結果では、空間放射線量率の一時的な上昇が見られたが、全て降雨または降雪によるものであり、福島第一原子力発電所事故および県内発電所からの放射性物質の放出に起因する線量率上昇はなかった。なお、県内原子力発電所敷地内に設置されている観測所9地点においても同様な結果が得られている。

②モニタリングポストによる空間線量率測定

県が国からの委託を受けて福井市の1地点で実施している環境放射能水準調査の一環であり、国からの福島第一原子力発電所事故に関する強化指示によりモニタリングを強化した。テレメータシステムによる線量率連続測定結果と同様、福島第一原子力発電所事故による放射性物質の放出に起因する線量率上昇はなかった。

(2) 浮遊じん放射能の連続測定

大気中の人工放射性核種を連続的に監視する目的で行っている浮遊じん連続測定の結果では、その指標となるベータ/アルファ放射能濃度比において、福島第一原子力発電所事故および県内原子力発電所による変動は観測されなかった。

(3) 核種分析

表-1に人工放射性核種が検出された試料数と検出濃度の範囲を示す。また、試料毎の結果は次のとおりである。

表－１ 核種分析による人工放射性核種検出数と検出濃度範囲

(単位：大気中ヨウ素および浮遊じん (mBq/m³)、陸水および海水 (mBq/l)、降下物 (Bq/m²)、その他 (Bq/kg))

試料	核種	調査		検出された試料数			検出濃度範囲		
		試料数*1		I-131	Cs-134	Cs-137	I-131	Cs-134	Cs-137
陸上	大気中ヨウ素*2	定期	10	10	/	/	0.1~0.3	/	/
		臨時	39	7	/	/	ND~4.2	/	/
	浮遊じん	定期	13	8	3	5	0.0~0.1	ND~0.1	ND~0.1
		臨時	40	5	0	0	ND~1.2	—	—
	陸水	臨時	14	0	0	0	—	—	—
	降下物	定期	11	11	4	4	2.0~14	ND~0.4	ND~0.3
臨時		16	0	0	0	—	—	—	
海洋	海水	定期	1	/	0	1	/	—	1.6
	海底土	定期	2	0	0	0	—	—	—
	海産食品(藻類)	定期	4	1	0	0	ND~0.3	—	—
	指標海産生物	定期	5	1	0	0	ND~0.6	—	—

*1 上段：技術会議計画に基づく調査
下段：事故に伴う計画外臨時調査

*2 大気中ヨウ素の定期調査においては同一地点で粒子状とガス状試料を個別に採取・測定している。

—は検出限界値未満。/は調査対象外であることを示す(以下の表-2~表-3まで同様)。

①大気・浮遊じん

定期試料および臨時調査試料から福島第一原子力発電所事故の影響と考えられるガス状および粒子状ヨウ素-131、セシウム-134ならびにセシウム-137が検出されたが、過去のチェルノブイリ事故時のレベル以下であった。

②陸水

事故後に採取した定期試料はなかった。また、事故後毎日採取した臨時調査試料からは人工放射性核種は検出されなかった。

③降下物

定期試料である月間降下物から福島第一原子力発電所事故の影響と考えられるヨウ素-131、セシウム-134およびセシウム-137が検出されたが、過去のチェルノブイリ事故時のレベル以下であった。事故後毎日採取した臨時調査試料からは人工放射性核種は検出されなかった。なお、セシウム-137に関しては、過去にも大気圏内核実験等の影響で降下物から検出された実績があるが、今回同時にセシウム-134も検出されていること、および浮遊じんからも同様に検出されていることから事故の影響と判断できる。

④海水

海水からセシウム-137が検出されたが、その濃度は過去実績の範囲内であり、過去の核実験のフォールアウトとみなすことができる。

⑤海底土

いずれの試料からも人工放射性核種は検出されなかった。

⑥海産食品

海産食品(藻類)から福島第一原子力発電所事故に起因すると考えられるヨウ素-131が検出されたが、過去のチェルノブイリ事故時のレベル以下であった。

⑦指標海産生物

指標海産生物から福島第一原子力発電所事故に起因すると考えられるヨウ素-131が検出されたが、過去のチェルノブイリ事故時のレベル以下であった。

3. 線量評価

調査結果の概要で既に明らかなように、特に線量を評価する必要はないが、福島第一原子力発電所事故影響と考えられるヨウ素-131、セシウム-134等が検出されていることから、被ばく線量の評価を行った。

評価の結果、一般公衆の線量限度（年間1ミリシーベルト）はもとより、発電用軽水型原子炉施設周辺の線量目標値（年間0.05ミリシーベルト）をはるかに下回っていた。

(1) 外部被ばく

県および施設者のテレメータシステムによる線量率連続測定では、福島第一原子力発電所事故および県内原子力発電所による有意な線量上昇は認められず、これらに起因する線量影響は無視できる程度であった。

(2) 内部被ばく

内部被ばくに係る試料から福島第一原子力発電所事故に起因すると考えられるヨウ素-131等が検出されているため、各種試料中の平均濃度をもとに内部被ばくに関する預託実効線量の計算を行った。計算にあたっての具体的事項を注2に示す。なお、事故に伴う監視強化のために実施した臨時調査試料測定結果は参考データとして取り扱い、本報告書の被ばく評価の対象外とした。また、平均濃度の算出に当たっては、検出された試料のみを用いているため、実際の食品レベルより高くなっており、安全側に見積もられている。

内部被ばくに関する預託実効線量の計算結果を表-2に、計算に用いた試料毎の平均濃度を表-3に示す。評価の結果、福島第一原子力発電所事故および県内原子力発電所に起因する内部被ばくは無視できる程度であった。

表-2 検出値から計算した預託実効線量(内部被ばく) 単位: ミリシーベルト

空気(呼吸)	飲料水	葉菜	海産物
0.001以下	/	/	0.001以下

表-3 検出された核種の試料別平均濃度

試料		ヨウ素-131	セシウム-134	セシウム-137
大気 (mBq/m ³)		0.30	0.052	0.034
飲料水 (mBq/l)		/	/	/
指標植物 (Bq/kg生)		/	/	/
指標海産生物 (Bq/kg生)		0.62	-	-
海産食品	魚類 (Bq/kg生)	/	/	/
	貝類 (Bq/kg生)	/	/	/
	藻類 (Bq/kg生)	0.31	-	-

(注2) 通常食用とはしない指標生物を食品と同等に摂取するものとして取扱い、被ばく評価の計算に加える。指標海産生物(ホタテ)は藻類として被ばく評価の対象とした。線量計算は原子力安全委員会の「**発電用軽水型原子炉施設周辺の線量目標値に対する評価指針**(以下、評価指針という)」に従い、上記の平均核種濃度の食品等を、成人で1日当たり葉菜100g、魚200g、無脊椎動物20g、海藻40gずつ、呼吸率を22.2m³/日として30日間摂取し続けるとして計算を行った。飲料水の摂取量はICRP Publ.23により2.65L/日とした。摂取期間は30日間とした。

第1表 大気中のヨウ素-131分析結果

単位：mBq/m³

調査区分	地区	採取地点	採取期間	¹³¹ I 粒子状 I 濃度	¹³¹ I ガス状 I 濃度	機 関
定期調査	敦賀	浦底A	11.03.03~11.04.07	0.1	0.3	A
	白木	白木A	11.03.03~11.04.06	0.1	0.2	A
	美浜	竹波A	11.03.03~11.04.06	0.1	0.2	A
	大飯	官留A	11.03.02~11.04.06	0.1	0.1	A
	高浜	小黒飯A	11.03.02~11.04.05	0.1	0.2	A
臨時調査	敦賀	吉河（監視センター）	11.03.27~11.03.28	—	4.2	A
		〃	11.03.28~11.03.29	—	—	A
		〃	11.03.29~11.03.30	—	—	A
		〃	11.03.30~11.03.31	—	—	A
		〃	11.03.31~11.04.01	—	—	A
		敦賀発電所構内	11.03.17~11.03.21	—	—	B
		〃	11.03.21~11.03.28	—	1.0	B
	〃	11.03.28~11.04.04	—	—	B	
	白木	松ヶ崎（機構Mステーション）	11.03.01~11.03.22	/	—	D
		〃	11.03.22~11.03.28	0.2	0.5	D
		〃	11.03.28~11.04.04	0.2	0.5	D
	美浜	美浜発電所事務所屋上	11.03.18~11.03.25	—	—	C
		〃	11.03.25~11.04.01	—	—	C
		環境モニタリングセンター	11.03.14~11.03.17	—	—	C
		〃	11.03.17~11.03.24	—	—	C
		〃	11.03.24~11.03.31	0.5	1.7	C
	〃	11.03.31~11.04.04	0.7	0.9	C	
	大飯	大飯発電所第一事務所横	11.03.17~11.03.24	—	—	C
		〃	11.03.24~11.03.30	—	1.3	C
		〃	11.03.30~11.04.04	—	—	C
	高浜	高浜発電所ビジターハウス	11.03.17~11.03.24	—	—	C
		〃	11.03.24~11.03.31	—	—	C
		〃	11.03.31~11.04.04	—	—	C
	対照	福井市原目町	11.03.16~11.03.17	—	—	A
		〃	11.03.17~11.03.18	—	—	A
		〃	11.03.18~11.03.19	—	—	A
		〃	11.03.19~11.03.20	—	—	A
		〃	11.03.20~11.03.21	—	—	A
		〃	11.03.21~11.03.22	—	—	A
		〃	11.03.22~11.03.23	—	—	A
		〃	11.03.23~11.03.24	—	—	A
		〃	11.03.24~11.03.25	—	—	A
〃		11.03.25~11.03.26	—	—	A	
〃		11.03.26~11.03.27	—	—	A	
〃		11.03.27~11.03.28	—	—	A	
〃		11.03.28~11.03.29	1.2	—	A	
〃		11.03.29~11.03.30	—	—	A	
〃		11.03.30~11.03.31	—	—	A	
〃	11.03.31~11.04.01	—	—	A		

(注) 以下の核種分析結果の表では/は調査対象外を、—は検出限界値未満を、0.0は0.05未満で検出限界値以上の測定値を示す。測定値はいずれも採取時の値である。過去実績の欄で—と記したものは検出実績の1例もないものである。

第2表 核種分析結果 その1 浮遊じん

単位： mBq/m³

調査区分	地区	採取地点	採取期間	目的核種						追加核種		機関	
				²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹³³ I	¹³⁴ Cs		
定期調査	敦賀	立石B	11.03.01~11.04.04	—	—	—	—	0.1	0.0	—	—	B	
		浦底A	11.03.03~11.04.07	—	—	—	—	/	0.1	/	0.1	A	
		浦底B	11.03.01~11.04.04	—	—	—	—	0.1	—	—	—	B	
		色ヶ浜B	11.03.01~11.04.04	—	—	—	—	0.1	—	—	—	B	
	白木	白木A	11.03.03~11.04.06	—	—	—	—	/	0.0	/	0.0	A	
		松ヶ崎D	11.03.01~11.04.04	—	—	—	—	0.0	—	—	—	D	
	美浜	竹波A	11.03.03~11.04.06	—	—	—	—	/	0.0	/	0.0	A	
		丹生	11.03.01~11.04.05	—	—	—	—	0.1	—	—	—	C	
	大飯	宮留A	11.03.02~11.04.06	—	—	—	—	/	0.0	/	—	A	
		宮留	11.03.02~11.04.04	—	—	—	—	0.1	—	—	—	C	
	高浜	音海	11.03.02~11.04.04	—	—	—	—	0.1	—	—	—	C	
		小黒飯A	11.03.03~11.04.05	—	—	—	—	/	—	/	—	A	
小黒飯		11.03.02~11.04.04	—	—	—	—	0.1	—	—	—	C		
臨時調査	敦賀	吉河（監視センター）	11.03.27~11.03.28	—	—	—	—	—	—	—	—	A	
		〃	11.03.28~11.03.29	—	—	—	—	—	—	—	—	A	
		〃	11.03.29~11.03.30	—	—	—	—	—	—	—	—	A	
		〃	11.03.30~11.03.31	—	—	—	—	—	—	—	—	A	
		〃	11.03.31~11.04.01	—	—	—	—	—	—	—	—	A	
		敦賀発電所構内	11.03.17~11.03.21	—	—	—	—	—	—	—	—	B	
		〃	11.03.21~11.03.28	—	—	—	—	—	—	—	—	B	
	〃	11.03.28~11.04.04	—	—	—	—	—	—	—	—	B		
	白木	松ヶ崎（機構Mステーション）	11.03.07~11.03.14	—	—	—	—	—	—	—	—	D	
		〃	11.03.14~11.03.22	—	—	—	—	—	—	—	—	D	
		〃	11.03.22~11.03.28	—	—	—	—	0.2	—	—	—	D	
		〃	11.03.28~11.04.04	—	—	—	—	0.2	—	—	—	D	
	美浜	美浜発電所事務所屋上	11.03.18~11.03.25	—	—	—	—	—	—	—	—	C	
		〃	11.03.25~11.04.01	—	—	—	—	—	—	—	—	C	
		環境モニタリングセンター	11.03.14~11.03.17	—	—	—	—	—	—	—	—	C	
		〃	11.03.17~11.03.24	—	—	—	—	—	—	—	—	C	
		〃	11.03.24~11.03.31	—	—	—	—	0.5	—	—	—	C	
	大飯	〃	11.03.31~11.04.04	—	—	—	—	0.7	—	—	—	C	
		大飯発電所第一事務所横	11.03.17~11.03.24	—	—	—	—	—	—	—	—	C	
		〃	11.03.24~11.03.30	—	—	—	—	—	—	—	—	C	
		〃	11.03.30~11.04.04	—	—	—	—	—	—	—	—	C	
	高浜	高浜発電所ビジターハウス	11.03.17~11.03.24	—	—	—	—	—	—	—	—	C	
		〃	11.03.24~11.03.31	—	—	—	—	—	—	—	—	C	
		〃	11.03.31~11.04.04	—	—	—	—	—	—	—	—	C	
	対照	福井市原目町	11.03.16~11.03.17	—	—	—	—	—	—	—	—	—	A
		〃	11.03.17~11.03.18	—	—	—	—	—	—	—	—	—	A
		〃	11.03.18~11.03.19	—	—	—	—	—	—	—	—	—	A
		〃	11.03.19~11.03.20	—	—	—	—	—	—	—	—	—	A
〃		11.03.20~11.03.21	—	—	—	—	—	—	—	—	—	A	
〃		11.03.21~11.03.22	—	—	—	—	—	—	—	—	—	A	
〃		11.03.22~11.03.23	—	—	—	—	—	—	—	—	—	A	
〃		11.03.23~11.03.24	—	—	—	—	—	—	—	—	—	A	
〃		11.03.24~11.03.25	—	—	—	—	—	—	—	—	—	A	
〃		11.03.25~11.03.26	—	—	—	—	—	—	—	—	—	A	
〃		11.03.26~11.03.27	—	—	—	—	—	—	—	—	—	A	
〃		11.03.27~11.03.28	—	—	—	—	—	—	—	—	—	A	
〃		11.03.28~11.03.29	—	—	—	—	—	—	1.2	—	—	A	
〃	11.03.29~11.03.30	—	—	—	—	—	—	—	—	—	A		
〃	11.03.30~11.03.31	—	—	—	—	—	—	—	—	—	A		
〃	11.03.31~11.04.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	A		

(注) 浮遊じんの調査地点は各機関の線量率連続測定地点あるいはその付近である。
 機関Aは定期調査ではろ紙を灰化したものを測定しているため、I-131は調査対象外である。灰化前のI-131濃度は第1表 粒子状I-131の欄を参照。
 I-131はガス状のものを含まない浮遊じんのみの測定結果であり、白木地区松ヶ崎（機構Mステーション）で11.03.07~11.03.14および11.03.14~11.03.22に採取した試料以外の結果は第1表の粒子状I-131の再掲である。

第3表 核種分析結果 その2 陸水

単位： mBq/l

調査区分	地区	採取地点	種類	採取年月日	目的核種					追加核種		天然核種 ⁷ Be	機関
					⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹³³ I	¹³⁴ Cs		
臨時調査	対照	原目町(福井分析管理室)	水道水	11.03.18	—	—	—	—	—	—	—	—	A
		〃	〃	11.03.19	—	—	—	—	—	—	—	—	A
		〃	〃	11.03.20	—	—	—	—	—	—	—	—	A
		〃	〃	11.03.21	—	—	—	—	—	—	—	—	A
		〃	〃	11.03.22	—	—	—	—	—	—	—	—	A
		〃	〃	11.03.23	—	—	—	—	—	—	—	—	A
		〃	〃	11.03.24	—	—	—	—	—	—	—	—	A
		〃	〃	11.03.25	—	—	—	—	—	—	—	—	A
		〃	〃	11.03.26	—	—	—	—	—	—	—	—	A
		〃	〃	11.03.27	—	—	—	—	—	—	—	—	A
		〃	〃	11.03.28	—	—	—	—	—	—	—	—	A
		〃	〃	11.03.29	—	—	—	—	—	—	—	—	A
		〃	〃	11.03.30	—	—	—	—	—	—	—	—	A
		〃	〃	11.03.31	—	—	—	—	—	—	—	—	A

(注) マリネリピーカーを用いて直接測定。

第4表 核種分析結果 その3 降下物

単位： Bq/m²

調査区分	地区	採取地点	採取期間	目的核種						追加核種		天然核種	機関
				²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹³³ I	¹³⁴ Cs	⁷ Be	
定期調査	敦賀	浦底（水試）	11.03.03～11.04.07	—	—	—	—	6.0	—	—	—	350	A
		浦底（明神寮）	11.03.01～11.04.01	—	—	—	—	6.1	0.3	—	0.2	430	B
	白木	松ヶ崎	11.03.03～11.04.06	—	—	—	—	4.1	—	—	—	280	A
		〃	11.03.01～11.04.01	—	—	—	—	6.0	—	—	—	320	D
	美浜	竹波（落合川取水場）	11.03.03～11.04.06	—	—	—	—	4.3	—	—	—	350	A
		丹生	11.03.01～11.04.05	—	—	—	—	5.0	—	—	—	440	C
	大飯	宮留A	11.03.02～11.04.06	—	—	—	—	12	0.3	—	0.4	450	A
		日角浜	11.03.02～11.04.04	—	—	—	—	14	0.3	—	0.3	410	C
	高浜	小黒飯A	11.03.02～11.04.05	—	—	—	—	2.5	—	—	—	400	A
		小和田	11.03.02～11.04.04	—	—	—	—	2.9	—	—	—	460	C
対照	原目町（福井分析管理室）	11.03.01～11.04.04	—	—	—	—	2.0	0.1	—	0.2	400	A	
臨時調査	対照	原目町（福井分析管理室）	11.03.16～11.03.17	—	—	—	—	—	—	—	—	65	A
		〃	11.03.17～11.03.18	—	—	—	—	—	—	—	—	45	A
		〃	11.03.18～11.03.19	—	—	—	—	—	—	—	—	—	A
		〃	11.03.19～11.03.20	—	—	—	—	—	—	—	—	—	A
		〃	11.03.20～11.03.21	—	—	—	—	—	—	—	—	—	A
		〃	11.03.21～11.03.22	—	—	—	—	—	—	—	—	—	A
		〃	11.03.22～11.03.23	—	—	—	—	—	—	—	—	26	A
		〃	11.03.23～11.03.24	—	—	—	—	—	—	—	—	—	A
		〃	11.03.24～11.03.25	—	—	—	—	—	—	—	—	42	A
		〃	11.03.25～11.03.26	—	—	—	—	—	—	—	—	—	A
		〃	11.03.26～11.03.27	—	—	—	—	—	—	—	—	—	A
		〃	11.03.27～11.03.28	—	—	—	—	—	—	—	—	—	A
		〃	11.03.28～11.03.29	—	—	—	—	—	—	—	—	—	A
		〃	11.03.29～11.03.30	—	—	—	—	—	—	—	—	—	A
		〃	11.03.30～11.03.31	—	—	—	—	—	—	—	—	—	A
〃	11.03.31～11.04.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	A		

第5表 核種分析結果 その4 海水

単位：mBq/l

調査区分	地区	採取地点	種類	採取年月日	目的核種				参考核種		機関
					⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	⁵⁹ Fe	¹³⁴ Cs	
定期	敦賀	ふげん放水口	海水	11.03.15	—	—	—	1.6	—	—	D

第6表 核種分析結果 その5 海底土

単位：Bq/kg乾土

調査区分	地区	採取地点	種類	採取年月日	目的核種				追加核種		天然核種				機関
					⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	¹³¹ I	¹³⁴ Cs	⁷ Be	⁴⁰ K	Th-Ser	U-Ser	
調査期	敦賀	立石	砂	11.03.15	—	—	—	—	—	—	13	970	37	18	D
		ふげん放水口	//	//	—	—	—	—	—	—	—	660	26	20	D

(注) エクマンバージ等の採泥器で採取した試料の粒径2mm以下を分析した。

Th系列 (Th-Ser) はTl-208から系列ガンマ線放出比30.7%を用いて、U系列 (U-Ser) はBi-214またはPb-214から系列ガンマ線放出比44.2% (または36.0%) を用いて求めたものである。

第7表 核種分析結果 その6 海産食品

単位：Bq/kg生

調査区分	地区	採取地点	種類	部位	採取年月日	目的核種						追加核種		天然核種		機関
						²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹³³ I	¹³⁴ Cs	⁷ Be	⁴⁰ K	
定期調査	美浜	1, 2号放水口	ワカメ	除根	11. 04. 01	—	—	—	—	0.3	—	—	—	—	170	C
		3号放水口	〃	〃	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	1.3	130	C
	高浜	放水口	〃	〃	11. 03. 14	—	—	—	—	—	—	—	—	1.7	250	C
		内浦湾	〃	〃	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	1.9	200	C

(注) 各放水口は放水口付近を含む。

第8表 核種分析結果 その7 指標海産生物

単位：Bq/kg生

調査区分	地区	採取地点	種類	部位	採取年月日	目的核種						追加核種		天然核種		機関
						²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹³³ I	¹³⁴ Cs	⁷ Be	⁴⁰ K	
定期調査	敦賀	2号放水口	ホンダワラ	除根	11. 03. 14	—	—	—	—	—	—	—	—	6.0	220	A
		ふげん放水口	〃	〃	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	8.3	210	A
	美浜	1, 2号放水口	〃	〃	11. 03. 14	—	—	—	—	—	—	—	—	34	170	A
		3号放水口	〃	〃	11. 03. 14	—	—	—	—	—	—	—	—	14	260	A
	対照	福井市小丹生町	〃	〃	11. 03. 28	—	—	—	—	0.6	—	—	—	15	240	A

4. 5 環境モニタリング結果に基づく内部被ばく預託実効線量評価結果

1. はじめに

線量評価は、「環境放射線モニタリング指針(平成20年3月、原子力安全委員会、以下、モニタリング指針)」に掲げられた環境放射線モニタリングの第1の目標であり、また最終的な帰結であって、次元(単位)の異なる空間放射線や環境試料の放射能のモニタリング結果を、人体への影響の程度(リスク)を表す「実効線量(Sv)」という共通の尺度で示すため実施される。この報告書では、既に本文で、「施設運転に起因する主要な放射性核種が検出されず、特に線量評価の必要はない」としながらも、検出された値に目安をつけるために評価を行い、0.001mSv(以下)までを報告し、安全を確認している。

ここでは、更に、核実験フォールアウトの実態や寄与の内訳までを読み取れるよう、内部被ばくに係るモニタリング結果をもとに0.001mSv以下までの算出された数値そのもので示す。

なお、ここでは省略したが、評価法の変遷の詳細や施設稼動開始時点まで遡る評価結果は、この形で最初に示した平成16年度年報(FERC第37巻5号)に示されている。

2. 内部被ばく預託実効線量の評価方法

内部被ばくは、預託実効線量(摂取後50年間にわたって個人が受ける積算の線量)で表される。預託実効線量は、基本的には、吸入または経口摂取された放射性核種について、核種毎に、空気試料(大気中 ^{131}I ・大気浮遊じん並びに空気中水分)または飲食物区分毎に、

$$\text{試料中核種濃度}(C) \times \text{呼吸量又は飲食物日摂取量}(V) \times \text{摂取期間}(t) \times \\ \text{実効線量係数}(f) \times \text{各種補正係数}(k) \cdots \text{式}(1)$$

の積を求め、それをすべて加算して得られる。

但し、「モニタリング指針」等に規定がなく、ところによっては実効線量計算に供する対象核種の(平均)濃度の求め方等が異なる場合があることから、以下に、当技術会議が採用している内部被ばく線量評価の計算法・計算条件および留意点を再録する。

- ①実効線量係数(f)は、指針が示した吸入/経口摂取別に核種毎の値を用いる。指針では異なる存在形態がある場合は、最大の値を示すものが引用されており、いわば安全側(上限)の係数である。
- ②大気中トリチウムについては、大気中水分トリチウム濃度から大気中濃度に換算している。
- ③評価の対象としたのは、本文の評価同様、指針にも示された代表的年齢群の「成人」であり、摂取経路もモニタリング指針及び「発電用軽水型原子炉施設周辺の線量目標値に対する評価指針(評価指針)」に示された「呼吸、飲料水、葉菜、魚類、貝類、藻類」とした。それぞれの摂取量は「モニタリング指針」の値を用いた(後出)。
- ④評価に供した濃度は、本文の評価同様、検出されたもの(即ち、検出限界値以上)だけの年間単純平均であり、農産物、海産物にはそれぞれ形状や性状がよく似ていて過去に食品と同等の検出実績があり補完試料としても用いている指標生物(ヨモギ、ホンダワラ等)の結果を加えている。
- ⑤従って、平均濃度自体が高め・安全側であり、先の指針の「異なる存在形態がある場合最大の値を示すもの」という実効線量係数採択の条件と合わせ、潜在的上限を示すものと言うことができる。
- ⑥但し、ここでの目的は核実験寄与とその内訳等を示すことにもあり、貝類・藻類の ^{137}Cs については、通常測定では検出限界以下となることが多く、結果が低い側に片寄り過ぎるので、アンチコインシデンスの測定結果がある場合はその結果を含めた平均値を用いた。

- ⑦これらの方法は、程度の差はあれど試料にも含まれる ^{137}Cs 等の核実験フォールアウト核種、あるいは施設起因核種であっても初期の数年間のようにほぼ年間連続で検出され続けた場合には比較的事態とよく合う方法であるが、検出が散発的となった場合は過大な結果となる。
- ⑧摂取期間は、殆どのものは1年としたが、葉菜のみは栽培期間と同じ0.5年とした。但し、大気試料のように一過性とみなせる試料の場合、検出されたものだけの平均濃度を1年間摂取すると仮定すると過大評価になりすぎるため、大気試料の摂取期間は検出期間(=試料採取期間)に限定することとしている。
- ⑨式(1)では各種補正係数(k)として市場希釈補正や調理(洗浄)に伴う補正が加味されるが、前者については実態を捉えられないので1とし、後者では葉菜について実際に観測例があり一般的にも用いられている0.5を用いた。

3. モニタリング結果とそれに基づく線量評価結果

天然・自然放射能を別にして、モニタリング結果を大別すれば、便宜的に(1)トリチウム(^3H)を除く一般的な施設起因核種、(2)チェルノブイリ事故影響を含む核実験フォールアウト核種、(3)トリチウム、に区分される。トリチウムでは核実験寄与と施設寄与が競合・混在する。表(1)～表(3)に2004年度以降の過去5ヵ年と今年度のこれらの区分毎の線量評価に供した年間平均濃度と、現在の評価法による内部被ばく預託実効線量評価結果を示す。今年度は福島第一原子力発電所事故の影響と考えられる ^{131}I 等が検出されているが、対照地区を含めた試料から検出されており、県内の施設に起因する核種ではないことから、(2)に含めて評価を行った。

(1)では1994年度以降、評価対象となる生物試料等には県内施設の起因核種は全く検出されていない。(2)では ^{137}Cs 、 ^{90}Sr 、 Pu の3核種について集計、評価してきたが、今年度は福島第一原子力発電所事故の影響と考えられる ^{131}I および ^{134}Cs が検出されたため、両核種を評価に追加した。(2)、(3)では、対照地区を含めた県内平均値を用いた評価結果を示した。いずれもモニタリング結果が得られたものだけについて評価を行っており、調査の対象としていないものは含まれていない。従って、魚貝類の ^{90}Sr は評価に含まれていないが、濃度が葉菜の約1/100、藻類の約1/2という過去の結果から類推して、線量評価結果を大きく左右する因子とはならないものと考えられる。表(4)では、海水中トリチウムが海産物に移行し、これを摂取した場合の今年度の預託実効線量評価結果を示す。

4. まとめ

今年度の内部被ばくの線量評価結果の概況をまとめれば、

- ①トリチウムを除く県内施設の起因核種は評価対象の大気・各種飲食物並びに生物試料からは、1994年以降全く検出されていない。
- ②トリチウムの内部被ばくに対する寄与は、呼吸・飲用では $2.2 \times 10^{-5}\text{mSv}$ となり、変化は認められない。海産物摂取では $7.2 \times 10^{-6}\text{mSv}$ となり、これらの合計では $2.9 \times 10^{-5}\text{mSv}$ となった。水道水のトリチウムでは明白な施設寄与は観測されず、バックグラウンドレベルとみなせるが、空気中水分の吸入や海水中トリチウムの移行による海産物摂取では施設寄与が認められる。
- ③核実験フォールアウトの ^{137}Cs 、 ^{90}Sr 、 Pu に福島第一原子力発電所事故起因核種 ^{131}I および ^{134}Cs を追加した結果では、それぞれ $0.1 \sim 1.2 \times 10^{-4}\text{mSv}$ 、5核種合わせ $2.9 \times 10^{-4}\text{mSv}$ の寄与がある。
- と集約される。

以上の評価結果を、県内原子力発電所稼働開始時点までに遡った結果と併せ図-1に示す。図-1では、(1)のトリチウムを除く施設起因核種は地区毎に、(2)の核実験フォールアウトの ^{137}Cs 、 ^{90}Sr 、 Pu や(3)のトリチウムは県内全平均で示した。チェルノブイリ事故影響の飛来時は、

^{137}Cs 以上に ^{131}I , ^{103}Ru , ^{106}Ru , ^{134}Cs の寄与が大きく、それらによる預託実効線量を書き加えている。

表(1) ^3H を除く県内施設起因核種の年間平均濃度の推移と線量評価結果

平均濃度単位：空気試料— mBq/m^3 、水道水— mBq/ℓ 、その他— Bq/kg 生

年度	地区	空気試料/水道水/葉菜/海産魚・貝・藻類 中間平均濃度					預託実効線量 (mSv)
		^{54}Mn	^{59}Fe	^{58}Co	^{60}Co	^{131}I	
2005	敦賀・白木・美浜・大飯・高浜	左記の年度の、 いずれの地区の、いずれの試料からも 県内施設起因上記核種は検出されず					—
2006	〃						—
2007	〃						—
2008	〃						—
2009	〃						—
2010	〃	〃					—

(注) —は検出例が1例もないもの。

葉菜には指標植物(ヨモギ)を、海産物にはホンダワラ・マサキガイ等の指標海産生物を含む。

表(2) 福井県内の ^{137}Cs , ^{90}Sr , Pu , ^{131}I , ^{134}Cs 平均濃度と線量評価結果

平均濃度単位：(大気 mBq/m^3 、海水 mBq/ℓ 、その他 mBq/kg)

年度	Cs-137平均濃度					Sr-90平均濃度		Pu平均濃度				I-131平均濃度		Cs-134平均濃度	海水中 Cs-137 濃度
	葉菜	魚類	貝類	藻類	大気	葉菜	藻類	葉菜	魚類	貝類	藻類	大気	藻類	大気	
2005	159	89	27	44	—	442	45	0.39	4.2	33	7.4	—	—	—	1.9
2006	159	106	28	41	—	360	40	—	—	45	2.9	—	—	—	1.8
2007	143	104	26	42	—	480	46	0.39	—	40	13.0	—	—	—	1.8
2008	164	100	21	53	—	515	38	0.34	—	30	7.8	—	—	—	1.6
2009	217	100	20	48	—	290	49	0.42	—	37	10.0	—	—	—	1.7
2010	168	94	24	58	0.034	222	41	0.48	0.097	24	9.1	0.30	0.47	0.052	1.7

預託実効線量 (単位: mSv)					
Cs-137	Sr-90	Pu	I-131	Cs-134	合計
1.1 E-4	1.3 E-4	1.7 E-4	—	—	4.1 E-4
1.3 E-4	1.1 E-4	9.3 E-5	—	—	3.3 E-4
1.3 E-4	1.4 E-4	1.2 E-4	—	—	3.9 E-4
1.3 E-4	1.5 E-4	8.4 E-5	—	—	3.6 E-4
1.3 E-4	9.4 E-5	1.0 E-4	—	—	3.2 E-4
1.2 E-4	7.4 E-5	8.0 E-5	1.2 E-5	6.9 E-7	2.9 E-4

注) 各年度の濃度は指標生物を含む検出値があるものだけの単純平均。PuはPu-(239+240)。—: 検出例が1例もないもの。

貝類、藻類のCs-137はアンチコインシデンス測定によるものも含む。

海水のCs-137は濃縮を通じたより一般化した評価をするための参考値。その際使用する濃縮係数(cf)は、評価指針によれば、Cs-137では、魚類30、貝類20、藻類20である。

大気試料中I-131濃度はガス状と粒子状の合計。

表(3) 大気中水分・水道水のトリチウム濃度とその吸入・飲用による預託実効線量 預託実効線量単位: 10^{-6}mSv

年度	大気中水分のトリチウム平均濃度 (Bq/ℓ)							水道水トリチウム平均濃度 (Bq/ℓ)							(参考) 海水平均	県内平均線量($\times 10^{-6}\text{mSv}$)			吸入最高 地区線量
	敦賀	白木	美浜	大飯	高浜	対照	平均	敦賀	白木	美浜	大飯	高浜	対照	平均		吸入	飲用	合計	
2005	3.4	2.4	3.6	5.6	10.7	0.63	4.4	1.0	1.1	1.1	0.8	0.9	0.6	0.91	1.7	6.6	15.8	22	16
2006	3.7	2.1	2.7	5.9	12.7	0.63	4.6	0.9	0.9	1.1	0.8	0.8	—	0.91	1.3	7.0	15.7	23	19
2007	5.3	2.4	2.8	4.6	15.0	0.80	5.6	1.1	0.9	0.9	0.7	0.9	—	0.91	1.2	8.3	15.8	24	22
2008	3.4	2.1	3.4	5.2	13.9	0.87	4.9	1.0	1.0	1.4	1.0	1.1	0.7	1.1	1.8	7.2	19.2	26	39
2009	2.7	2.3	3.4	5.6	13.0	0.95	4.6	1.1	1.1	1.3	1.2	1.1	0.7	1.1	18.0	7.2	19.2	26	63
2010	3.4	1.9	3.0	5.5	13.7	0.78	4.7	0.9	0.9	1.0	0.7	0.8	0.6	0.85	1.8	6.9	14.8	22	51

注) トリチウムの大気中水分濃度から大気中濃度への換算には、2010年度の年間空気中水分量の平均値を用いた。—は検出例がないもの。

海水中濃度から海産物経由のトリチウム(濃縮係数1)による内部被ばくを計算することができる。魚貝藻類の総摂取量は0.26kgである。

表(4) 海水中トリチウム濃度と海産物摂取による預託実効線量

年度	海水中トリチウムの平均濃度(Bq/l)							預託実効線量 (×10 ⁻⁶ mSv)						
	敦賀	白木	美浜	大飯	高浜	対照	平均	敦賀	白木	美浜	大飯	高浜	対照	平均
2009	100	1.3	1.4	1.0	1.5	0.6	19	400	5.2	5.6	4.0	6.0	2.4	76
2010	3.0	1.0	2.5	1.2	1.2	—	1.8	12	4.0	10	4.8	4.8	—	7.2

注) 海水中トリチウム濃度から海産物経由のトリチウムによる内部被ばくを計算することができる。
魚貝藻類の総摂取量は0.26kgである。

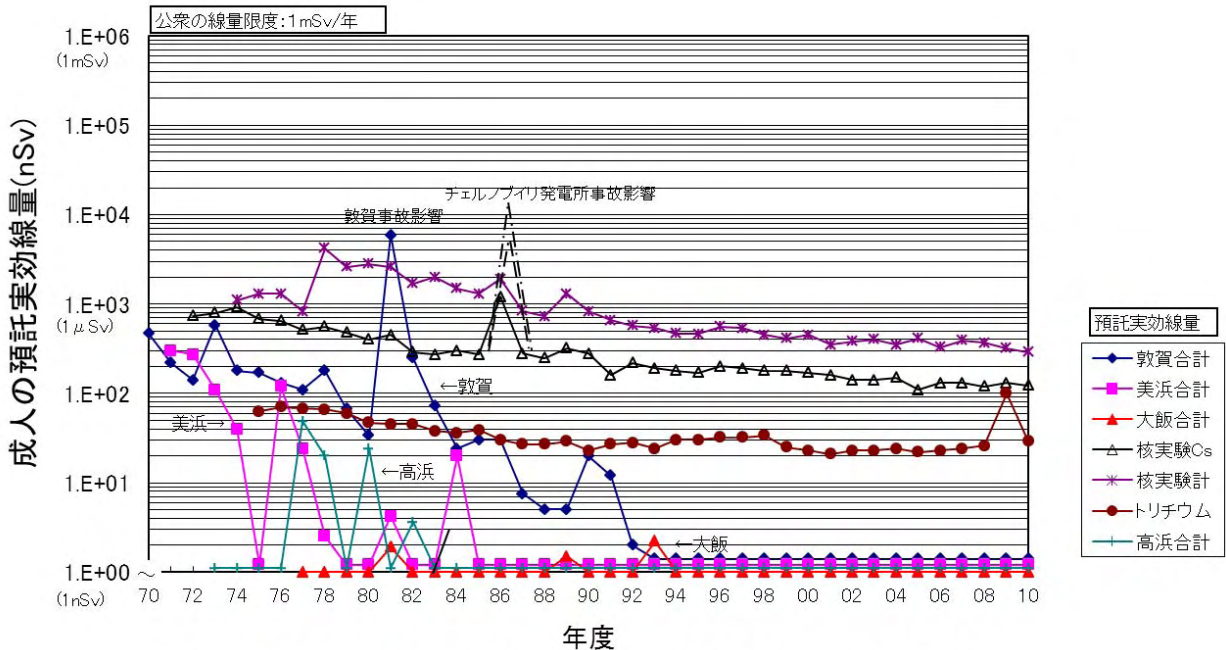


図-1 各種試料中核種濃度から計算した内部被ばく預託実効線量(nSv)

(図-1の注)

- 核実験 Cs : 過去の核実験フォールアウト核種である Cs-137 による預託実効線量評価結果。1986 年のチェルノブイリ発電所事故影響では、Cs-137 の他に I-131 や Ru-103、Ru-106、Cs-134 の評価を加えた結果 (図中、破線部) と、陸上への各放射性核種の蓄積量から求めた外部被ばく線量の評価を加えた結果 (図中、一点鎖線部) もあわせて示した。
2010 年度結果に福島第一原子力発電所事故影響による Cs-137、Cs-134 寄与を含めた。
- 核実験計 : 過去の核実験フォールアウト核種である Cs-137、Sr-90、Pu-239 による預託実効線量評価結果。2010 年度結果に福島第一原子力発電所事故影響による I-131、Cs-134 寄与を含めた。
- トリチウム : 大気中トリチウムの吸入、水道水中トリチウムの飲用による預託実効線量評価結果の合計。1990 年頃までは核実験影響が支配的であった。2009 年度では、これらに海産物摂取による預託実効線量評価結果を加えた (表(4)参照)。
- 各地区における過去の施設寄与は、主として Co-60 によるものであり、その他は Mn-54、Co-58 によるものであった。一部の試料には I-131、Fe-59 があつた。

なお、線量評価に用いた「モニタリング指針」が示す摂取量モデル及び線量係数を以下に示す。

「環境放射線モニタリング指針」による摂取モデル (成人 1 人 1 日当たりの摂取量)

	呼吸	葉菜	牛乳	魚類	無脊椎類	海藻類	飲料水
成人	22.2 m ³	100 g	200 ml	200 g	20 g	40 g	2,650 ml

注) 穀類、肉・卵・その他の摂取量は記述なし。成人以外の乳児(3ヶ月児)・幼児(5才児)の年齢群の評価を行う場合は、「評価指針」の摂取量による。但し、線量係数も年齢群別のもを用いる必要があり、放射性ヨウ素はモニタリング指針の値を用いる。
なお、乳幼児の飲料水摂取量は平成10年11月までの旧「防災指針」に1ℓと既述されていたが、現在は記述はない。

線量評価の対象とした核種の「モニタリング指針」が示す実効線量係数
(mSv/Bq)

核種	吸入摂取	経口摂取
^3H	2.6×10^{-7} (エアロゾル)	4.2×10^{-8} (有機物)
	1.8×10^{-8} (水)	1.8×10^{-8} (水)
^{54}Mn	1.5×10^{-6}	7.1×10^{-7}
^{59}Fe	4.0×10^{-6}	1.8×10^{-6}
^{58}Co	2.1×10^{-6}	7.4×10^{-7}
^{60}Co	3.1×10^{-5}	3.4×10^{-6}
^{90}Sr	1.6×10^{-4}	2.8×10^{-5}
^{131}I	1.5×10^{-5} * 1	1.6×10^{-5} * 1
^{137}Cs	3.9×10^{-5}	1.3×10^{-5}
^{239}Pu	1.2×10^{-1}	2.5×10^{-4}

* 1 ヨウ素が体液から甲状腺へ達する割合を0.2として計算した値である。

5 参考資料

5. 1 平成22年度福井県環境放射能測定技術会議議事経過
5. 2 (1)各発電所の設備の概要、建設経過
(2)主要設備の改造および新設工事
5. 3 (1)原子炉廃止措置研究開発センター（ふげん）廃止措置作業状況
(2)高速増殖原型炉もんじゅの試験進捗状況
5. 4 各発電所の運転実績
5. 5 各発電所の発電停止状況
5. 6 各発電所の放射性廃棄物放出実績（気体廃棄物）
5. 7 各発電所の放射性廃棄物放出実績（液体廃棄物）
5. 8 各発電所の液体廃棄物中の核種存在比
5. 9 各発電所の年度別放射性廃棄物放出量
5. 10 緊急時モニタリングルートでの線量率調査

5. 1 福井県環境放射能測定技術会議議事経過

I. 定例会議

第208回 平成22年8月27日

場所：原子力環境監視センター

議題 (1) 平成22年度第1四半期の定期調査結果について

- ①第1期の線量率測定結果と過去の平均値との比較（各機関）
- ②空間線量率連続測定における降雨時以外の「 $M+3\sigma$ 」超過について（原電）
- ③敦賀地区 常宮B3の有意差検定結果について（原電）
- ④採取地点によるガンマ線核種分析結果の違いについて（監視センター）
- ⑤今期の核種分析結果において降下物からNa-22が、海底土、海産食品（魚類・貝類）からCs-137が過去3ヵ年の実績を超えて検出された事例について（監視センター）
- ⑥海水核種分析結果においてCs-137が過去3ヶ年の実績を越えて検出された事例について（関電）
- ⑦大飯地区・宮留（県テレメ観測局）における大気中水分および雨水中トリチウムの調査結果について（監視センター）
- ⑧大飯発電所周辺における海水中トリチウムの調査結果について（監視センター）
- ⑨敦賀地区「浦底（明神寮）」における雨水中トリチウム濃度の調査結果について（原電）
- ⑩美浜地区 海水トリチウムの結果について（関電）
- ⑪高浜地区 海水トリチウムの結果（4月）について（関電）
- ⑫高浜地区 海水トリチウムの結果（5月）について（関電）
- ⑬ふげん放水口付近の海水からのトリチウムの検出に伴う調査結果について（原子力機構）
- ⑭美浜発電所2号機 燃料リークに伴う放射性気体廃棄物の放出実績について（関電）

(2) 各発電所の運転・建設状況、放射性廃棄物放出状況

(3) 平成22年度第1四半期報告書の検討

(4) その他

- ①県テレメータ観測局の空間線量率計の更新について（監視センター）
- ②平成21年度高浜地区年間降下物に関する訂正について（監視センター）

第209回 平成22年11月26日

場所：(株)原子力安全システム研究所

議題 (1) 平成22年度第2四半期の定期調査結果

- ①第2期の線量率測定結果と過去の平均値との比較（各機関）
- ②空間線量率測定における降雨影響以外の「 $平均値+3\sigma$ 」オーバーについて（監視センター）
- ③空間線量率連続測定における降雨時以外の「 $M+3\sigma$ 」超過について（原電）
- ④今期の核種分析結果において指標植物、海産食品（貝類）からCs-137が過去3ヵ年の実績を超えて検出された事例について（監視センター）
- ⑤敦賀地区「立石A」における大気中水分トリチウムの採取不具合について（原子力機構）

(2) 各発電所の運転・建設状況、放射性廃棄物放出状況

(3) 平成22年度第2四半期報告書の検討

(4) その他

第210回 平成22年2月10日

場所：原子力環境監視センター

- 議題 (1)平成22年度の各機関の調査計画(案)について
(2)平成22年度調査計画書の検討

第211回 平成23年2月23日

場所：敦賀観光ホテル

議題 (1)平成22年度第3四半期の定期調査結果

- ①第3期の線量率測定結果と過去の平均値との比較(各機関)
- ②調査地点名称の変更(案)について(監視センター)
- ③山中Aにおける過去最大値(1時間値)の観測について(監視センター)
- ④空間線量率連続測定における最大値(1時間値)の観測について(関電)
- ⑤勝山A3の積算線量が平常値の範囲を超過した事例について(監視センター)
- ⑥今期の核種分析結果においてNa-22およびCs-137が過去3ヵ年の実績を超過して検出された事例について(監視センター)
- ⑦美浜地区大気中水分トリチウム結果(12月分)について(関電)
- ⑧美浜地区海水トリチウム結果(11月分)について(関電)
- ⑨敦賀地区「立石A」における大気中水分トリチウムの採水不具合について(原子力機構)

(2)各発電所の運転・建設状況、放射性廃棄物放出状況

(3)平成22年度第3四半期報告書の検討

(4)その他

- ①12月に発生した雷の制動放射によると考えられる線量率の上昇について(監視センター)
- ②五番B、今庄B、立石山頂B及び立石Bにおける空間線量率の一時的な上昇について(原電)
- ③美浜地区における空間線量率の一時的な上昇について(関電)
- ④空間線量率の一時的な上昇及び $M+3\sigma$ の超過について(原子力機構)

講演会 演題1「福井県の原子力安全行政と環境放射線モニタリングについて」

講師 寺川 和良 (原子力環境監視センター所長)

演題2「ICPRをめぐる最近の話題と現場への課題」

講師 米原 英典 氏 (放射線医学研究所)

第212回 平成23年5月29日

場所：福井県原子力環境監視センター

議題 (1)平成22年度第4四半期の定期調査結果

- ①第4期の線量率測定結果と過去の平均値との比較(各機関)
- ②空間線量率測定装置の更新について(監視センター)
- ③空間線量率連続測定における3ヶ月平均値平常値範囲の逸脱について(監視センター)
- ④今期の空間線量率において過去の変動範囲を下回った事例について(日本原電)
- ⑤空間線量率連続測定における今期の平均値が平常の変動幅を下回ったことについて(関西電力)
- ⑥空間線量率の3ヶ月平均値が平常値の範囲を下回った件について(原子力機構)
- ⑦「宮崎A3」と「越前市妙法寺町A」の積算線量が平常値の範囲を下回った事例について(監視センター)
- ⑧今期の積算線量において過去の変動範囲を下回った事例について(日本原電)
- ⑨核種分析結果においてI-131、Cs-137、Cs-134が過去3ヵ年の実績を超過して検出された事例について(監視センター)

- ⑩ 3月分の浮遊じんにおいて I-131、Cs-137 が検出された事例について（日本原電）
 - ⑪ 3月分の降下物において I-131、Cs-137、Cs-134 が検出された事例について（日本原電）
 - ⑫ 核種分析結果において今期、I-131 等が検出された事例について（関西電力）
 - ⑬ 浮遊じん及び降下物から ^{131}I が検出された件について（原子力機構）
 - ⑭ 海水の核種分析結果において Cs-137 が過去3ヶ年の実績を下回った事例について（日本原電）
 - ⑮ 美浜地区大気中水分トリチウムの結果(1月分)について（関西電力）
 - ⑯ 美浜地区海水トリチウムの結果(2月)について（関西電力）
 - ⑰ 大飯発電所1号機、2号機燃料リークに伴う放射性気体廃棄物の放出実績について（関西電力）
- (2) 各発電所の運転・建設状況、放射性廃棄物放出状況
- (3) 平成22年度第4四半期報告書の検討
- (4) その他
- ① 「山中A」等における積雪量減少期間のDBM通過率の上昇について（監視センター）
 - ② 「敦賀A」、「立石A」における空間線量率の一時的な上昇について（監視センター）
 - ③ 立石山頂B、猪ヶ池Bにおける空間線量率の一時的な上昇について（日本原電）

II. 小委員会

1. 年報検討小委員会 平成22年7月28日

場所：福井県原子力環境監視センター

議題 (1) 平成22年度放射化学分析結果の検討

(2) 平成22年度年報の検討

福井県環境放射能測定技術会議規程

(会の名称)

第1条 本会議は、福井県環境放射能測定技術会議と称する。

(目的)

第2条 本会議は、福井県の関係機関ならびに原子力施設設置者が県内の施設周辺で実施する環境放射線モニタリングについて技術的に検討し、環境放射能の状況を常時確認することを目的とする。

(所掌事務)

第3条 本会議は前条の目的を達成するため、次の事項を行う。

- 1 原子力施設の平常運転時における環境放射線モニタリング項目の調整
- 2 放射能測定の方法の検討および調査
- 3 環境放射線モニタリングの結果の評価
- 4 報告書の作成ならびに福井県原子力環境安全管理協議会への提出
- 5 その他環境放射線モニタリングに関する技術的事項

(構成)

第4条 本会議は次の機関の専門技術者をもって構成する。

福井県安全環境部原子力安全対策課 日本原子力発電株式会社
福井県原子力環境監視センター 関西電力株式会社
福井県水産試験場 独立行政法人日本原子力研究開発機構

本会議は必要に応じて専門機関の意見を求めることができる。

(議長および事務局)

第5条 本会議の議長は、福井県原子力環境監視センター所長をもってあてる。

本会議の事務局を、議長の属する機関に置く。

(会議の開催)

第6条 本会議は、四半期ごとに定例会議を、また構成員が必要を認めた場合はその都度会議を開催する。

(定例会議以外の会議)

第7条 本会議には、四半期ごとの定例会議以外に、必要に応じ、小委員会、幹事会、作業部会を置くことができる。

(報告書の作成)

第8条 本会議は、年度開始に先立ち調査計画書を、また環境放射線モニタリングの結果に関し、四半期および年度ごとに報告書を作成する。

(規程の改廃)

第9条 この規程は構成員の同意を得て改廃することができる。

(その他)

第10条 この規程に定めるもののほか、会議の運営に関して必要な事項は議長が会議にはかつて定める。

附則

この規程は、昭和44年2月12日から施行する。

附則

この規程は、昭和48年8月2日から施行する。

附則

この規程は、平成7年5月31日から施行する。

附則

この規程は、平成10年7月1日から施行する。

附則

この規程は、平成10年10月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成15年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成17年4月1日から施行する。

会議の出席者（平成22年度（2010年度））

議長	福井県原子力環境 監視センター	寺川 和良 前川 素一	日本原子力発電株式会社 敦賀発電所	松浦 豊 立松 篤 福田 正幸 橋本 拓也 谷口 和史
	原子力安全対策課	神戸 真暁 内園 岳志 有房 諒栄 富田 純平 黒田 祐志	発電管理室	
	福井県原子力環境 監視センター	徳山 秀樹 青木 靖 島田 秀志 河寄 正利 大森 靖子 西村 祐子	関西電力株式会社 環境モニタリングセンター 美浜発電所 大飯発電所 高浜発電所	中山 芳昌 谷口 豊 西谷 英樹 山崎 正敏 福田 和大 藤田 進 今村 啓介 勝見 敏伸
	福井分析管理室	長嶋 純一 大西 勝基 田賀 幹生 山田 人也 高橋 暁美 清水 健彦	日本原子力研究開発機構 安全品質推進部 環境監視課	圓尾 好宏 大久保浩一 奥山 慎一 国分 祐司 森田 聡 前川 嘉治
	福井県水産試験場	杉本 剛士 嶋田 雅弘	ふげん環境管理課 もんじゅ安全管理課	

5. 2 (1) 各発電所の設備の概要, 建設経過

		敦賀発電所		原子炉廃止措置研究 開発センター(ふげん)	高速増殖原型炉 (もんじゅ)
		1号機	2号機		
設備の概要	炉型	BWR	PWR	ATR	FBR
	定格電気出力(万kW)	35.7	116.0	16.5	28.0
	減速剤	軽水	軽水	重水	—
	冷却剤	〃	〃	軽水	ナトリウム
	燃料(材料)	低濃縮二酸化ウラン	低濃縮二酸化ウラン	混合酸化物燃料体	混合酸化物燃料体
	燃料装荷量(t)	約60	約89	39	約23 ^{*3}
	燃料集合体数	308	193	224	370 ^{*4}
	蒸気発生器数	—	4	—	6 ^{*5}
	復水器冷却水流量(t/秒)	21	83	11	15
建設経過	着工	1966. 4	1982. 4	1970. 12	1985. 10
	格納容器組立開始	1967. 2	1983. 4	1972. 8	1986. 7
	燃料装荷開始	69. 9. 20	86. 4. 17	78. 3. 15	1993. 10
	初臨界	69. 10. 3	86. 5. 28	78. 5. 9	94. 4. 5
	営業運転開始	70. 3. 14	87. 2. 17	79. 3. 20 ^{*2}	性能試験中
定格熱出力一定運転運用開始		03. 3. 14	02. 7. 15		

*1 低濃縮二酸化ウランも使用 *2 本格運転開始

*3 炉心燃料集合体約10t, ブランケット燃料集合体約13t

*4 炉心燃料集合体 198体、ブランケット燃料集合体 172体

*5 蒸発器 3基、過熱器 3基

*6 新型転換炉ふげん発電所は、2008年2月12日に廃止措置計画の認可を受け、原子炉廃止措置研究開発センター(ふげん)に改組した。

		美浜発電所		
		1号機	2号機	3号機
設備の概要	炉型	PWR	PWR	PWR
	定格電気出力(万kW)	34.0	50.0	82.6
	減速材	軽水	軽水	軽水
	冷却材	〃	〃	〃
	燃料(材料)	低濃縮二酸化ウラン	低濃縮二酸化ウラン	低濃縮二酸化ウラン
	燃料装荷量(t)	約40	約48	約71
	燃料集合体数	121	121	157
	蒸気発生器数	2	2	3
	復水器冷却水流量(t/秒)	21	36	51
建設経過	着工	1967. 8	1968. 12	1972. 7
	格納容器組立開始	1968. 11	1969. 1	1972. 12
	燃料装荷開始	70. 7. 4	72. 3. 6	75. 12. 11
	初臨界	70. 7. 29	72. 4. 10	76. 1. 28
	営業運転開始	70. 11. 28	72. 7. 25	76. 12. 1
定格熱出力一定運転運用開始		02. 11. 21	02. 7. 17	03. 6. 19

5. 2 (1) 各発電所の設備の概要, 建設経過 (つづき)

		大 飯 発 電 所			
		1号機	2号機	3号機	4号機
設備の概要	炉 型	PWR	PWR	PWR	PWR
	定格電気出力 (万 Kw)	117.5	117.5	118.0	118.0
	減 速 材	軽 水	軽 水	軽 水	軽 水
	冷 却 材	〃	〃	〃	〃
	燃 料 (材 料)	低濃縮二酸化ウラン	低濃縮二酸化ウラン	低濃縮二酸化ウラン	低濃縮二酸化ウラン
	燃料装荷量 (t)	約 89	約 89	約 89	約 89
	燃 料 集 合 体 数	193	193	193	193
	蒸 気 発 生 器 数	4	4	4	4
	復水器冷却水流量(t/秒)	71	71	81	81
建設経過	着 工	1972. 10	1972. 11	1987. 5	1987. 5
	格納容器組立開始	1973. 1	1973. 5	1988. 6	1989. 4
	燃 料 装 荷 開 始	77. 10. 14	78. 7. 28	91. 4. 1	92. 4. 13
	初 臨 界	77. 12. 2	78. 9. 14	91. 5. 17	92. 5. 28
	営 業 運 転 開 始	79. 3. 27	79. 12. 5	91. 12. 18	93. 2. 2
定格熱出力一定運転運用開始		03. 6. 4	02. 12. 18	03. 2. 25	02. 4. 16

		高 浜 発 電 所			
		1号機	2号機	3号機	4号機
設備の概要	炉 型	PWR	PWR	PWR	PWR
	定格電気出力(万 Kw)	82.6	82.6	87.0	87.0
	減 速 材	軽 水	軽 水	軽 水	軽 水
	冷 却 材	〃	〃	〃	〃
	燃 料 (材 料)	低濃縮二酸化ウラン	低濃縮二酸化ウラン	低濃縮二酸化ウラン	低濃縮二酸化ウラン
	燃料装荷量 (t)	約 71	約 71	約 72	約 72
	燃 料 集 合 体 数	157	157	157	157
	蒸 気 発 生 器 数	3	3	3	3
	復水器冷却水流量(t/秒)	51	51	63	63
建設経過	着 工	1970. 4	1971. 2	1980. 11	1980. 11
	格納容器組立開始	1970. 8	1971. 7	1981. 6	1981. 12
	燃 料 装 荷 開 始	74. 2. 2	74. 11. 15	84. 3. 1	84. 8. 31
	初 臨 界	74. 3. 14	74. 12. 20	84. 4. 17	84. 10. 11
	営 業 運 転 開 始	74. 11. 14	75. 11. 14	85. 1. 17	85. 6. 5
定格熱出力一定運転運用開始		03. 2. 15	02. 6. 6	02. 11. 6	03. 6. 17

5. 2 (2) 主要設備の改造および新設工事

(日本原電(株) 敦賀発電所)

設 備 名	概 要	使用開始 年 月 日
希ガスホールドアップ装置	希ガスホールドアップ装置（活性炭を充填した放射能減衰装置）を設置、気体廃棄物の低減化	1971. 11. 30
ランドリードレンフィルター	洗濯排水処理系に活性炭式フィルターを新設 液体廃棄物の低減化	1975. 9. 9
放射性廃棄物処理設備	電磁濾過器，超濾過器，蒸発濃縮器，アスファルト固化装置， 雑固体焼却炉，サイトバンカーを増設，廃棄物発生量の低減化， 廃棄物の減容および長期貯蔵対策	1977. 9. 20 全 設 備 使用開始
低圧タービングランドシール	低圧タービン軸シール蒸気を主蒸気から蒸気発生器蒸気に変更 気体廃棄物の低減化	1977. 11. 15
ランドリードレンフィルター	既設フィルターを撤去し，活性炭式フィルターを更新	1981. 12. 13
放射性液体廃棄物 放出ライン	敦賀発電所 1. 2 号の放射性液体廃棄物放出系の共用化に伴い 液体廃棄物放出を 2 号放水口に一元化	1996. 3. 14
ランドリードレンフィルター	既設フィルターを撤去し，活性炭式ロータリーフィルターを設 置	1996. 9. 1
雑固体減容処理設備	雑固体減容処理設備（プラズマ熔融システム採用）を設置し、 放射性雑固体廃棄物量の低減化	2005. 4. 28
原子炉容器上部ふた保管庫	敦賀発電所 2 号機原子炉容器上部ふたの取替に伴い、原子炉容 器上部ふた保管庫を設置し、旧原子炉容器上部ふた保管を保管	2007. 9. 15

(日本原子力研究開発機構 原子炉廃止措置研究開発センター)

設 備 名	概 要	運用開始 年 月 日
固体廃棄物貯蔵庫	雑固体廃棄物貯蔵庫の設置	1977. 3. 20
重水精製装置	高濃度劣化重水を再濃縮する装置の設置	1979. 5. 1
第 2 固体廃棄物貯蔵庫	増設	1985. 4. 1
重水精製装置 (II)	低濃度劣化重水を再濃縮する装置の設置	1986. 12. 20
廃液フィルター	プレコートタイプから中空糸膜フィルターに変更 二次廃棄物発生量の低減化	1989. 8. 24
ドライクリーニング装置	ドライクリーニング装置の容量増量。液体廃棄物の低減化	1989. 8. 24
廃棄物処理建屋	雑固体廃棄物焼却設備、廃樹脂貯蔵設備および収納建屋の設置	1989. 9. 22
放射線測定設備	モニタリングポストの 1 基増設	2002. 11. 29

5. 2 (2) 主要設備の改造および新設工事 (つづき)

(関西電力, 美浜・大飯・高浜発電所)

設備名	概要	運用開始年月日		
		美浜発電所	大飯発電所	高浜発電所
廃液蒸発処理装置	廃液蒸発処理装置を増設し、処理能力を強化	1974. 12. 18 (1, 2号共用)		
雑固体焼却設備	雑固体焼却設備を設置し、固体棄物量の低減化	1978. 10. 27 (1~3号共用)	1991. 12. 18 (1~4号共用)	1984. 8. 31 (1~4号共用)
アスファルト固化装置	アスファルト固化装置を設置し、固体棄物量の低減化	1978. 10. 27 (1~3号共用)	1982. 1. 19 (1, 2号共用)	1984. 9. 5 (1, 2号共用) 1985. 1. 17 (3, 4号共用)
洗濯排水処理設備	洗濯排水処理設備を設置し、液体棄物量を低減化 * : ドライクリーニング設備を撤去し、節水型水洗機を設置	1996. 5. 22 (1, 2号共用) 1997. 4. 16 (3号用)	1982. 1. 14 (1, 2号共用) *2009. 9. 18 (3, 4号共用)	1981. 7. 31 (1, 2号共用) 1985. 1. 17 (3, 4号共用)
液体廃棄物放出ライン	美浜 3号放射性液体廃棄物放出ラインの1, 2号機側への連絡配管設置	1984. 10. 25		
気体フィルタ圧縮用ベアラ	気体フィルタ圧縮用ベアラを設置し、固体棄物量の低減化	1987. 2. 27 (1~3号共用)	1991. 12. 18 (1~4号共用)	1985. 1. 17 (1~4号共用)
廃棄物庫	廃棄物庫を増設		1986. 9. 18 (C廃棄物庫) 1992. 11. 27 (C廃棄物庫2階部分)	1985. 1. 17 (D廃棄物庫)
ドライクリーニング装置	ドライクリーニング装置を設置し、液体棄物量の低減化		1987. 10. 1 (1, 2号共用)	1987. 6. 24 (1, 2号共用) 1985. 3. 10 (3, 4号共用)
廃樹脂貯蔵タンク	廃樹脂貯蔵タンクの増設	1988. 1. 22 (1, 2号共用)		1985. 12. 18 (1, 2号共用)
乾燥造粒装置	乾燥造粒装置を設置し、固体棄物量の低減化		1991. 12. 18 (3, 4号共用)	
液体廃棄物放出ライン	美浜 1, 2号機放射性液体廃棄物放出ラインを3号機からも放出可能なように改造	1993. 4. 19		
蒸気発生器保管庫	蒸気発生器の取り替えに伴い、蒸気発生器保管庫を設置し、旧蒸気発生器を保管	1993. 12. 15 (2号用) 1995. 5. 31 (1~3号共用)	1994. 4. 25 (1, 2号共用) 1996. 11. 20 (1, 2号共用)	1994. 1. 25 (1, 2号共用) 1995. 12. 25 (1, 2号共用)
廃樹脂処理装置	廃樹脂処理装置を設置し、固体棄物量の低減化	2001. 4. 9 (1~3号共用)	1994. 9. 27 (1, 2号共用)	2000. 3. 10 (1, 2号共用)
雑固体固型化装置	雑固体固型化装置を設置し、固体棄物を固型化。	2001. 4. 9 (1~3号共用)	1999. 11. 12 (1~4号共用)	2004. 12. 20 (1~4号共用)
低線量使用済樹脂排出配管	排出配管を設置し、低線量の使用済樹脂の焼却減容処理		2005. 3. 30 (1, 2号共用)	2005. 3. 25 (1, 2号共用) 2004. 6. 15 (3, 4号共用)

5. 3 (1)原子炉廃止措置研究開発センター（ふげん）廃止

措置作業状況

廃止措置作業状況（廃止措置以降）

区分	年月日	概要説明
廃止措置	2008年2月12日～	廃止措置計画及び保安規定の認可を受け、廃止措置作業を開始した。
	2009年2月16日～	カランドリアタンク及び重水冷却系のトリチウム除去を開始し、継続中である。
	2010年9月6日～ 2011年3月25日	復水器周辺機器等の解体撤去を実施し、終了した。
	2010年11月24日～	重水冷却系等の残留重水回収を開始し、継続中である。
	2010年12月1日～ 2011年3月11日	重水循環ランプ用熱交換器の放射性腐食生成物の除線を実施し終了した。
	2011年2月21日～	ポイズン供給系等のトリチウム除去を開始し、継続中である。
定期検査	2010年12月1日～ 2011年3月24日	第23回定期検査を実施し、終了した。

※「新型転換炉ふげん発電所」は、2003年3月29日に運転を終了し、2008年2月12日に廃止措置計画及び保安規定の認可を受け、「原子炉廃止措置研究開発センター」に改組した。

5. 3 (2)高速増殖原型炉もんじゅの試験進捗状況

試験進捗状況

区分	年月日	概要説明	進捗率(%)
—	2010年2月1日～ 2010年5月5日	2010年2月1日から、軌道に向けた準備として、定常的に行う確認や通常のプラントの監視をしていたが、2010年5月5日に終了した。	—
性能試験	2010年5月6日～	性能試験(40%出力プラント確認試験)の準備を開始し、継続中である。	10*
	2010年8月11日～	燃料交換作業を開始し、継続中である。(8月26日炉内中継装置落下のため、作業中断中)	
	2010年10月1日～	平成22・23年度設備点検を開始し、継続中である。 (1次系・2次系等)	
	2011年2月15日～	水・蒸気系設備機能確認試験を開始し、継続中である。	
	2011年2月21日～	屋外排気ダクト取り替え工事を開始し、継続中である。	
	2011年2月21日～	炉内中継装置引き抜き・復旧工事を開始し、継続中である。	

*本格運転開始までに実施される性能試験の試験項目数を考慮し算出したもの。
平成22年5月6日の性能試験再開以降の進捗率である。

5. 4 各発電所の運転実績（県内年間発電電力量総計 767.2 億 KWH）

敦賀発電所

2010年4月～2011年3月（年間）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
1号機	発電電力量	2.5	2.6	0.8	0.0	2.6	2.5	2.6	2.5	2.6	2.1	0.0	0.0	21.3
	最大電力	358	358	358	351	354	355	357	358	358	358	0	0	358
	稼働率	100	100	33.2	4.4	100	100	100	100	100	80.6	0.0	0.0	68.6
	発電日数	30	31	10	2	31	30	31	30	31	25	0	0	251
2号機	発電電力量	0.0	0.0	0.0	6.0	8.8	8.5	8.9	8.7	9.0	9.0	8.1	9.0	76.3
	最大電力	0	0	0	1208	1197	1196	1209	1217	1220	1221	1221	1220	1221
	稼働率	0.0	0.0	0.0	73.9	100	100	100	100	100	100	100	100	72.9
	発電日数	0	0	0	23	31	30	31	30	31	31	28	31	266

高速増殖原型炉もんじゅ

2010年4月～2011年3月（年間）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
もんじゅ	発電電力量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	最大電力	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	稼働率	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	発電日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

単位（発電電力量：10⁵MWH、最大電力：MW、稼働率：%、発電日数：日）

美浜発電所

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
1号機	発電電力量	2.5	2.6	2.5	2.5	2.4	2.2	2.5	1.9	0	0	0	0	19.1
	最大電力	354	353	350	344	335	336	343	346	0	0	0	0	354
	稼働率	100	100	100	100	100	100	100	78.1	0	0	0	0	65.1
	発電日数	30	31	30	31	31	30	31	31	24	0	0	0	238
2号機	発電電力量	1.9	0	0.0	3.5	2.2	0	0.4	3.6	3.8	3.8	3.4	3.8	26.5
	最大電力	510	0	103	495	486	0	500	510	510	510	510	509	510
	稼働率	55.3	0	1.0	100	62.7	0	20.0	100	100	100	100	100	61.5
	発電日数	18	0	1	31	20	0	7	30	31	31	28	31	228
3号機	発電電力量	6.2	6.5	6.2	6.4	6.3	6.1	6.4	6.2	6.5	6.5	5.8	6.5	75.6
	最大電力	868	869	868	863	853	861	866	870	870	870	870	869	870
	稼働率	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	発電日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365

大飯発電所

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
1号機	発電電力量	0	3.7	8.5	8.7	8.7	8.4	8.7	8.5	2.6	0	0	5.0	62.9
	最大電力	0	1185	1185	1178	1170	1172	1182	1187	1188	0	0	1186	1188
	稼働率	0	45.8	100	100	100	100	100	100	30.4	0	0	62.0	61.9
	発電日数	0	15	30	31	31	30	31	30	10	0	0	20	228
2号機	発電電力量	8.7	8.9	1.8	0	0	0	2.1	8.7	9.0	9.0	8.1	9.0	65.1
	最大電力	1207	1200	1203	0	0	0	1205	1206	1206	1207	1209	1209	1209
	稼働率	100	100	21.4	0	0	0	26.7	100	100	100	100	100	62.1
	発電日数	30	31	7	0	0	0	9	30	31	31	28	31	228
3号機	発電電力量	8.1	0	6.7	8.9	8.8	8.5	8.9	8.6	8.9	8.9	8.0	5.0	89.3
	最大電力	1198	0	1195	1195	1191	1193	1197	1198	1198	1198	1198	1198	1198
	稼働率	94.7	0	81.3	100	100	100	100	100	100	100	100	56.2	85.8
	発電日数	29	0	25	31	31	30	31	30	31	31	28	18	315
4号機	発電電力量	0	0.6	8.6	8.9	8.8	8.5	8.9	8.6	8.9	8.9	8.0	8.9	87.7
	最大電力	0	1192	1200	1199	1193	1194	1197	1198	1199	1198	1199	1199	1200
	稼働率	0	10.1	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	84.1
	発電日数	0	4	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	308

高浜発電所

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
1号機	発電電力量	6.3	6.5	6.2	6.4	6.3	6.1	6.4	6.3	6.5	1.9	0	0	58.9
	最大電力	870	870	869	865	859	860	870	872	873	872	0	0	873
	稼働率	100	100	100	100	100	100	100	100	100	30.4	0	0	77.9
	発電日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	10	0	0	285
2号機	発電電力量	6.3	6.3	1.7	0	0	0	6.1	6.3	6.5	6.5	5.9	6.5	52.0
	最大電力	871	871	871	0	0	0	871	873	874	875	875	875	875
	稼働率	100	100	28.1	0	0	0	97.7	100	100	100	100	100	68.7
	発電日数	30	31	9	0	0	0	31	30	31	31	28	31	252
3号機	発電電力量	6.7	6.9	6.6	6.8	6.8	6.6	2.8	0	1.2	6.9	6.3	6.9	64.4
	最大電力	927	927	927	923	917	919	923	0	929	933	933	933	933
	稼働率	100	100	100	100	100	100	41.0	0	20.0	100	100	100	80.0
	発電日数	30	31	30	31	31	30	13	0	7	31	28	31	293
4号機	発電電力量	0	1.1	6.6	6.8	6.7	6.5	6.8	6.6	6.9	6.9	6.2	6.9	68.1
	最大電力	0	923	923	923	916	917	923	923	924	923	923	925	925
	稼働率	0	22.6	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	85.2
	発電日数	0	8	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	312

(単位) 発電電力量：10⁵MWH，最大電力：MW，稼働率：%，発電日数：日

各発電所の発電停止状況

2010年04月～2011年03月 (年間)

施設名	項目	発電停止状況		その他	
		年月日	概要	年月日	概要
日本原電(株) 敦賀発電所	1号機	11. 1. 26～	第33回定期検査作業実施	10. 6. 10～ 10. 7. 31	湿分分離器ドレンタンク(A)からの漏えいに伴う原子炉手動停止
	2号機	10. 2. 21～ 10. 8. 6	第17回定期検査作業実施中	10. 7. 9 10. 8. 6	調整運転開始 第17回定期検査を終了し営業運転再開
関西電力(株) 美浜発電所	1号機	10. 11. 24～	第25回定期検査作業実施中		なし
	2号機	10. 3. 19～ 10. 4. 7 10. 4. 24～ 10. 6. 30	原子炉格納容器内での漏洩に伴う停止 一次冷却材中の放射能濃度上昇に伴う停止 (調査の結果、燃料集合体2体で漏洩を確認)	10. 6. 4 10. 6. 6	原子炉下部炉心構造物吊上げ 原子炉下部炉心構造物吊込み
		10. 8. 20～ 10. 10. 25	第26回定期検査作業実施	10. 10. 25～ 10. 11. 19～	調整運転開始 第26回定期検査を終了し、営業運転再開
	3号機	09. 12. 13～ 10. 3. 22	第24回定期検査作業実施	10. 3. 22～ 10. 4. 16～	調整運転開始 第24回定期検査を終了し、営業運転再開
関西電力(株) 大飯発電所	1号機	10. 2. 6～ 10. 5. 17	一次冷却材中の放射能濃度上昇に伴う停止		なし
		10. 12. 10～ 11. 3. 13	第24回定期検査作業実施	10. 12. 23 11. 1. 13 11. 3. 13～	原子炉下部炉心構造物吊上げ 原子炉下部炉心構造物吊込み 調整運転開始
	2号機	10. 6. 7～ 10. 10. 23	第23回定期検査作業実施	10. 6. 20 10. 6. 29 10. 10. 23～ 10. 11. 17～	原子炉下部炉心構造物吊上げ 原子炉下部炉心構造物吊込み 調整運転開始 第23回定期検査を終了し、営業運転再開
	3号機	10. 4. 29～ 10. 6. 6	燃料集合体取り替えに伴う計画停止		
		11. 3. 18～	第15回定期検査作業実施中		なし
4号機	10. 2. 7～ 10. 5. 28	第13回定期検査作業実施	10. 2. 18 10. 5. 5 10. 5. 28～ 10. 6. 23～	原子炉下部炉心構造物吊上げ 原子炉下部炉心構造物吊込み 調整運転開始 第13回定期検査を終了し、営業運転再開	

施設名	項目	発電停止状況		その他	
				年月日	概要
関西電力㈱ 高浜発電所	1号機	11. 1. 10～	第27回定期検査作業実施中		なし
	2号機	10. 6. 9～ 10. 10. 1	第26回定期検査作業実施	10. 6. 21～ 10. 9. 4 10. 10. 1～ 10. 10. 26～	原子炉下部炉心構造物吊上げ 原子炉下部炉心構造物吊込み 調整運転開始 第26回定期検査を終了し、営業 運転再開
	3号機	10. 10. 13～ 10. 12. 25	第20回定期検査作業実施	10. 12. 25～ 11. 1. 21～	調整運転開始 第20回定期検査を終了し、営業 運転再開
	4号機	10. 2. 4～ 10. 5. 10 10. 5. 12～ 10. 5. 27	第19回定期検査作業実施中 No. 2発電機がスクラ冷却水入口弁上部フランジからの漏洩に伴う発電停止	10. 5. 10～ 10. 6. 22～	調整運転開始 第19回定期検査を終了し、営業 運転再開

5. 6 各発電所の放射性廃棄物放出実績（気体廃棄物）

2010年4月～2011年3月

区分 施設	期 間	気体廃棄物（希ガス等）		ヨウ素-131		粒子状物質		トリチウム
		平均濃度 Bq/cm ³	放出量 Bq	平均濃度 Bq/cm ³	放出量 Bq	平均濃度 Bq/cm ³	放出量 Bq	放出量 Bq
敦賀発電所 1号機	4月	—	—	—	—	—	—	3.9E+09
	5月	—	—	—	—	—	—	4.8E+09
	6月	—	—	—	—	—	—	5.8E+09
	7月	—	—	—	—	—	—	5.9E+09
	8月	—	—	—	—	—	—	5.3E+09
	9月	—	—	—	—	—	—	5.9E+09
	10月	—	—	—	—	—	—	4.5E+09
	11月	—	—	—	—	—	—	3.7E+09
	12月	—	—	—	—	—	—	3.6E+09
	1月	—	—	—	—	—	—	5.0E+09
	2月	—	—	—	—	—	—	8.9E+09
	3月	—	—	—	—	—	—	8.4E+09
	年 間	—	—	—	—	—	—	6.6E+10
敦賀発電所 2号機	4月	—	—	—	—	—	—	5.5E+11
	5月	—	—	—	—	—	—	4.6E+11
	6月	—	—	—	—	—	—	4.0E+11
	7月	—	—	—	—	—	—	3.3E+11
	8月	—	—	—	—	—	—	4.0E+11
	9月	—	—	—	—	—	—	3.4E+11
	10月	—	—	—	—	—	—	2.6E+11
	11月	—	—	—	—	—	—	2.0E+11
	12月	—	—	—	—	—	—	1.7E+11
	1月	—	—	—	—	—	—	1.5E+11
	2月	—	—	—	—	—	—	6.7E+10
	3月	—	—	—	—	—	—	6.3E+10
	年 間	—	—	—	—	—	—	3.4E+12
ふげん	4月	—	—	—	—	—	—	4.5E+09
	5月	—	—	—	—	—	—	9.1E+09
	6月	—	—	—	—	—	—	1.4E+10
	7月	—	—	—	—	—	—	1.3E+10
	8月	—	—	—	—	—	—	1.3E+10
	9月	—	—	—	—	—	—	1.2E+10
	10月	—	—	—	—	—	—	1.1E+10
	11月	—	—	—	—	—	—	8.1E+09
	12月	—	—	—	—	—	—	1.1E+10
	1月	—	—	—	—	—	—	3.4E+09
	2月	—	—	—	—	—	—	5.2E+09
	3月	—	—	—	—	—	—	3.4E+09
	年 間	—	—	—	—	—	—	1.1E+11

(注) 1.0E-01は 1.0×10^{-1} のことである。—は検出限界値未満であることを示す。

敦賀発電所1号機の気体廃棄物放出量については、焼却炉排気筒からの放出も含まれている。
 敦賀発電所2号機の気体廃棄物放出量については、雑固体減容処理建屋排気口からの放出も含まれている。
 ふげんの気体廃棄物放出量については、重水精製施設からの放出も含まれている。
 各ユニットで複数の排気筒がある場合の平均濃度は、各排気筒の放出量(Bq)の和を排気量(cm³)の和で除して算出している。

5. 6 各発電所の放射性廃棄物放出実績（気体廃棄物）

2010年4月～2011年3月

区分 施設	期 間	気体廃棄物（希ガス等）		ヨウ素-131		粒子状物質		トリチウム
		平均濃度 Bq/cm ³	放出量 Bq	平均濃度 Bq/cm ³	放出量 Bq	平均濃度 Bq/cm ³	放出量 Bq	放出量 Bq
高速増殖原型 炉 もんじゅ	4 月	—	—	—	—	—	—	—
	5 月	—	—	—	—	—	—	—
	6 月	—	—	—	—	—	—	—
	7 月	—	—	—	—	—	—	—
	8 月	—	—	—	—	—	—	—
	9 月	—	—	—	—	—	—	—
	10月	—	—	—	—	—	—	7.4E+08
	11月	—	—	—	—	—	—	7.4E+06
	12月	—	—	—	—	—	—	—
	1 月	—	—	—	—	—	—	—
	2 月	—	—	—	—	—	—	2.4E+08
	3 月	—	—	3.0E-10*	9.8E+04*	—	—	1.1E+08
	年 間	—	—	1.9E-11*	9.8E+04*	—	—	1.1E+09
美浜発電所 1号機	4 月	—	—	—	—	—	—	1.7E+11
	5 月	1.1E-06	1.8E+08	—	—	—	—	1.8E+11
	6 月	1.1E-06	1.8E+08	—	—	—	—	1.7E+11
	7 月	—	—	—	—	—	—	1.3E+11
	8 月	—	—	—	—	—	—	1.5E+11
	9 月	2.2E-06	3.5E+08	—	—	—	—	2.1E+11
	10月	2.3E-06	3.7E+08	—	—	—	—	1.6E+11
	11月	3.0E-06	5.0E+08	—	—	—	—	2.4E+11
	12月	3.9E-06	7.3E+08	6.3E-10	1.2E+05	—	—	5.8E+11
	1 月	—	—	—	—	—	—	3.0E+11
	2 月	5.4E-06	9.1E+08	—	—	—	—	2.9E+11
	3 月	—	—	—	—	—	—	2.8E+11
	年 間	1.6E-06	3.2E+09	5.9E-11	1.2E+05	—	—	2.9E+12
美浜発電所 2号機	4 月	7.1E-06	9.4E+08	—	—	—	—	1.6E+11
	5 月	6.9E-05	1.0E+10	—	—	—	—	3.3E+11
	6 月	1.4E-04	2.0E+10	—	—	—	—	4.8E+11
	7 月	—	—	—	—	—	—	3.5E+11
	8 月	1.4E-05	2.1E+09	—	—	—	—	4.9E+11
	9 月	—	—	—	—	—	—	6.0E+11
	10月	1.4E-08	2.1E+06	—	—	—	—	3.8E+11
	11月	1.7E-06	2.2E+08	—	—	—	—	3.7E+11
	12月	1.5E-06	2.1E+08	—	—	—	—	3.2E+11
	1 月	1.5E-06	2.0E+08	—	—	—	—	2.0E+11
	2 月	1.6E-06	1.9E+08	—	—	—	—	1.5E+11
	3 月	—	—	—	—	—	—	1.3E+11
	年 間	2.0E-05	3.4E+10	—	—	—	—	4.0E+12

(注) 1.0E-01は1.0×10⁻¹のことである。—は検出限界値未満であることを示す。

美浜、大飯および高浜発電所の気体廃棄物には、それぞれの発電所の固体廃棄物処理施設からの放出量は、加算されていない。
各ユニットで複数の排気筒がある場合の平均濃度は、各排気筒の放出量(Bq)の和を排気量(cm³)の和で除して算出している。

* 当該期間においてヨウ素が放出されるような操作を行っていないことから、各所に起因したものではなく福島第一原子力発電所による影響と推測される。

5. 6 各発電所の放射性廃棄物放出実績（気体廃棄物）

2010年4月～2011年3月

区分 施設	期 間	気体廃棄物（希ガス等）		ヨウ素-131		粒子状物質		トリチウム
		平均濃度 Bq/cm ³	放出量 Bq	平均濃度 Bq/cm ³	放出量 Bq	平均濃度 Bq/cm ³	放出量 Bq	放出量 Bq
美浜発電所 3号機	4月	2.5E-07	4.9E+07	—	—	—	—	1.3E+11
	5月	—	—	—	—	—	—	1.3E+11
	6月	3.7E-07	7.3E+07	—	—	—	—	1.3E+11
	7月	—	—	—	—	—	—	1.9E+11
	8月	1.3E-06	2.6E+08	—	—	—	—	2.1E+11
	9月	—	—	—	—	—	—	2.1E+11
	10月	3.8E-07	7.7E+07	—	—	—	—	2.0E+11
	11月	2.7E-07	5.3E+07	—	—	—	—	2.1E+11
	12月	4.4E-07	8.8E+07	—	—	—	—	1.6E+11
	1月	1.6E-07	3.2E+07	—	—	—	—	9.9E+10
	2月	5.3E-07	9.5E+07	—	—	—	—	8.4E+10
	3月	1.6E-07	3.2E+07	—	—	—	—	8.5E+10
	年 間	3.2E-07	7.6E+08	—	—	—	—	1.8E+12
	大飯発電所 1号機	4月	1.2E-03	2.5E+11	—	—	—	—
5月		4.9E-04	9.3E+10	—	—	—	—	4.8E+11
6月		6.2E-04	1.0E+11	—	—	—	—	6.5E+11
7月		6.0E-04	1.0E+11	—	—	—	—	1.1E+12
8月		2.5E-04	4.3E+10	—	—	—	—	1.3E+12
9月		2.1E-04	3.4E+10	—	—	—	—	1.1E+12
10月		—	—	—	—	—	—	5.8E+11
11月		1.7E-04	2.8E+10	—	—	—	—	4.2E+11
12月		3.7E-04	7.3E+10	—	—	—	—	1.3E+12
1月		5.1E-04	1.0E+11	—	—	—	—	9.8E+11
2月		1.9E-04	3.0E+10	—	—	—	—	9.8E+11
3月		2.0E-04	3.5E+10	—	—	—	—	3.0E+11
年 間		4.2E-04	9.0E+11	—	—	—	—	1.0E+13
大飯発電所 2号機		4月	—	—	—	—	—	—
	5月	—	—	—	—	—	—	8.5E+09
	6月	—	—	—	—	—	—	3.6E+11
	7月	—	—	—	—	—	—	9.8E+10
	8月	—	—	—	—	—	—	5.3E+10
	9月	—	—	—	—	—	—	7.0E+11
	10月	—	—	—	—	—	—	1.6E+11
	11月	—	—	—	—	—	—	8.0E+09
	12月	—	—	—	—	—	—	1.4E+10
	1月	1.3E-06	1.7E+08	—	—	—	—	1.7E+10
	2月	—	—	—	—	—	—	4.2E+10
	3月	—	—	—	—	—	—	7.5E+09
	年 間	1.0E-07	1.7E+08	—	—	—	—	1.5E+12

(注) 1.0E-01は 1.0×10^{-1} のことである。—は検出限界値未満であることを示す。

美浜、大飯および高浜発電所の気体廃棄物には、それぞれの発電所の固体廃棄物処理施設からの放出量は、加算されていない。
各ユニットで複数の排気筒がある場合の平均濃度は、各排気筒の放出量(Bq)の和を排気量(cm³)の和で除して算出している。

5. 6 各発電所の放射性廃棄物放出実績（気体廃棄物）

2010年4月～2011年3月

区分 施設	期 間	気体廃棄物（希ガス等）		ヨウ素-131		粒子状物質		トリチウム
		平均濃度 Bq/cm ³	放出量 Bq	平均濃度 Bq/cm ³	放出量 Bq	平均濃度 Bq/cm ³	放出量 Bq	放出量 Bq
大飯発電所 3号機	4月	—	—	—	—	—	—	7.4E+10
	5月	—	—	—	—	—	—	2.3E+11
	6月	—	—	—	—	—	—	2.0E+11
	7月	—	—	—	—	—	—	2.5E+11
	8月	—	—	—	—	—	—	2.7E+11
	9月	—	—	—	—	—	—	2.7E+11
	10月	—	—	—	—	—	—	2.1E+11
	11月	—	—	—	—	—	—	1.7E+11
	12月	9.0E-07	3.1E+08	—	—	—	—	1.4E+11
	1月	—	—	—	—	—	—	9.5E+10
	2月	—	—	—	—	—	—	8.9E+10
	3月	—	—	3.6E-10*	1.4E+05*	—	—	1.3E+11
	年間	7.7E-08	3.1E+08	3.3E-11*	1.4E+05*	—	—	2.1E+12
	大飯発電所 4号機	4月	—	—	—	—	—	—
5月		—	—	—	—	—	—	1.9E+11
6月		—	—	—	—	—	—	1.8E+11
7月		—	—	—	—	—	—	2.1E+11
8月		—	—	—	—	—	—	2.5E+11
9月		—	—	—	—	—	—	2.5E+11
10月		—	—	—	—	—	—	1.8E+11
11月		—	—	—	—	—	—	1.4E+11
12月		—	—	—	—	—	—	1.3E+11
1月		—	—	—	—	—	—	9.1E+10
2月		—	—	—	—	—	—	8.8E+10
3月		—	—	4.6E-10*	1.3E+05*	—	—	1.4E+11
年間		—	—	3.8E-11*	1.3E+05*	—	—	2.1E+12
高浜発電所 1号機		4月	1.8E-06	2.8E+08	—	—	—	—
	5月	4.8E-07	7.9E+07	—	—	—	—	1.9E+11
	6月	4.5E-06	7.2E+08	—	—	—	—	2.1E+11
	7月	2.0E-06	3.2E+08	—	—	—	—	2.4E+11
	8月	1.8E-06	2.9E+08	—	—	—	—	2.7E+11
	9月	2.4E-06	3.8E+08	—	—	—	—	3.1E+11
	10月	3.3E-06	5.4E+08	—	—	—	—	1.7E+11
	11月	4.7E-06	7.5E+08	—	—	—	—	1.2E+11
	12月	2.1E-05	3.4E+09	—	—	—	—	1.2E+11
	1月	2.3E-06	5.2E+08	—	—	—	—	3.0E+11
	2月	—	—	—	—	—	—	2.5E+11
	3月	—	—	—	—	—	—	4.1E+11
	年間	3.4E-06	7.3E+09	—	—	—	—	2.7E+12

(注) 1.0E-01は 1.0×10^{-1} のことである。—は検出限界値未満であることを示す。

美浜、大飯および高浜発電所の気体廃棄物には、それぞれの発電所の固体廃棄物処理施設からの放出量は、加算されていない。

各ユニットで複数の排気筒がある場合の平均濃度は、各排気筒の放出量(Bq)の和を排気量(cm³)の和で除して算出している。

* 当該期間においてヨウ素が放出されるような操作を行っていないことから、各所に起因したものではなく福島第一原子力発電所による影響と推測される。

5. 6 各発電所の放射性廃棄物放出実績（気体廃棄物）

2010年4月～2011年3月

区分 施設	期 間	気体廃棄物（希ガス等）		ヨウ素-131		粒子状物質		トリチウム
		平均濃度 Bq/cm ³	放出量 Bq	平均濃度 Bq/cm ³	放出量 Bq	平均濃度 Bq/cm ³	放出量 Bq	放出量 Bq
高浜発電所 2号機	4月	3.1E-07	3.2E+07	—	—	—	—	1.2E+11
	5月	3.7E-06	4.0E+08	—	—	—	—	1.4E+11
	6月	5.9E-06	9.6E+08	—	—	—	—	4.3E+11
	7月	—	—	—	—	—	—	6.7E+11
	8月	—	—	—	—	—	—	6.9E+11
	9月	1.8E-07	2.9E+07	—	—	—	—	5.6E+11
	10月	4.8E-07	5.2E+07	—	—	—	—	3.7E+11
	11月	4.1E-07	4.3E+07	—	—	—	—	2.6E+11
	12月	8.2E-07	8.9E+07	—	—	—	—	2.0E+11
	1月	6.9E-07	7.5E+07	—	—	—	—	1.5E+11
	2月	3.2E-07	3.1E+07	—	—	—	—	1.2E+11
	3月	2.2E-06	2.4E+08	—	—	—	—	1.3E+11
	年 間	1.3E-06	2.0E+09	—	—	—	—	3.8E+12
高浜発電所 3号機	4月	—	—	—	—	—	—	8.0E+10
	5月	—	—	—	—	—	—	9.8E+10
	6月	—	—	—	—	—	—	8.7E+10
	7月	—	—	—	—	—	—	1.3E+11
	8月	—	—	—	—	—	—	1.9E+11
	9月	—	—	—	—	—	—	2.6E+11
	10月	—	—	—	—	—	—	4.4E+11
	11月	—	—	—	—	—	—	4.1E+11
	12月	1.0E-06	3.4E+08	—	—	—	—	3.6E+11
	1月	—	—	—	—	—	—	1.2E+11
	2月	—	—	—	—	—	—	8.0E+10
	3月	—	—	—	—	—	—	8.5E+10
	年 間	9.9E-08	3.4E+08	—	—	—	—	2.3E+12
高浜発電所 4号機	4月	—	—	—	—	—	—	2.2E+11
	5月	—	—	—	—	—	—	1.8E+11
	6月	—	—	—	—	—	—	1.6E+11
	7月	—	—	—	—	—	—	1.9E+11
	8月	—	—	—	—	—	—	2.3E+11
	9月	—	—	—	—	—	—	2.9E+11
	10月	—	—	—	—	—	—	2.2E+11
	11月	—	—	—	—	—	—	1.8E+11
	12月	—	—	—	—	—	—	1.4E+11
	1月	—	—	—	—	—	—	9.4E+10
	2月	—	—	—	—	—	—	9.1E+10
	3月	—	—	—	—	—	—	6.8E+10
	年 間	—	—	—	—	—	—	2.1E+12

(注) 1.0E-01は 1.0×10^{-1} のことである。—は検出限界値未満であることを示す。

美浜、大飯および高浜発電所の気体廃棄物には、それぞれの発電所の固体廃棄物処理施設からの放出量は、加算されていない。
各ユニットで複数の排気筒がある場合の平均濃度は、各排気筒の放出量(Bq)の和を排気量(cm³)の和で除して算出している。

5. 7 各発電所の放射性廃棄物放出実績（液体廃棄物）

2010年4月～2011年3月

区分 施設	期 間	トリチウムを除く液体廃棄物		トリチウム（液体）	
		平均濃度 Bq/cm ³	放出量 Bq	平均濃度 Bq/cm ³	放出量 Bq
敦賀発電所	4 月	—	—	1.6E+00	6.7E+12
	5 月	—	—	5.8E-02	2.5E+11
	6 月	—	—	7.3E-03	6.3E+11
	7 月	—	—	2.5E-03	5.4E+11
	8 月	—	—	1.3E-03	2.8E+11
	9 月	—	—	1.2E-03	2.5E+11
	10月	—	—	1.3E-03	2.8E+11
	11月	—	—	7.2E-04	1.6E+11
	12月	—	—	3.5E-03	7.8E+11
	1 月	—	—	2.6E-03	5.8E+11
	2 月	—	—	1.6E-03	3.2E+11
	3 月	—	—	4.8E-03	1.1E+12
	年 間	—	—	5.8E-03	1.2E+13
	ふげん	4 月	—	—	1.7E-02
5 月		—	—	2.7E-02	5.4E+10
6 月		—	—	4.1E-02	9.8E+10
7 月		—	—	4.2E-02	1.0E+11
8 月		—	—	5.1E-02	1.2E+11
9 月		—	—	5.9E-02	1.4E+11
10月		—	—	2.9E-02	7.1E+10
11月		—	—	3.3E-02	7.9E+10
12月		—	—	2.2E-02	3.8E+10
1 月		—	—	2.3E-04	2.9E+08
2 月		—	—	1.3E-02	2.2E+10
3 月		—	—	4.5E-02	1.1E+11
年 間		—	—	3.4E-02	8.7E+11
高速増殖原型 炉 もんじゅ		4 月	—	—	—
	5 月	—	—	—	—
	6 月	—	—	—	—
	7 月	—	—	—	—
	8 月	—	—	—	—
	9 月	—	—	—	—
	10月	—	—	2.9E-05	7.0E+07
	11月	—	—	2.2E-05	4.1E+07
	12月	—	—	1.5E-06	2.9E+06
	1 月	—	—	6.0E-06	2.2E+07
	2 月	—	—	4.7E-07	8.8E+06
	3 月	—	—	6.2E-08	1.9E+06
	年 間	—	—	1.8E-06	1.5E+08

(注) 加圧水型発電所のトリチウムは、2次系から放出されたものを含めて集計している。

敦賀発電所の液体廃棄物放出量については、雑固体減容処理設備からの放出も含まれている。
ふげんの放射性廃棄物実績については、重水精製施設からの放出量も含めて記載した。

5. 7 各発電所の放射性廃棄物放出実績（液体廃棄物）

2010年4月～2011年3月

区分 施設	期 間	トリチウムを除く液体廃棄物		トリチウム（液体）	
		平均濃度 Bq/cm ³	放出量 Bq	平均濃度 Bq/cm ³	放出量 Bq
美浜発電所 1, 2号機	4 月	—	—	4.3E-03	6.6E+11
	5 月	—	—	5.6E-03	8.9E+11
	6 月	—	—	3.7E-03	5.6E+11
	7 月	—	—	5.3E-03	8.5E+11
	8 月	—	—	4.5E-03	5.9E+11
	9 月	—	—	2.2E-02	1.3E+12
	10月	—	—	3.1E-03	3.8E+11
	11月	—	—	3.6E-03	5.2E+11
	12月	—	—	4.2E-03	4.4E+11
	1 月	—	—	2.5E-03	2.5E+11
	2 月	—	—	4.7E-03	4.4E+11
	3 月	—	—	5.5E-03	6.7E+11
	年 間	—	—	5.0E-03	7.6E+12
	美浜発電所 3号機	4 月	—	—	3.1E-03
5 月		—	—	3.1E-03	4.3E+11
6 月		—	—	6.9E-03	9.5E+11
7 月		—	—	4.8E-03	7.0E+11
8 月		—	—	3.9E-03	5.6E+11
9 月		—	—	2.6E-03	3.7E+11
10月		—	—	2.5E-03	3.5E+11
11月		—	—	2.0E-03	2.8E+11
12月		—	—	1.5E-03	2.1E+11
1 月		—	—	3.0E-03	4.3E+11
2 月		—	—	3.5E-03	4.4E+11
3 月		—	—	3.3E-03	4.6E+11
年 間		—	—	3.4E-03	5.6E+12
大飯発電所 1, 2号機		4 月	—	—	8.2E-03
	5 月	—	—	4.2E-03	1.7E+12
	6 月	—	—	1.5E-02	3.9E+12
	7 月	—	—	1.7E-02	3.6E+12
	8 月	—	—	6.8E-03	1.5E+12
	9 月	—	—	4.7E-03	1.7E+12
	10月	—	—	3.4E-03	1.4E+12
	11月	—	—	9.4E-03	3.8E+12
	12月	—	—	1.3E-02	3.7E+12
	1 月	—	—	8.1E-03	1.7E+12
	2 月	—	—	7.5E-03	1.5E+12
	3 月	—	—	2.7E-03	1.1E+12
	年 間	—	—	7.6E-03	2.9E+13

(注) 加圧水型発電所のトリチウムは、2次系から放出されたものを含めて集計している。

5. 7 各発電所の放射性廃棄物放出実績（液体廃棄物）

2010年4月～2011年3月

区分 施設	期 間	トリチウムを除く液体廃棄物		トリチウム（液体）	
		平均濃度 Bq/cm ³	放出量 Bq	平均濃度 Bq/cm ³	放出量 Bq
大飯発電所 3, 4号機	4 月	—	—	2.5E-03	5.3E+11
	5 月	—	—	1.9E-02	6.0E+12
	6 月	—	—	5.9E-03	2.5E+12
	7 月	—	—	6.8E-04	3.1E+11
	8 月	—	—	5.9E-04	2.7E+11
	9 月	—	—	2.4E-03	1.1E+12
	10月	—	—	4.8E-03	2.2E+12
	11月	—	—	—	—
	12月	—	—	3.2E-04	1.4E+11
	1 月	—	—	2.7E-03	1.2E+12
	2 月	—	—	8.8E-03	3.5E+12
	3 月	—	—	2.6E-02	9.9E+12
	年 間	—	—	5.7E-03	2.8E+13
	高浜発電所 1, 2号機	4 月	—	—	1.7E-03
5 月		—	—	2.1E-02	6.0E+12
6 月		—	—	3.2E-02	6.0E+12
7 月		—	—	2.1E-02	3.1E+12
8 月		—	—	1.1E-02	1.6E+12
9 月		—	—	1.1E-02	2.5E+12
10月		—	—	1.4E-02	4.2E+12
11月		—	—	7.1E-03	2.0E+12
12月		—	—	8.2E-03	2.3E+12
1 月		—	—	5.5E-03	1.1E+12
2 月		—	—	1.8E-02	2.3E+12
3 月		—	—	1.5E-02	2.1E+12
年 間		—	—	1.3E-02	3.4E+13
高浜発電所 3, 4号機		4 月	—	—	1.5E-02
	5 月	—	—	9.6E-03	2.9E+12
	6 月	—	—	7.7E-03	2.5E+12
	7 月	—	—	8.3E-03	2.8E+12
	8 月	—	—	5.7E-03	1.9E+12
	9 月	—	—	9.0E-03	2.9E+12
	10月	—	—	1.6E-02	4.2E+12
	11月	—	—	2.3E-02	3.9E+12
	12月	—	—	5.0E-03	1.5E+12
	1 月	—	—	3.8E-04	1.2E+11
	2 月	—	—	1.9E-03	5.6E+11
	3 月	—	—	1.3E-02	4.0E+12
	年 間	—	—	8.8E-03	3.1E+13

(注) 加圧水型発電所のトリチウムは、2次系から放出されたものを含めて集計している。

5. 8 各発電所の液体廃棄物中の核種存在比

2010年4月～2011年3月

単位：%

核種 施設	期 間	²² Na	⁵¹ Cr	⁵⁴ Mn	⁵⁹ Fe	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	その他
敦賀発電所	4 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	5 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	6 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	7 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	8 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	9 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	10月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	11月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	12月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	1 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	3 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	年 間	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ふげん	4 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	5 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	6 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	7 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	8 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	9 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	10月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	11月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	12月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	1 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	3 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	年 間	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高速増殖原型炉 もんじゅ	4 月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	5 月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	6 月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	7 月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	8 月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	9 月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	10月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	11月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	12月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	1 月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2 月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	3 月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	年 間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

/は対象外であることを示す。

5. 8 各発電所の液体廃棄物中の核種存在比

2010年4月～2011年3月

単位：%

核種 施設	期 間	²² Na	⁵¹ Cr	⁵⁴ Mn	⁵⁹ Fe	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	その他
美浜発電所 1, 2号機	4 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	5 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	6 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	7 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	8 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	9 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	10月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	11月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	12月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	1 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	3 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	年 間	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
美浜発電所 3号機※	4 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	5 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	6 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	7 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	8 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	9 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	10月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	11月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	12月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	1 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	3 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	年 間	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大飯発電所 1, 2号機	4 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	5 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	6 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	7 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	8 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	9 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	10月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	11月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	12月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	1 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	3 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	年 間	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-

/は対象外であることを示す。

5. 8 各発電所の液体廃棄物中の核種存在比

2010年4月～2011年3月

単位：%

核種 施設	期 間	²² Na	⁵¹ Cr	⁵⁴ Mn	⁵⁹ Fe	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	その他
大飯発電所 3, 4号機	4 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	5 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	6 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	7 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	8 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	9 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	10月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	11月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	12月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	1 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	3 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	年 間	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高浜発電所 1, 2号機	4 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	5 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	6 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	7 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	8 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	9 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	10月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	11月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	12月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	1 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	3 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	年 間	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高浜発電所 3, 4号機	4 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	5 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	6 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	7 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	8 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	9 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	10月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	11月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	12月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	1 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	3 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	年 間	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-

/は対象外であることを示す。

(液体廃棄物中のストロンチウム-89、90)

2010年4月～2011年3月

区分 施設		ストロンチウム-89		ストロンチウム-90	
		平均濃度 (Bq/cm ³)	放 出 量 (Bq)	平均濃度 (Bq/cm ³)	放 出 量 (Bq)
敦賀発電所	4～6月	—	—	—	—
	7～9月	—	—	—	—
	10～12月	—	—	—	—
	1～3月	—	—	—	—
ふげん	4～6月	—	—	—	—
	7～9月	—	—	—	—
	10～12月	—	—	—	—
	1～3月	—	—	—	—
高速増殖 原型炉 もんじゅ	4～6月	—	—	—	—
	7～9月	—	—	—	—
	10～12月	—	—	—	—
	1～3月	—	—	—	—
美浜発電所 1・2号機	4～6月	—	—	—	—
	7～9月	—	—	—	—
	10～12月	—	—	—	—
	1～3月	—	—	—	—
美浜発電所 3号機	4～6月	—	—	—	—
	7～9月	—	—	—	—
	10～12月	—	—	—	—
	1～3月	—	—	—	—
大飯発電所 1・2号機	4～6月	—	—	—	—
	7～9月	—	—	—	—
	10～12月	—	—	—	—
	1～3月	—	—	—	—
大飯発電所 3・4号機	4～6月	—	—	—	—
	7～9月	—	—	—	—
	10～12月	—	—	—	—
	1～3月	—	—	—	—
高浜発電所 1・2号機	4～6月	—	—	—	—
	7～9月	—	—	—	—
	10～12月	—	—	—	—
	1～3月	—	—	—	—
高浜発電所 3・4号機	4～6月	—	—	—	—
	7～9月	—	—	—	—
	10～12月	—	—	—	—
	1～3月	—	—	—	—

5. 9 各発電所の年度別放射性廃棄物放出量（気体廃棄物）

（単位：Bq／年）

年度	気体廃棄物（希ガス）					
	敦賀 発電所	ふげん	もんじゅ	美浜 発電所	大飯 発電所	高浜 発電所
69	6.3×10^{13}					
70	4.8×10^{15}			3.3×10^{13}		
71	1.6×10^{15}			5.2×10^{13}		
72	1.8×10^{14}			3.3×10^{13}		
73	1.9×10^{14}			3.1×10^{13}		
74	2.1×10^{14}			1.5×10^{13}		3.6×10^{12}
75	4.4×10^{13}			1.1×10^{13}		7.8×10^{12}
76	6.7×10^{13}			4.9×10^{13}		7.6×10^{12}
77	7.4×10^{12}			1.5×10^{13}	1.1×10^{12}	5.6×10^{12}
78	2.0×10^{13}	3.1×10^{10}		5.5×10^{12}	9.5×10^{12}	5.1×10^{12}
79	5.6×10^{11}	8.9×10^{10}		2.1×10^{12}	5.0×10^{12}	5.3×10^{12}
80	1.9×10^{10}	4.1×10^{11}		3.0×10^{13}	1.4×10^{12}	7.7×10^{11}
81	1.4×10^{11}	2.2×10^{10}		3.1×10^{12}	2.7×10^{12}	9.6×10^{11}
82	2.1×10^{11}	9.6×10^{10}		1.1×10^{12}	2.2×10^{12}	2.9×10^{12}
83	4.7×10^{10}	2.4×10^{10}		2.4×10^{12}	1.7×10^{12}	3.7×10^{12}
84	2.5×10^9	—		1.9×10^{12}	1.9×10^{12}	1.4×10^{12}
85	1.6×10^9	—		1.4×10^{12}	1.3×10^{12}	2.0×10^{12}
86	8.9×10^{10}	—		1.5×10^{12}	3.8×10^{12}	6.4×10^{11}
87	2.6×10^9	—		9.1×10^{11}	1.5×10^{12}	4.8×10^{11}
88	5.8×10^9	—		2.8×10^{11}	9.1×10^{11}	1.1×10^{12}
89	8.9×10^9	1.2×10^9		2.5×10^{11}	1.0×10^{12}	3.5×10^{11}
90	1.0×10^{10}	—		2.7×10^{11}	6.8×10^{11}	3.5×10^{11}
91	1.0×10^{10}	2.2×10^{10}		2.8×10^{11}	5.6×10^{11}	1.8×10^{12}
92	2.9×10^9	—		1.1×10^{12}	5.3×10^{11}	4.4×10^{11}
93	2.7×10^9	—		2.0×10^{11}	4.7×10^{11}	6.2×10^{11}
94	3.6×10^9	—	—	1.1×10^{11}	6.0×10^{11}	2.0×10^{11}
95	3.8×10^8	—	—	1.6×10^{11}	5.1×10^{11}	2.1×10^{11}
96	3.8×10^9	—	—	1.9×10^{11}	4.3×10^{11}	3.3×10^{11}
97	3.0×10^9	—	—	1.9×10^{11}	4.3×10^{11}	3.7×10^{11}
98	8.4×10^8	—	—	1.7×10^{11}	6.1×10^{11}	4.2×10^{11}
99	—	—	—	2.3×10^{11}	1.2×10^{11}	4.0×10^{11}
00	2.6×10^9	—	—	1.6×10^{10}	5.7×10^{10}	1.6×10^{10}
01	8.8×10^8	—	—	1.4×10^{10}	1.5×10^{10}	1.8×10^{10}
02	9.1×10^8	1.2×10^{10}	—	1.1×10^{10}	2.8×10^{10}	1.2×10^{10}
03	1.6×10^9	—	—	6.1×10^9	1.8×10^{10}	1.1×10^{10}
04	7.4×10^8	—	—	1.9×10^9	4.1×10^{11}	1.6×10^{10}
05	—	—	—	1.2×10^9	6.2×10^9	1.2×10^{10}
06	—	—	—	2.3×10^9	2.9×10^9	1.5×10^{10}
07	—	—	—	4.6×10^9	2.2×10^9	1.8×10^{10}
08	—	—	—	2.8×10^9	1.9×10^{10}	9.3×10^{11}
09	7.4×10^8	—	—	4.7×10^9	5.0×10^{11}	3.3×10^{11}
10	—	—	—	3.8×10^{10}	9.0×10^{11}	9.6×10^9

（注）ふげんの希ガスはアルゴン-41である。美浜、大飯、高浜の各発電所では1979年度までは検出限界以下の場合、検出限界値を加算していたが、1980年度以降0として集計している（液体廃棄物も同じ）。

美浜、大飯、高浜発電所の気体廃棄物にはそれぞれの発電所の固体廃棄物処理建屋からの放出量も含まれている。1990年度の美浜発電所の希ガスの放出実績には、蒸気発生器伝熱管損傷事故に係わる補助建屋排気筒からの放出分、および排気筒以外からの放出分を含む。

5. 9 各発電所の年度別放射性廃棄物放出量（気体廃棄物）

（単位：Bq／年）

年度	気体廃棄物のヨウ素-131					
	敦賀 発電所	ふげん	もんじゅ	美浜 発電所	大飯 発電所	高浜 発電所
69						
70	1.4×10^{10}					
71	4.1×10^{10}					
72	8.9×10^9					
73	7.4×10^9					
74	1.0×10^{10}					—
75	7.4×10^8			5.6×10^7		5.9×10^7
76	6.7×10^8			2.5×10^8		8.4×10^7
77	2.7×10^8			1.2×10^8	2.5×10^6	1.9×10^7
78	2.0×10^8			3.5×10^7	8.1×10^7	1.4×10^7
79	1.3×10^8	—		3.7×10^7	1.3×10^8	1.3×10^7
80	2.7×10^7	—		1.3×10^9	1.4×10^7	8.0×10^6
81	1.0×10^7	—		9.4×10^7	2.6×10^8	1.4×10^6
82	9.1×10^6	—		6.2×10^7	6.3×10^7	3.4×10^6
83	3.9×10^6	—		4.6×10^6	5.6×10^6	9.0×10^7
84	4.0×10^5	—		8.9×10^7	5.0×10^5	1.8×10^6
85	2.0×10^5	—		2.7×10^7	5.9×10^6	2.1×10^7
86	4.4×10^7 * ⁽¹⁾	5.6×10^7 * ⁽¹⁾		6.8×10^7 * ⁽¹⁾	2.2×10^8 * ⁽¹⁾	1.1×10^8 * ⁽¹⁾
87	1.3×10^6	—		3.8×10^6	1.6×10^6	2.7×10^6
88	—	—		1.3×10^6	5.7×10^7	2.0×10^7
89	—	—		2.5×10^6	1.2×10^6	2.2×10^5
90	4.8×10^5	—		3.5×10^8	8.8×10^5	2.9×10^5
91	5.7×10^4	—		6.1×10^6	1.1×10^6	2.2×10^8
92	—	—		1.9×10^7	3.4×10^6	4.3×10^7
93	—	—		1.0×10^7	2.8×10^5	4.4×10^5
94	—	—	—	2.7×10^5	2.2×10^5	3.1×10^5
95	—	—	—	1.6×10^5	—	2.4×10^5
96	—	—	—	—	—	—
97	—	—	—	1.8×10^6	8.6×10^5	3.8×10^6
98	—	—	—	2.4×10^6	1.2×10^5	9.9×10^6
99	—	—	—	3.2×10^5	1.6×10^5	2.7×10^5
00	3.8×10^5	—	—	—	1.1×10^6	—
01	—	—	—	9.9×10^4	2.7×10^5	1.9×10^5
02	—	—	—	3.8×10^5	—	3.4×10^5
03	—	—	—	2.3×10^5	—	—
04	—	—	—	—	1.9×10^8	—
05	—	—	—	—	—	—
06	—	—	—	—	—	—
07	—	—	—	—	—	—
08	—	—	—	1.2×10^5	1.7×10^6	—
09	—	—	—	8.4×10^4	—	—
10	—	—	9.8×10^4 * ⁽²⁾	1.2×10^5	2.7×10^5 * ⁽²⁾	1.4×10^4 * ⁽²⁾

(注) * (1)印の1986年度の気体状ヨウ素-131の放出実績には、チェルノブイル原子力発電所の影響が含まれている。
 * (2)当該データは、3月分データからの算出値である。当該期間においてヨウ素放出されるような作業・操作は行っていないことから、各所に起因したのではなく、福島第一発電所による影響と推測される。

1990年度の美浜発電所のヨウ素-131の放出実績には、蒸気発生器伝熱管損傷事故に係わる補助建屋排気筒からの放出分、および排気筒以外からの放出分を含む。

5. 9 各発電所の年度別放射性廃棄物放出量（液体廃棄物）

（単位：Bq/年）

年度	トリチウムを除く液体廃棄物					
	敦賀 発電所	ふげん	もんじゅ	美浜 発電所	大飯 発電所	高浜 発電所
69	1.1×10^{11}					
70	6.7×10^{10}			5.9×10^{10}		
71	6.3×10^9			5.6×10^9		
72	7.8×10^9			1.1×10^9		
73	7.4×10^9			1.1×10^9		
74	1.1×10^{10}			9.6×10^8		1.1×10^8
75	1.7×10^{10}			5.6×10^8		1.5×10^8
76	3.4×10^9			2.8×10^8		3.6×10^8
77	2.7×10^9			3.3×10^8	1.8×10^7	8.5×10^7
78	8.9×10^8	3.3×10^7		3.0×10^8	3.7×10^7	7.0×10^7
79	4.8×10^8	5.3×10^7		4.5×10^8	6.3×10^7	6.3×10^7
80	2.6×10^8	3.7×10^7		1.4×10^8	5.9×10^7	4.8×10^7
81	1.4×10^8	2.9×10^8		8.8×10^7	1.9×10^8	1.1×10^7
82	1.8×10^7	3.1×10^7		8.6×10^7	2.9×10^7	7.0×10^6
83	2.9×10^7	4.8×10^7		1.0×10^8	2.2×10^7	8.9×10^6
84	2.5×10^7	1.9×10^7		3.8×10^7	1.9×10^7	6.2×10^6
85	1.9×10^7	1.0×10^8		2.2×10^7	2.1×10^7	8.2×10^6
86	1.2×10^7	4.8×10^7		1.5×10^7	1.6×10^7	1.3×10^7
87	1.1×10^7	1.9×10^7		1.7×10^7	4.4×10^6	2.6×10^6
88	1.1×10^7	4.8×10^7		2.1×10^7	2.1×10^5	—
89	4.2×10^6	5.8×10^7		6.5×10^6	—	—
90	5.6×10^6	1.4×10^7		1.6×10^7	7.4×10^5	—
91	6.6×10^6	4.7×10^6		5.1×10^5	—	—
92	2.5×10^6	1.1×10^7		3.0×10^6	7.8×10^4	—
93	1.5×10^5	1.6×10^6		3.4×10^5	1.4×10^5	—
94	—	—	—	1.0×10^5	—	—
95	9.4×10^4	—	—	4.8×10^5	—	—
96	—	—	—	—	—	—
97	—	—	—	—	—	—
98	—	—	—	—	—	—
99	—	—	—	—	—	—
00	—	—	—	—	—	—
01	—	—	—	—	—	—
02	—	—	—	—	—	—
03	—	—	—	—	—	—
04	—	—	—	—	—	3.1×10^5
05	—	—	—	—	—	—
06	—	—	—	—	—	—
07	—	—	—	—	—	—
08	—	—	—	—	—	—
9	—	—	—	—	—	—
10	—	—	—	—	—	—

（注）ふげんの液体廃棄物放出実績については、1984年度年報より重水精製施設からの放出量も含めて記載した。
 1990年度の美浜発電所の「トリチウムを除く液体廃棄物」の放出実績には、蒸気発生器伝熱管損傷事故に係わる蒸気発生器ブローダウンからの放出分、および2次系へ流出した1次冷却材を含む2次系統水の処理分を含む。
 2004年度の高浜発電所については、4号機タービンサンプ水モニタ指示上昇事象時の放出による。
 1981年の敦賀発電所の放出実績には、一般排水口からの放射能漏えい量は含まれていない。一般排水路の流出放射能は十数から数十mCi（1mCi=3.7×10⁷Bq）と推定されている。

5. 9 各発電所の年度別放射性廃棄物放出量（液体廃棄物）

（単位：Bq/年）

年度	トリチウム（液体）					
	敦賀 発電所	ふげん	もんじゅ	美浜 発電所	大飯 発電所	高浜 発電所
69						
70	5.2×10^{11}			1.2×10^{12}		
71	2.3×10^{11}			5.2×10^{12}		
72	2.0×10^{11}			8.9×10^{12}		
73	3.0×10^{11}			1.1×10^{13}		
74	7.8×10^{11}			1.0×10^{13}		4.8×10^{12}
75	1.6×10^{12}			2.4×10^{12}		1.3×10^{13}
76	1.9×10^{12}			8.4×10^{12}		1.3×10^{13}
77	8.5×10^{11}			7.8×10^{12}	6.3×10^{11}	1.1×10^{13}
78	1.1×10^{12}	2.6×10^{11}		1.4×10^{13}	4.8×10^{12}	1.7×10^{13}
79	1.2×10^{12}	2.7×10^{11}		1.2×10^{13}	1.5×10^{13}	1.1×10^{13}
80	1.3×10^{12}	7.7×10^{11}		1.3×10^{13}	2.2×10^{13}	1.1×10^{13}
81	1.2×10^{12}	8.5×10^{11}		1.4×10^{13}	1.1×10^{13}	1.4×10^{13}
82	5.0×10^{11}	1.2×10^{12}		9.8×10^{12}	3.1×10^{13}	1.4×10^{13}
83	4.3×10^{11}	1.3×10^{12}		1.0×10^{13}	3.4×10^{13}	1.6×10^{13}
84	4.2×10^{11}	2.6×10^{12}		1.9×10^{13}	3.0×10^{13}	2.1×10^{13}
85	3.5×10^{11}	3.6×10^{12}		1.6×10^{13}	2.9×10^{13}	3.7×10^{13}
86	5.9×10^{12}	2.2×10^{12}		2.2×10^{13}	4.1×10^{13}	4.3×10^{13}
87	2.4×10^{13}	1.9×10^{12}		2.4×10^{13}	3.3×10^{13}	4.9×10^{13}
88	4.5×10^{12}	4.4×10^{12}		2.1×10^{13}	3.0×10^{13}	7.0×10^{13}
89	1.2×10^{13}	7.0×10^{12}		1.3×10^{13}	2.6×10^{13}	4.0×10^{13}
90	2.3×10^{13}	3.3×10^{12}		2.0×10^{13}	1.6×10^{13}	3.5×10^{13}
91	3.1×10^{13}	1.8×10^{12}		1.3×10^{13}	2.0×10^{13}	3.0×10^{13}
92	7.9×10^{12}	3.9×10^{12}		1.2×10^{13}	2.8×10^{13}	5.5×10^{13}
93	1.6×10^{13}	3.5×10^{12}		1.8×10^{13}	4.2×10^{13}	6.9×10^{13}
94	1.3×10^{13}	4.7×10^{12}	—	1.1×10^{13}	6.3×10^{13}	3.3×10^{13}
95	1.9×10^{13}	4.1×10^{12}	3.9×10^9	1.7×10^{13}	6.1×10^{13}	3.7×10^{13}
96	1.4×10^{13}	5.9×10^{12}	9.7×10^7	1.7×10^{13}	5.9×10^{13}	5.7×10^{13}
97	2.1×10^{13}	5.5×10^{12}	1.3×10^9	1.6×10^{13}	4.6×10^{13}	6.4×10^{13}
98	2.0×10^{13}	3.5×10^{12}	4.7×10^8	1.6×10^{13}	5.7×10^{13}	6.2×10^{13}
99	1.1×10^{13}	4.1×10^{12}	2.7×10^8	2.0×10^{13}	6.9×10^{13}	7.1×10^{13}
00	1.4×10^{13}	3.8×10^{12}	2.7×10^8	2.0×10^{13}	6.6×10^{13}	4.1×10^{13}
01	1.0×10^{13}	4.1×10^{12}	6.2×10^5	1.7×10^{13}	1.3×10^{14}	5.3×10^{13}
02	1.4×10^{13}	1.8×10^{12}	9.3×10^6	1.8×10^{13}	6.4×10^{13}	6.3×10^{13}
03	2.2×10^{13}	4.3×10^{11}	4.9×10^8	2.3×10^{13}	9.0×10^{13}	5.9×10^{13}
04	2.6×10^{13}	1.0×10^{12}	1.3×10^8	1.6×10^{13}	9.8×10^{13}	6.3×10^{13}
05	9.2×10^{12}	1.2×10^{12}	4.7×10^8	1.5×10^{13}	6.6×10^{13}	6.9×10^{13}
06	1.5×10^{13}	1.6×10^{12}	2.0×10^8	1.4×10^{13}	7.7×10^{13}	6.8×10^{13}
07	1.3×10^{13}	1.0×10^{12}	2.1×10^7	2.0×10^{13}	8.9×10^{13}	6.0×10^{13}
08	4.9×10^{12}	2.7×10^{12}	2.1×10^8	1.8×10^{13}	7.4×10^{13}	4.0×10^{13}
09	1.5×10^{13}	2.1×10^{12}	2.7×10^8	2.3×10^{13}	8.1×10^{13}	4.3×10^{13}
10	1.2×10^{13}	8.7×10^{11}	1.5×10^8	1.3×10^{13}	5.7×10^{13}	6.5×10^{13}

（注）1990年度の美浜発電所の「トリチウム（液体）」の放出実績には、蒸気発生器伝熱管損傷事故に係わる蒸気発生器ブローダウンからの放出分、および2次系へ流出した1次冷却材を含む2次系統水の処理分を含む。2004年度の高浜発電所については、4号機タービンサンプ水モニタ指示上昇事象時の放出分 1.1×10^7 Bqを含む。

5. 10 緊急時モニタリングルートでの線量率調査

1. 調査方法

(1) 調査期間

平成22年4月～10月

(2) 調査項目

空間 γ 線量率

(3) 測定器等

① 測定器

各機関が有するモニタリングカーに搭載の線量率計による。

機 関 名	検 出 器	検出器位置
県監視センター	2"×2"NaI(Tl)検出器	屋根（地上高2.7m）
原 電	3"×3"NaI(Tl)検出器	屋根（地上高2.3m）
関 電	2"×2"NaI(Tl)検出器	屋根（地上高3.5m）
原子力機構	2"×2"NaI(Tl)検出器	屋根（地上高2.9m）

② 測定法

停車し、2分～5分間測定。

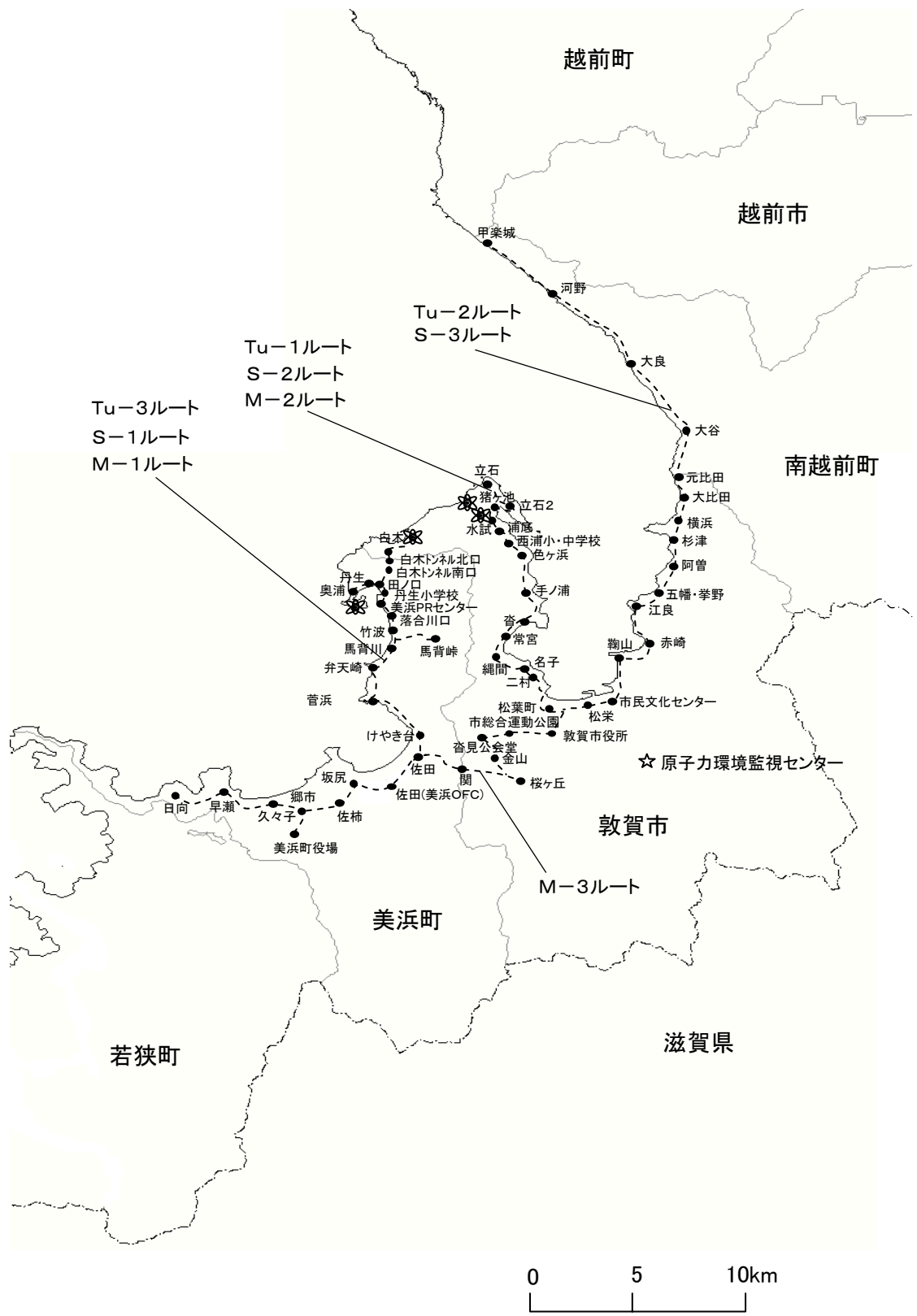
(4) 測定地点

第1図に、各ルートの測定地点を示す。

第1図 緊急時モニタリングルート調査地点

Tu-1ルート	立石 ~ 縄間 ~ 敦賀市役所 ~ 金山(敦賀OFC)
Tu-2ルート	松栄 ~ 杉津 ~ 大谷 ~ 甲楽城
Tu-3ルート	白木 ~ 竹波 ~ 馬背峠 ~ 菅浜
S-1ルート	白木 ~ 丹生小学校 ~ 竹波 ~ 馬背峠 ~ けやき台
S-2ルート	立石 ~ 縄間 ~ 敦賀市役所 ~ 金山(敦賀OFC)
S-3ルート	松栄 ~ 杉津 ~ 大谷 ~ 甲楽城
M-1ルート	白木 ~ 丹生 ~ 馬背峠 ~ けやき台
M-2ルート	立石 ~ 縄間 ~ 敦賀市役所 ~ 市民文化センター
M-3ルート	敦賀市総合運動公園 ~ 佐田 ~ 郷市 ~ 日向
O-1ルート	赤礁崎オートキャンプ場 ~ 日角浜 ~ 犬見崎 ~ 大飯中学校
O-2ルート	高浜町役場 ~ 長井 ~ 荒木 ~ 食文化館
O-3ルート	小浜市役所 ~ 西津 ~ 阿納尻(内外海小学校) ~ 泊
Ta-1ルート	音海(奥) ~ 灘波江 ~ 東三松 ~ 高浜町役場
Ta-2ルート	灘波江 ~ 神野浦 ~ 下 ~ 上瀬
Ta-3ルート	六路谷 ~ 高野 ~ 青 ~ 坂田 ~ 成和(大飯OFC)
Ta-4ルート	園部(高浜OFC) ~ 川上 ~ 鹿野 ~ おおい町役場





調査結果その1 敦賀、白木、美浜地区

単位:nGy/h

市町村	集落名等	地点名	詳細地点名	ルート名	月日	天気	線量率	機関
敦賀市	立石	立石	立石バス停(八坂神社前)	Tu-1-1	9月27日	晴れ	54.4	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月25日	晴れ	55.2	B
敦賀市	立石	立石Ⅱ	恵比寿神社前	Tu-1-2	9月27日	晴れ	80.2	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月25日	晴れ	70.8	B
敦賀市	浦底	猪ヶ池	原電・敦賀原子力館昇り口	Tu-1-3	9月27日	晴れ	62.8	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月25日	晴れ	63.6	B
敦賀市	浦底	水産試験場	県水産試験場玄関前	Tu-1-4	9月27日	晴れ	57.5	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月25日	晴れ	49.0	B
敦賀市	浦底	浦底	原電・明神寮昇り口	Tu-1-5	9月27日	晴れ	65.9	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月25日	晴れ	57.2	B
敦賀市	色浜	西浦小学校	西浦小・中学校正門前	Tu-1-6	9月27日	晴れ	58.0	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月25日	晴れ	51.6	B
敦賀市	色浜	色ヶ浜	旅館みずしま前	Tu-1-7	9月27日	晴れ	55.8	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月25日	晴れ	56.8	B
敦賀市	手	手ノ浦	あけぼの旅館前	Tu-1-8	9月27日	晴れ	62.6	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月25日	晴れ	49.2	B
敦賀市	沓	沓	ひがし旅館駐車場入口	Tu-1-9	9月27日	晴れ	53.8	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月25日	晴れ	61.6	B
敦賀市	常宮	常宮	常宮小学校校門	Tu-1-10	9月27日	曇り	55.5	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月25日	晴れ	46.8	B
敦賀市	縄間	縄間	西浦児童館前	Tu-1 M-2・S-2	9月27日	曇り	44.4	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月15日	雨	56.3	D
敦賀市	名子	名子	ファーストハーバーツルカ南駐車帯	Tu-1 M-2・S-2	9月27日	曇り	65.1	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月15日	雨	74.8	D
敦賀市	二村	二村	二村バス停	Tu-1 M-2・S-2	9月27日	曇り	55.5	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月15日	雨	66.1	D
敦賀市	松葉町	松葉町	市立体育館駐車場	Tu-1 M-2・S-2	9月27日	曇り	47.2	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月15日	雨	52.5	D
敦賀市	中央2丁目	敦賀市役所	敦賀市役所正面玄関横	Tu-1 M-2・S-2	9月27日	曇り	50.2	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月15日	雨	55.5	D
敦賀市	金山 (敦賀)	金山	敦賀原子力防災センター駐 車場	Tu-1 M-3・S-2	9月27日	曇り	62.2	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月15日	雨	55.7	D
敦賀市	松栄町	松栄	漁連敦賀支所製氷冷蔵工場 横	Tu-2 M-2・S-3	9月27日	曇り	29.0	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月15日	雨	46.3	D
敦賀市	桜町	市民文化センター	市民文化センター 北側駐車場	Tu-2 M-2・S-3	9月27日	曇り	44.5	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月15日	雨	56.0	D
敦賀市	鞠山	鞠山	フェリー乗場駐車場	Tu-2・S-3	9月27日	曇り	42.2	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月25日	晴れ	48.2	B
敦賀市	赤崎	赤崎	赤崎小学校入口	Tu-2-2	9月27日	曇り	54.8	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月25日	晴れ	46.2	B

調査結果その2 敦賀、白木、美浜地区(つづき)

単位:nGy/h

市町村	集落名等	地点名	詳細地点名	ルート名	月日	天気	線量率	機関
敦賀市	江良	江良	おもや旅館駐車場横	Tu-2-3	9月27日	曇り	50.0	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月25日	晴れ	48.2	B
敦賀市	五幡	五幡	東浦公民館前	Tu-2-4	9月27日	曇り	47.1	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月25日	晴れ	40.6	B
敦賀市	阿曾	阿曾	JA敦賀市北部営農センター	Tu-2-5	9月27日	曇り	49.6	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月25日	晴れ	44.0	B
敦賀市	杉津	杉津	杉津集落入口国道脇	Tu-2-6	9月27日	曇り	43.3	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月25日	晴れ	37.4	B
敦賀市	横浜	横浜	ドライブイン越前やべ清前駐車場	Tu-2-7	9月27日	曇り	46.9	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月25日	晴れ	39.2	B
敦賀市	大比田	大比田	大比田集落 下非常用駐車帯	Tu-2-8	9月27日	曇り	44.1	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月25日	晴れ	41.4	B
敦賀市	元比田	元比田	非常用駐車帯	Tu-2-9	9月27日	曇り	43.2	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月25日	晴れ	38.4	B
南越前町	大谷	大谷	大谷集落北端 (旧管理事務所)	Tu-2-10	9月27日	曇り	43.3	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月25日	晴れ	39.4	B
南越前町	大良	大良	河野洞門南駐車帯	Tu-2-11	9月27日	曇り	43.8	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月25日	晴れ	40.8	B
南越前町	河野	河野	南越前町役場 河野総合事務所駐車場入口	Tu-2-12	9月27日	曇り	39.8	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月25日	晴れ	34.0	B
南越前町	甲楽城	甲楽城	下長谷洞門前駐車場	Tu-2-13	9月27日	曇り	42.6	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月25日	晴れ	38.6	B
敦賀市	白木1丁目	白木	白木区営駐車場	Tu-3 M-1・S-1	10月14日	晴れ	63.0	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月15日	曇り	55.3	D
敦賀市	白木1丁目	白木	白木トンネル北口交差点	S-1	10月14日	晴れ	60.3	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月15日	曇り	57.9	D
敦賀市	白木1丁目	白木	白木トンネル南口	Tu-3 M-1・S-1	10月14日	晴れ	81.4	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月15日	曇り	73.4	D
美浜町	丹生	奥浦	漁協飼料保管解凍施設前 (奥浦公園登り口)	M-1	10月14日	晴れ	61.9	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月15日	曇り	50.0	D
美浜町	丹生	丹生	丹生バス停(県環境放射線監視 テレメータ丹生観測局前)	M-1	10月14日	晴れ	52.2	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月15日	曇り	41.9	D
美浜町	丹生	田ノ口	丹生漁協コーポート売店前 (県道丹生三叉路)	Tu-3 M-1・S-1	10月14日	晴れ	43.9	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月15日	曇り	31.7	D
美浜町	丹生	丹生小学校	丹生小学校校門 美浜中学校丹生分校校門	Tu-3 M-1・S-1	10月14日	晴れ	67.9	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月15日	曇り	55.4	D
美浜町	丹生	美浜PRセンター	関電・美浜原子力PRセンター 玄関前	M-1・S-1	10月14日	晴れ	61.1	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月15日	曇り	50.8	D
美浜町	竹波	落合川口	落合橋右岸たもと	M-1	10月14日	晴れ	60.6	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月15日	雨	48.9	D

調査結果その3 敦賀、白木、美浜地区(つづき)

単位:nGy/h

市町村	集落名等	地点名	詳細地点名	ルート名	月日	天気	線量率	機関
美浜町	竹波	竹波	庄屋旅館駐車場	Tu-3 M-1・S-1	10月14日	晴れ	42.5	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月15日	雨	39.8	D
美浜町	馬背峠	馬背峠	馬背峠トンネル西側旧道登り口	Tu-3 M-1・S-1	10月14日	晴れ	87.2	A
〃	〃	〃	〃	〃	/	/	/	D
美浜町	竹波	馬背川(水晶浜)	関電・水晶浜クラブ前	Tu-3 M-1・S-1	10月14日	晴れ	63.0	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月15日	雨	51.1	D
美浜町	菅浜	弁天崎	弁天崎駐車場	Tu-3 M-1・S-1	10月14日	晴れ	52.7	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月15日	雨	47.4	D
美浜町	菅浜	菅浜	農業構造改善センター玄関	Tu-3 M-1・S-1	10月14日	晴れ	43.6	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月15日	雨	33.6	D
美浜町	佐田	けやき台	関電社宅前バス停	M-1・S-1	10月14日	晴れ	41.1	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月15日	雨	32.4	D
敦賀市	杓見	敦賀市総合運動公園	敦賀市総合運動公園 体育館正門前	M-3	10月14日	曇り	57.5	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月15日	雨	49.4	D
敦賀市	桜ヶ丘町	桜ヶ丘	桜ヶ丘団地入り口	M-3	10月14日	曇り	58.2	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月15日	雨	52.3	D
敦賀市	杓見	杓見公会堂	杓見公会堂前駐車場	M-3	9月27日	曇り	55.0	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月15日	雨	47.1	D
敦賀市	関	関峠	関峠散水融雪設備横(市町境)	M-3	10月14日	曇り	48.4	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月15日	雨	62.5	D
美浜町	佐田	佐田	山東郵便局前	M-3	10月14日	晴れ	45.4	A
〃	〃	〃	〃	〃	7月28日	曇り	45.1	C
美浜町	佐田	美浜OFC	美浜原子力 防災センター駐車場	M-3	10月14日	晴れ	62.2	A
〃	〃	〃	〃	〃	7月28日	晴れ	45.6	C
美浜町	坂尻	坂尻	坂尻バス停	M-3	10月14日	曇り	40.9	A
〃	〃	〃	〃	〃	7月28日	曇り	44.8	C
美浜町	佐柿	佐柿	山本工業所前(佐柿口バス停前)	M-3	10月14日	晴れ	33.1	A
〃	〃	〃	〃	〃	7月28日	晴れ	31.2	C
美浜町	郷市	美浜町役場	美浜町役場駐車場	Tu-3 M-3・S-1	10月14日	曇り	35.1	A
〃	〃	〃	〃	〃	7月28日	晴れ	42.4	C
美浜町	郷市	郷市	関電原子力事業本部前	M-3	10月14日	曇り	47.7	A
〃	〃	〃	〃	〃	7月28日	曇り	43.5	C
美浜町	久々子	久々子(松原)	美浜勤労者体育センター	M-3	10月14日	曇り	40.4	A
〃	〃	〃	〃	〃	7月28日	曇り	42.8	C
美浜町	早瀬	早瀬	美浜漁協美浜漁業センター玄関前 (早瀬港)	M-3	10月14日	曇り	50.6	A
〃	〃	〃	〃	〃	7月28日	曇り	52.1	C
美浜町	日向	日向	日向バス停 (ゲートホール場・排水処理場前)	M-3	10月14日	曇り	41.6	A
〃	〃	〃	〃	〃	7月28日	曇り	41.2	C

調査結果その4 大飯地区

単位;nGy/h

市町村名	集落名等	地点名	詳細地点名	ルート名	月日	天気	線量率	機関
おおい町	赤礁崎	赤礁崎オートキャンプ場	赤礁崎オートキャンプ場 管理事務所前	O-1	9月30日	曇り	41.3	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月22日	曇り	28.8	C
おおい町	宮留	宮留(奥)	塩浜海水浴場入口 (海岸道路終端)	O-1	9月30日	曇り	34.5	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月22日	曇り	23.9	C
おおい町	宮留	宮留	県環境放射線監視テレメータ 宮留観測局前	O-1	9月30日	曇り	36.7	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月22日	曇り	28.6	C
おおい町	脇今安	脇今安	脇今安バス停	O-1	9月30日	曇り	30.3	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月22日	曇り	26.7	C
おおい町	畑村	畑村	畑村バス停	O-1	9月30日	雨	30.0	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月22日	曇り	20.4	C
おおい町	日角浜	日角浜	日角浜バス停	O-1	9月30日	雨	32.8	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月22日	曇り	25.8	C
おおい町	河村	河村	河村バス停	O-1	9月30日	雨	32.0	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月22日	小雨	24.1	C
おおい町	西村	西村	西村バス停	O-1	9月30日	雨	34.4	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月22日	小雨	26.9	C
おおい町	南浦	南浦・浦底	南浦バス停	O-1	9月30日	雨	32.2	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月22日	小雨	24.7	C
おおい町	大島	大島トンネル北口	大島トンネル北口駐車場	O-1	9月30日	雨	38.4	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月22日	雨	28.3	C
おおい町	犬見	犬見崎	犬見トンネル南口駐車帯	O-1	9月30日	雨	55.7	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月22日	雨	38.0	C
おおい町	本郷	おおい町役場	おおい町役場玄関前	O-1・Ta-4	9月30日	雨	43.3	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月22日	曇り	36.9	C
おおい町	本郷	あみーしゃん大飯	いきいき長寿村あみーしゃん大飯 (本郷幼稚園)	O-1	9月30日	雨	40.1	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月22日	晴れ	35.1	C
おおい町	野尻	大飯中学校	大飯中学校校門前バス停	O-1	9月30日	雨	49.6	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月22日	曇り	38.9	C
おおい町	成和	成和(大飯OFC)	大飯原子力防災センター駐車場	O-2・Ta-3	9月22日	曇り	30.3	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月22日	曇り	29.3	C
おおい町	成和	成和(プレーパーク大飯)	おおい町総合運動公園前体育館 フィットネスセンター、アクアマリン前駐車帯	O-2	9月22日	小雨	28.8	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月22日	曇り	28.4	C
おおい町	成海	成海(こども家族館)	こども家族館(南側)駐車場	O-2	9月22日	曇り	29.9	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月22日	晴れ	30.5	C

調査結果その5 大飯地区(つづき)

単位:nGy/h

市町村名	集落名等	地点名	詳細地点名	ルート名	月日	天気	線量率	機関
おおい町	長井	長井	長井バス停(東駐車帯)	O-2	9月22日	晴れ	33.1	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月22日	晴れ	38.9	C
小浜市	鯉川	鯉川	鯉川海水浴場入口駐車場	O-2	9月22日	晴れ	27.4	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月22日	雨	33.7	C
小浜市	岡津	岡津	ローソン岡津店駐車場	O-2	9月22日	晴れ	30.6	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月22日	曇り	33.7	C
小浜市	飯盛(荒木)	飯盛	加斗小学校前バス停 (飯盛信号東)	O-2	9月22日	晴れ	32.1	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月22日	曇り	33.4	C
小浜市	飯盛(荒木)	荒木	荒木バス停	O-2	9月22日	晴れ	32.9	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月22日	雨	40.2	C
小浜市	勢	勢	西勢バス停	O-2	9月22日	晴れ	28.1	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月22日	雨	37.1	C
小浜市	青井	青井	リパティールズ浜見台横三叉路	O-2	9月22日	晴れ	29.2	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月22日	曇り	31.0	C
小浜市	川崎	食文化館	食文化館(西側)海側駐車場	O-2	9月22日	晴れ	26.0	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月22日	曇り	26.8	C
小浜市	大手6	小浜市役所	小浜市役所玄関前	O-3	9月22日	曇り	31.8	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月22日	曇り	34.0	C
小浜市	城内	大手橋北詰	小浜簡易裁判所玄関前	O-3	9月22日	曇り	35.6	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月22日	曇り	38.8	C
小浜市	西津	西津	西津公民館・保育所前 (西津小学校)	O-3	9月22日	曇り	29.7	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月22日	曇り	32.0	C
小浜市	福谷	福谷	箸のふるさと館駐車場	O-3	9月22日	曇り	25.3	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月22日	曇り	27.6	C
小浜市	甲ヶ崎	甲ヶ崎	内外海郵便局前 (甲ヶ崎口バス停)	O-3	9月22日	曇り	26.0	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月22日	曇り	29.7	C
小浜市	阿納尻	阿納尻	内外海小学校入口	O-3	9月22日	曇り	23.0	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月22日	曇り	24.5	C
小浜市	若狭	若狭	若狭土地改良事業記念碑前 (若狭バス停)	O-3	9月22日	曇り	32.0	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月22日	曇り	38.1	C
小浜市	堅海	堅海	堅海バス停	O-3	9月22日	雨	25.8	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月22日	曇り	27.0	C
小浜市	泊	泊	集落西端県道終端 (漁業集落排水泊処理施設)	O-3	9月22日	曇り	25.8	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月22日	曇り	25.1	C

調査結果その6 高浜地区

単位;nGy/h

市町村名	集落名等	地点名	詳細地点名	ルート名	月日	天気	線量率	機関
高浜町	音海	音海(奥)	音海集落奥漁協倉庫横 (音海断崖遊歩道入口前)	Ta-1	9月30日	曇り	34.8	A
〃	〃	〃	〃	〃	8月25日	晴れ	30.8	C
高浜町	音海	音海漁港	漁協音海支所・音海郵便局 前	Ta-1	9月30日	曇り	33.3	A
〃	〃	〃	〃	〃	8月25日	晴れ	32.0	C
高浜町	音海	音海	県環境放射線監視テレメータ 音海観測局前	Ta-1	9月30日	曇り	36.0	A
〃	〃	〃	〃	〃	8月25日	晴れ	34.9	C
高浜町	音海	内浦港	日本海港湾(保稅上屋入口付 近)	Ta-1	9月30日	雨	53.2	A
〃	〃	〃	〃	〃	8月25日	晴れ	35.7	C
高浜町	田の浦	田の浦トンネル	高浜発電所北門前山側駐車 帯(田の浦トンネル北口)	Ta-1	9月30日	雨	33.8	A
〃	〃	〃	〃	〃	8月25日	晴れ	30.2	C
高浜町	田の浦	内浦大橋南詰	高浜発電所正門前	Ta-1	9月30日	雨	30.8	A
〃	〃	〃	〃	〃	8月25日	晴れ	29.2	C
高浜町	小黒飯	小黒飯	白浜トンネル北(海側)駐車帯	Ta-1	9月30日	雨	34.5	A
〃	〃	〃	〃	〃	8月25日	晴れ	33.6	C
高浜町	難波江	難波江	難波江海水浴場(北側)銅像前	Ta-1・Ta- 2	9月30日	雨	35.6	A
〃	〃	〃	〃	〃	8月25日	晴れ	33.0	C
高浜町	西三松	西三松	三松センター 玄関前	Ta-1	9月30日	雨	43.0	A
〃	〃	〃	〃	〃	8月25日	晴れ	38.7	C
高浜町	東三松	東三松	青郷農協三松支所駐車場	Ta-1	9月30日	雨	37.5	A
〃	〃	〃	〃	〃	8月25日	晴れ	36.3	C
高浜町	中寄	中寄(中津海)	中津海山側バス停(中寄信号横)	Ta-1	9月30日	雨	34.4	A
〃	〃	〃	〃	〃	8月25日	晴れ	27.9	C
高浜町	宮崎	高浜町役場	高浜町役場前	O-2・Ta-1	9月30日	雨	33.6	A
〃	〃	〃	〃	〃	8月25日	晴れ	34.3	C
高浜町	神野	神野	内浦電話交換所前駐車帯	Ta-2	9月29日	晴れ	22.5	A
〃	〃	〃	〃	〃	8月25日	晴れ	24.1	C
高浜町	神野浦	神野浦	気比神社前	Ta-2	9月29日	晴れ	28.3	A
〃	〃	〃	〃	〃	8月25日	晴れ	28.3	C
高浜町	白井	白井	山中集落排水処理場	Ta-2	9月29日	曇り	23.9	A
〃	〃	〃	〃	〃	8月25日	晴れ	27.8	C
高浜町	山中	山中	五色山公園入口看板前 (内浦保育所北三叉路)	Ta-2	9月29日	曇り	19.7	A
〃	〃	〃	〃	〃	8月25日	晴れ	21.6	C
高浜町	鎌倉	鎌倉	鎌倉・塩浜峠三叉路	Ta-2	9月29日	曇り	27.9	A
〃	〃	〃	〃	〃	8月25日	晴れ	32.9	C
高浜町	鎌倉	鎌倉	鎌倉集落排水処理場	Ta-2	9月29日	曇り	27.5	A
〃	〃	〃	〃	〃	8月25日	晴れ	29.1	C

調査結果その7 高浜地区(つづき)

単位;nGy/h

市町村名	地区名	地点名	詳細地点名	ルート名	月日	天気	線量率	機関
高浜町	下	下	下集落入口三叉路(区標識)	Ta-2	9月29日	曇り	22.4	A
〃	〃	〃	〃	〃	8月25日	晴れ	25.1	C
高浜町	宮尾	宮尾	産霊神社参道前(大きな岩前)	Ta-2	9月29日	曇り	23.3	A
〃	〃	〃	〃	〃	8月25日	晴れ	25.1	C
高浜町	日引	日引	旧・日引小学校下駐車帯 (日引集落入口三叉路)	Ta-2	9月29日	曇り	31.8	A
〃	〃	〃	〃	〃	8月25日	晴れ	33.2	C
高浜町	上瀬	上瀬	山神神社石段前(海門寺横) (県道終端)	Ta-2	9月29日	曇り	24.7	A
〃	〃	〃	〃	〃	8月25日	晴れ	26.9	C
高浜町	六路谷	六路谷	六路谷検問所(バス停)	Ta-3	9月29日	曇り	22.4	A
〃	〃	〃	〃	〃	8月25日	晴れ	24.7	C
高浜町	蒜島	蒜島	蒜島バス停(喫茶らんぶる横)	Ta-3	9月29日	曇り	23.6	A
〃	〃	〃	〃	〃	8月25日	晴れ	24.9	C
高浜町	高野	高野	高野川青葉1号橋脇	Ta-3	9月29日	曇り	18.7	A
〃	〃	〃	〃	〃	8月25日	雨	20.9	C
高浜町	今寺	今寺	今寺集落生活改善センター	Ta-3	9月29日	曇り	25.7	A
〃	〃	〃	〃	〃	8月25日	晴れ	28.9	C
高浜町	関屋	関屋	関屋バス停	Ta-3	9月29日	曇り	23.3	A
〃	〃	〃	〃	〃	8月25日	雨	28.4	C
高浜町	青	青(青郷公民館)	青郷公民館駐車場	Ta-3	9月29日	曇り	25.6	A
〃	〃	〃	〃	〃	8月25日	雨	29.9	C
高浜町	緑が丘	緑が丘 (社会福祉センター)	高浜町社会福祉センター駐車場	Ta-3	9月29日	曇り	30.7	A
〃	〃	〃	〃	〃	8月25日	晴れ	31.6	C
高浜町	日置	日置	日置バス停(青梅神社参道)	Ta-3	9月29日	曇り	26.9	A
〃	〃	〃	〃	〃	8月25日	晴れ	28.9	C
高浜町	立石	立石(文化会館)	高浜町中央図書館・文化会館 前	Ta-3	9月29日	曇り	31.5	A
〃	〃	〃	〃	〃	8月25日	晴れ	33.4	C
高浜町	坂田	坂田	坂田グリーンタウンランド横 (駐車場)	Ta-3	9月29日	曇り	28.0	A
〃	〃	〃	〃	〃	8月25日	晴れ	30.6	C
高浜町	菌部	菌部(高浜OFC)	高浜原子力防災センター駐車 場	Ta-3・Ta- 4	9月29日	曇り	28.1	A
〃	〃	〃	〃	〃	8月25日	晴れ	30.8	C
高浜町	岩神	岩神	国土交通省高浜スノーベース 前	Ta-3	9月29日	曇り	26.6	A
〃	〃	〃	〃	〃	8月25日	晴れ	31.7	C
高浜町	和田	和田駅前	JR小浜線若狭和田駅前	O-2・Ta-3	9月29日	曇り	24.9	A
〃	〃	〃	〃	〃	8月25日	晴れ	32.9	C

調査結果その8 高浜地区(つづき)

単位;nGy/h

市町村名	地区名	地点名	詳細地点名	ルート名	月日	天気	線量率	機関
高浜町	笠原	笠原	高浜町浄化ランド	Ta-4	9月29日	曇り	35.8	A
〃	〃	〃	〃	〃	8月25日	晴れ	45.4	C
おおい町	川上	川上	川上公民館	Ta-4	9月29日	曇り	31.4	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月22日	晴れ	41.3	C
おおい町	安川	安川	安川・久保バス停	Ta-4	9月29日	曇り	25.5	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月22日	晴れ	27.7	C
おおい町	鹿野	鹿野	鹿野バス停	O-1・Ta-4	9月29日	曇り	26.7	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月22日	晴れ	29.6	C
おおい町	父子	父子・万願寺	さぶり川公園前バス停	O-1・Ta-4	9月29日	曇り	29.5	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月22日	晴れ	33.7	C

原子力発電所周辺の環境放射能調査報告

平成22年度（2010年度）年報

〔FERC第43巻 5号〕

福井県環境放射能測定技術会議

Fukui Environmental Radiation Monitoring Council
(FERC)

平成23年9月 発行

発行所 福井県環境放射能測定技術会議事務局
敦賀市吉河37-1 (〒914-0024)
福井県原子力環境監視センター
TEL. (0770) 25-6110

発行責任者 前川 素一